

第 15 回
野 田 市 民 意 識 調 査
報 告 書

平成 28 年 3 月
野田市

はじめに

今回実施しました「第15回野田市民意識調査」は、広聴活動の一環として4年ごとに行っているもので、市民の皆様のまちづくりに対する意識の変化や、市政についてのご意見等を幅広くお聞きし、市政運営に役立てようとするものです。

野田市では、平成23年9月に総合計画審議会を立ち上げ、さまざまな市民参加の取り組みを経て、平成27年度に「～人のつながりがまちを変える～みんなでつくる 学びと笑顔あふれる コウノトリも住めるまち」を将来都市像とする次期野田市総合計画を策定しました。

市では、平成28年度からスタートする新しい総合計画に基づき、市民との協働によるまちづくり、心のバリアフリーによる支え合いのまちづくり、地域特性を活かしたまちづくりを推進し、市政全体の底上げを図ってまいります。

今回の調査にあたり、ご協力いただきました市民の皆様を始め、関係者各位に厚く御礼申し上げます。

平成28年3月

野 田 市 長 根 本 崇

目次

第1章 調査実施の概要.....	1
第2章 調査回答者の属性.....	7
第3章 調査結果の分析.....	13
1. 住み心地と生活環境.....	15
(1) 住みよさ意識.....	15
(2) 定住意識.....	18
(2-1) 定住理由.....	21
(2-2) 移転理由.....	24
(3) 誇り・愛着意識.....	27
(4) 生活環境評価.....	30
(5) 公共施設への要望.....	63
2. 野田市の景観.....	71
(1) 野田市の景観の魅力.....	71
(2) 野田市の景観に対する満足度.....	74
3. 地域での社会活動.....	94
(1) 自治会・町内会への加入状況.....	94
(1-1) 加入していない理由.....	96
(2) 団体・サークル活動への参加状況.....	98
4. 文化やスポーツ活動.....	101
(1) 余暇の時間の過ごし方.....	101
5. ごみや環境.....	104
(1) 日常生活で心掛けていること.....	104
(2) 資源回収への参加.....	107
(2-1) 知りながら参加していない理由.....	110
(3) ごみの減量化対策.....	111
6. 福祉やボランティア活動.....	114
(1) 老後の生きがい.....	114
(2) 高齢社会に向けての市への期待.....	116
(3) ボランティア活動への参加.....	118
(4) やってみたいと思うボランティア活動.....	120
7. 男女共同参画.....	122
(1) 「女性は家事・育児を行い、男性は仕事を行う」という考え方.....	122
(2) 男女共同参画社会実現において重要なこと.....	124
8. 市政への参加意識.....	126
(1) 市政への関心度.....	126
(2) 市政への意見や不満の伝達.....	128
(3) 市からの情報の媒体.....	131
(4) 「市報のだ」の入手方法.....	134
(5) 「市報のだ」の閲読度.....	136
(6) 「市報のだ」でよく読む記事.....	138
(7) 自治会未加入者への配布.....	141

9. 情報の入手方法.....	144
(1) 情報の入手方法.....	144
(2) 世帯にある情報通信機器.....	146
(3) 過去1年間におけるインターネット利用の有無.....	148
(4-1) インターネットの利用目的.....	150
(4-2) インターネットの利用手段.....	152
10. 市政全般.....	154
(1) よくなった施策と力を入れるべき施策.....	154
11. 市役所のこと.....	165
(1) 市政で改善してほしいこと.....	165
(2) 市役所職員の対応評価.....	168
12. 自由意見.....	170
第4章 調査票.....	177

第 1 章 調査実施の概要

1. 調査の目的

この調査は、市民の皆様のまちづくりに対する意識の変化や、これまでの施策の変化、市政についてのご意見・ご要望を幅広くお聞きし、市政運営に役立てていこうとするものである。

2. 調査設計

- (1) 調査地域 野田市全域
- (2) 調査対象 市内に居住する満20歳以上の男女個人
- (3) 標本数 3,000人
- (4) 標本抽出 住民基本台帳からの無作為抽出
- (5) 調査方法 郵送配布・郵送回収
- (6) 平成27年9月11日(金)～9月30日(水)

3. 調査内容

- (1) 住み心地と生活環境
- (2) 野田市の景観
- (3) 地域での社会活動
- (4) 文化やスポーツ活動
- (5) ごみや環境
- (6) 福祉やボランティア活動
- (7) 男女共同参画
- (8) 市政への参加意識
- (9) 情報の入手方法
- (10) 市政全般
- (11) 市役所のこと
- (12) 自由意見

4. 回収結果

標本数	回収数	回収率
3,000	1,884	62.8%

5. 報告書の見方

- (1) 集計は、小数点第2位を四捨五入してある。したがって、数値の合計が100%にならない場合がある。
- (2) 回答の比率(%)は、その質問の回答者数を基数として算出した。したがって、複数回答の設問は、全ての比率を合計すると100%を超えることがある。
- (3) 質問の回答者数は[n]として掲載した。
- (4) 本文や図表中の選択肢表記は、語句を短縮・簡略化している場合がある。
- (5) 分析軸に使用した属性項目は、無回答を除いてあるため、各属性の件数の合計が全体件数と異なる場合がある。
- (6) 集計の分析軸には下記の項目を用いている。

〈分析軸〉

- ・ F 1 性別
- ・ F 2 年齢別
- ・ F 3 職業別
- ・ F 4 地区別
- ・ F 5 居住年数別

6. 標本誤差

標本を無作為に抽出した世論調査の統計数値には誤差があり、次式により算出される。

$$b = \pm 2 \sqrt{\frac{N-n}{N-1} \times \frac{P(1-P)}{n}}$$

b = 標本誤差
 n = 比率算出の基数 (回答者数)
 N = 母集団数 (野田市 20 歳以上人口)
 P = 回答比率 (%)

今回の標本誤差の結果は、下記のようなになる。

回答比率	標本誤差
10%または90%	±1.38
20%または80%	±1.84
30%または70%	±2.11
40%または60%	±2.26
50%	±2.30

これを今回の調査にあてはめてみると、設問1の「住みよさ意識」という質問に答えた人(n)は1,884人であり、そのうち、選択肢で「1. 住みよい」を選んだ人が20%であった場合、その回答に対する誤差範囲は±1.84%以内となる。

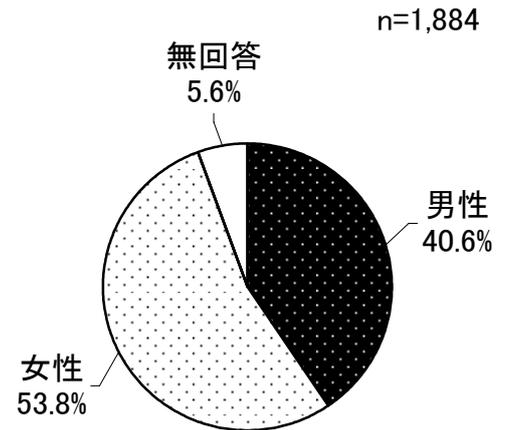
7. 前回調査からの主な変更点

- (1) 問2の定住意識に関する選択肢数を5つから7つに変更
- (2) 情報の入手に関する項目を5問追加（問27、問28、問29、問29－1、問29－2）

第2章 調査回答者の属性

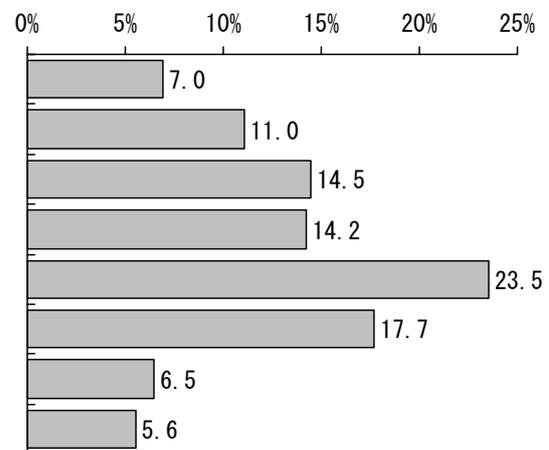
1. 性別

カテゴリー名	n	%
男性	764	40.6
女性	1,014	53.8
無回答	106	5.6
全体	1,884	100.0



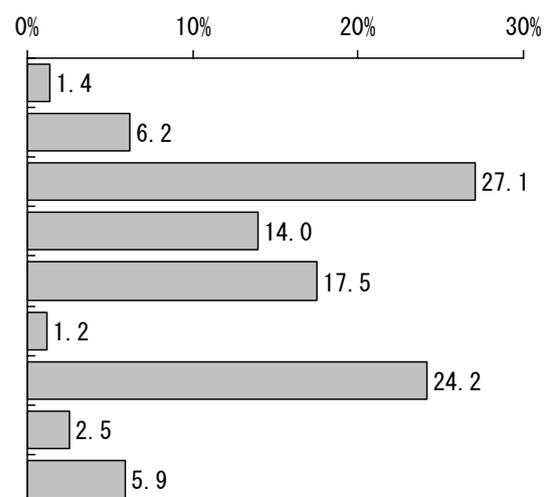
2. 年齢

カテゴリー名	n	%
20歳代	131	7.0
30歳代	208	11.0
40歳代	273	14.5
50歳代	268	14.2
60歳代	443	23.5
70歳代	334	17.7
80歳以上	122	6.5
無回答	105	5.6
全体	1,884	100.0



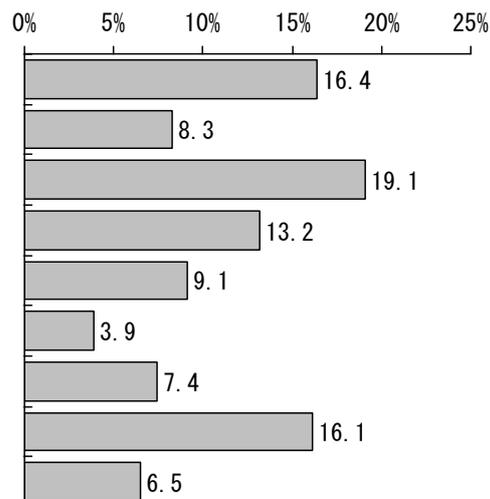
3. 職業

カテゴリー名	n	%
農業	26	1.4
自営業	117	6.2
会社員・公務員	510	27.1
パート・アルバイト	263	14.0
専業主婦	330	17.5
学生	22	1.2
無職	456	24.2
その他	48	2.5
無回答	112	5.9
全体	1,884	100.0



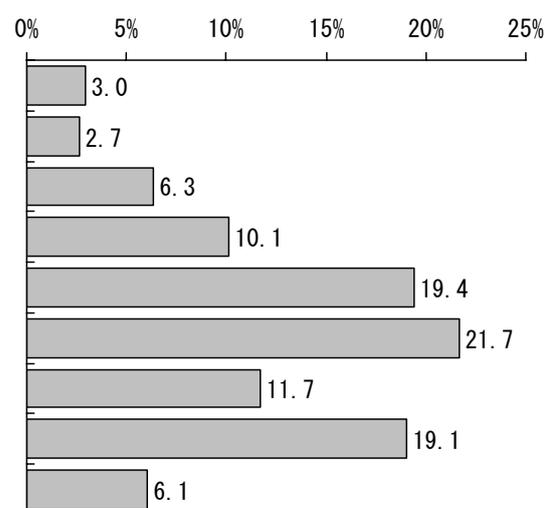
4. 居住地区

カテゴリー名	n	%
野田地区	309	16.4
中地区	156	8.3
南地区	359	19.1
北地区	249	13.2
川間地区	172	9.1
東地区	73	3.9
福田地区	140	7.4
関宿地区	304	16.1
無回答	122	6.5
全体	1,884	100.0



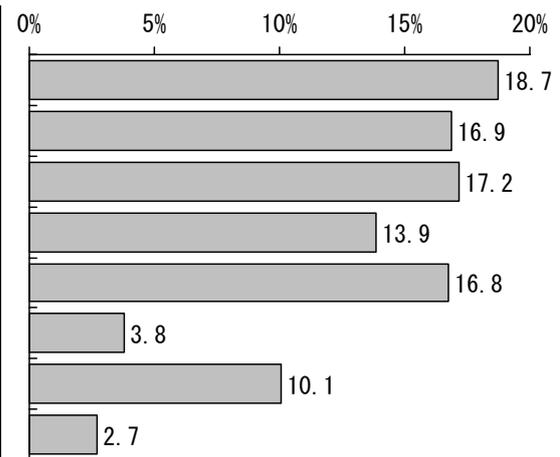
5. 居住年数

カテゴリー名	n	%
3年未満	56	3.0
3年以上～5年未満	50	2.7
5年以上～10年未満	119	6.3
10年以上～20年未満	191	10.1
20年以上～30年未満	366	19.4
30年以上～40年未満	409	21.7
40年以上～50年未満	220	11.7
50年以上	359	19.1
無回答	114	6.1
全体	1,884	100.0



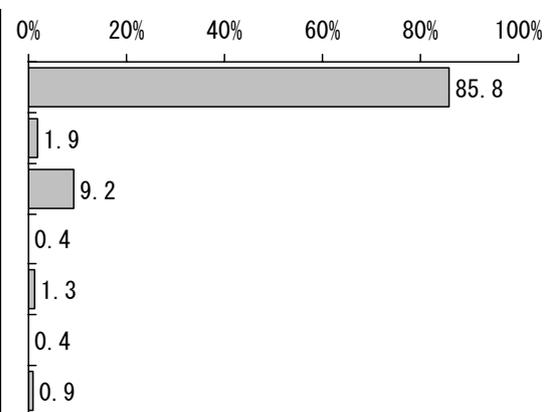
6. 以前の居住地

カテゴリー名	n	%
生まれてからずっと今のところ	353	18.7
市内の別のところ	318	16.9
県内他市町村	324	17.2
東京都	261	13.9
埼玉県	316	16.8
茨城県	71	3.8
その他	190	10.1
無回答	51	2.7
全体	1,884	100.0



7. 住まいの形態

カテゴリー名	n	%
戸建て持ち家	1,616	85.8
分譲マンション	36	1.9
民間の賃貸住宅(戸建て・アパート)	174	9.2
社宅・公務員住宅などの給与住宅	8	0.4
公営の賃貸住宅	25	1.3
その他	8	0.4
無回答	17	0.9
全体	1,884	100.0



<地区区分図>



第3章 調査結果の分析

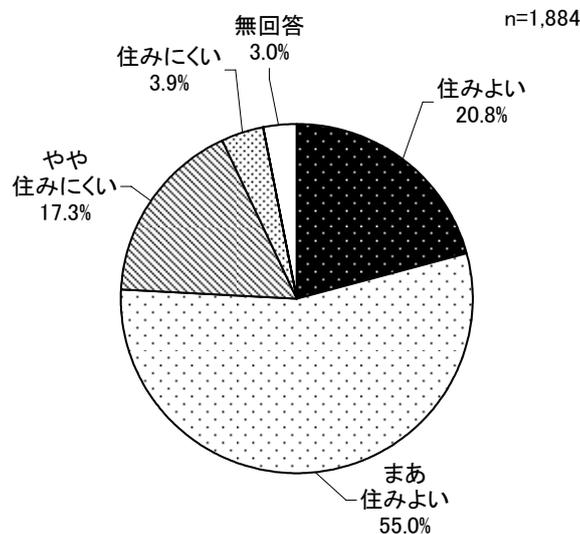
1. 住み心地と生活環境

(1) 住みよさ意識

◇『住みよい (計)』は7割台半ば

【問1】あなたにとって、現在の野田市の住み心地はいかがですか。次の中から1つだけ選んでください。
(n=1,884)

1. 住みよい	20.8%	3. やや住みにくい	17.3
2. まあ住みよい	55.0	4. 住みにくい	3.9
		(無回答)	3.0



野田市の住み心地を聞いたところ、「住みよい」(20.8%)と「まあ住みよい」(55.0%)を合わせた『住みよい (計)』(75.8%)は7割台半ばとなっている。

一方、「やや住みにくい」(17.3%)と「住みにくい」(3.9%)を合わせた『住みにくい (計)』(21.2%)は約2割となっている。

〈性別〉

『住みよい (計)』は女性 (74.8%) と男性 (76.7%) では大きな差はみられない。

〈年齢別〉

『住みよい (計)』は男女ともに60歳以上で最も高く、男性で80.2%、女性で79.2%となっている。

〈地区別〉

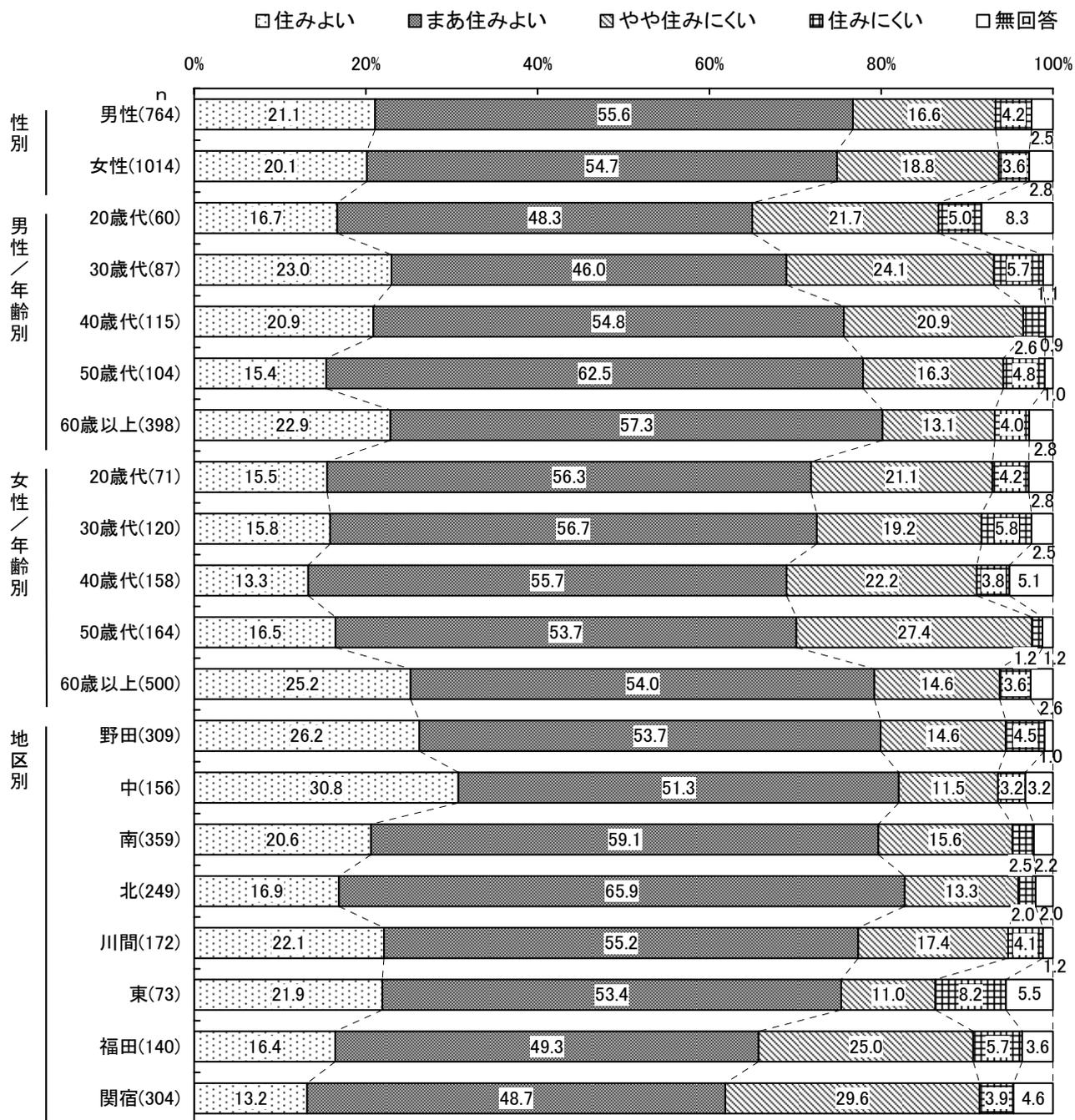
『住みよい (計)』は北地区、中地区で8割台と高くなっている。

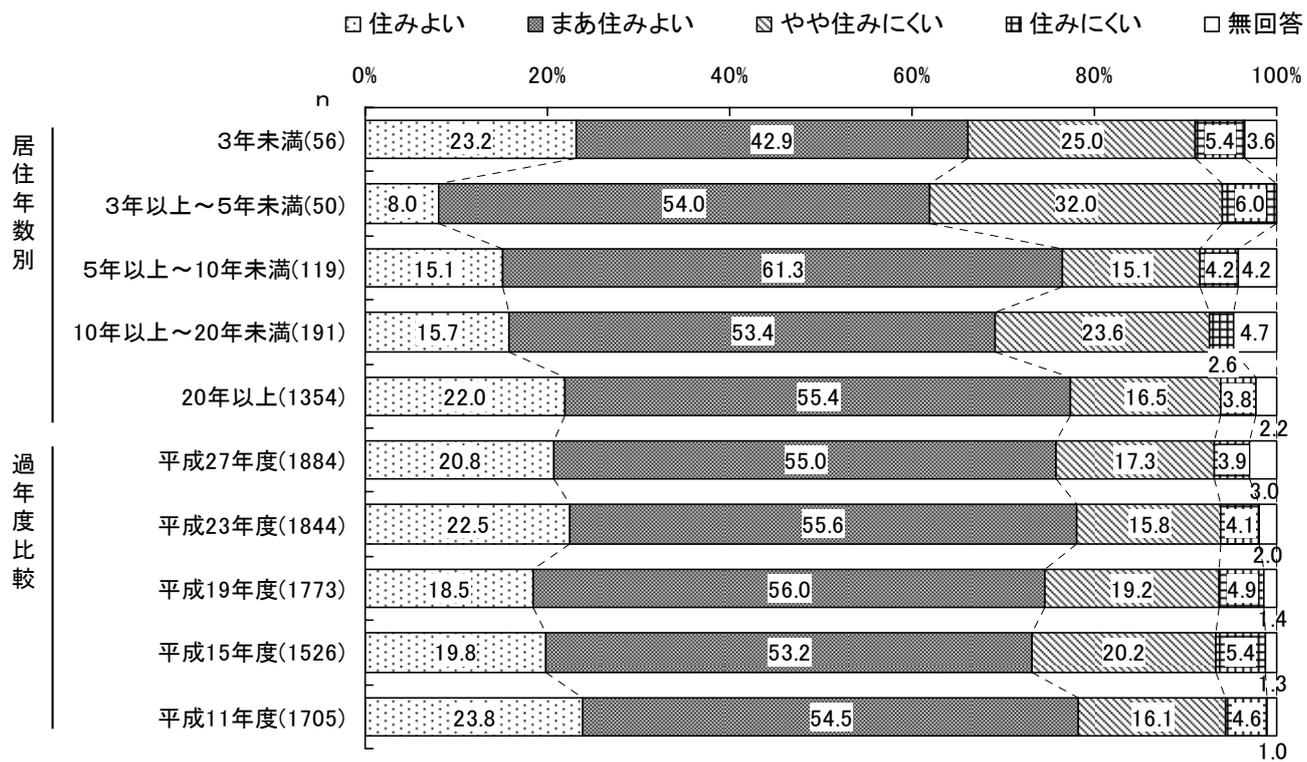
〈居住年数別〉

『住みよい (計)』は20年以上で77.4%と最も高くなっている。

〈過年度比較〉

前回調査 (平成23年度) と比較すると、『住みよい (計)』はほとんど変化はみられない。





(2) 定住意識

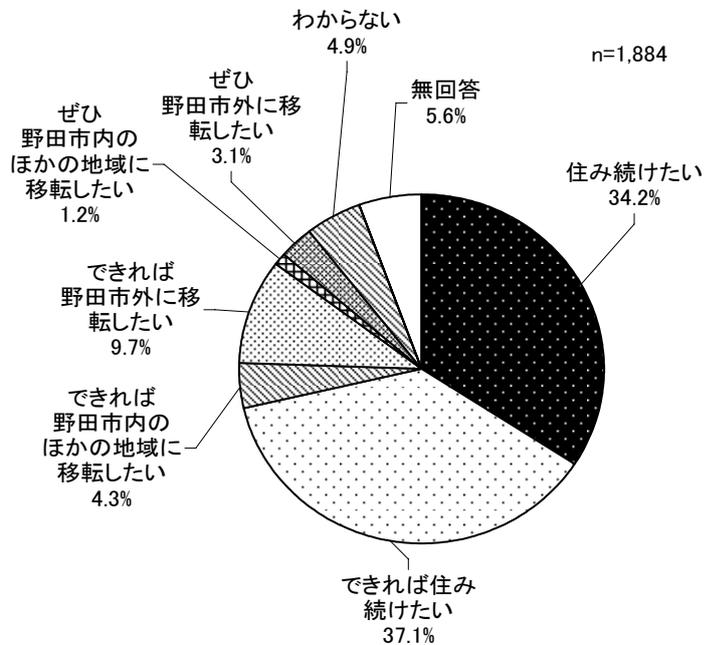
◇『現在住んでいる地域に住み続けたい (計)』は約7割

◇『市内に住み続けたい (計)』は7割台半ば

【問2】あなたは、現在お住まいの地域に、今後もずっと住み続けたいと思いますか。次の中から1つだけ選んでください。

(n=1,884)

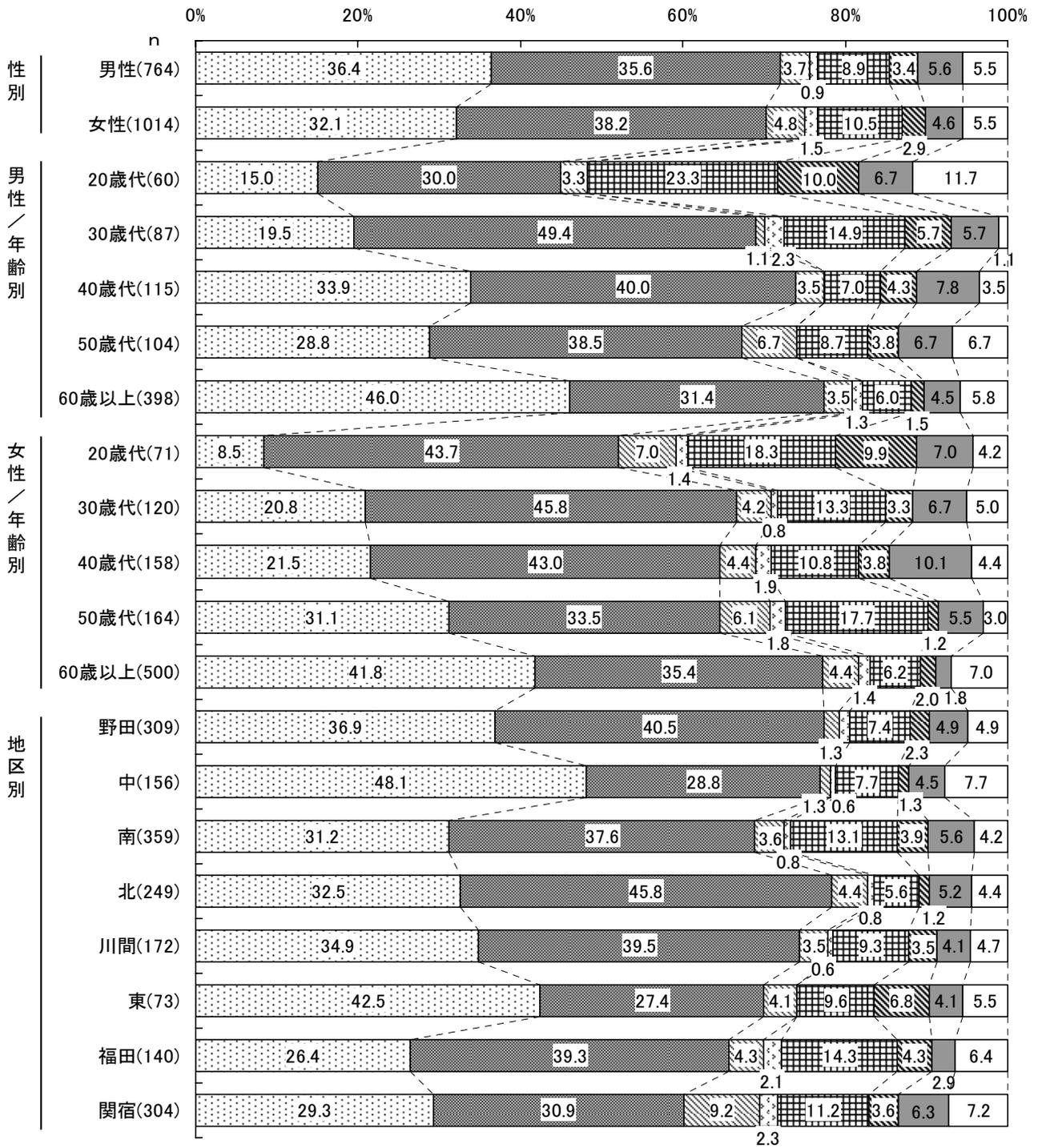
1. 住み続けたい	34.2%	3. できれば野田市内の他の地域に移転したい	4.3
2. できれば住み続けたい	37.1	4. できれば野田市外に移転したい	9.7
		5. ぜひ野田市内の他の地域に移転したい	1.2
		6. ぜひ野田市外に移転したい	3.1
		7. わからない	4.9
		(無回答)	5.6

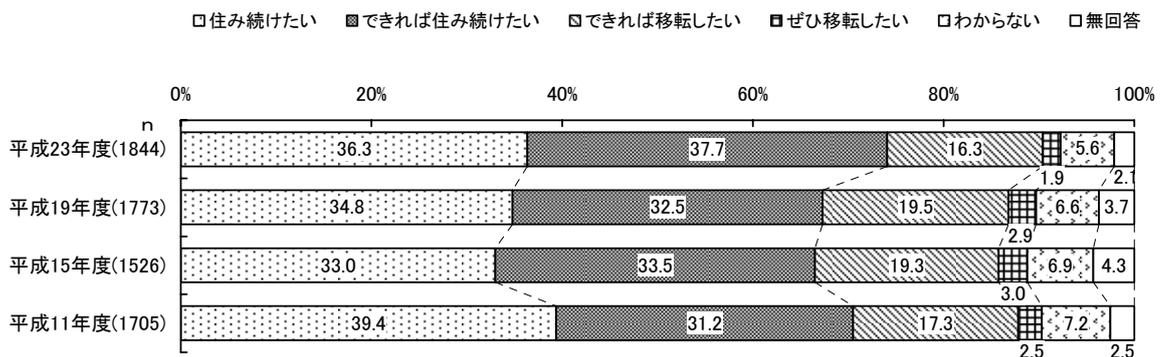
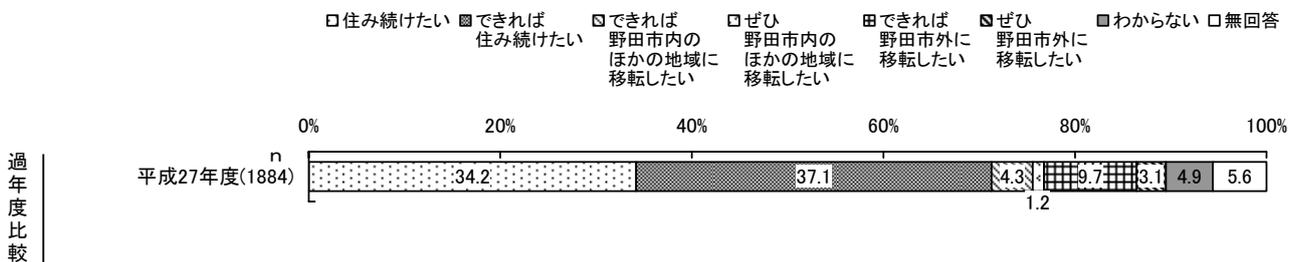
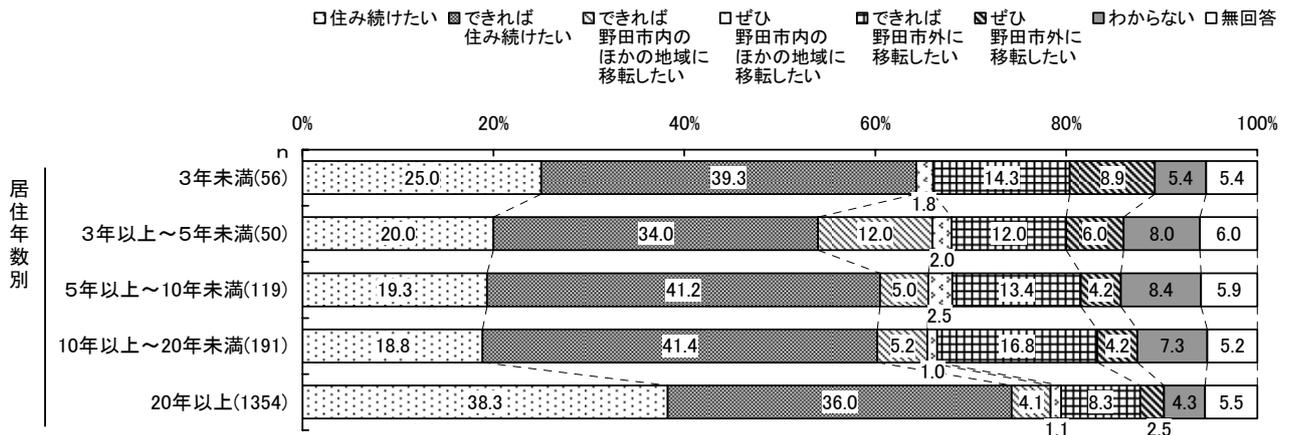


現在居住している地域への定住意識を聞いたところ、「住み続けたい」(34.2%)と「できれば住み続けたい」(37.1%)を合わせた『現在住んでいる地域に住み続けたい (計)』(71.3%)は約7割となっている。『住み続けたい (計)』に「できれば野田市内の他の地域に移転したい」(4.3%)と「ぜひ野田市内の他の地域に移転したい」(1.2%)を合わせた『市内に住み続けたい (計)』(76.8%)は7割台半ばとなっている。

一方、「できれば野田市外に移転したい」(9.7%)と「ぜひ野田市外に移転したい」(3.1%)を合わせた『移転するなら、野田市外に移転したい (計)』(12.8%)は1割強となっている。

□ 住み続けたい ■ できれば住み続けたい ▨ できれば野田市内のほかの地域に移転したい □ ぜひ野田市内のほかの地域に移転したい ▩ できれば野田市外に移転したい ▨ ぜひ野田市外に移転したい ■ わからない □ 無回答





〈性別〉

『現在住んでいる地域に住み続けたい (計)』は男性 (72.0%) と女性 (70.3%) では大きな差はみられない。『市内に住み続けたい (計)』についても、男性 (76.6%) と女性 (76.6%) で差はない。

〈年齢別〉

『現在住んでいる地域に住み続けたい (計)』は男女ともに60歳以上で最も高く、男性で77.4%、女性で77.2%となっている。

〈地区別〉

『現在住んでいる地域に住み続けたい (計)』は野田地区、中地区、北地区で比較的高くなっている。

〈居住年数別〉

『現在住んでいる地域に住み続けたい (計)』は20年以上で74.3%と最も高くなっている。

〈過年度比較〉

選択肢の内容が異なるため、前回調査 (平成23年度) と正確な比較はできないが、前回調査の『住み続けたい (計)』と、今回調査の『市内に住み続けたい (計)』を比較すると、ほとんど変化はみられない。

(2-1) 定住理由

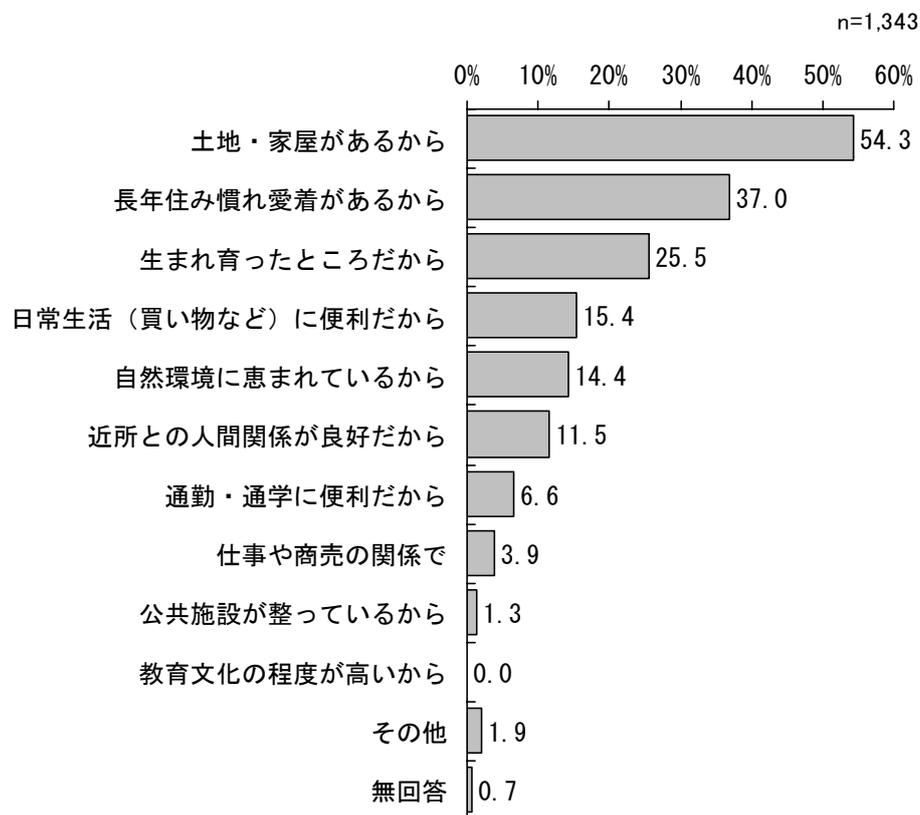
◇「土地・家屋があるから」が5割台半ば

〈問2で「1. 住み続けたい」または「2. できれば住み続けたい」とお答えの方におうかがいします。〉

【問2-1】住み続けたいと思う主な理由は何ですか。次の中から2つ以内で選んでください。

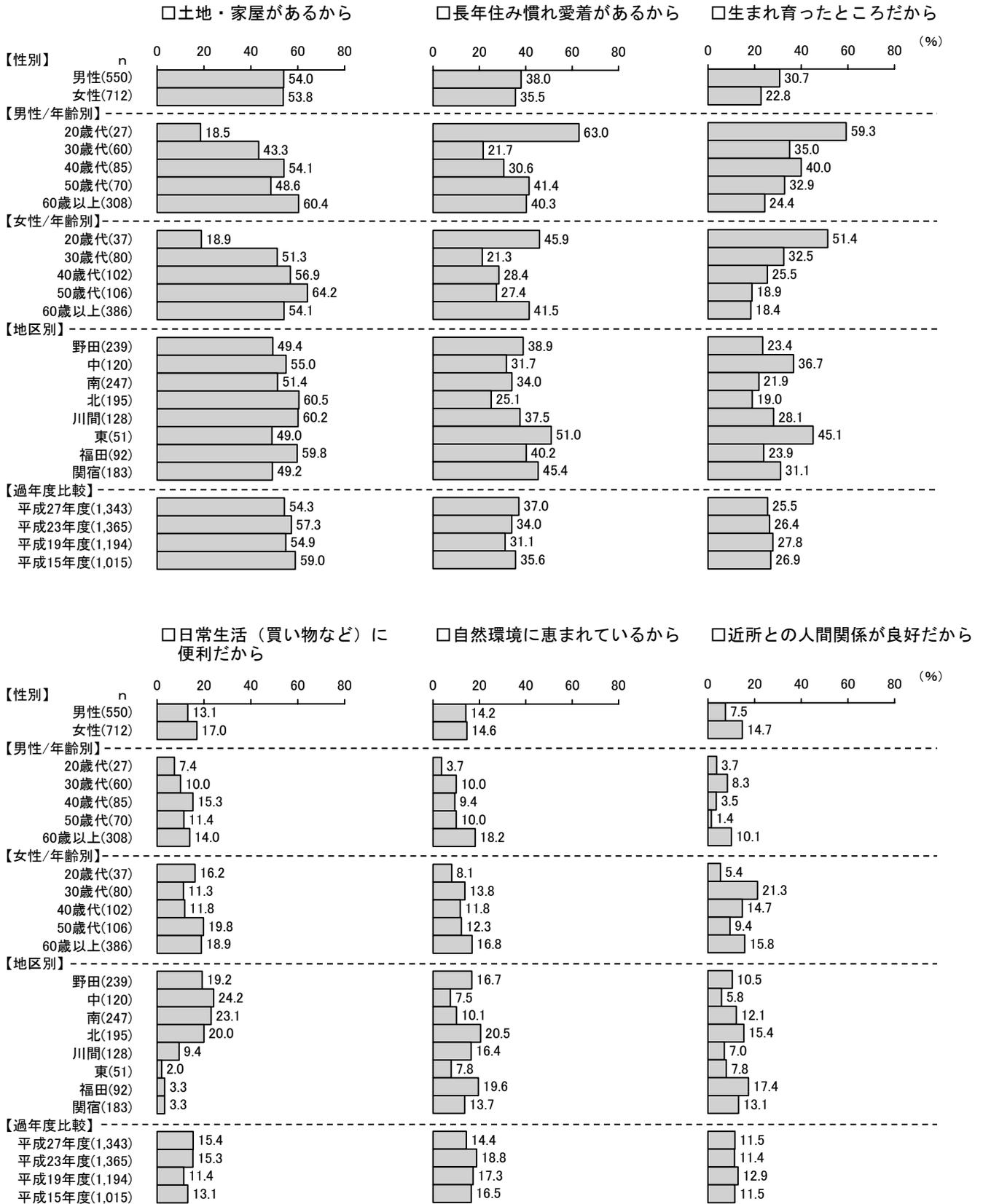
(n=1,343)

1. 生まれ育ったところだから	25.5%	7. 日常生活（買い物など）に便利だから	15.4
2. 長年住み慣れ愛着があるから	37.0	8. 公共施設が整っているから	1.3
3. 通勤・通学に便利だから	6.6	9. 教育文化の程度が高いから	0.0
4. 土地・家屋があるから	54.3	10. 仕事や商売の関係で	3.9
5. 自然環境に恵まれているから	14.4	11. その他	1.9
6. 近所との人間関係が良好だから	11.5	(無回答)	0.7



住み続けたいと思う主な理由として、「土地・家屋があるから」が54.3%と最も高くなっている。次いで「長年住み慣れ愛着があるから」(37.0%)、「生まれ育ったところだから」(25.5%)、「日常生活（買い物など）に便利だから」(15.4%)などの順となっている。

上位6項目の属性別



〈性別〉

「生まれ育ったところだから」は男性が女性を7.9ポイント上回っている。一方、「日常生活（買い物など）に便利だから」と「近所との人間関係が良好だから」は女性が男性をそれぞれ3.9ポイント、7.2ポイント上回っている。

〈年齢別〉

「土地・家屋があるから」は男性では60歳以上で60.4%、女性では50歳代で64.2%と最も高くなっている。「長年住み慣れ愛着があるから」は男女ともに20歳代を除きおおむね年代が上がるほど割合が高く、一方、「生まれ育ったところだから」は年代が下がるほど割合が高くなっている。

〈地区別〉

「土地・家屋があるから」は北地区、川間地区、福田地区で約6割と高くなっている。

〈過年度比較〉

前回調査（平成23年度）と比較すると、「長年住み慣れ愛着があるから」は3.0ポイント増加している。一方、「土地・家屋があるから」は3.0ポイント減少し、「自然環境に恵まれているから」は4.4ポイント減少している。

(2-2) 移転理由

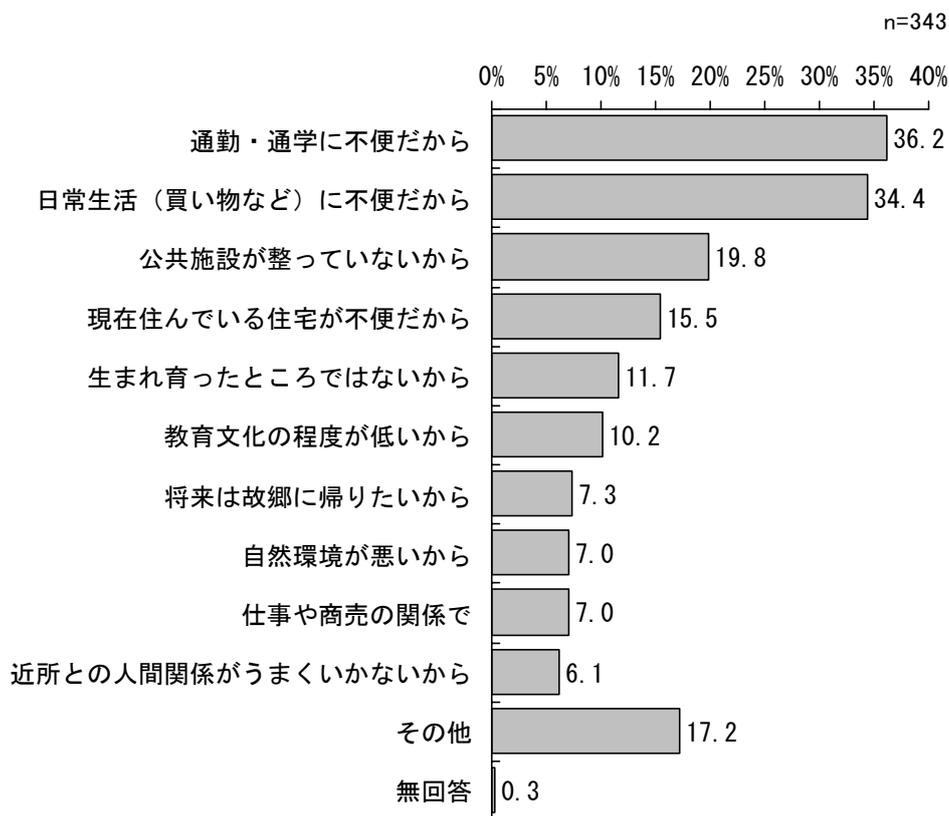
◇「通勤・通学に不便だから」と「日常生活（買い物など）に不便だから」が3割台半ば

問2で「4. できれば野田市外に移転したい」「6. ぜひ野田市外に移転したい」とお答えの方におうかがいします。」

【問2-2】移転したいと思う主な理由は何ですか。次の中から2つ以内で選んでください。

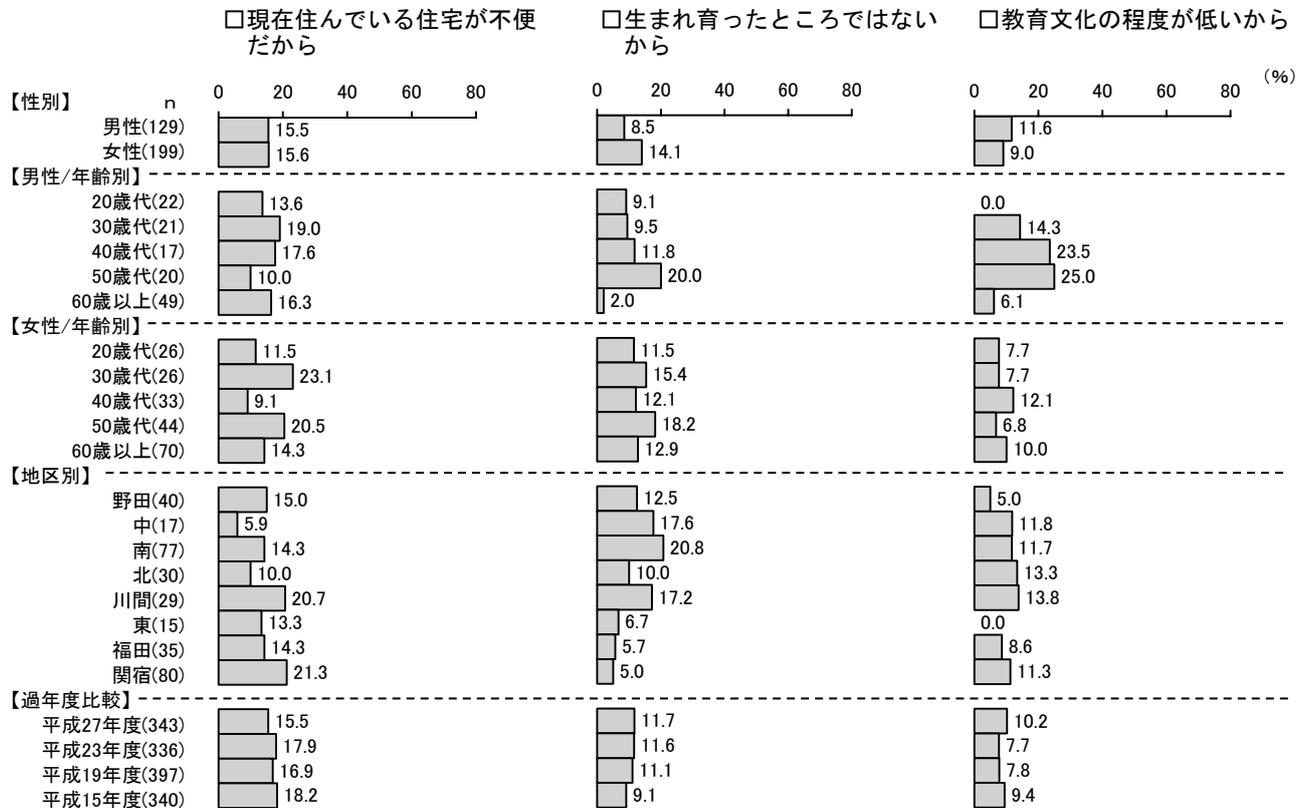
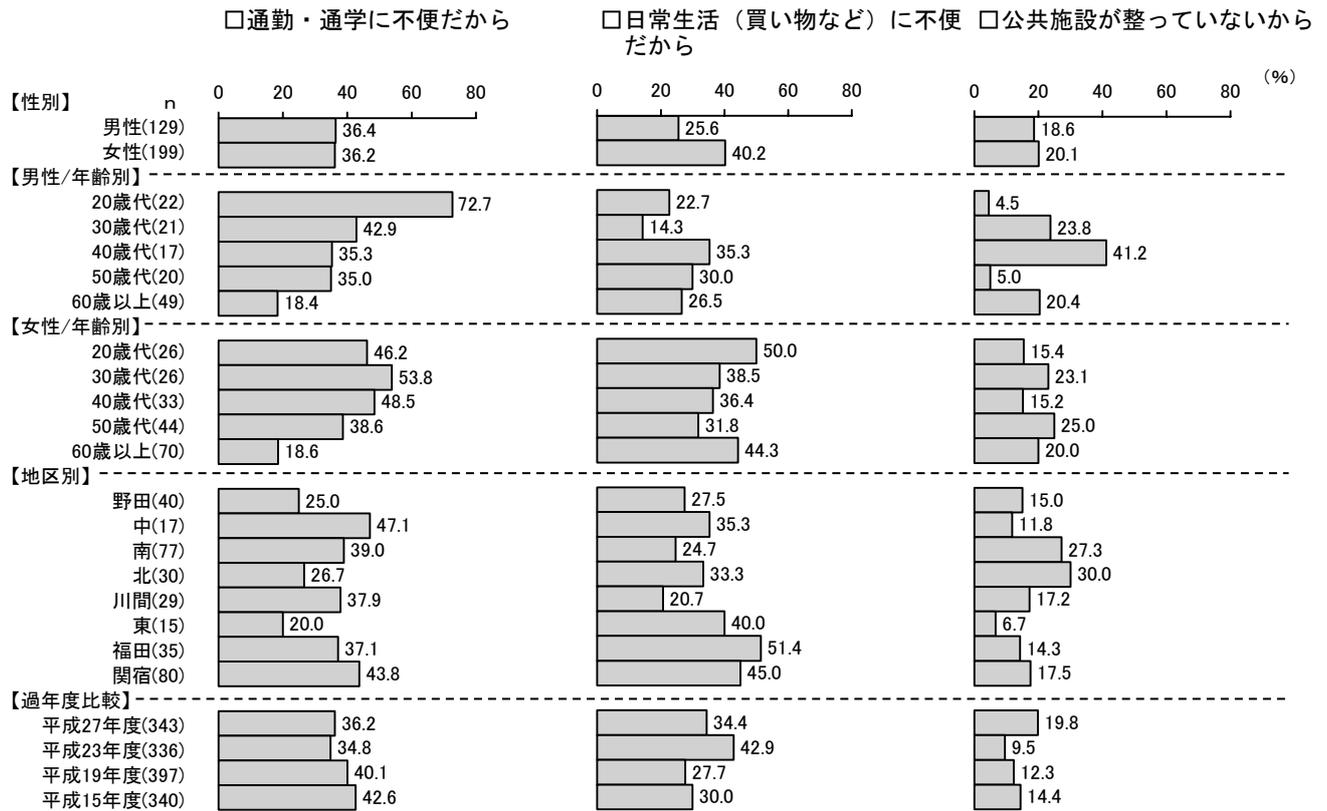
(n=343)

1. 生まれ育ったところではないから	11.7%	7. 日常生活（買い物など）に不便だから	34.4
2. 将来は故郷に帰りたいから	7.3	8. 公共施設が整っていないから	19.8
3. 通勤・通学に不便だから	36.2	9. 教育文化の程度が低いから	10.2
4. 現在住んでいる住宅が不便だから	15.5	10. 仕事や商売の関係で	7.0
5. 自然環境が悪いから	7.0	11. その他	17.2
6. 近所との人間関係がうまくいかないから	6.1	(無回答)	0.3



市外移転を希望する人が移転したいと思う主な理由としては、「通勤・通学に不便だから」が36.2%で最も高く、次いで「日常生活（買い物など）に不便だから」（34.4%）、「公共施設が整っていないから」（19.8%）、「現在住んでいる住宅が不便だから」（15.5%）などの順となっている。

上位6項目の属性別



原則として、nの数が30未満のものについては、本文中ではふれず、参考までに掲載するものとする。

〈性別〉

「日常生活（買い物など）に不便だから」と「生まれ育ったところではないから」は女性が男性をそれぞれ14.6ポイント、5.6ポイント上回っている。

〈年齢別〉

女性では、「通勤・通学に不便だから」、「教育文化の程度が低いから」は40歳代、「公共施設が整っていないから」、「現在住んでいる住宅が不便だから」、「生まれ育ったところではないから」は50歳代、「日常生活（買い物など）に不便だから」は60歳以上で比較的高くなっている。

男性では、「通勤・通学に不便だから」、「日常生活（買い物など）に不便だから」、「生まれ育ったところではないから」は60歳以上で比較的低くなっている。

〈地区別〉

「通勤・通学に不便だから」は関宿地区、「日常生活（買い物など）に不便だから」は福田地区、関宿地区、「公共施設が整っていないから」は南地区、北地区、「現在住んでいる住宅が不便だから」は関宿地区、「生まれ育ったところではないから」は南地区で比較的高くなっている。

〈過年度比較〉

前回調査（平成23年度）と比較すると、「公共施設が整っていないから」は10.3ポイント増加、「日常生活（買い物など）に不便だから」は8.5ポイント減少している。

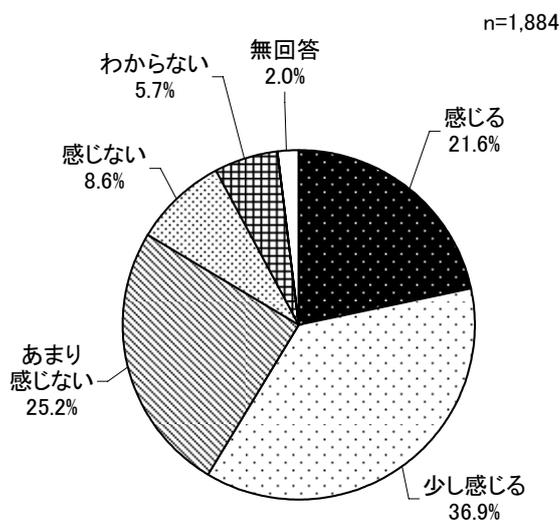
(3) 誇り・愛着意識

◇『誇りや愛着を感じる（計）』は約6割

【問3】あなたは、野田市に誇りや、愛着のようなものを感じますか。次の中から1つだけ選んでください。

(n=1,884)

1. 感じる	21.6%	3. あまり感じない	25.2
2. 少し感じる	36.9	4. 感じない	8.6
		5. わからない	5.7
		(無回答)	2.0



野田市への誇りや愛着については、「感じる」(21.6%)と「少し感じる」(36.9%)を合わせた『誇りや愛着を感じる(計)』(58.5%)は約6割となっている。

一方、「あまり感じない」(25.2%)と「感じない」(8.6%)を合わせた『誇りや愛着を感じない(計)』(33.8%)は3割台半ばとなっている。

〈性別〉

『誇りや愛着を感じる(計)』は男性(59.6%)と女性(57.4%)では大きな差はみられない。

〈年齢別〉

『誇りや愛着を感じる(計)』は男女ともに60歳以上で最も高く、男性で64.1%、女性で61.6%となっている。

〈地区別〉

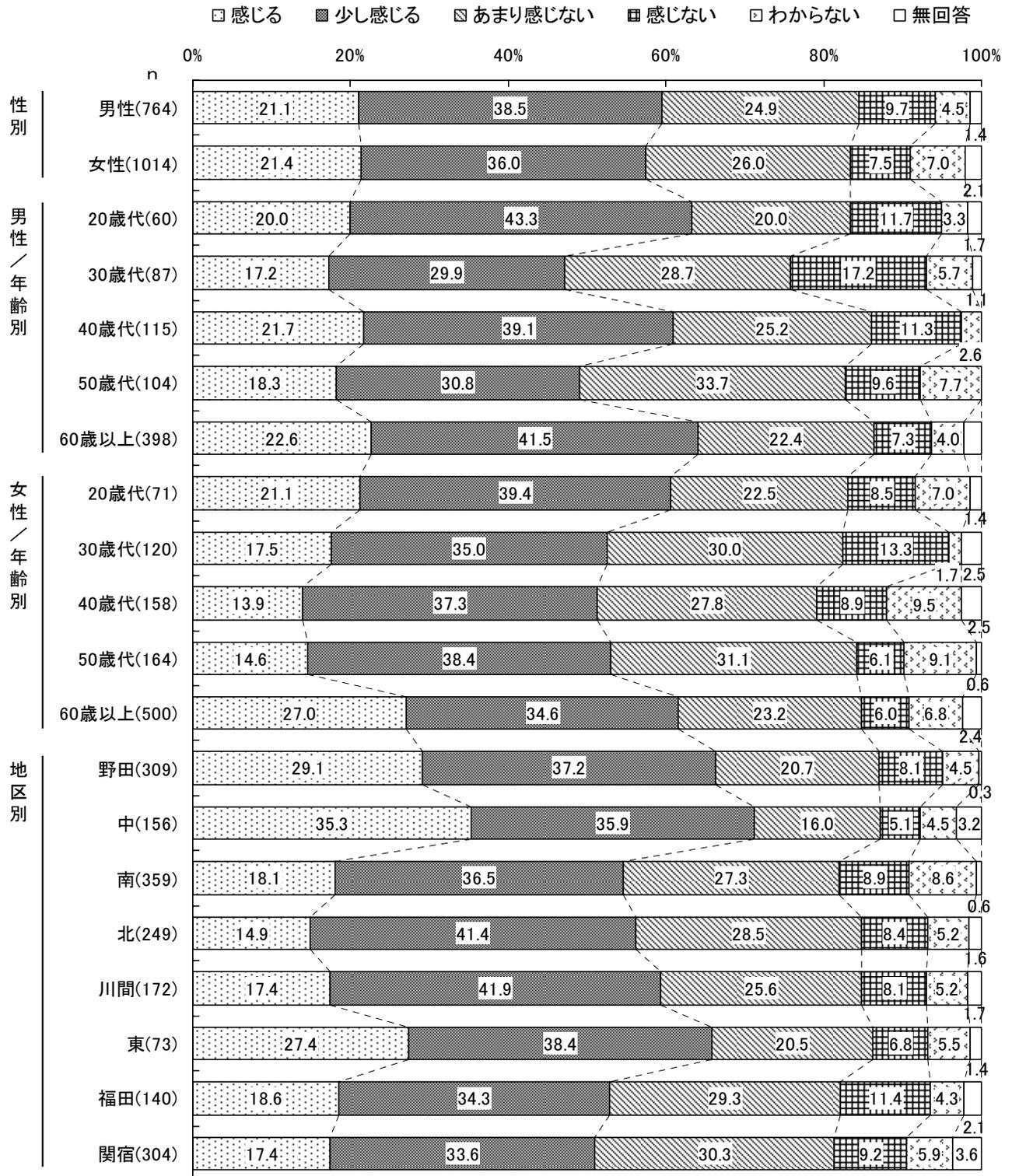
『誇りや愛着を感じる(計)』は野田地区、東地区で6割台半ば、中地区では約7割を超えている。

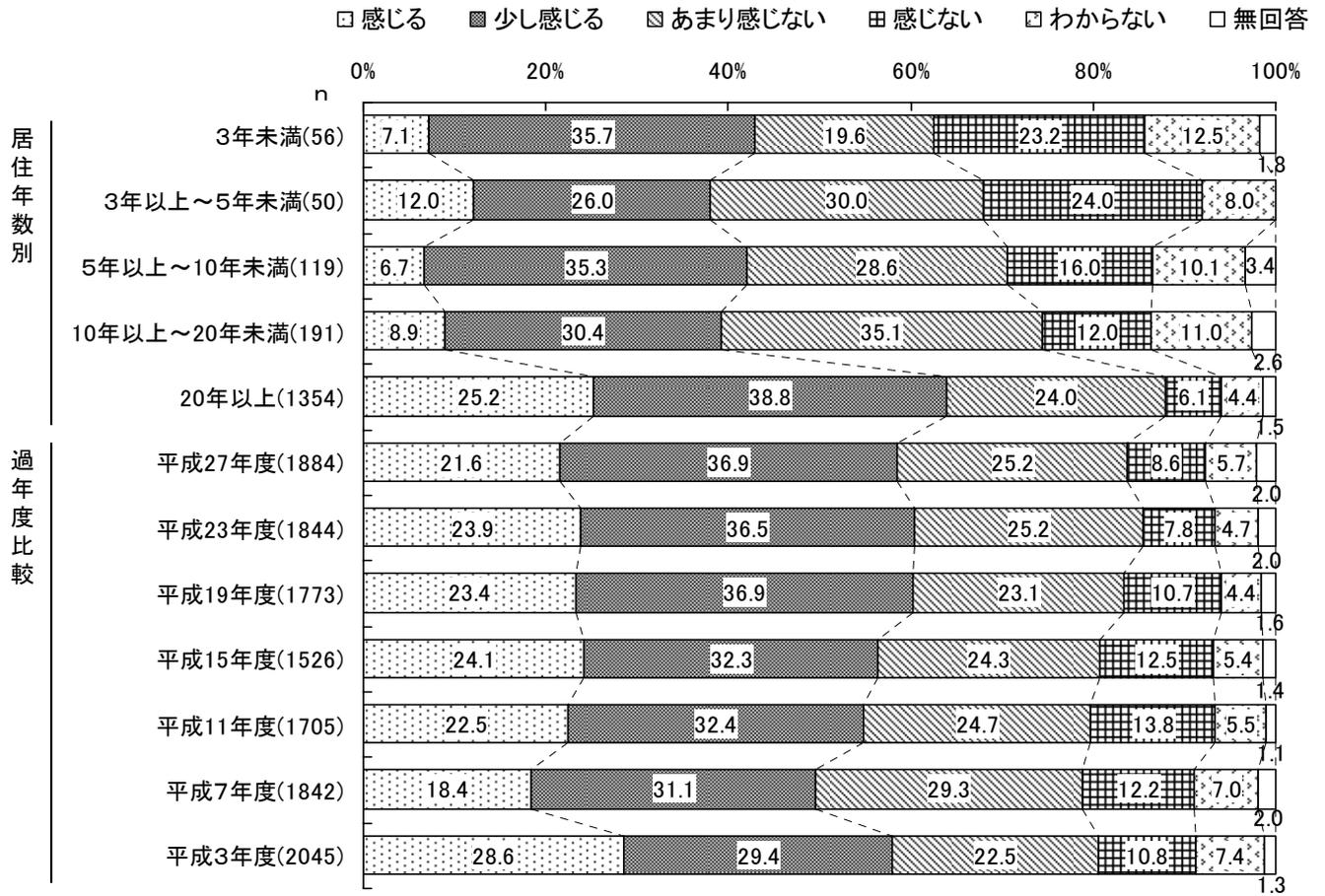
〈居住年数別〉

『誇りや愛着を感じる(計)』は20年以上で6割台半ばと最も高くなっている。

〈過年度比較〉

前回調査(平成23年度)と比較すると、『誇りや愛着を感じる(計)』はほとんど変化はみられない。





(4) 生活環境評価

◇『良い(計)』は、「日照や風通し」と「ごみの回収状況」で5割を超える

【問4】あなたの生活環境についておうかがいします。下記の項目(ア～ナ)について、あてはまるものをそれぞれ1～5の中から1つだけ選んでください。

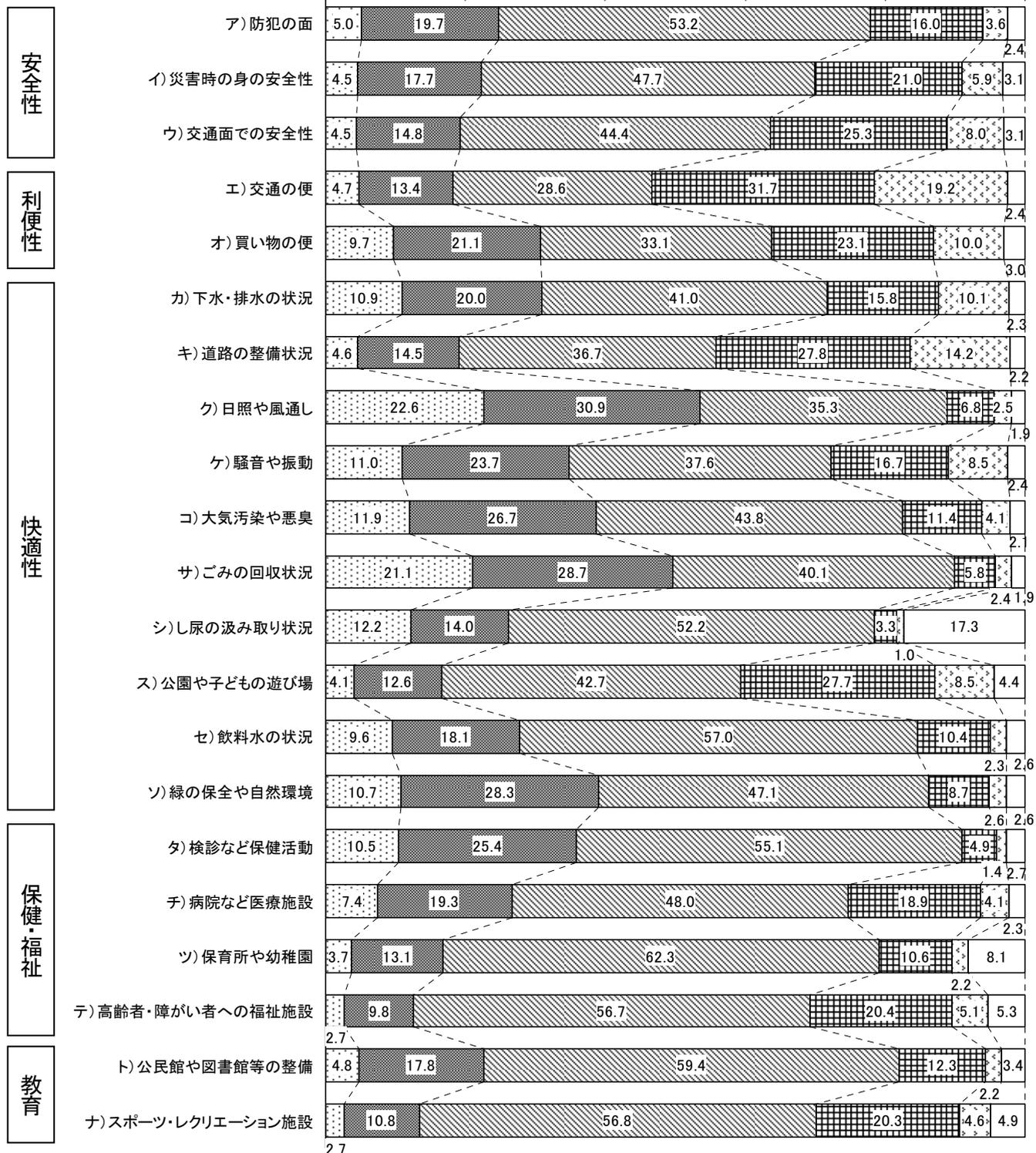
(n=1,884) (%)

		良い	まあ良い	普通	良くない	あまり悪い	無回答
安全性	ア) 防犯の面はどうですか	5.0	19.7	53.2	16.0	3.6	2.4
	イ) 地震や火災、水害等の災害が起きたときの身の安全性はどうですか	4.5	17.7	47.7	21.0	5.9	3.1
	ウ) 交通面での安全性はどうですか	4.5	14.8	44.4	25.3	8.0	3.1
利便性	エ) 交通の便はどうですか	4.7	13.4	28.6	31.7	19.2	2.4
	オ) 買い物の便はどうですか	9.7	21.1	33.1	23.1	10.0	3.0
快適性	カ) 下水・排水の状況はどうですか	10.9	20.0	41.0	15.8	10.1	2.3
	キ) 道路の整備状況はどうですか	4.6	14.5	36.7	27.8	14.2	2.2
	ク) 日照や風通しはどうですか	22.6	30.9	35.3	6.8	2.5	1.9
	ケ) 騒音や振動はどうですか	11.0	23.7	37.6	16.7	8.5	2.4
	コ) 大気汚染や悪臭はどうですか	11.9	26.7	43.8	11.4	4.1	2.1
	サ) ごみの回収状況はどうですか	21.1	28.7	40.1	5.8	2.4	1.9
	シ) し尿の汲み取り状況はどうですか	12.2	14.0	52.2	3.3	1.0	17.3
	ス) 公園や子どもの遊び場はどうですか	4.1	12.6	42.7	27.7	8.5	4.4
	セ) 飲料水の状況はどうですか	9.6	18.1	57.0	10.4	2.3	2.6
	ソ) 緑の保全や自然環境はどうですか	10.7	28.3	47.1	8.7	2.6	2.6
保健・福祉	タ) 検診など保健活動はどうですか	10.5	25.4	55.1	4.9	1.4	2.7
	チ) 病院など医療施設はどうですか	7.4	19.3	48.0	18.9	4.1	2.3
	ツ) 保育所や幼稚園はどうですか	3.7	13.1	62.3	10.6	2.2	8.1
	テ) 高齢者・障がい者への福祉施設はどうですか	2.7	9.8	56.7	20.4	5.1	5.3
教育	ト) 公民館や図書館等の整備はどうですか	4.8	17.8	59.4	12.3	2.2	3.4
	ナ) スポーツ・レクリエーション施設はどうですか	2.7	10.8	56.8	20.3	4.6	4.9

□ 良い ■ まあ良い ▨ 普通 ▩ あまり良くない ▪ 悪い □ 無回答

n=1,884

0% 20% 40% 60% 80% 100%



身近な 21 項目の生活環境について、5段階での評価をみると、「良い」の割合が最も高かったのは、「日照や風通し」で 22.6%となっている。次いで「ごみの回収状況」(21.1%)、「し尿の汲み取り状況」(12.2%)などの順となっている。

また、「良い」と「まあ良い」を合わせた『良い(計)』は、「日照や風通し」が 53.5%、「ごみの回収状況」が 49.8%と高くなっている。

一方、「悪い」の割合が最も高かったのは、「交通の便」で 19.2%となっている。次いで「道路の整備状況」(14.2%)、「下水・排水の状況」(10.1%)などの順となっている。

「良い」と「まあ良い」を『満足』に、「悪い」と「あまり良くない」を『不満足』に分けて、それぞれの上位 7 項目をあげると次のようになる。

『満足』		『不満足』	
① 日照や風通し	53.5%	① 交通の便	50.9%
② ごみの回収状況	49.8	② 道路の整備状況	42.0
③ 緑の保全や自然環境	39.0	③ 公園や子どもの遊び場	36.2
④ 大気汚染や悪臭	38.6	④ 交通面での安全性	33.3
⑤ 検診など保健活動	35.9	⑤ 買い物の便	33.1
⑥ 騒音や振動	34.7	⑥ 災害時の身の安全性	26.9
⑦ 下水・排水の状況	30.9	⑦ 下水・排水の状況	25.9

加重平均値

下記の計算式にあるように、5段階の評価にそれぞれ点数を与え、評価点を算出する「加重平均値」でみると、評価点の高いものと、低いものの上位 7 項目は次のようになっている。

$$\begin{array}{r}
 \text{評価点} = \frac{
 \begin{array}{l}
 \text{「良い」の回答者数} \times 2 \text{点} \\
 + \text{「まあ良い」の回答者数} \times 1 \text{点} \\
 + \text{「普通」の回答者数} \times 0 \text{点} \\
 + \text{「あまり良くない」の回答者数} \times \blacktriangle 1 \text{点} \\
 + \text{「悪い」の回答者数} \times \blacktriangle 2 \text{点}
 \end{array}
 }{
 \text{回答者数}
 }
 \end{array}$$

高いもの		低いもの	
① 日照や風通し	+0.65	① 交通の便	▲0.48
② ごみの回収状況	+0.61	② 道路の整備状況	▲0.33
③ し尿の汲み取り状況	+0.40	③ 公園や子どもの遊び場	▲0.25
④ 検診など保健活動	+0.40	④ 交通面での安全性	▲0.18
⑤ 緑の保全や自然環境	+0.37	⑤ 高齢者・障がい者への福祉施設	▲0.16
⑥ 大気汚染や悪臭	+0.32	⑥ スポーツ・レクリエーション施設	▲0.14
⑦ 飲料水の状況	+0.23	⑦ 災害時の身の安全性	▲0.06

また、21 項目の合計点を居住地区別に比較すると、次のようになる。(市全体の平均点は+1.82 点)

① 中	+5.53	⑤ 福田	+1.39
② 北	+3.67	⑥ 川間	+1.02
③ 野田	+2.99	⑦ 東	+0.41
④ 南	+2.59	⑧ 関宿	▲2.54

■地区別加重平均値

居住地区	全 体	野 田	中	南	北	川 間	東	福 田	関 宿
防犯の面	0.07	0.07	0.20	0.08	0.07	0.05	0.01	0.15	▲ 0.03
災害時の身の安全性	▲ 0.06	▲ 0.00	0.32	0.05	▲ 0.08	▲ 0.25	0.06	▲ 0.01	▲ 0.37
交通面での安全性	▲ 0.18	▲ 0.10	0.01	▲ 0.14	▲ 0.11	▲ 0.15	▲ 0.20	▲ 0.14	▲ 0.52
交通の便	▲ 0.48	▲ 0.33	▲ 0.01	▲ 0.12	▲ 0.35	▲ 0.44	▲ 0.72	▲ 1.07	▲ 1.11
買い物の便	▲ 0.03	0.20	0.47	0.26	0.37	▲ 0.24	▲ 0.46	▲ 0.99	▲ 0.55
下水・排水の状況	0.06	0.34	0.41	0.16	0.25	▲ 0.24	▲ 0.31	0.10	▲ 0.41
道路の整備状況	▲ 0.33	▲ 0.25	▲ 0.24	▲ 0.26	▲ 0.09	▲ 0.47	▲ 0.37	▲ 0.35	▲ 0.60
日照や風通し	0.65	0.66	0.74	0.55	0.74	0.65	0.65	0.91	0.54
騒音や振動	0.12	0.20	0.13	0.08	0.15	0.05	▲ 0.01	0.39	0.02
大気汚染や悪臭	0.32	0.38	0.55	0.39	0.48	0.26	0.18	0.30	▲ 0.02
ごみの回収状況	0.61	0.59	0.78	0.55	0.64	0.51	0.68	0.78	0.57
し尿の汲み取り状況	0.40	0.39	0.45	0.38	0.46	0.35	0.41	0.52	0.39
公園や子どもの遊び場	▲ 0.25	▲ 0.29	▲ 0.18	▲ 0.12	▲ 0.05	▲ 0.23	▲ 0.57	▲ 0.14	▲ 0.56
飲料水の状況	0.23	0.22	0.28	0.29	0.31	0.22	0.10	0.32	0.06
緑の保全や自然環境	0.37	0.35	0.48	0.34	0.42	0.29	0.23	0.59	0.24
検診など保健活動	0.40	0.40	0.52	0.32	0.45	0.39	0.36	0.44	0.33
病院など医療施設	0.07	0.10	0.34	0.07	0.10	0.16	0.26	0.00	▲ 0.23
保育所や幼稚園	0.06	0.06	0.22	0.05	0.12	0.08	0.11	0.02	▲ 0.04
高齢者・障がい者への福祉施設	▲ 0.16	▲ 0.15	▲ 0.02	▲ 0.17	▲ 0.21	▲ 0.07	▲ 0.07	▲ 0.26	▲ 0.20
公民館や図書館等の整備	0.11	0.20	0.18	0.09	0.07	0.17	0.16	0.03	0.06
スポーツ・レクリエーション施設	▲ 0.14	▲ 0.04	▲ 0.11	▲ 0.27	▲ 0.08	▲ 0.09	▲ 0.07	▲ 0.23	▲ 0.11
合 計	1.82	2.99	5.53	2.59	3.67	1.02	0.41	1.39	▲ 2.54

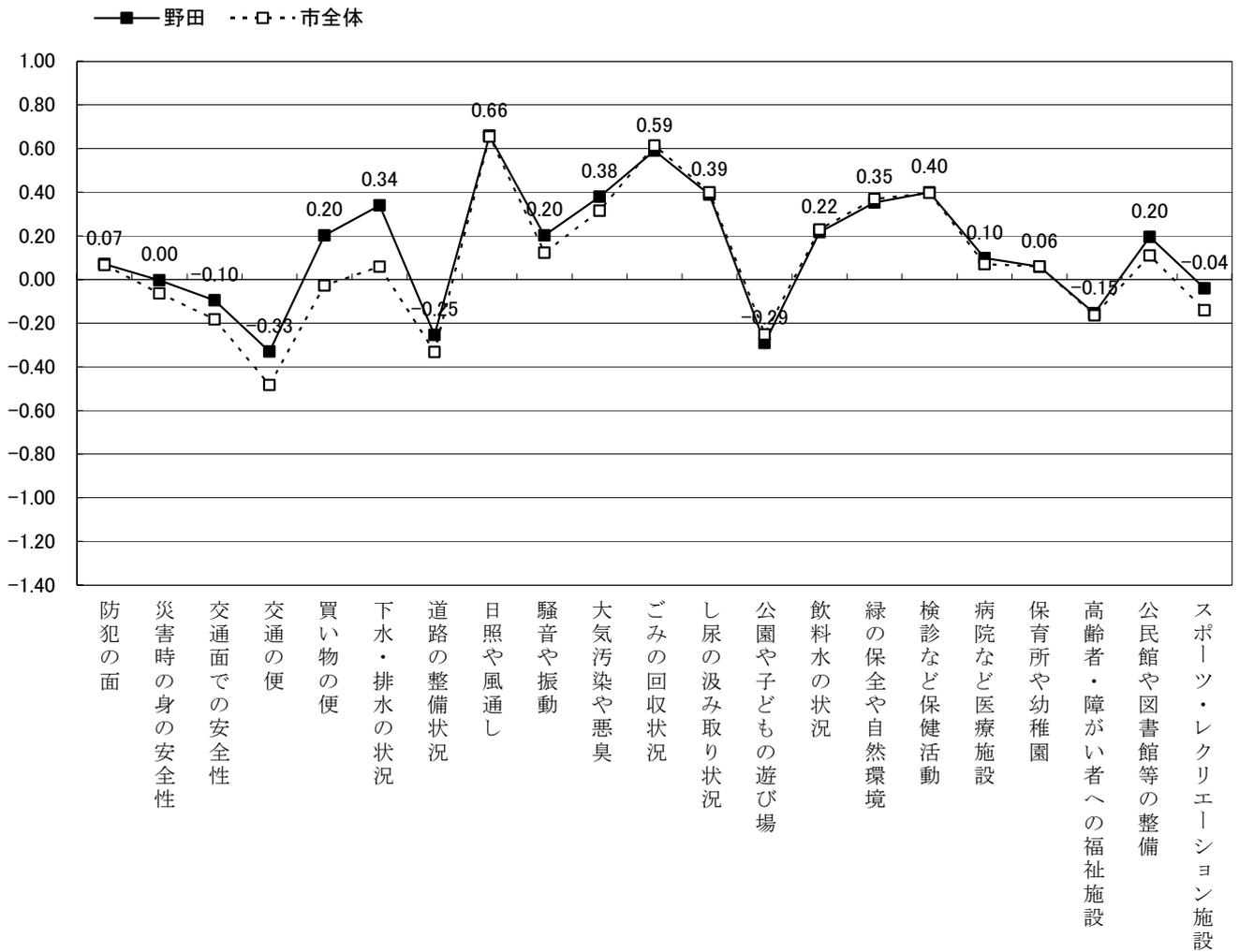
次ページからは、21項目の加重平均値を8地区ごとに、市全体と対比させてグラフで表示する。

市全体と比べて、0.10点以上の開きがあるものを、上回るものと下回るものに分けて掲載した。()内の数字が市全体との点差である。

生活環境満足度（加重平均）

野田地区

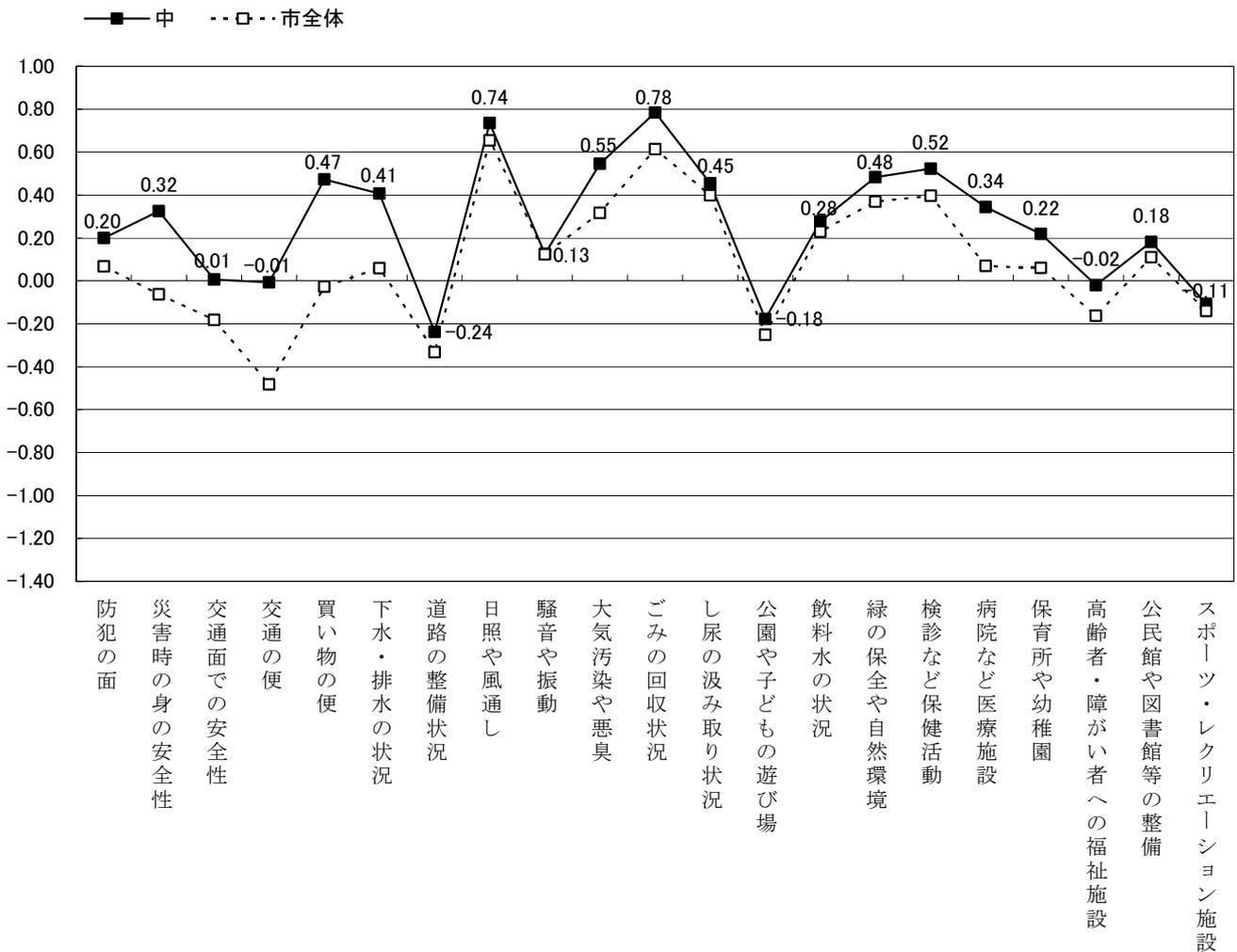
上回るもの……交通の便（0.15）／買い物の便（0.23）／下水・排水の状況（0.28）／スポーツ・レクリエーション施設（0.10）



生活環境満足度（加重平均）

中地区

上回るもの……防犯の面（0.13）／災害時の身の安全性（0.39）／交通面での安全性（0.19）／交通の便（0.48）／買い物の便（0.50）／下水・排水の状況（0.35）／大気汚染や悪臭（0.23）／ごみの回収状況（0.17）／緑の保全や自然環境（0.11）／検診など保健活動（0.13）／病院など医療施設（0.27）／保育所や幼稚園（0.16）／高齢者・障がい者への福祉施設（0.14）

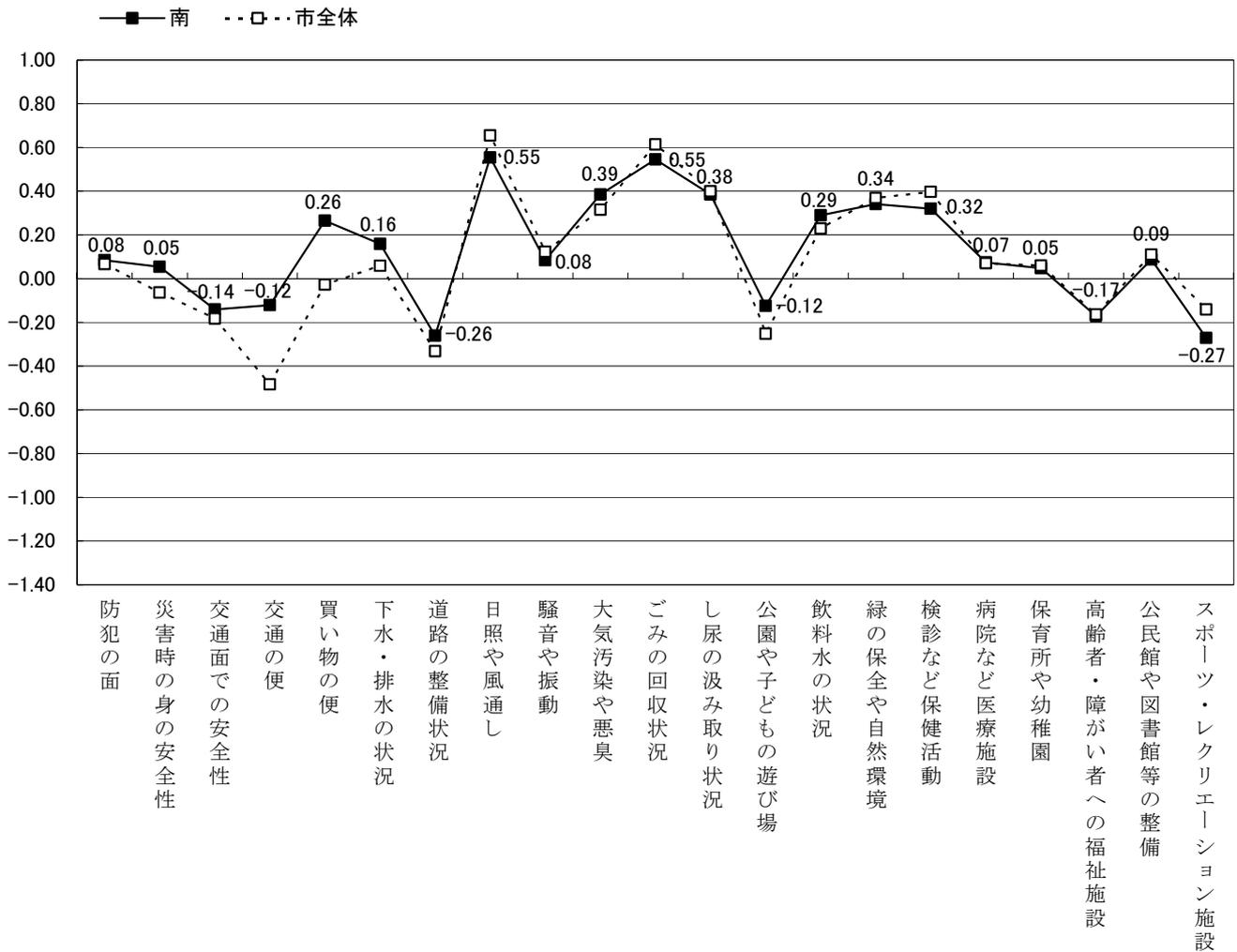


生活環境満足度（加重平均）

南地区

上回るもの……災害時の身の安全性（0.12）／交通の便（0.36）／買い物の便（0.29）／下水・排水の状況（0.10）／公園や子どもの遊び場（0.13）

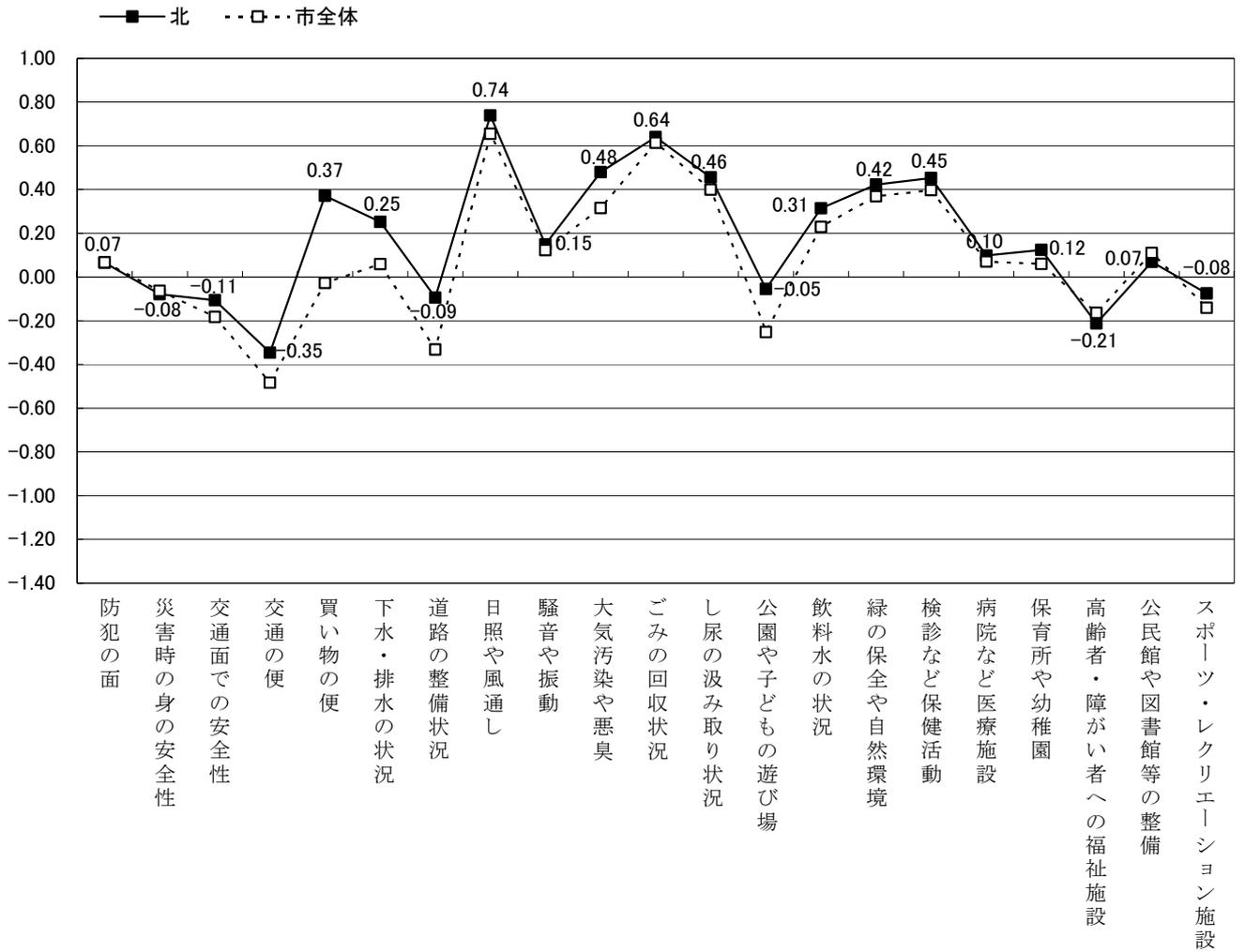
下回るもの……日照や風通し（▲0.10）／スポーツ・レクリエーション施設（▲0.13）



生活環境満足度 (加重平均)

北地区

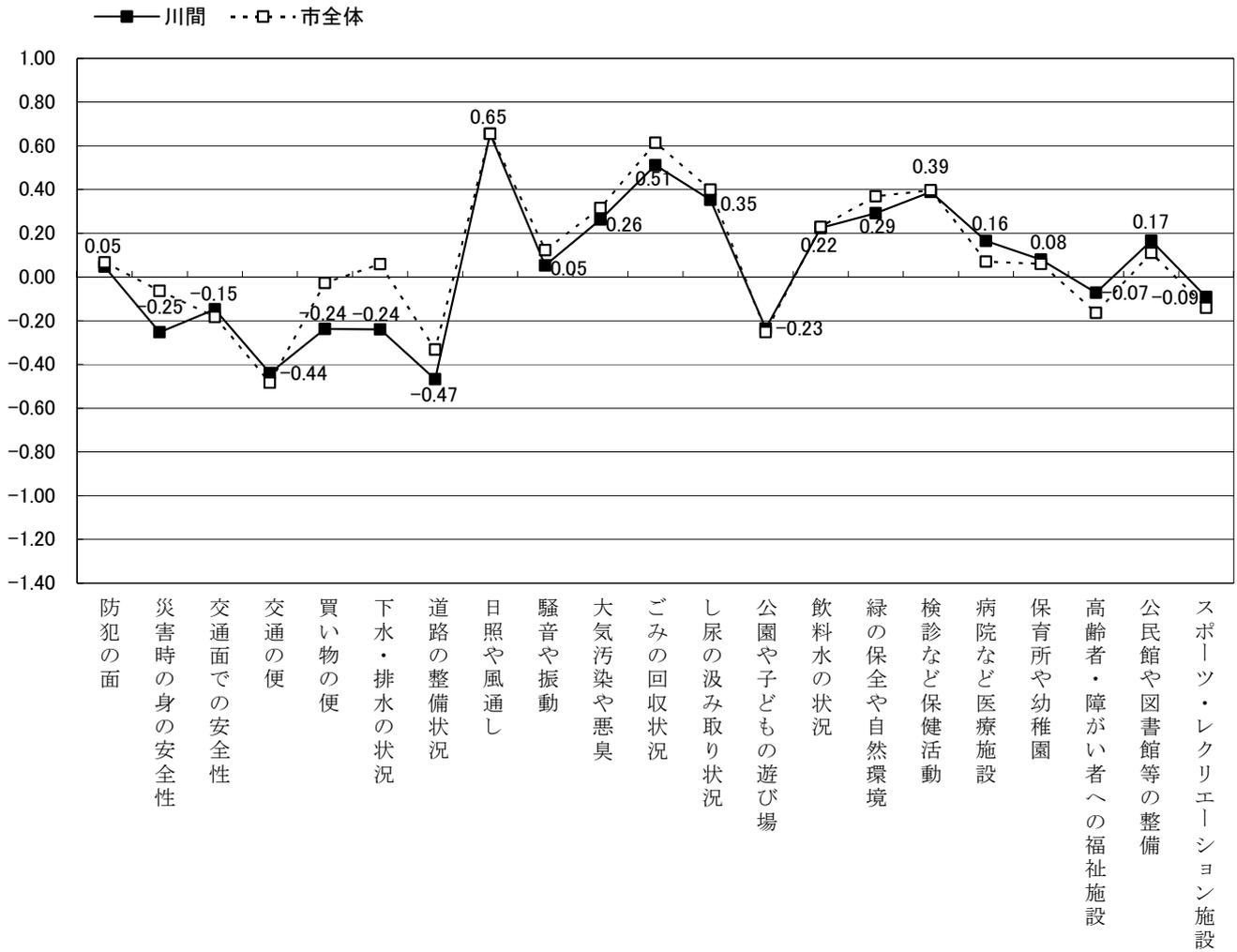
上回るもの……交通の便 (0.14) / 買い物の便 (0.40) / 下水・排水の状況 (0.19) / 道路の整備状況 (0.24) / 大気汚染や悪臭 (0.16) / 公園や子どもの遊び場 (0.20)



生活環境満足度 (加重平均)

川間地区

下回るもの……災害時の身の安全性 (▲0.19) / 買い物の便 (▲0.21) / 下水・排水の状況 (▲0.30) / 道路の整備状況 (▲0.14) / ごみの回収状況 (▲0.10)

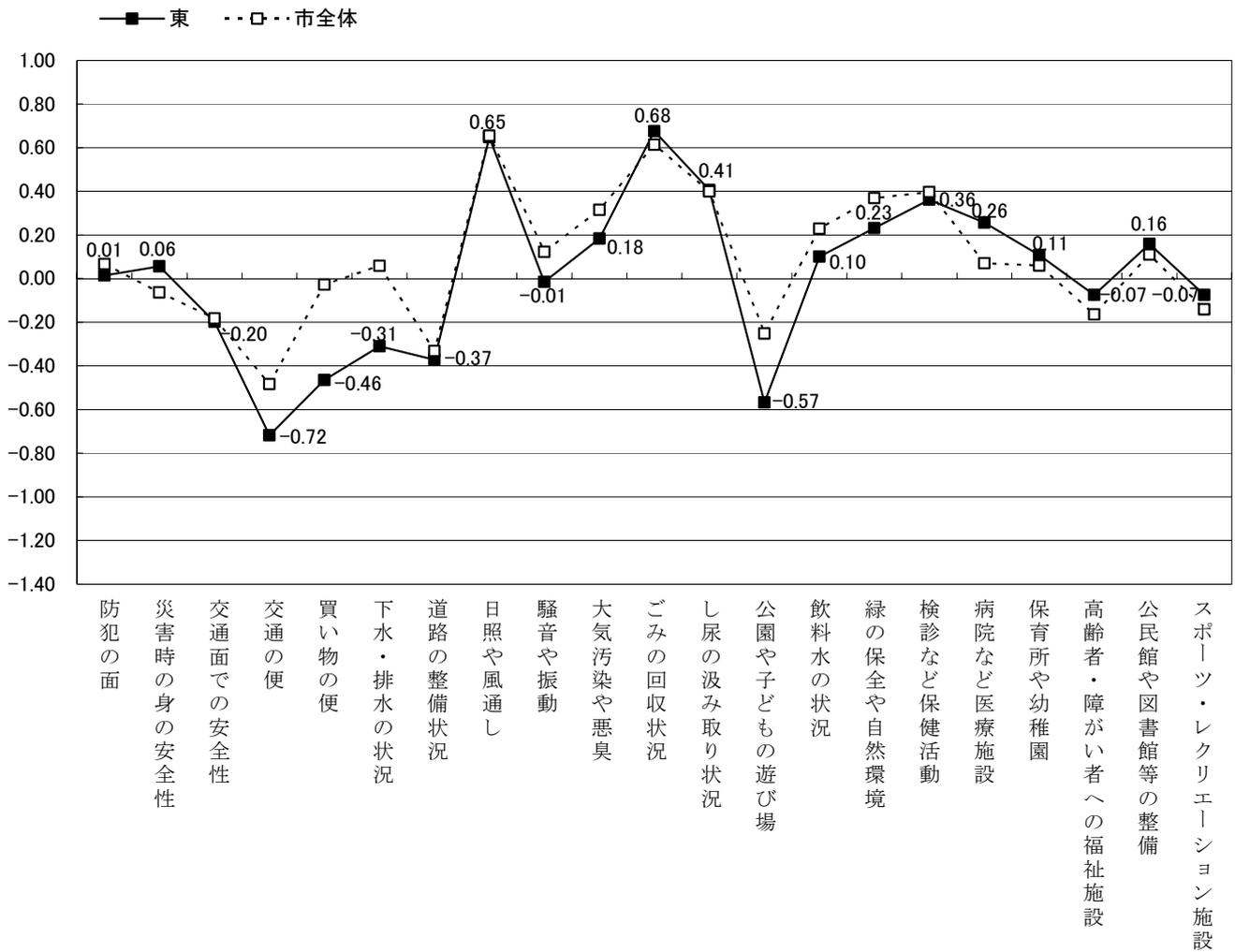


生活環境満足度 (加重平均)

東地区

上回るもの……災害時の身の安全性 (0.12) / 病院など医療施設 (0.19)

下回るもの……交通の便 (▲0.24) / 買い物の便 (▲0.44) / 下水・排水の状況 (▲0.37) / 騒音や振動 (▲0.14) / 大気汚染や悪臭 (▲0.13) / 公園や子どもの遊び場 (▲0.32) / 飲料水の状況 (▲0.13) / 緑の保全や自然環境 (▲0.14)

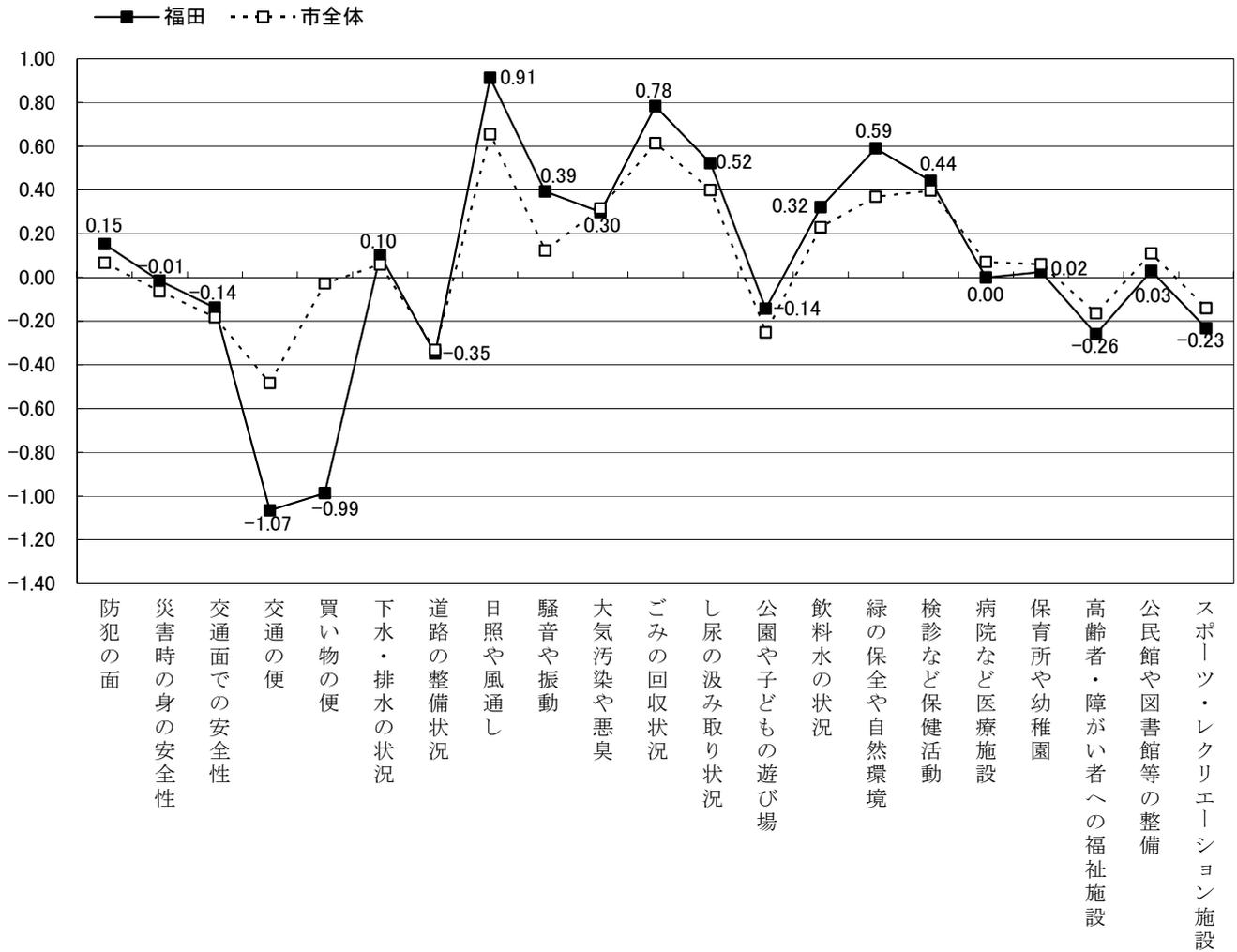


生活環境満足度 (加重平均)

福田地区

上回るもの……日照や風通し (0.26) / 騒音や振動 (0.27) / ごみの回収状況 (0.17) / し尿の汲み取り状況 (0.12) / 公園や子どもの遊び場 (0.11) / 緑の保全や自然環境 (0.22)

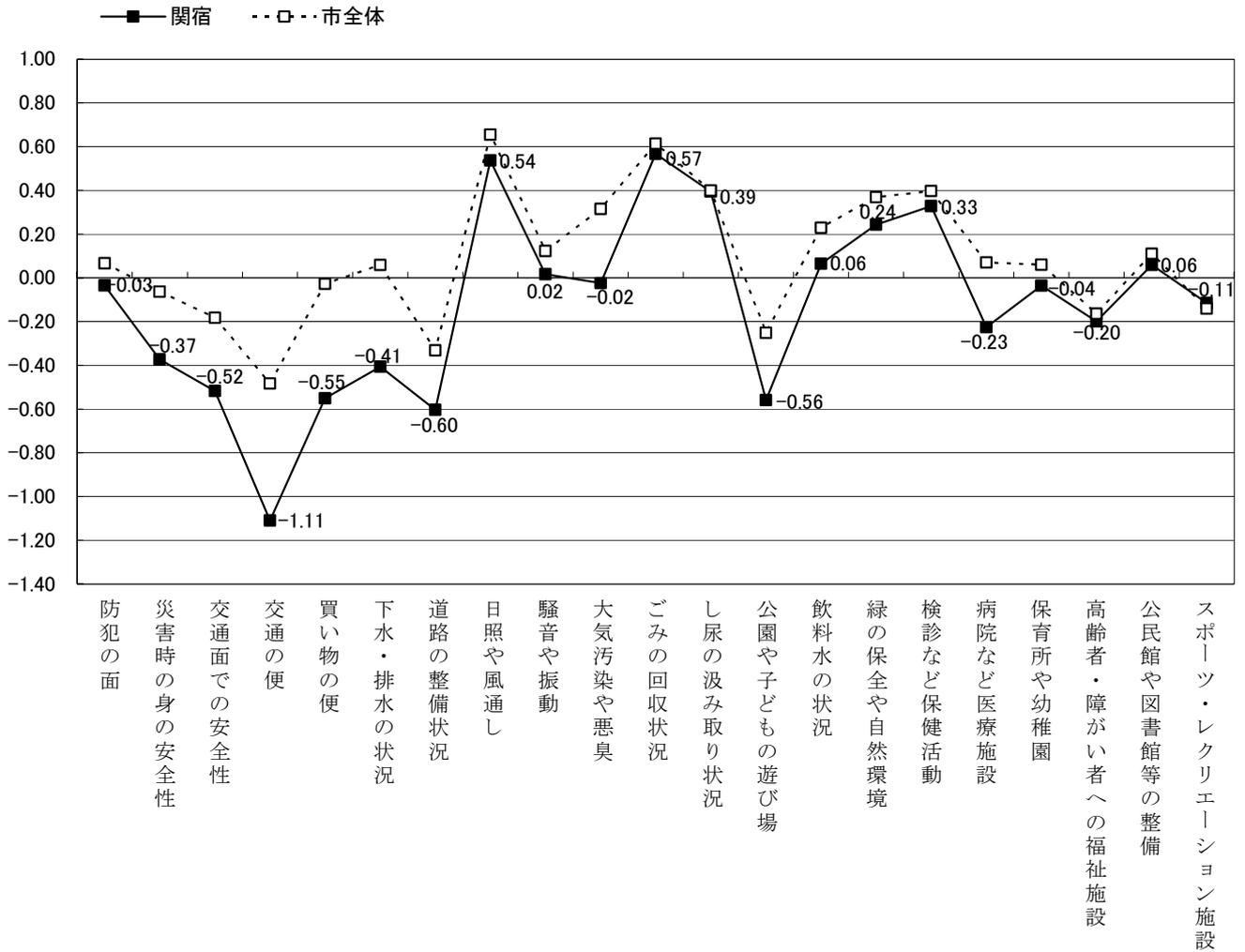
下回るもの……交通の便 (▲0.58) / 買い物の便 (▲0.96) / 高齢者・障がい者への福祉施設 (▲0.10)



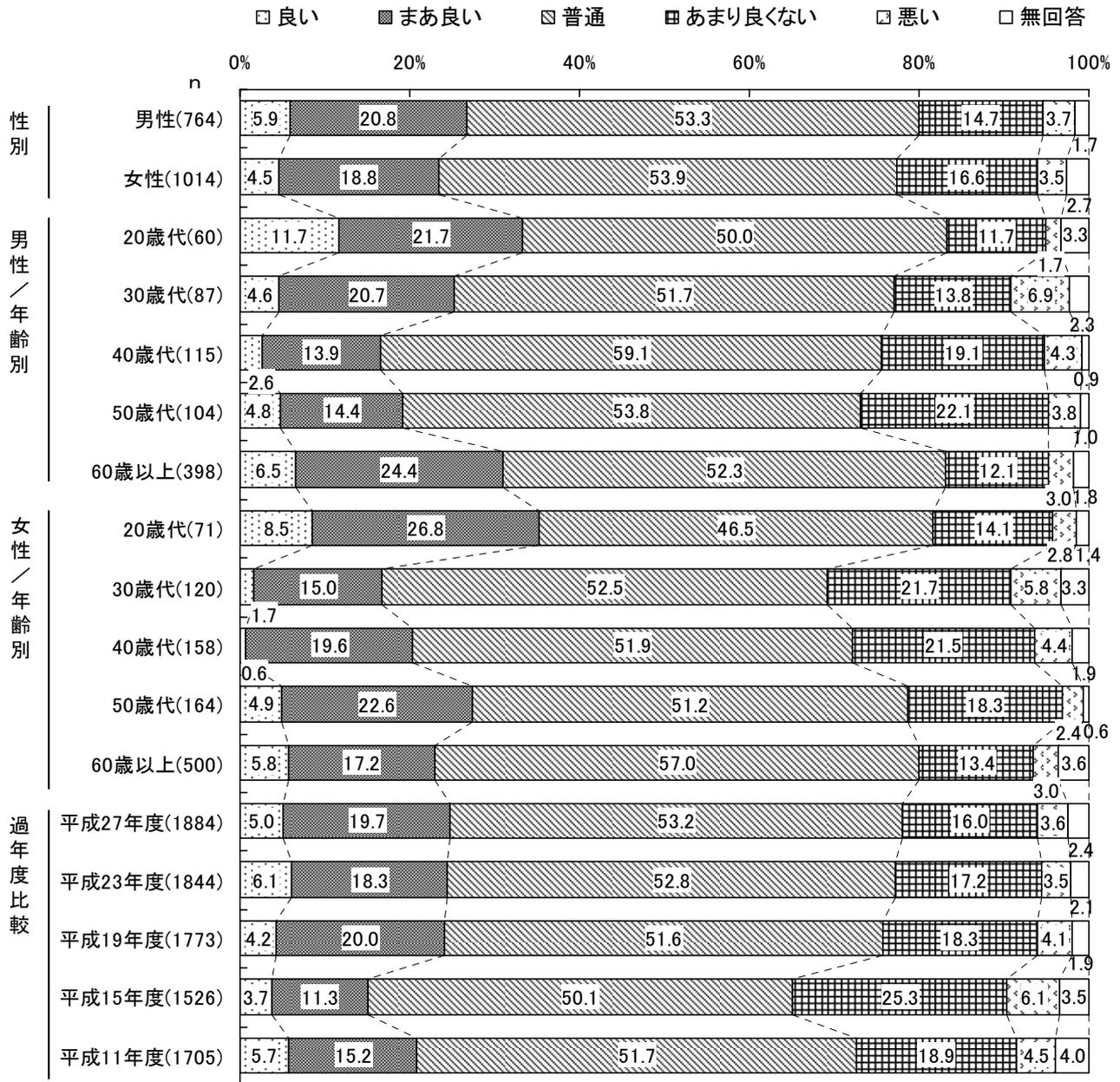
生活環境満足度（加重平均）

関宿地区

下回るもの……防犯の面（▲0.10）／災害時の身の安全性（▲0.31）／交通面での安全性（▲0.33）／交通の便（▲0.63）／買い物の便（▲0.52）／下水・排水の状況（▲0.46）／道路の整備状況（▲0.27）／日照や風通し（▲0.12）／騒音や振動（▲0.11）／大気汚染や悪臭（▲0.34）／公園や子どもの遊び場（▲0.31）／飲料水の状況（▲0.16）／緑の保全や自然環境（▲0.13）／病院など医療施設（▲0.30）／保育所や幼稚園（▲0.10）



ア) 防犯の面



〈性別〉

『良い (計)』は男性 (26.7%) が女性 (23.3%) を 3.4 ポイント上回っている。

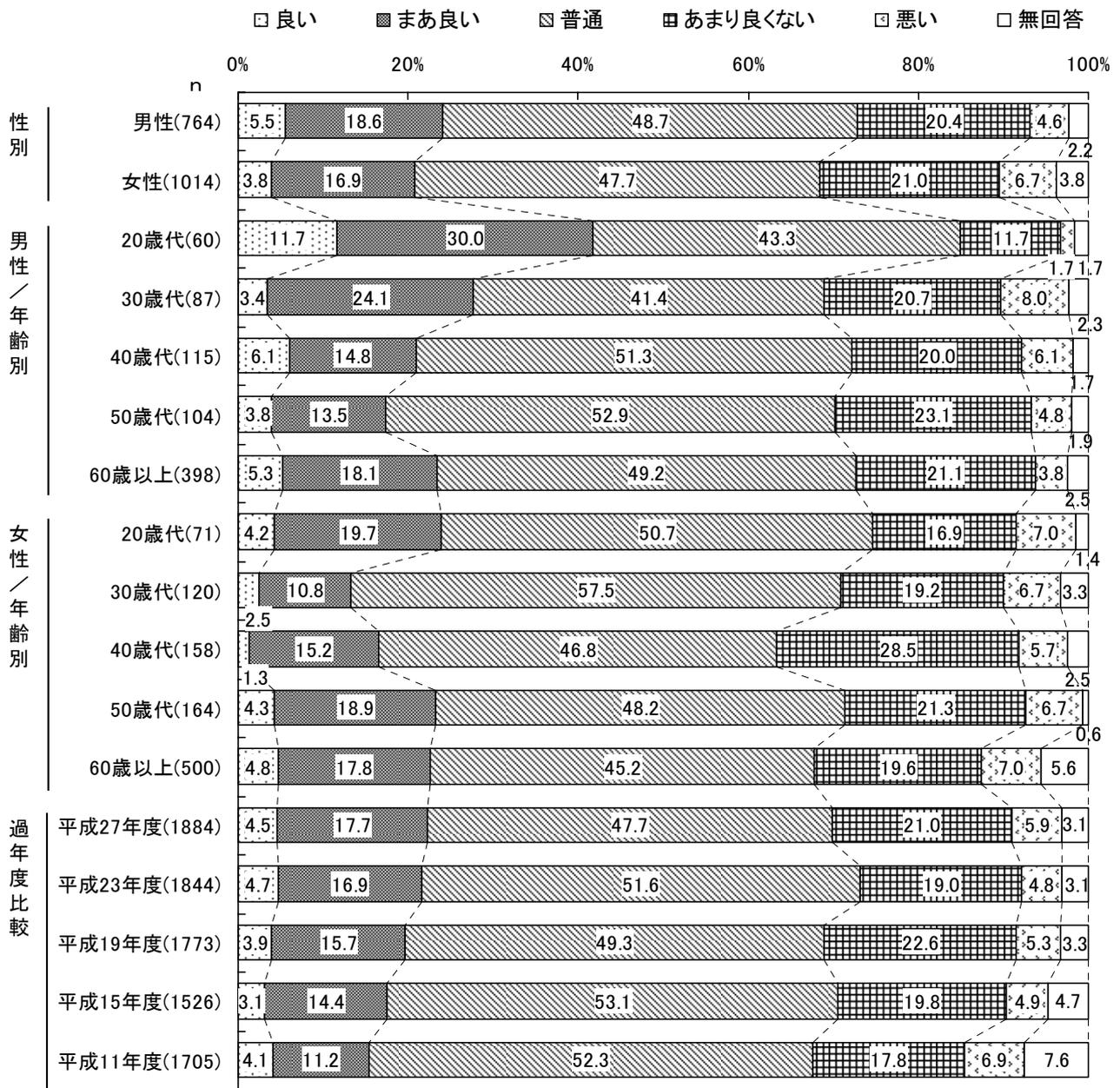
〈年齢別〉

『良い (計)』は男女の 20 歳代と男性の 60 歳以上で 3 割を超えて高くなっている。

〈過年度比較〉

前回調査 (平成 23 年度) と比較すると、『良い (計)』はほとんど変化はみられない。

イ) 地震や火災、水害等の災害が起きたときの身の安全性



〈性別〉

『良い (計)』は男性 (24.1%) が女性 (20.7%) を 3.4 ポイント上回っている。

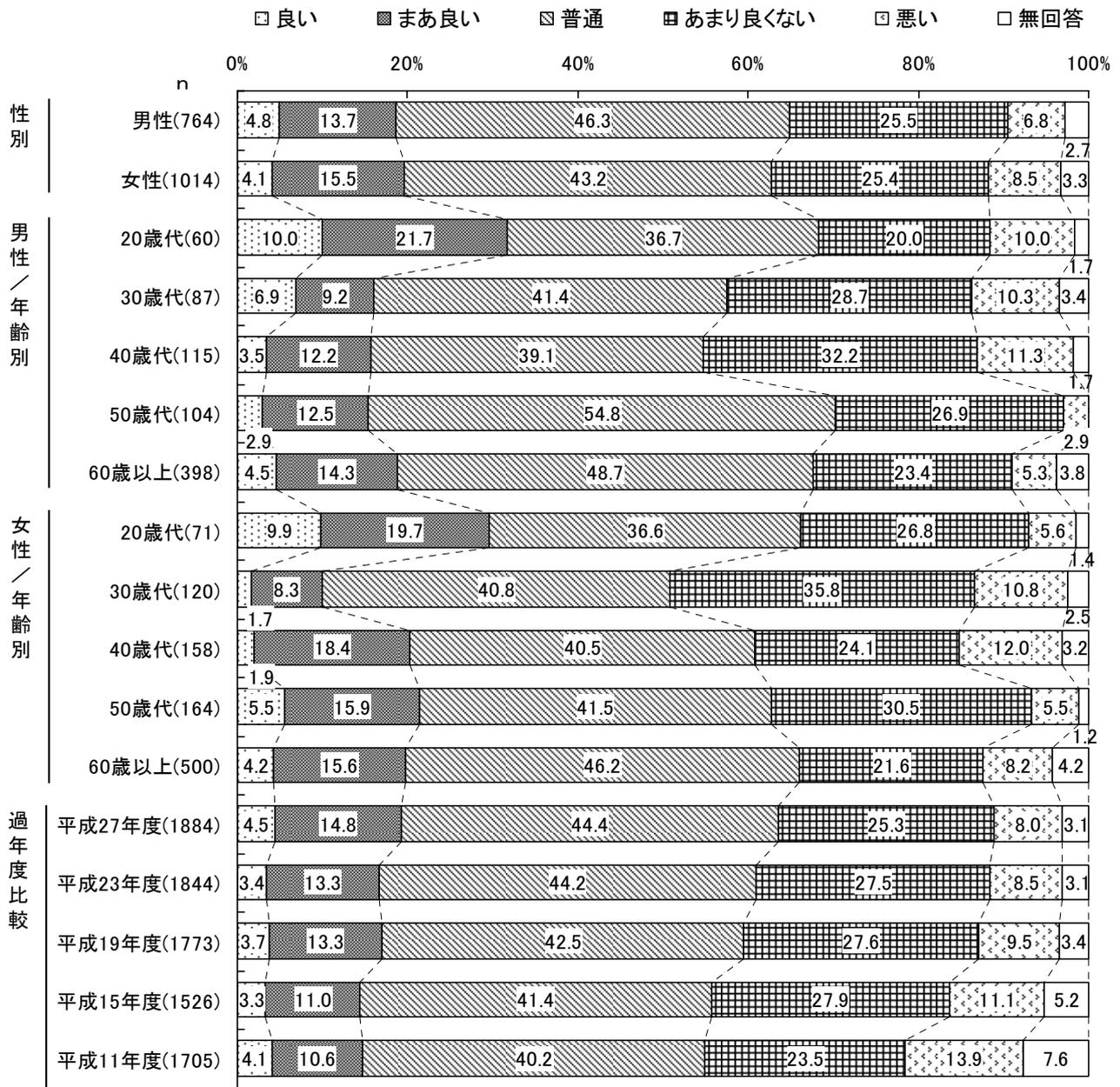
〈年齢別〉

『良い (計)』は男性では 20 歳代 (41.7%) で最も高く、女性では 20 歳代と 50 歳代以上で 2 割を超えて比較的高くなっている。

〈過年度比較〉

前回調査 (平成 23 年度) と比較すると、『良い (計)』はほとんど変化はみられない。

ウ) 交通面での安全性



〈性別〉

『良い (計)』は男性 (18.5%) と女性 (19.6%) では大きな差はみられない。

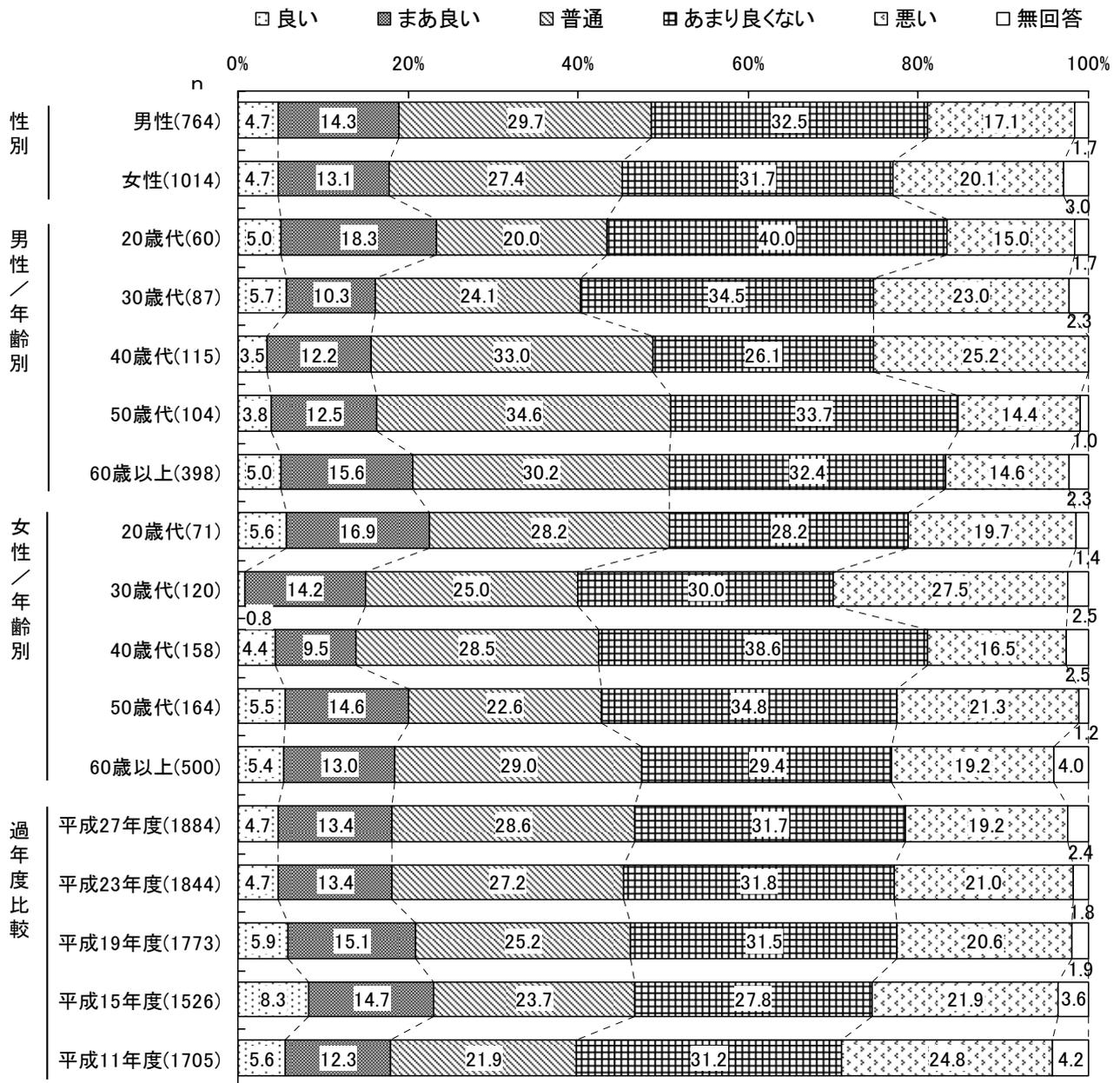
〈年齢別〉

『良い (計)』は男女ともに20歳代 (男性 : 31.7%、女性 : 29.6%) で最も高くなっている。女性では30歳代で10.0%と特に低くなっている。

〈過年度比較〉

前回調査 (平成23年度) と比較すると、『良い (計)』はほとんど変化はみられない。

エ) 交通の便



〈性別〉

『良い (計)』は男性 (19.0%) と女性 (17.8%) では大きな差はみられない。

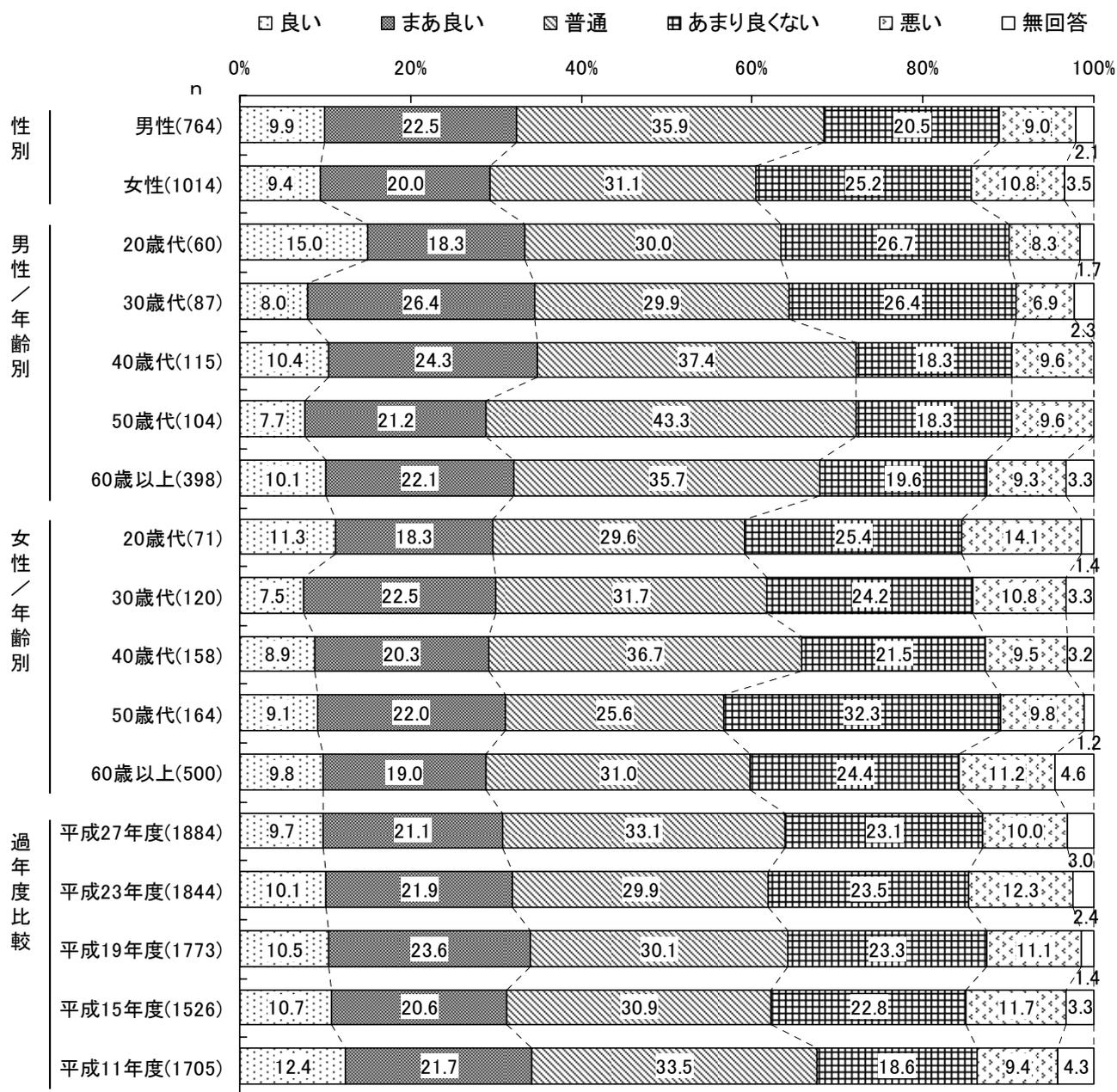
〈年齢別〉

『良い (計)』は男女ともに20歳代 (男性: 23.3%、女性: 22.5%) で最も高くなっている。

〈過年度比較〉

前回調査 (平成23年度) と比較すると『良い (計)』は変化はみられない。

オ) 買い物の便



〈性別〉

『良い (計)』は男性 (32.4%) が女性 (29.4%) を 3.0 ポイント上回っている。

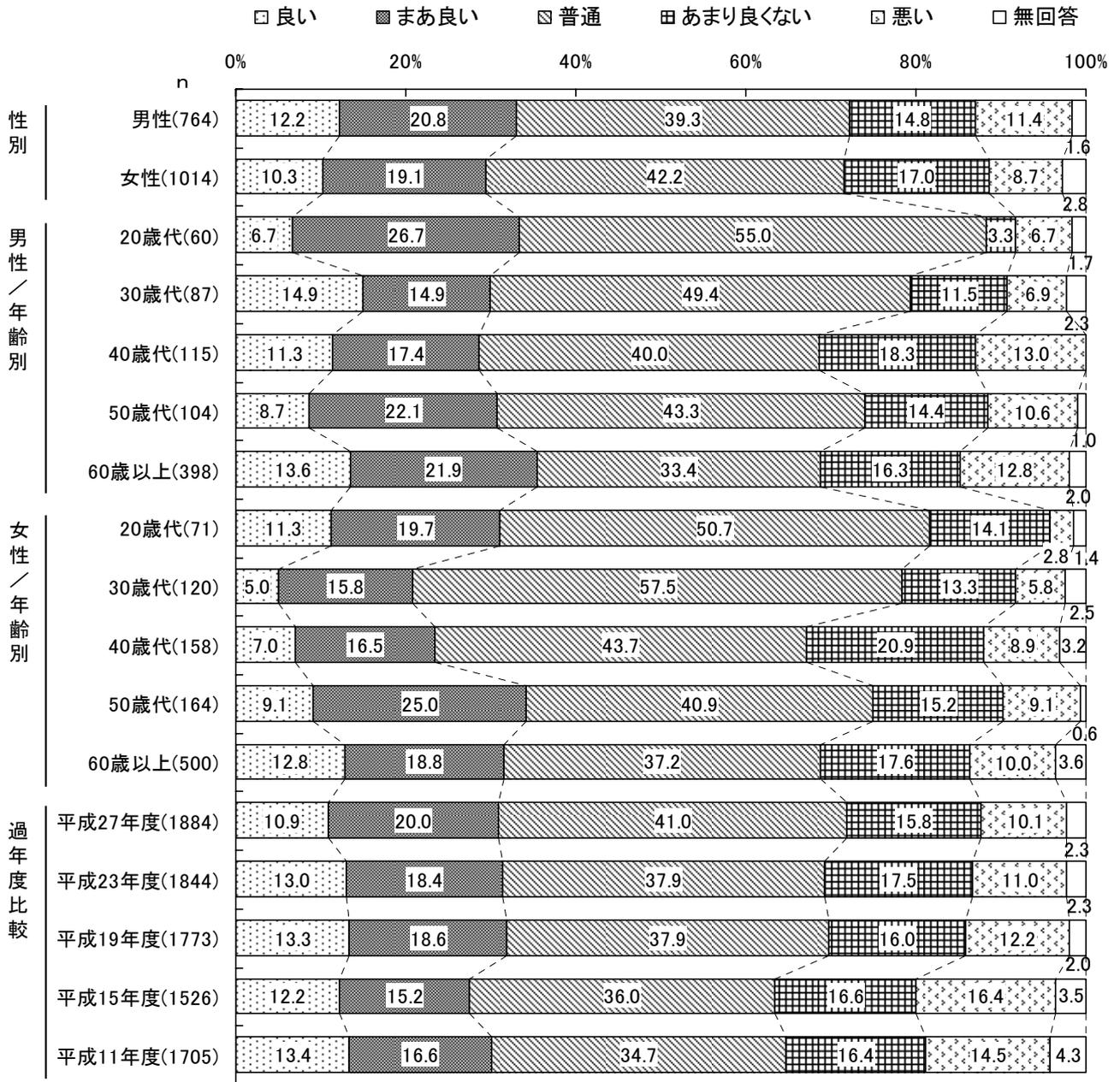
〈年齢別〉

『良い (計)』は年齢別では大きな差はみられない。

〈過年度比較〉

前回調査 (平成 23 年度) と比較すると、『良い (計)』はほとんど変化はみられない。

カ) 下水・排水の状況



〈性別〉

『良い (計)』は男性 (33.0%) が女性 (29.4%) を 3.6 ポイント上回っている。

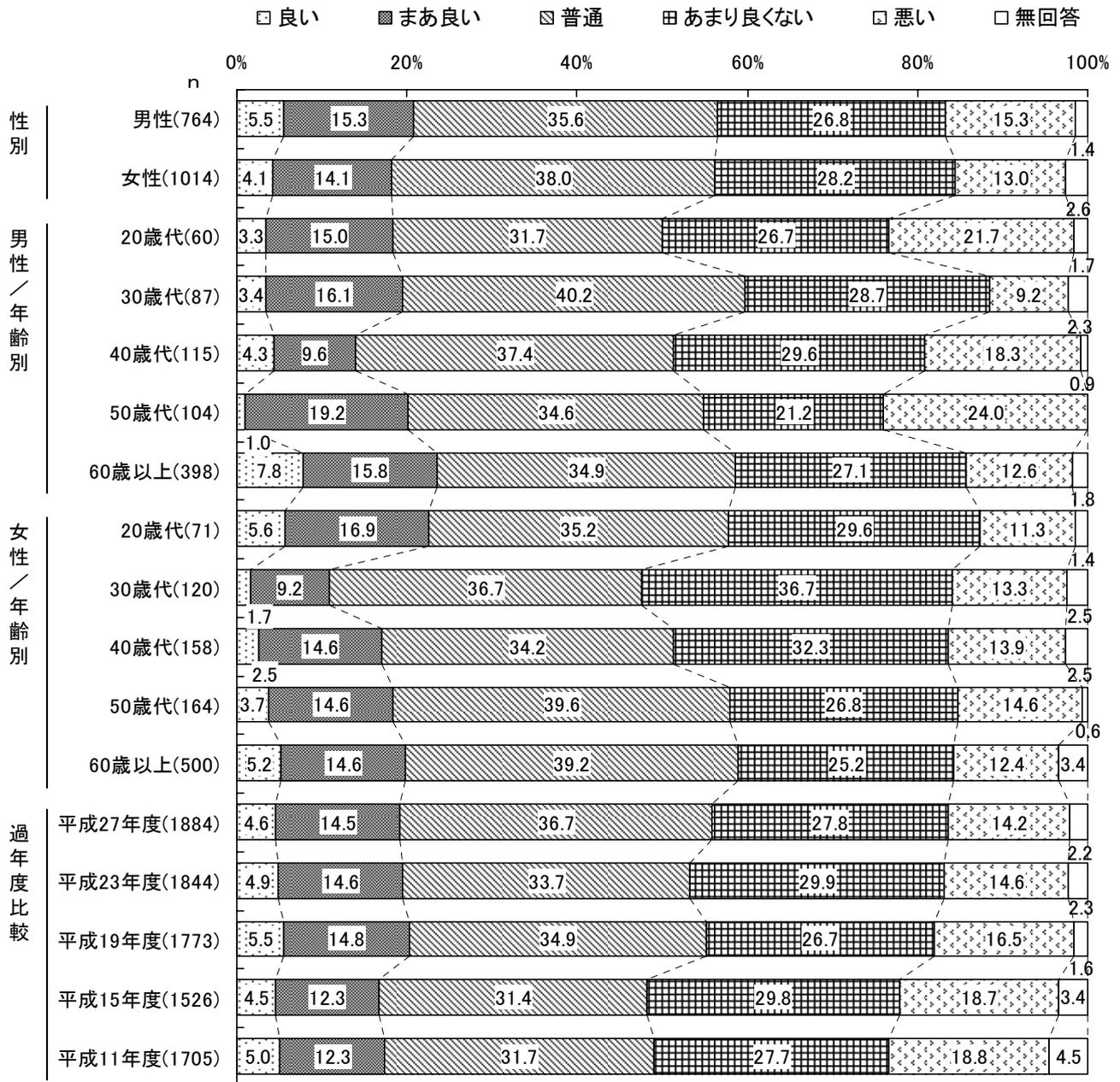
〈年齢別〉

『良い (計)』は男性では 60 歳以上 (35.5%)、女性では 50 歳代 (34.1%) で最も高くなっている。

〈過年度比較〉

前回調査 (平成 23 年度) と比較すると、『良い (計)』はほとんど変化はみられない。

キ) 道路の整備状況



〈性別〉

『良い (計)』は男性 (20.8%) と女性 (18.2%) では大きな差はみられない。

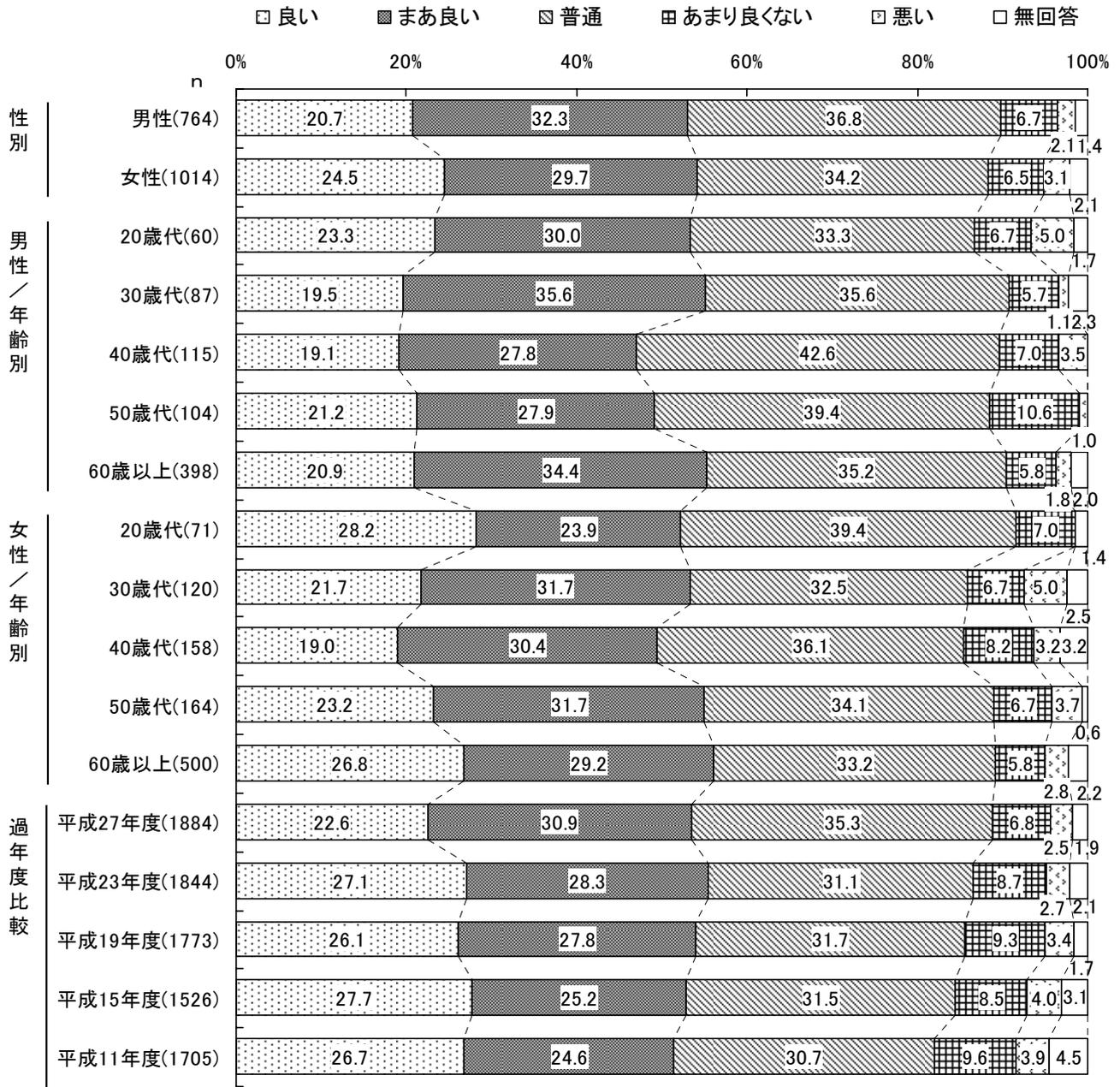
〈年齢別〉

『良い (計)』は男性では50歳代や60歳以上、女性では20歳代で2割を超え高くなっている。一方、男性では40歳代 (13.9%)、女性では30歳代 (10.9%) で特に低くなっている。

〈過年度比較〉

前回調査 (平成23年度) と比較すると、『良い (計)』はほとんど変化はみられない。

ク) 日照や風通し



〈性別〉

『良い (計)』は男性 (53.0%) と女性 (54.2%) では大きな差はみられない。

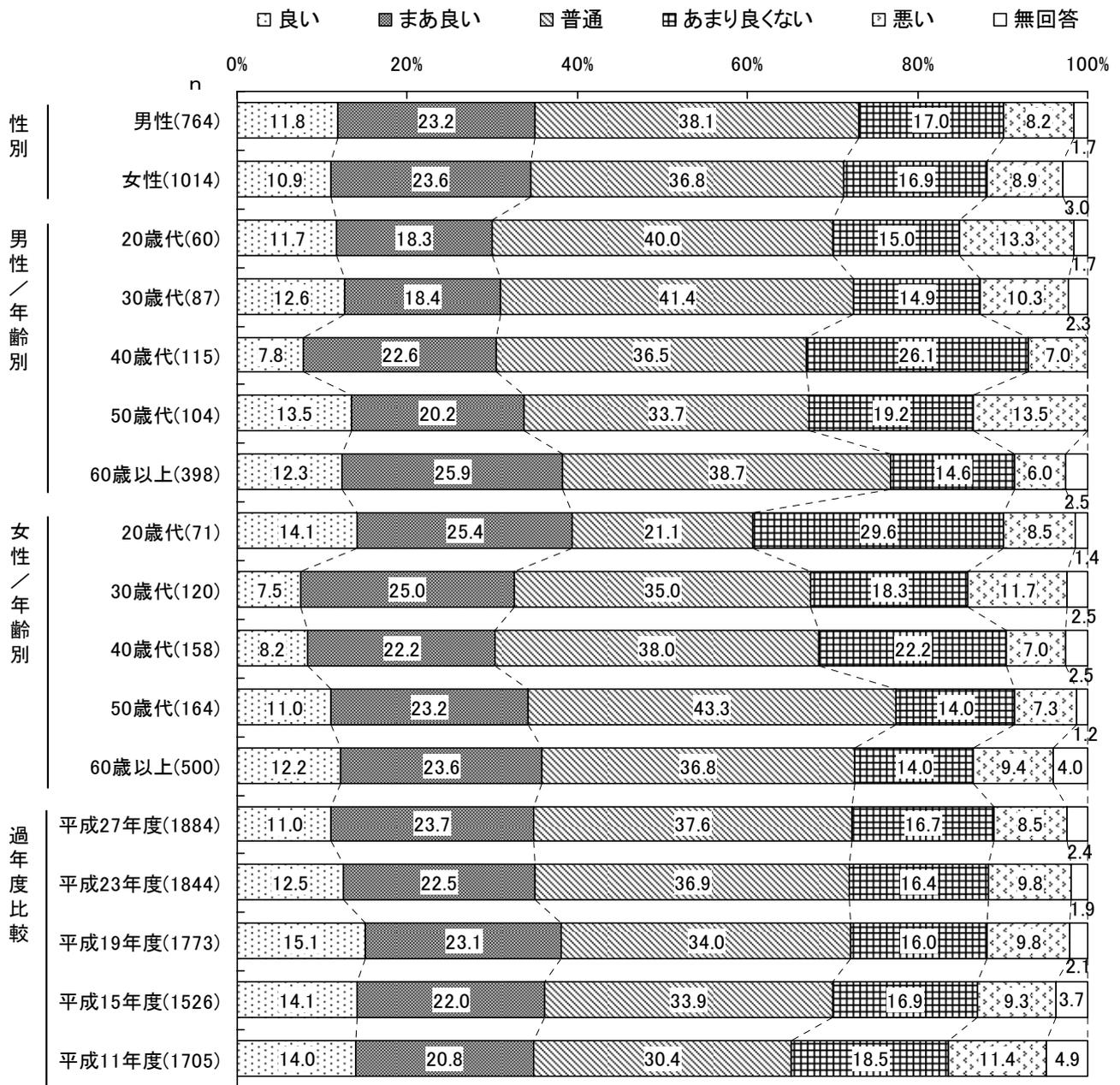
〈年齢別〉

『良い (計)』は男女ともに60歳以上 (男性: 55.3%、女性: 56.0%) で最も高くなっている。また、男女ともに40歳代 (男性: 46.9%、女性: 49.4%) で最も低くなっている。

〈過年度比較〉

前回調査 (平成23年度) と比較すると、『良い (計)』はほとんど変化はみられない。

ケ) 騒音や振動



〈性別〉

『良い (計)』は男性 (35.0%) と女性 (34.5%) ではほとんど差はみられない。

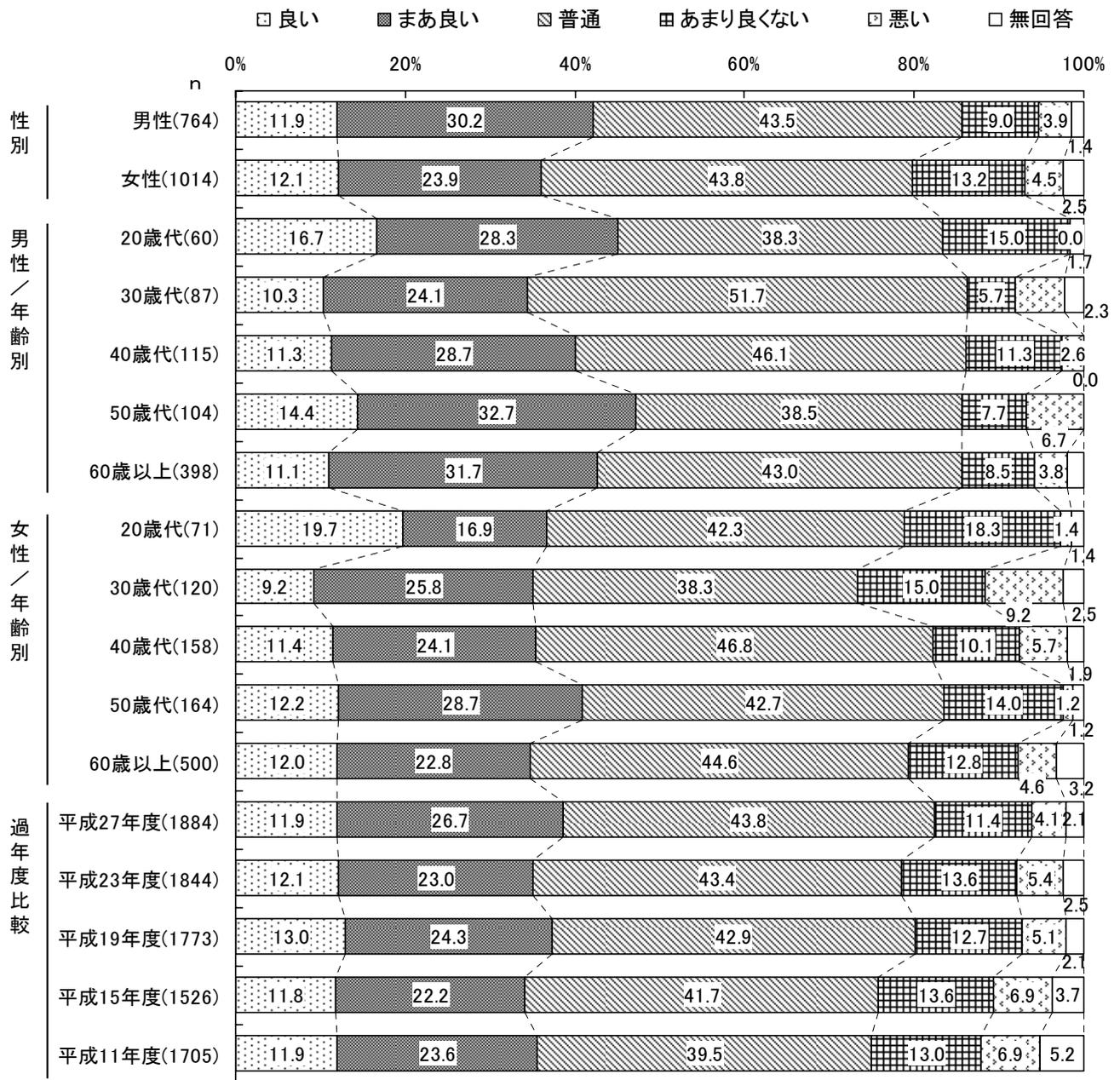
〈年齢別〉

『良い (計)』は男性では60歳以上、女性では20歳代で約4割と高くなっている。

〈過年度比較〉

前回調査 (平成23年度) と比較すると、『良い (計)』はほとんど変化はみられない。

コ) 大気汚染や悪臭



〈性別〉

『良い (計)』は男性 (42.1%) が女性 (36.0%) を6.1ポイント上回っている。

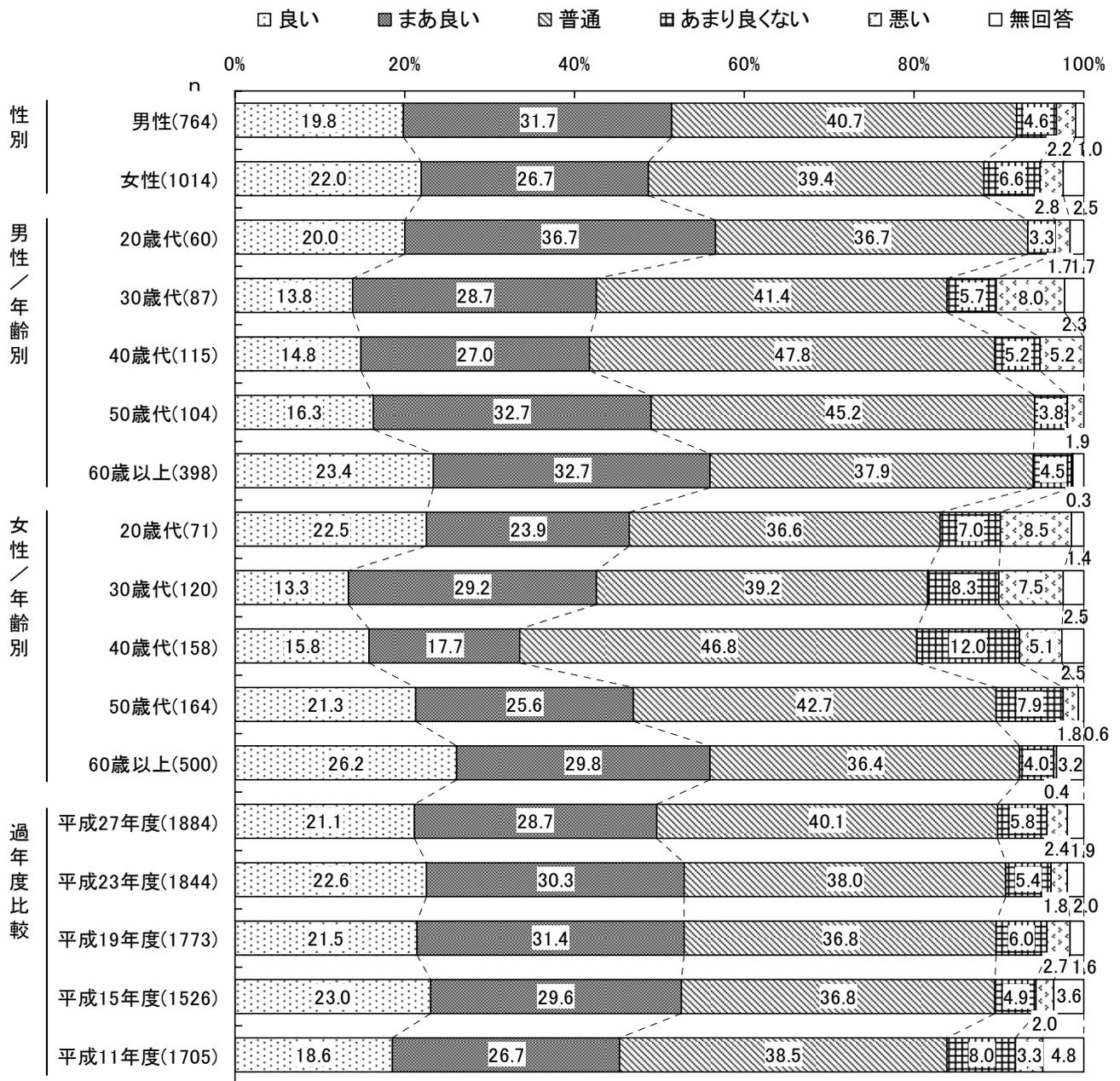
〈年齢別〉

『良い (計)』は男女ともに50歳代で (男性 : 47.1%、女性 40.9%) で最も高くなっている。

〈過年度比較〉

前回調査 (平成23年度) と比較すると『良い (計)』は3.5ポイント増加している。

サ) ごみの回収状況



〈性別〉

『良い (計)』は男性 (51.5%) と女性 (48.7%) ではほとんど差はみられない。

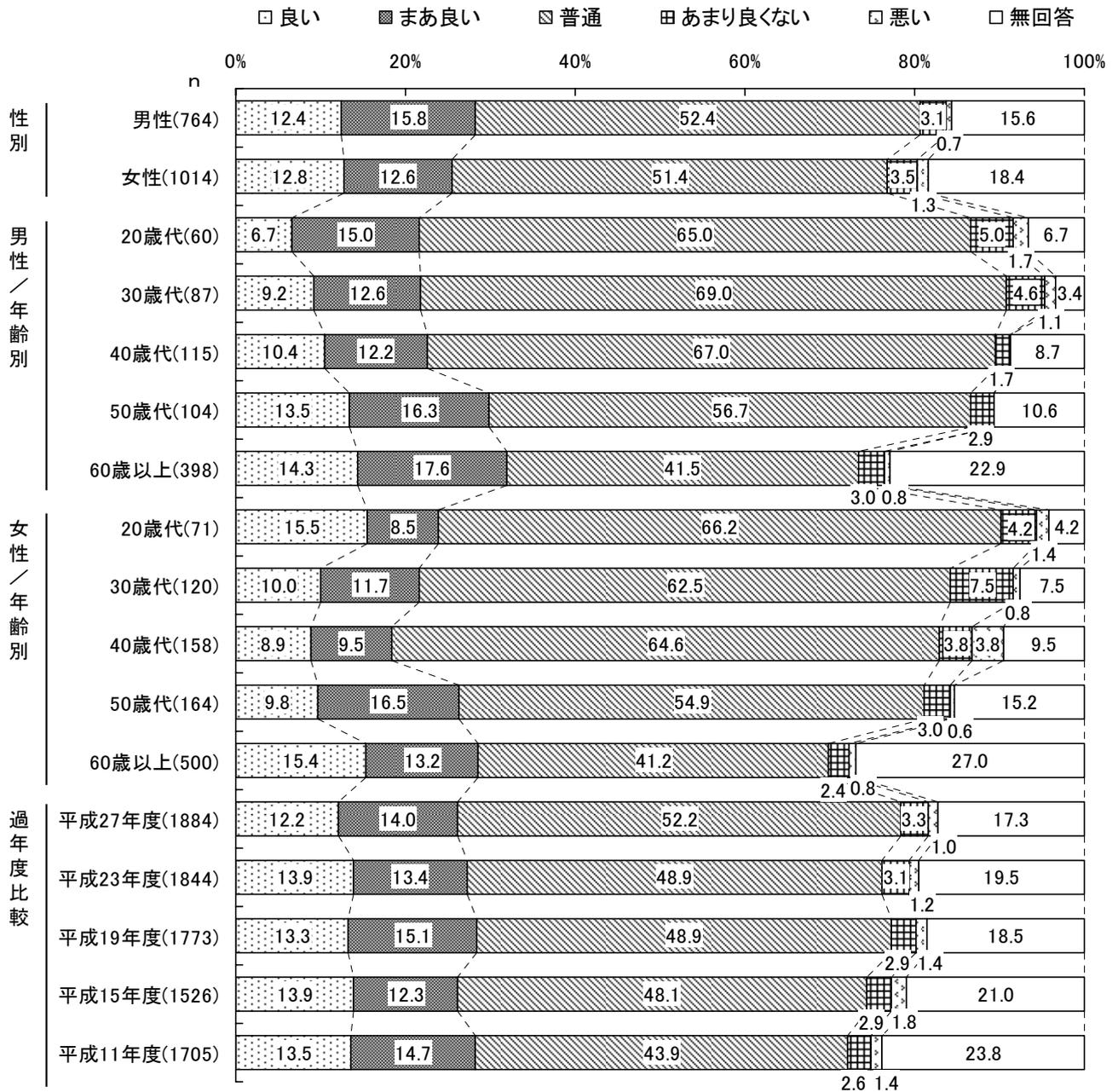
〈年齢別〉

『良い (計)』は男性では20歳代と60歳以上、女性では60歳以上で5割台半ばと高くなっている。一方、女性の40歳代は33.5%と特に低くなっている。

〈過年度比較〉

前回調査 (平成23年度) と比較すると『良い (計)』は3.1ポイント減少している。

シ) し尿の汲み取り状況



〈性別〉

『良い (計)』は男性 (28.2%) と女性 (25.4%) ではほとんど差はみられない。

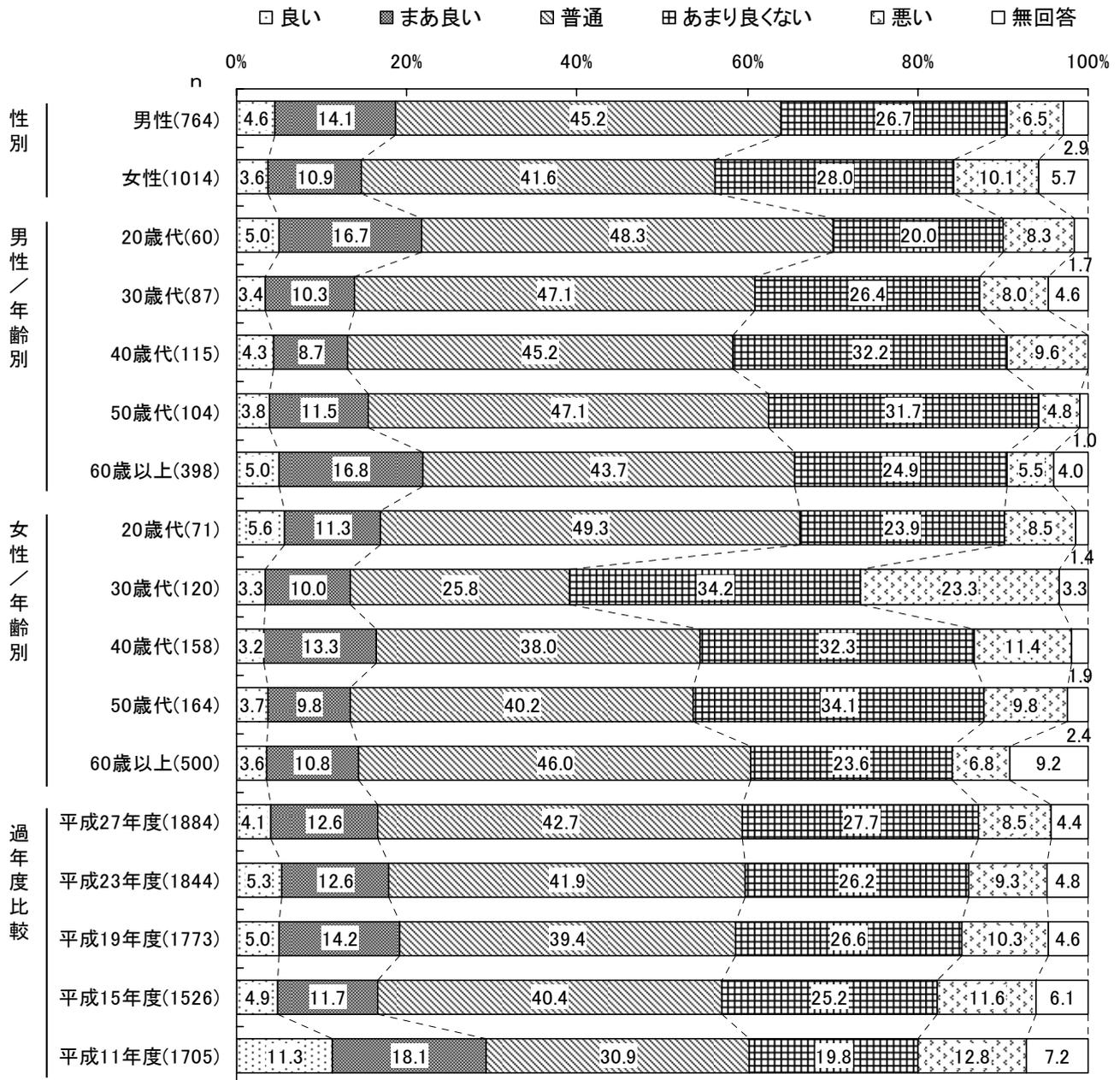
〈年齢別〉

『良い (計)』は男女ともに60歳以上 (男性: 31.9、女性: 28.6%) で最も高くなっている。

〈過年度比較〉

前回調査 (平成23年度) と比較すると、『良い (計)』はほとんど変化はみられない

ス) 公園や子どもの遊び場



〈性別〉

『良い (計)』は男性 (18.7%) が女性 (14.5%) を4.2ポイント上回っている。

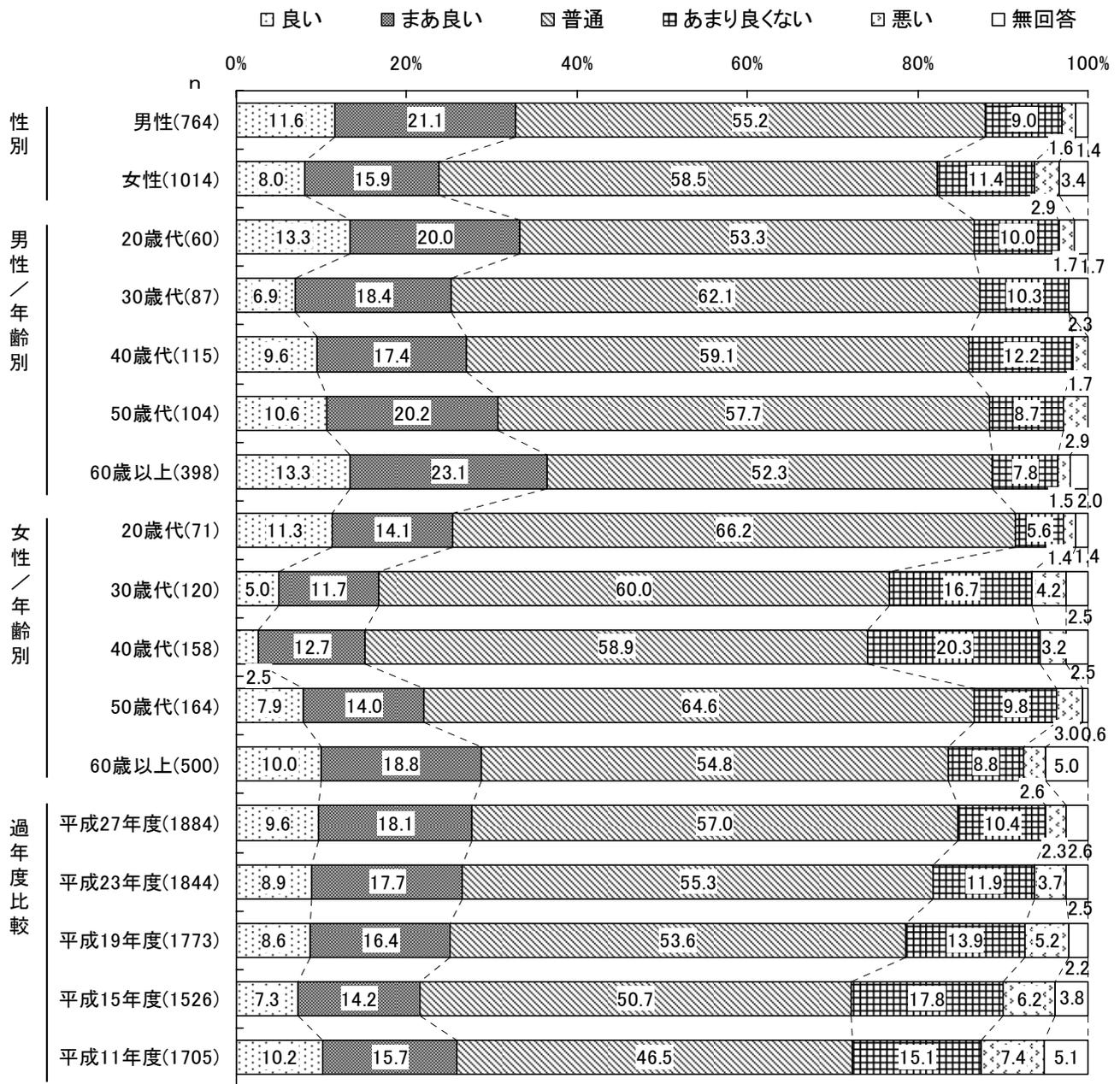
〈年齢別〉

『良い (計)』は男性では20歳代と60歳以上で2割を超えて比較的高くなっている。一方、女性では30歳代で『悪い (計)』が57.5%と特に高くなっている。

〈過年度比較〉

前回調査 (平成23年度) と比較すると、『良い (計)』はほとんど変化はみられない

セ) 飲料水の状況



〈性別〉

『良い (計)』は男性 (32.7%) が女性 (23.9%) を 8.8 ポイント上回っている。

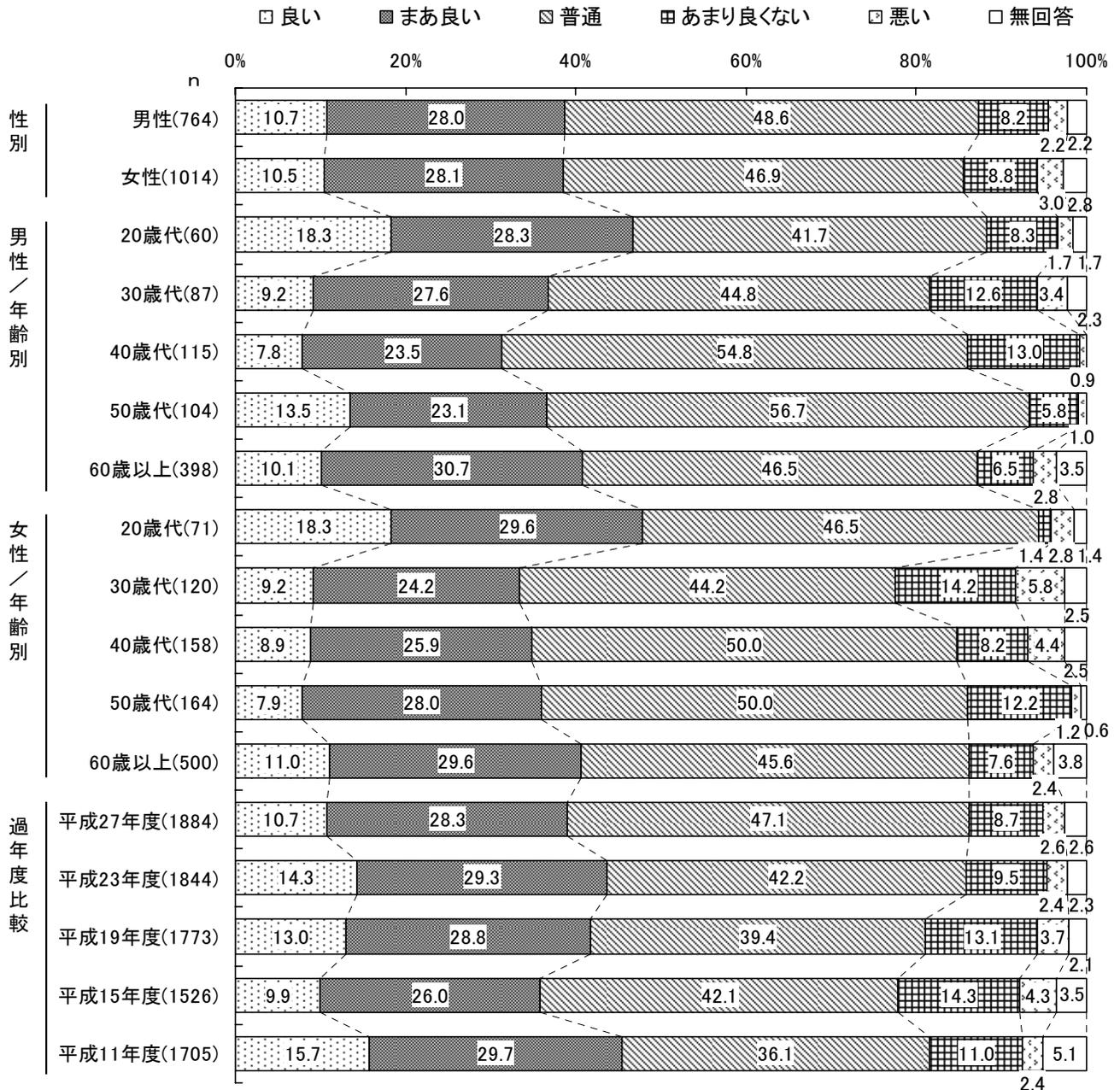
〈年齢別〉

『良い (計)』は男女ともに 60 歳以上 (男性 : 36.4%、女性 : 28.8%) で最も高くなっている。一方、女性の 30 歳代と 40 歳代は 1 割台半ばで特に低くなっている。

〈過年度比較〉

前回調査 (平成 23 年度) と比較すると、『良い (計)』はほとんど変化はみられない

ソ) 緑の保全や自然環境



〈性別〉

『良い (計)』は男性 (38.7%) と女性 (38.6%) ではほとんど差はみられない。

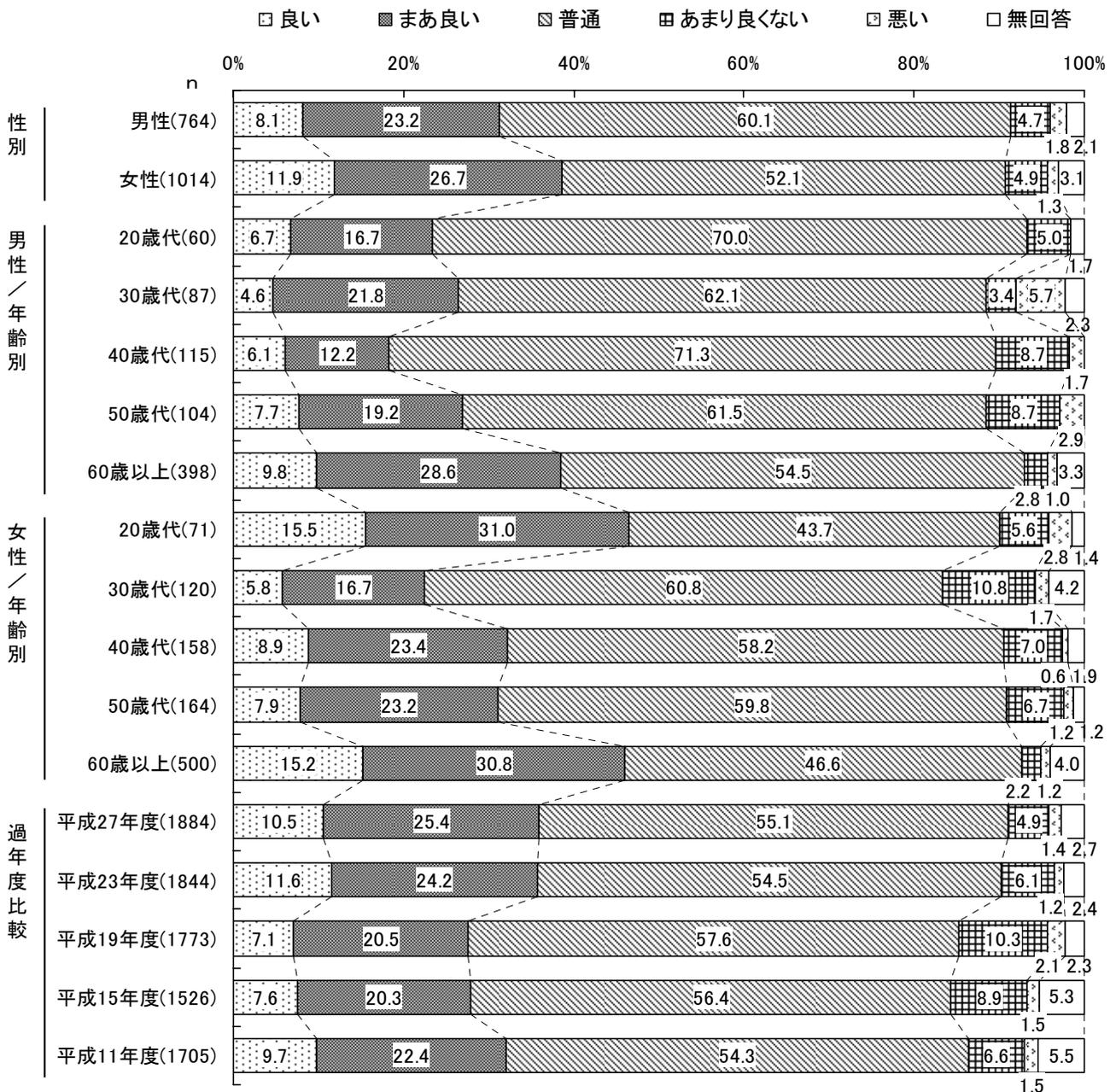
〈年齢別〉

『良い (計)』は男女ともに20歳代 (男性: 46.6%、女性: 47.9%) で最も高くなっている。一方、『悪い (計)』は男女ともに30歳代 (男性: 16.0%、女性: 20.0%) で最も高くなっている。

〈過年度比較〉

前回調査 (平成23年度) と比較すると、『良い (計)』は4.6ポイント減少している。

タ) 検診などの保健活動



〈性別〉

『良い (計)』は女性 (38.6%) が男性 (31.3%) を7.3ポイント上回っている。

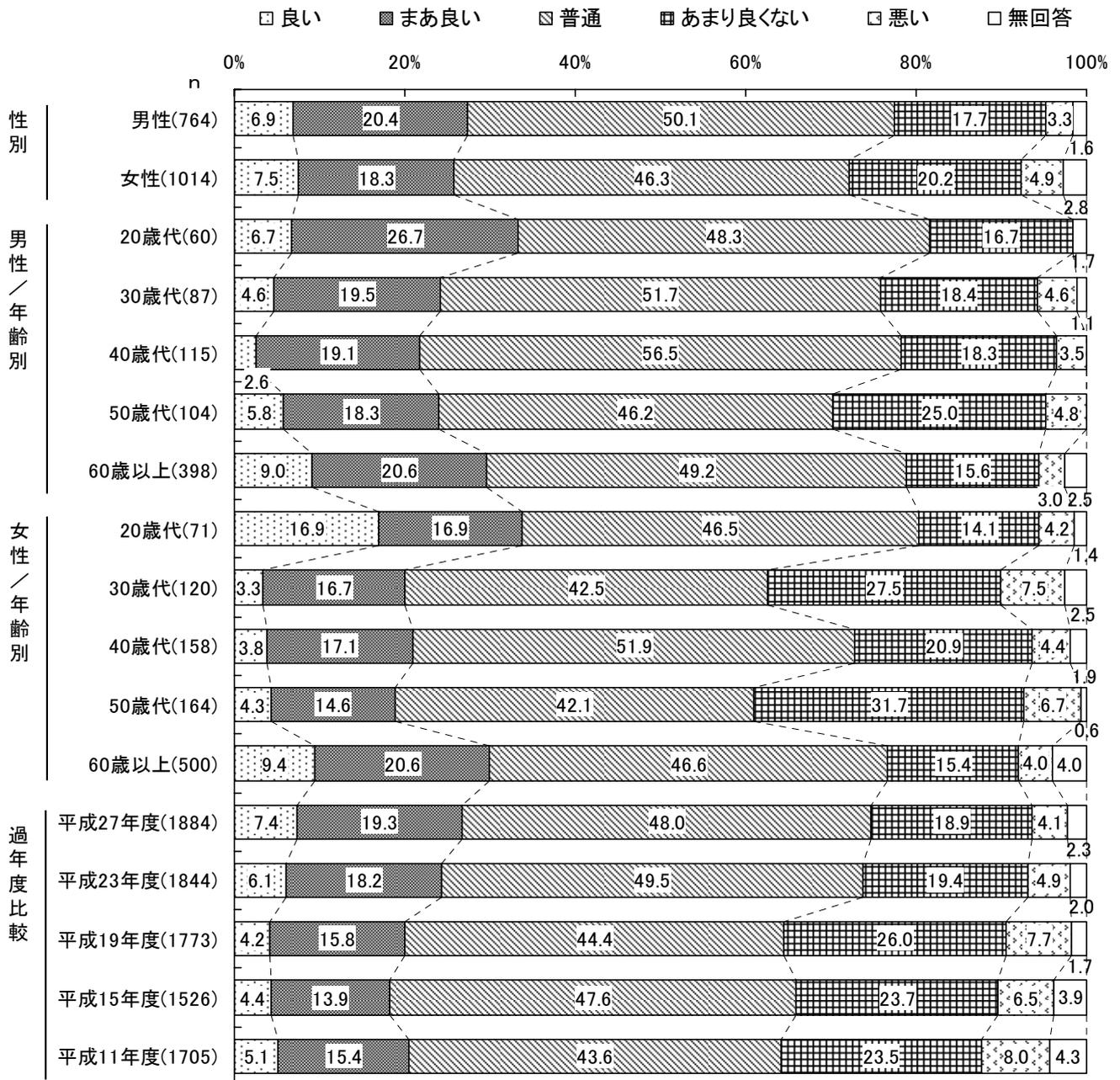
〈年齢別〉

『良い (計)』は男性では60歳以上で38.4%と最も高くなっている。女性では20歳代と60歳以上で4割台半ばと高くなっている。

〈過年度比較〉

前回調査 (平成23年度) と比較すると、『良い (計)』はほとんど変化はみられない。

子) 病院などの医療施設



〈性別〉

『良い (計)』は男性 (27.3%) と女性 (25.8%) では大きな差はみられない。

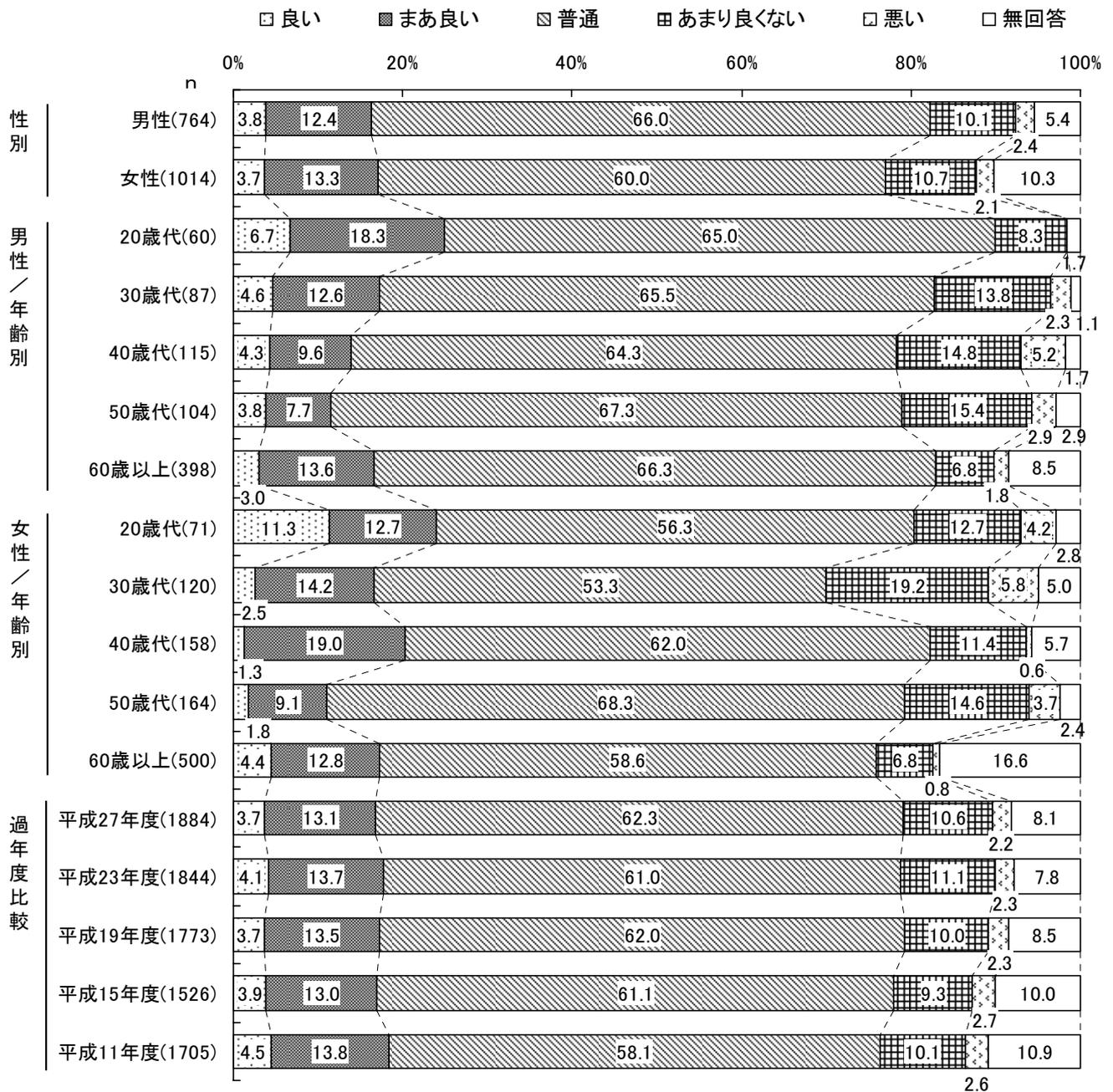
〈年齢別〉

『良い (計)』は男女ともに20歳代 (男性 : 33.4%、女性 : 33.8%) で最も高く、次いで60歳以上 (男性 : 29.6%、女性 : 30.0%) となっている。

〈過年度比較〉

前回調査 (平成23年度) と比較すると、『良い (計)』はほとんど変化はみられない。

ツ) 保育所や幼稚園



〈性別〉

『良い (計)』は男性 (16.2%) と女性 (17.0%) ではほとんど差はみられない。

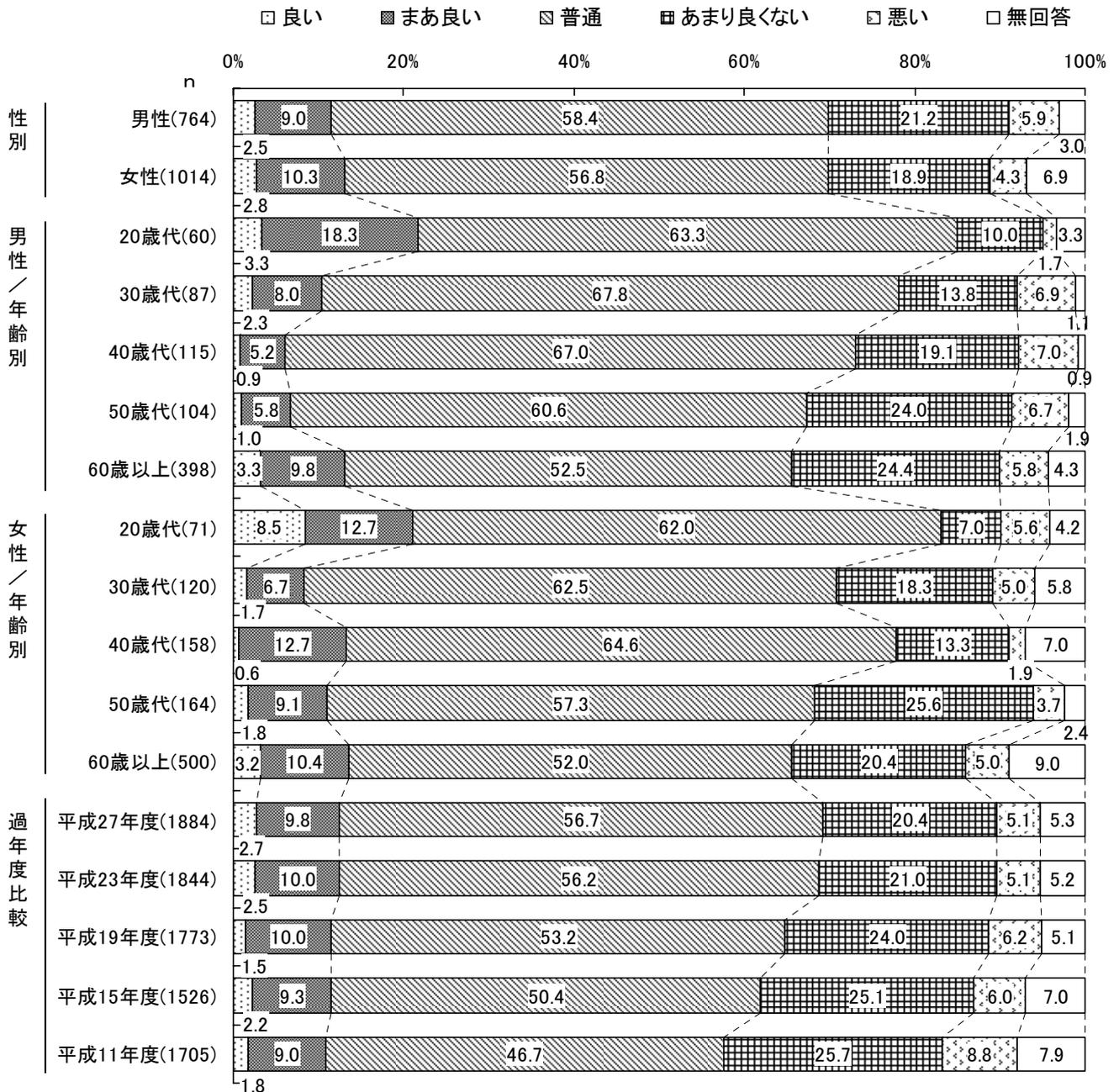
〈年齢別〉

『良い (計)』は男女ともに20歳代 (男性: 25.0%、女性: 24.0%) で最も高くなっている。

〈過年度比較〉

前回調査 (平成23年度) と比較すると、『良い (計)』はほとんど変化はみられない。

テ) 高齢者・障がい者への福祉施設



〈性別〉

『良い (計)』は男性 (11.5%) と女性 (13.1%) では大きな差はみられない。

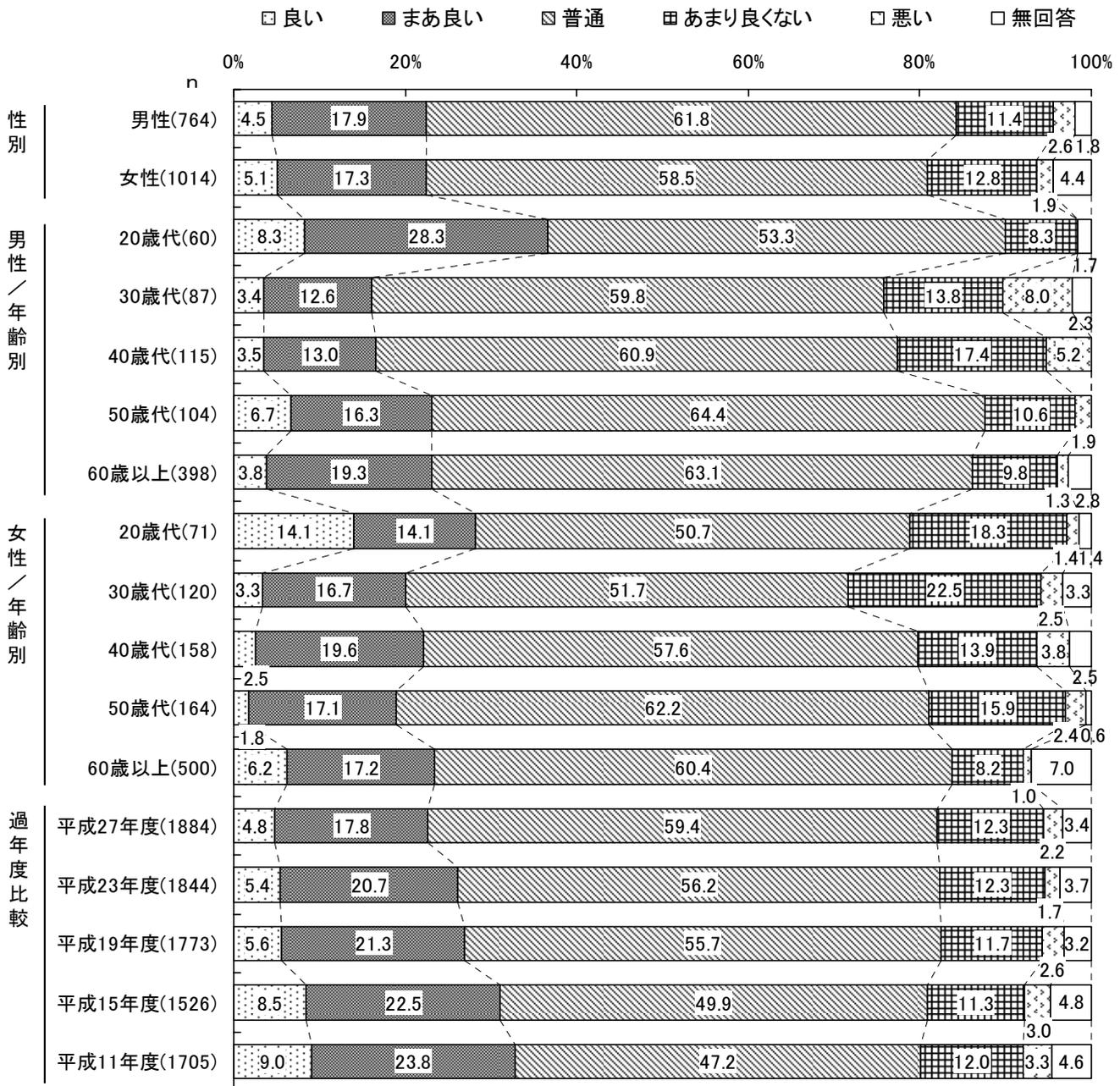
〈年齢別〉

『良い (計)』は男女ともに20歳代 (男性: 21.6%、女性: 21.2%) で最も高くなっている。一方、男性の40歳代と50歳代、女性の30歳代では1割を下回り低くなっている。『悪い (計)』は、男女ともにおおむね年代が上がるほど割合が高くなっている。

〈過年度比較〉

前回調査 (平成23年度) と比較すると、『良い (計)』は変化はみられない。

ト) 公民館や図書館等の整備



〈性別〉

『良い (計)』は男性 (22.4%) と女性 (22.4%) は、同じ割合となっている。

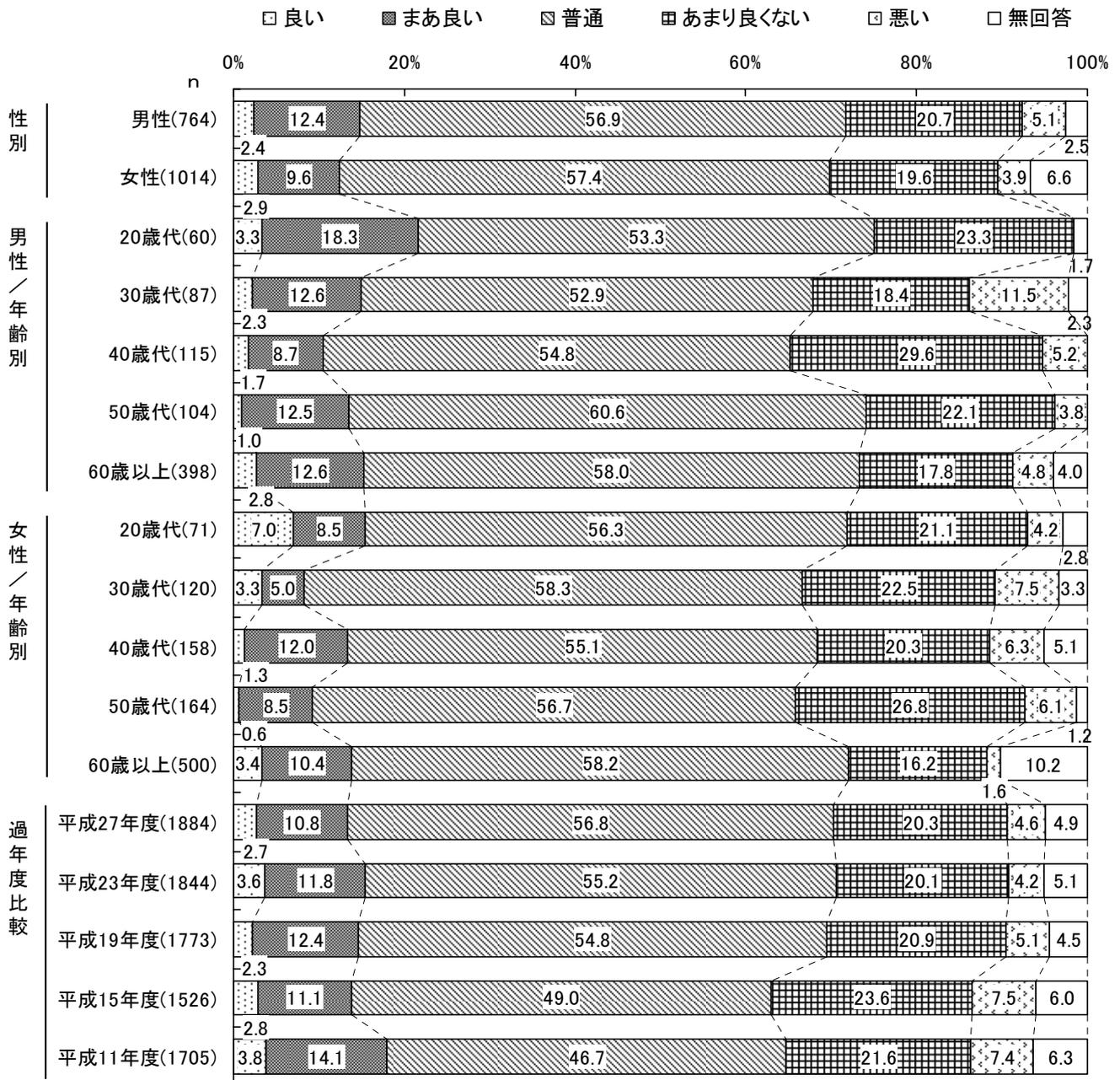
〈年齢別〉

『良い (計)』は男女ともに20歳代 (男性 : 36.6%、女性 : 28.2%) で最も高くなっている。

〈過年度比較〉

前回調査 (平成23年度) と比較すると、『良い (計)』は3.5ポイント減少している。

ナ) スポーツ・レクリエーション施設



〈性別〉

『良い (計)』は男性 (14.8%) と女性 (12.5%) では大きな差はみられない。

〈年齢別〉

『良い (計)』は男女ともに20歳代 (男性: 21.6%、女性: 15.5%) で最も高くなっている。

〈過年度比較〉

前回調査 (平成23年度) と比較すると、『良い (計)』はほとんど変化はみられない。

(5) 公共施設への要望

◇「医療施設（病院・診療所）」が約7割、「道路（歩道）」「老人福祉施設」が約6割

【問5】あなたが、次の①「保健・医療・福祉施設」、②「教育・文化・スポーツ施設」、③「生活環境施設」のそれぞれの公共施設の中で、特に充実を望むものをそれぞれ2つ以内で選んでください。

(n=1,884)

①「保健・医療・福祉施設」

1. 老人福祉施設	60.1%	4. 医療施設（病院・診療所）	68.7
2. 障がい者施設	8.9	5. 公営住宅	5.5
3. 児童館（子ども館）	11.1	6. 保育所	12.9
		（無回答）	2.6

②「教育・文化・スポーツ施設」

1. 幼稚園	7.4%	9. 陸上競技場	0.8
2. 小・中学校	17.1	10. サイクリングコース	12.8
3. 高校・大学	11.4	11. テニスコート	3.3
4. 図書館	27.0	12. サッカー場	2.4
5. 博物館	8.2	13. 野球場	2.2
6. 文化会館	15.9	14. 水泳場	9.5
7. 美術館	11.8	15. 公民館	13.1
8. 体育館	7.5	（無回答）	10.0

③「生活環境施設」

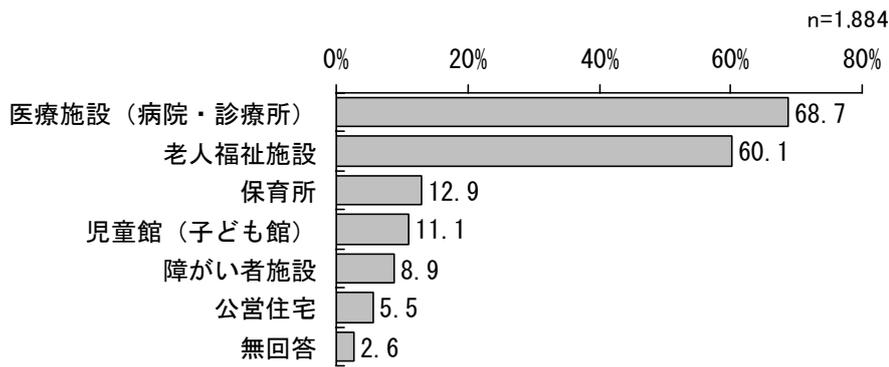
1. 通学路	17.6%	5. 公共下水道	15.1
2. 公園	17.8	6. 排水溝	18.1
3. 駐車場	7.8	7. 子どもの遊び場	15.6
4. 道路（歩道）	60.5	8. コミュニティセンター	11.9
		（無回答）	3.9

公共施設を3部門に分けて、それぞれ特に充実を望むものを聞いたところ、保健・医療・福祉施設では、「医療施設（病院・診療所）」が68.7%で最も高くなっている。次いで「老人福祉施設」（60.1%）、「保育所」（12.9%）、「児童館（子ども館）」（11.1%）などの順となっている。

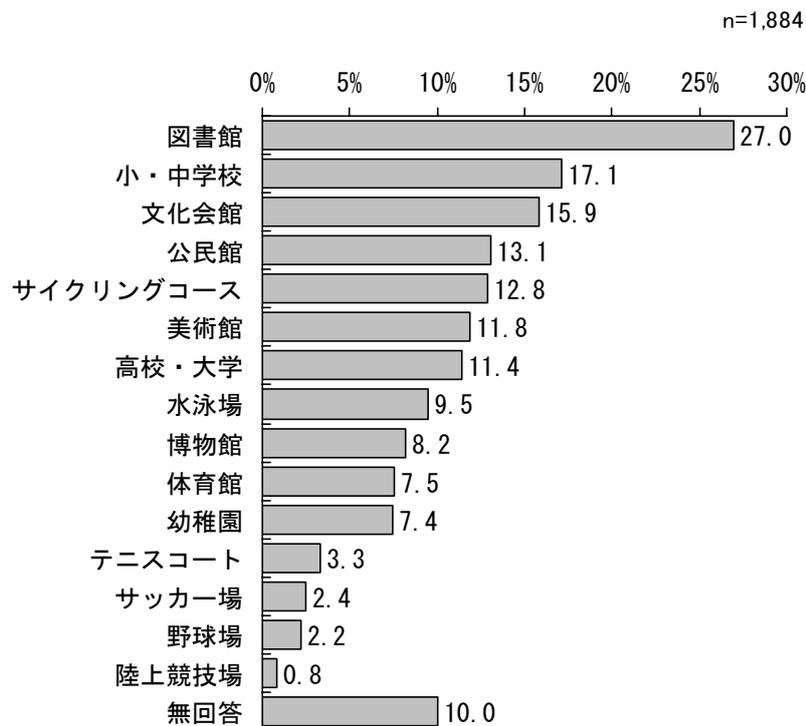
教育・文化・スポーツ施設では、「図書館」が27.0%で最も高くなっている。次いで「小・中学校」（17.1%）、「文化会館」（15.9%）、「サイクリングコース」（12.8%）、「美術館」（11.8%）などの順となっている。

生活環境施設では、「道路（歩道）」が60.5%で最も高くなっている。次いで排水溝（18.1%）、「公園」（17.8%）、「通学路」（17.6%）、「子どもの遊び場」（15.6%）、「公共下水道」（15.1%）などの順となっている。

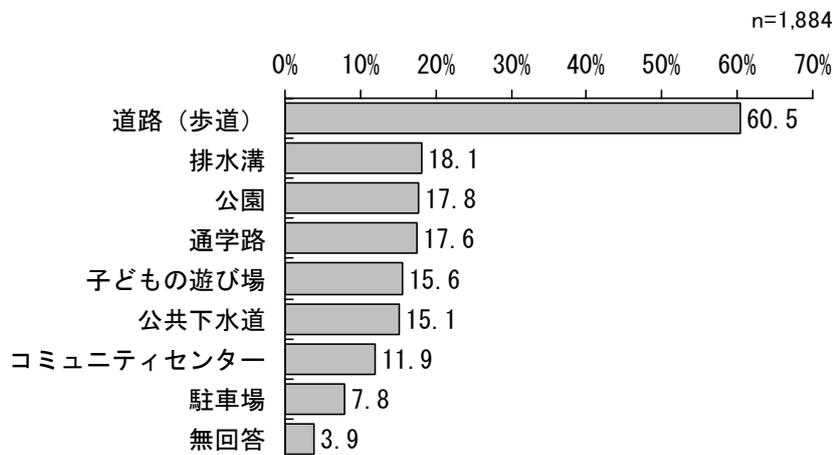
①保健・医療・福祉施設



②教育・文化・スポーツ施設

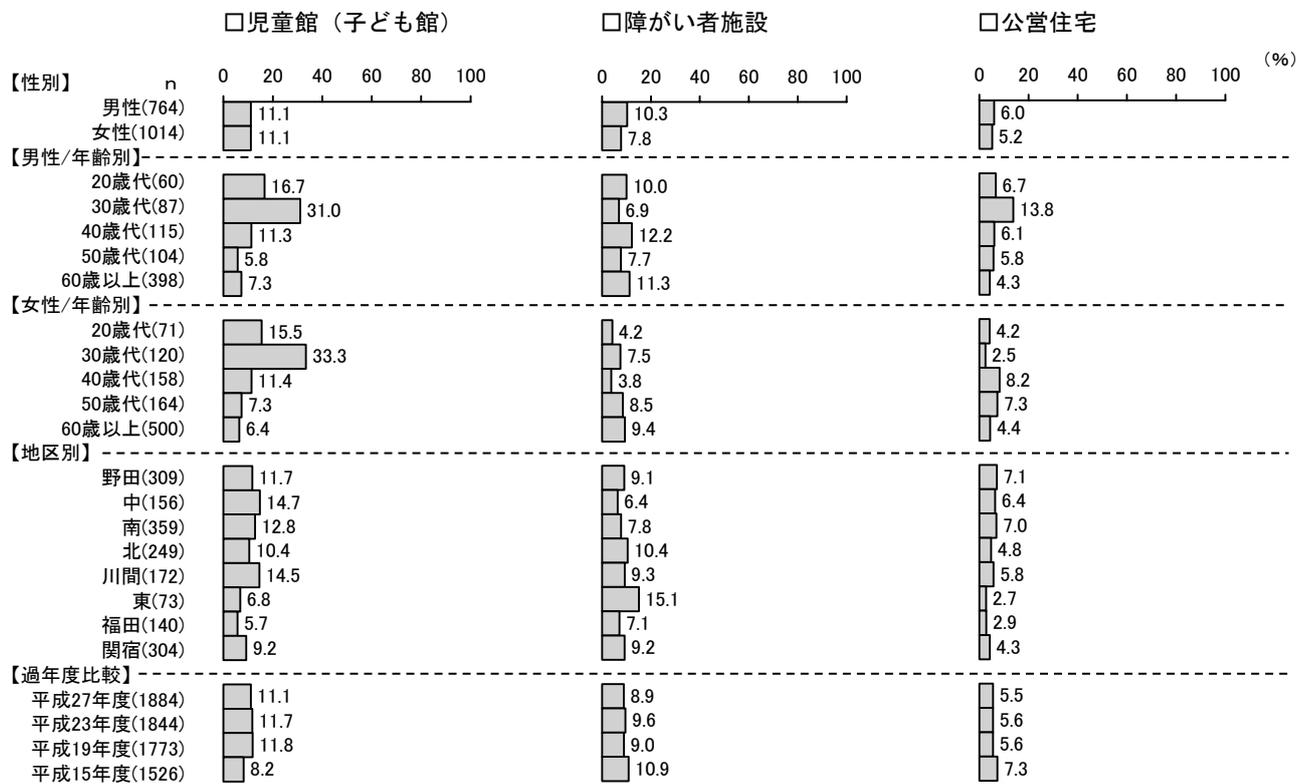
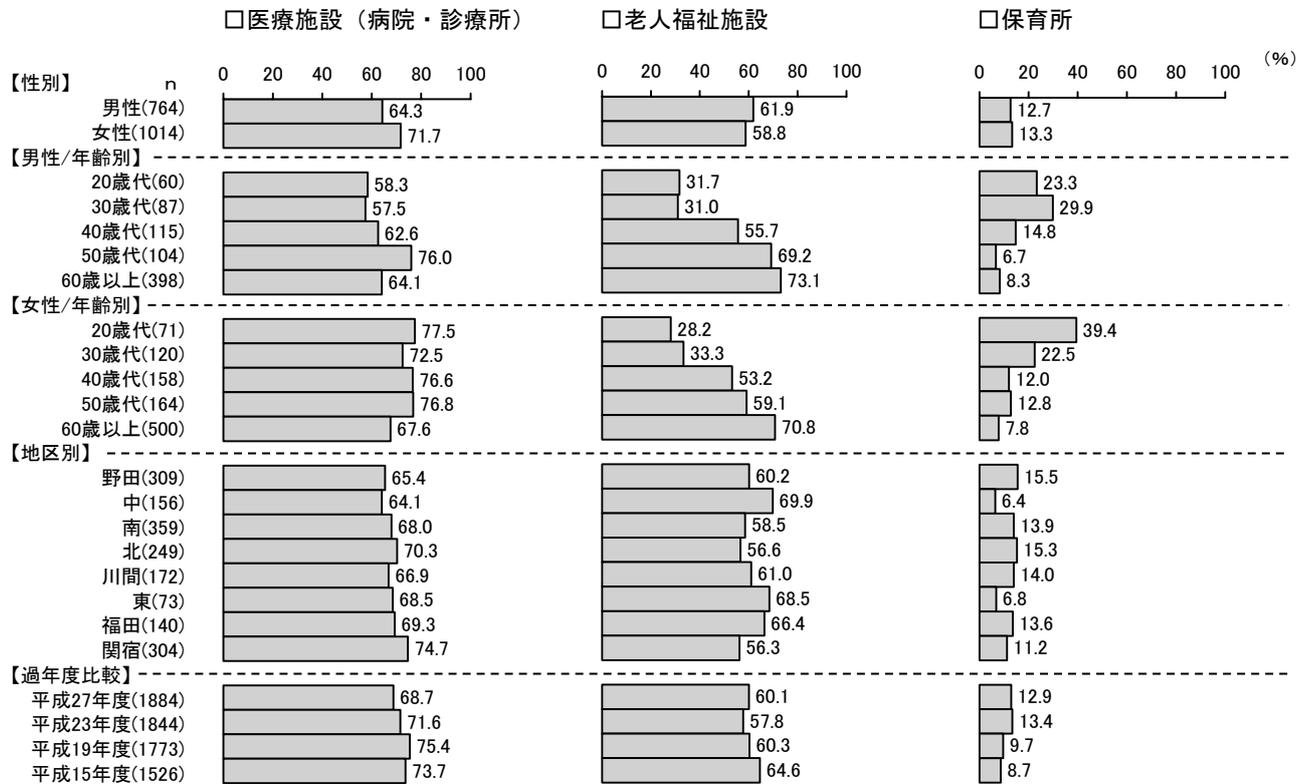


③生活環境施設



上位6項目の属性別

①保健・医療・福祉施設



①保健・医療・福祉施設

〈性別〉

「医療施設（病院・診療所）」は女性（71.7%）が男性（64.3%）を7.4ポイント、「老人福祉施設」は男性（61.9%）が女性（58.8%）を3.1ポイント上回っている。

〈年齢別〉

「医療施設（病院・診療所）」は男性では50歳代で76.0%と特に高くなっている。「老人福祉施設」は男女ともに年代が上がるほど割合は高くなる傾向がみられ、60歳以上では7割を超えて最も高くなっている。「保育所」や「児童館（子ども館）」は30歳代以下の世代で割合が高くなっている。

〈地区別〉

「医療施設（病院・診療所）」は関宿地区（74.7%）、「老人福祉施設」は中地区（69.9%）、「保育所」は野田地区（15.5%）で最も高くなっている。

〈過年度比較〉

前回調査（平成23年度）と比較すると、どの項目でもほとんど変化はみられない。

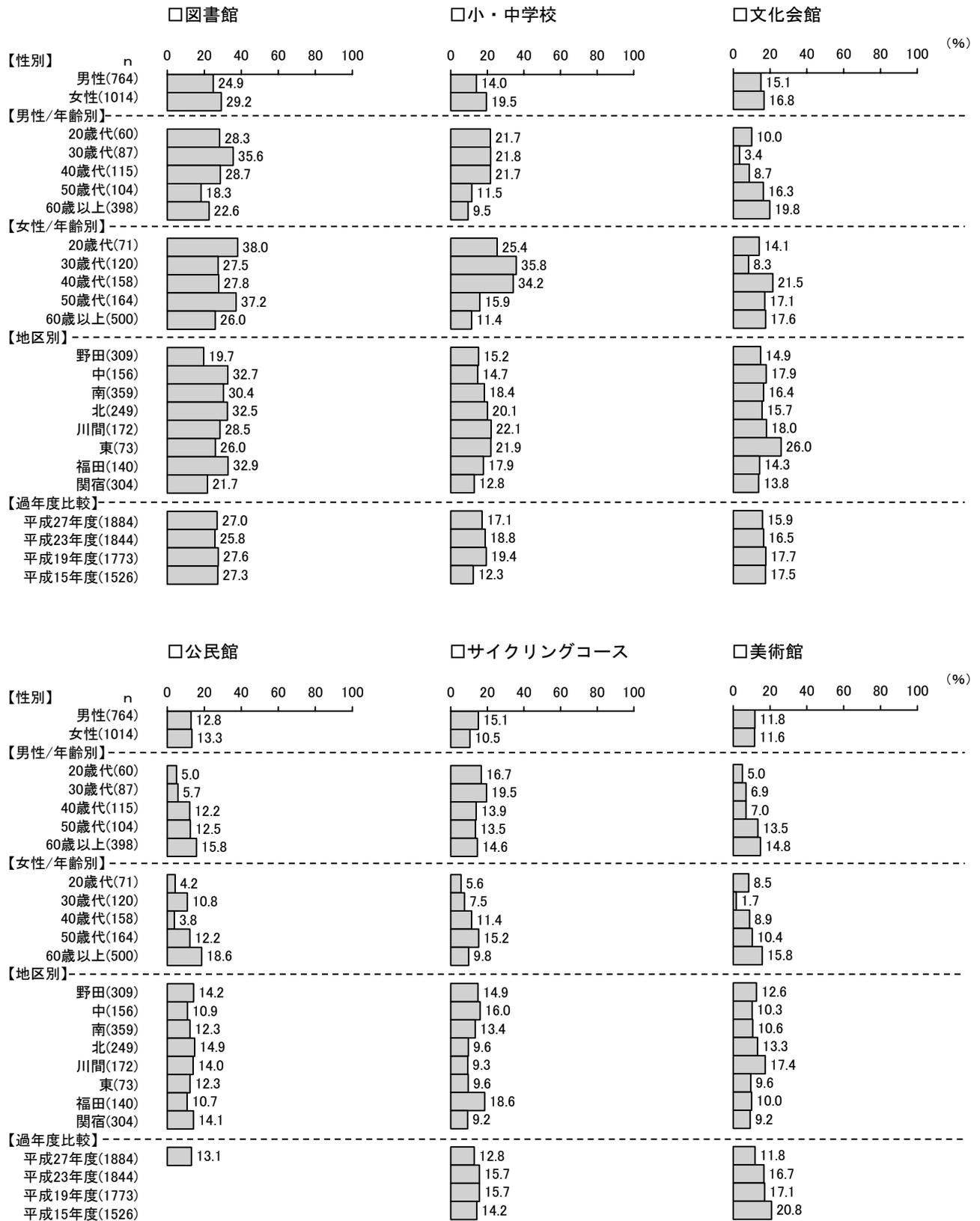
◎この設問では、選択肢にないものについては自由記入としたが、要望としてあげられたもののうち、「保健・医療・福祉施設」に分類されるものは以下のようにになっている。（回答数が2以上あったもの）

○保健・医療・福祉施設

施設名	件数
高齢者向け健康増進施設	6
市立病院	3
保健センター・保健所	2
介護施設・デイサービス	2

上位6項目の属性別

②教育・文化・スポーツ施設



※「公民館」は平成27年度から

②教育・文化・スポーツ施設

〈性別〉

「図書館」は女性（29.2%）が男性（24.9%）を4.3ポイント、「小・中学校」も女性（19.5%）が男性（14.0%）を5.5ポイント上回っている。逆に、「サイクリングコース」では男性（15.1%）が女性（10.5%）を4.6ポイント上回っている。

〈年齢別〉

「図書館」は男性では30歳代（35.6%）、女性では20歳代（38.0%）、50歳代（37.2%）で比較的高くなっている。「小・中学校」は男性では20歳代から40歳代までが2割を超えて比較的高く、女性では30歳代と40歳代が3割台半ばと特に高くなっている。「文化会館」は男性では30歳代以上で年代が上がるほど割合は高くなる傾向がみられる。

〈地区別〉

「図書館」は福田地区（32.9%）、「小・中学校」は川間地区（22.1%）、「文化会館」は東地区（26.0%）で最も高くなっている。

〈過年度比較〉

前回調査（平成23年度）と比較すると、「美術館」は4.9ポイント減少している。

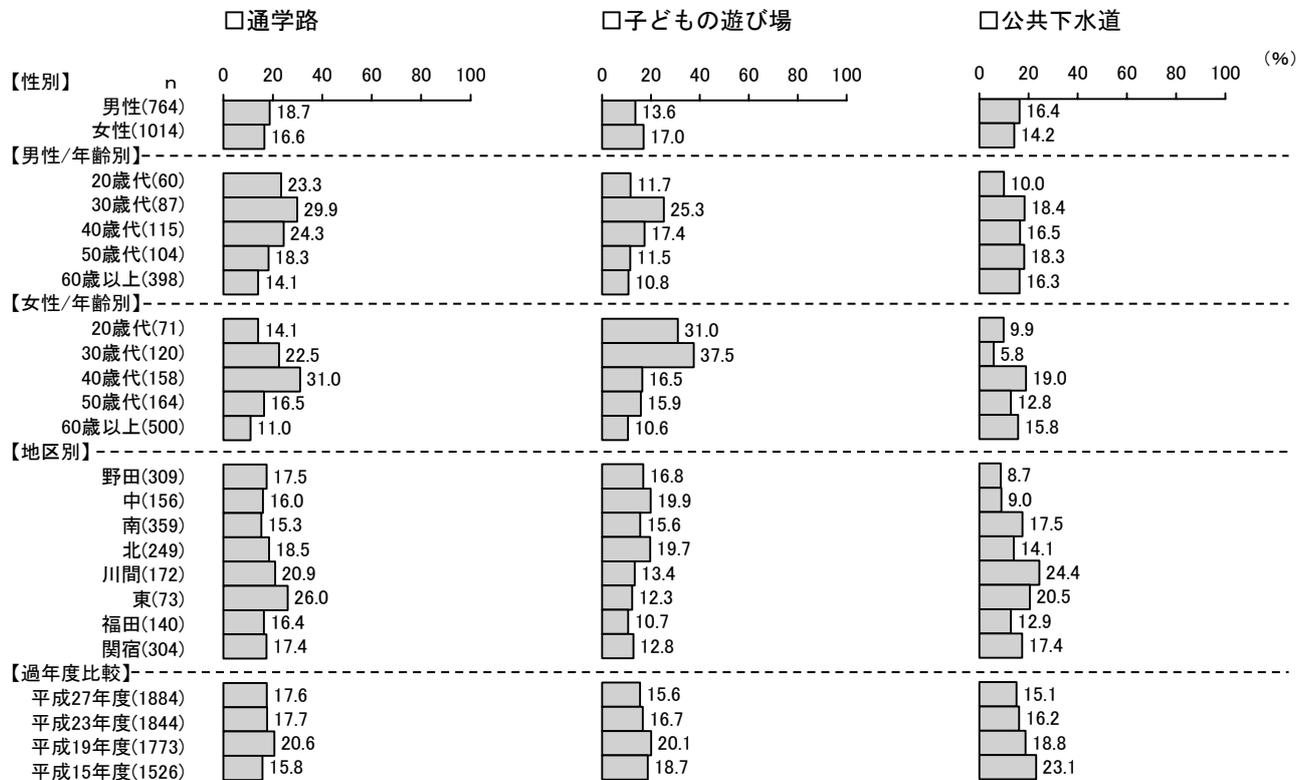
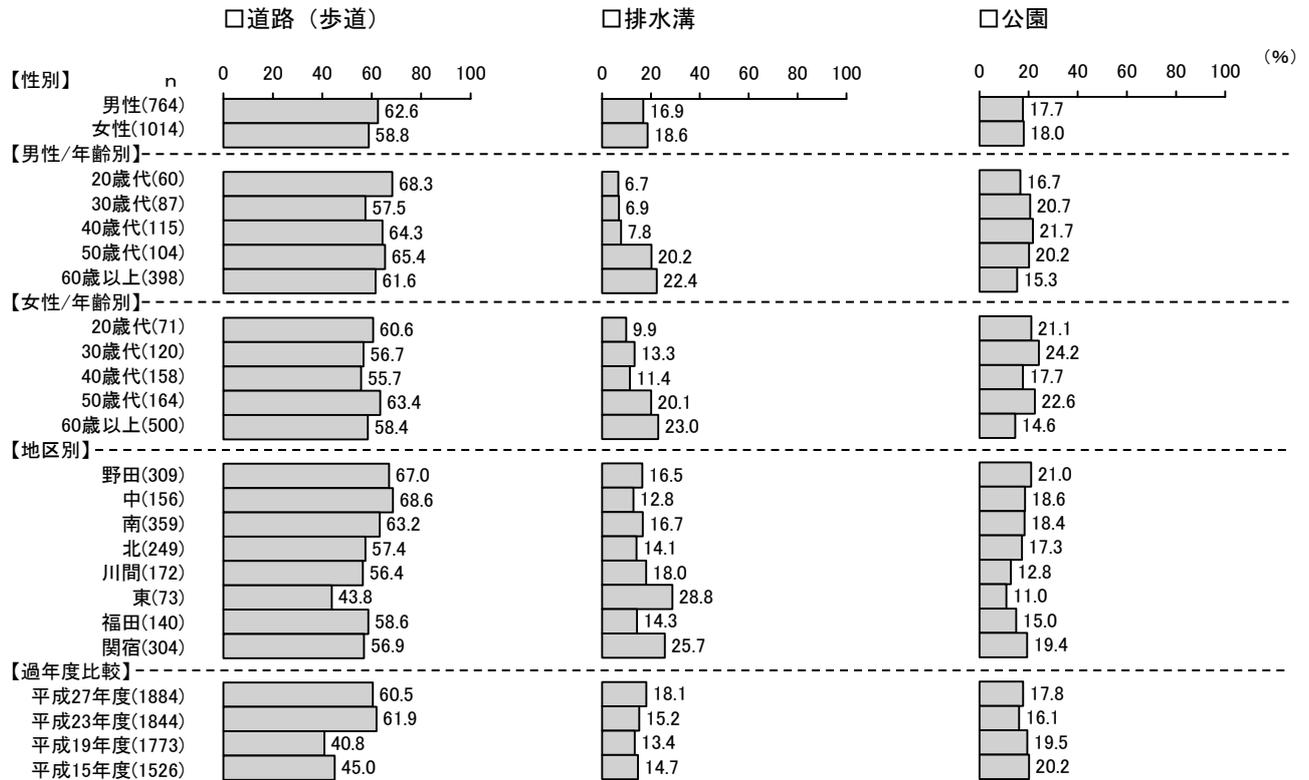
◎この設問では、選択肢にないものについては自由記入としたが、要望としてあげられたもののうち、「教育・文化・スポーツ施設」に分類されるものは以下のようにになっている。（回答数が2以上あったもの）

○教育・文化・スポーツ施設

施設名	件数
温水プール	19
スポーツジム（スポーツセンター）	19
グラウンドゴルフ場	8
ウォーキング・ランニングコース	4
コンサートホール・音楽施設	3
サイクリングコース	3
野球場	3
カルチャーセンター	2
イベント会場	2

上位6項目の属性別

③生活環境施設



③生活環境施設

〈性別〉

「道路（歩道）」は男性（62.6%）が女性（58.8%）を3.8ポイント、「子どもの遊び場」は女性（17.0%）が男性（13.6%）を3.4ポイント上回っている。

〈年齢別〉

「道路（歩道）」は男性では20歳代（68.3%）、女性では50歳代（63.4%）で最も高くなっている。「排水溝」は男女ともにおおむね年代が上がるほど割合は高くなる傾向がみられる。「通学路」は男性では30歳代（29.9%）、女性では40歳代（31.0%）、「子どもの遊び場」は男女ともに30歳代（男性：25.3、女性：37.5%）で最も高いなど、年代別の特徴がみられる。

〈地区別〉

「道路（歩道）」は野田地区（67.0%）、中地区（68.6%）、南地区（63.2%）で比較的高くなっている一方、東地区では4割台半ばと特に低くなっている。「排水溝」は東地区（28.8%）、関宿地区（25.7%）で特に高くなっている。

〈過年度比較〉

前回調査（平成23年度）と比較すると、どの項目でもほとんど変化はみられない。

◎この設問では、選択肢にないものについては自由記入としたが、要望としてあげられたもののうち、「生活環境施設」に分類されるものは以下のようにになっている。（回答数が2以上あったもの）

○生活環境施設

施設名	件数
駅の整備	31
バスの整備	22
ごみ処理施設	16
自転車専用道路	15
鉄道の整備	14
街灯・外灯	14
商業施設	13
ショッピングセンター（スーパーマーケット）	12
駐輪場	8
交番	6
信号	5
公衆トイレ	5
学童保育所	5
橋	5
ペットの遊び場	5
河川敷の整備・利用	4

施設名	件数
相談窓口・相談室	4
交流施設・憩いの場	4
高齢者のコミュニティセンター	4
避難場所	4
レストラン・飲食店	3
雨水貯留施設	3
道の駅	3
防災無線	3
街路樹等の整備	3
銀行・ATM	2
釣り場	2
映画館	2
市営墓地	2
郵便局	2
遊園地	2
ゴルフ場	2

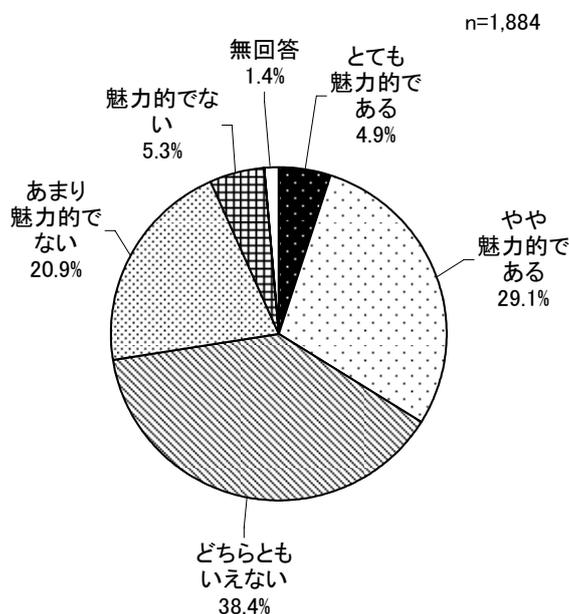
2. 野田市の景観

(1) 野田市の景観の魅力

◇『魅力的である（計）』が3割台半ば

【問6】あなたは、野田市の景観（自然や歴史、文化、街並みなどを見たり、感じたりすること）を魅力的だと感じますか。次の中から1つだけ選んでください。

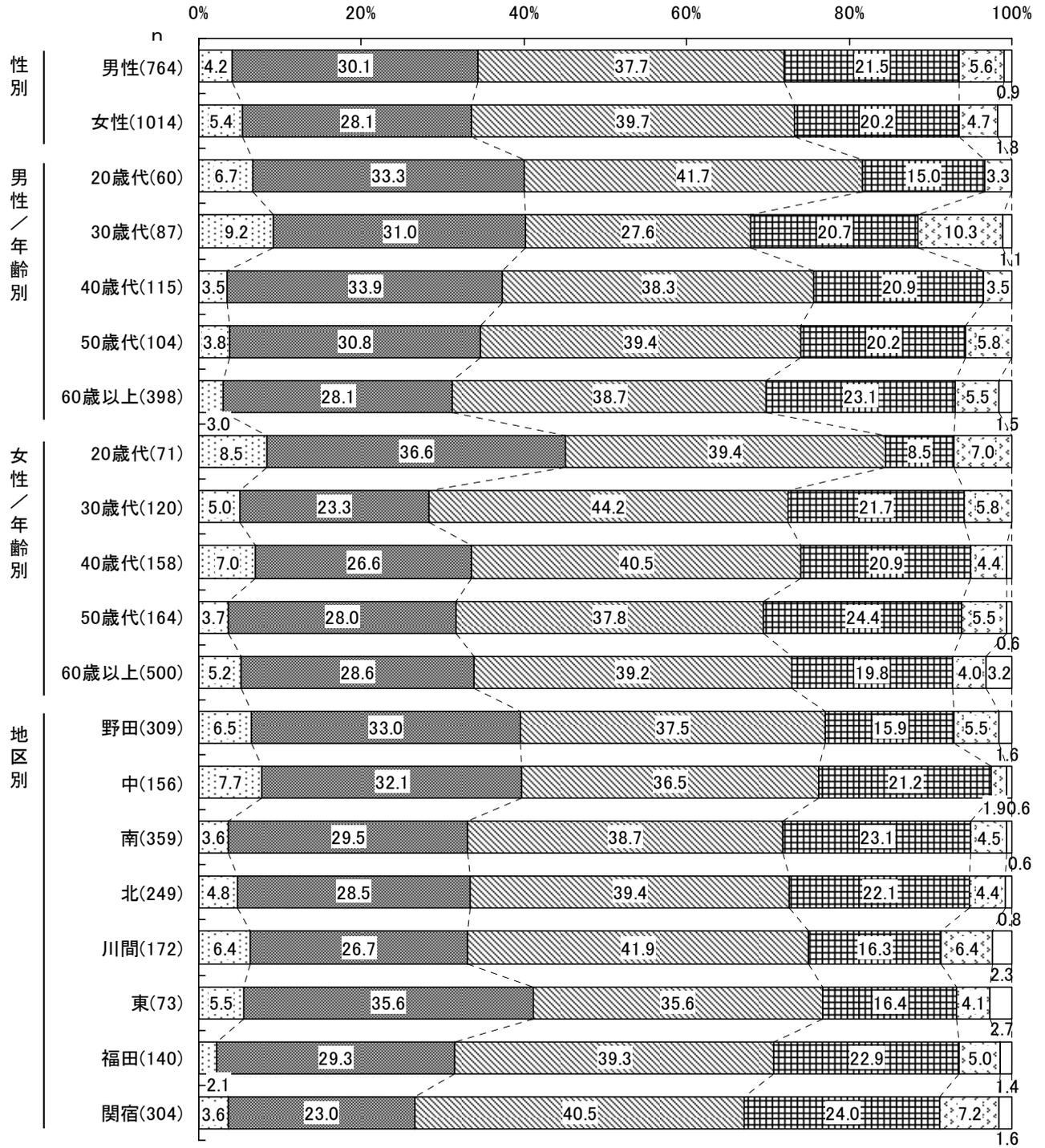
		(n=1,884)	
1. とても魅力的である	4.9%	4. あまり魅力的でない	20.9
2. やや魅力的である	29.1	5. 魅力的でない	5.3
3. どちらともいえない	38.4	(無回答)	1.4

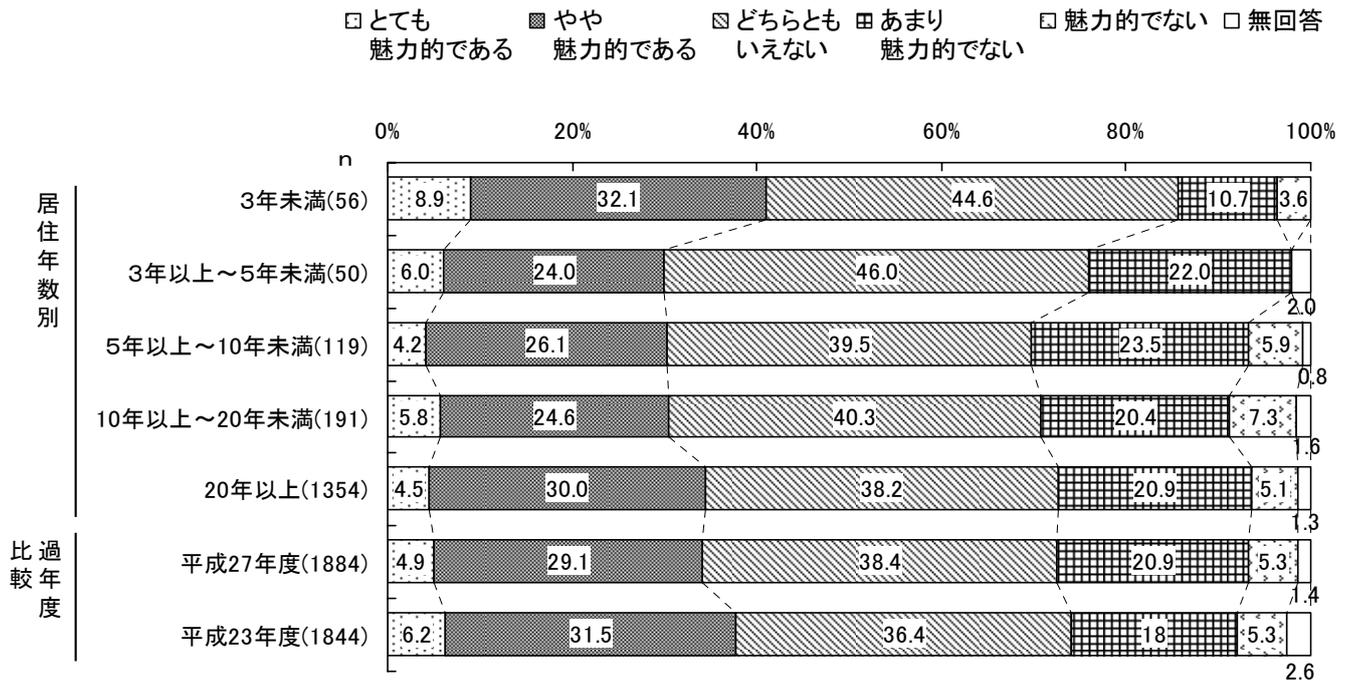


野田市の景観については、「とても魅力的である」(4.9%)と「やや魅力的である」(29.1%)を合わせた『魅力的である(計)』(34.0%)は3割台半ばとなっている。

一方、「あまり魅力的でない」(20.9%)と「魅力的でない」(5.3%)を合わせた『魅力的でない(計)』(26.2%)は2割台半ばとなっている。

□ とても魅力的である ■ やや魅力的である ▨ どちらともいえない ▩ あまり魅力的でない □ 魅力的でない □ 無回答





〈性別〉

『魅力的である（計）』は男性（34.3%）と女性（33.5%）では大きな差はみられない。

〈年齢別〉

『魅力的である（計）』は男性では20歳代と30歳代で4割と高く、40歳代以上は年代が上がるほど低くなる傾向がみられる。女性では20歳代で45.1%と最も高くなっている。

〈地区別〉

『魅力的である（計）』は東地区、中地区、野田地区で4割前後と高くなっている。

〈居住年数別〉

『魅力的である（計）』は3年未満で4割を超えて最も高くなっている。

〈過年度比較〉

前回調査（平成23年度）と比較すると、『魅力的である（計）』は3.7ポイント減少している。

(2) 野田市の景観に対する満足度

◇『満足(計)』は「自然の景観や眺望(里山や桜など)」で6割

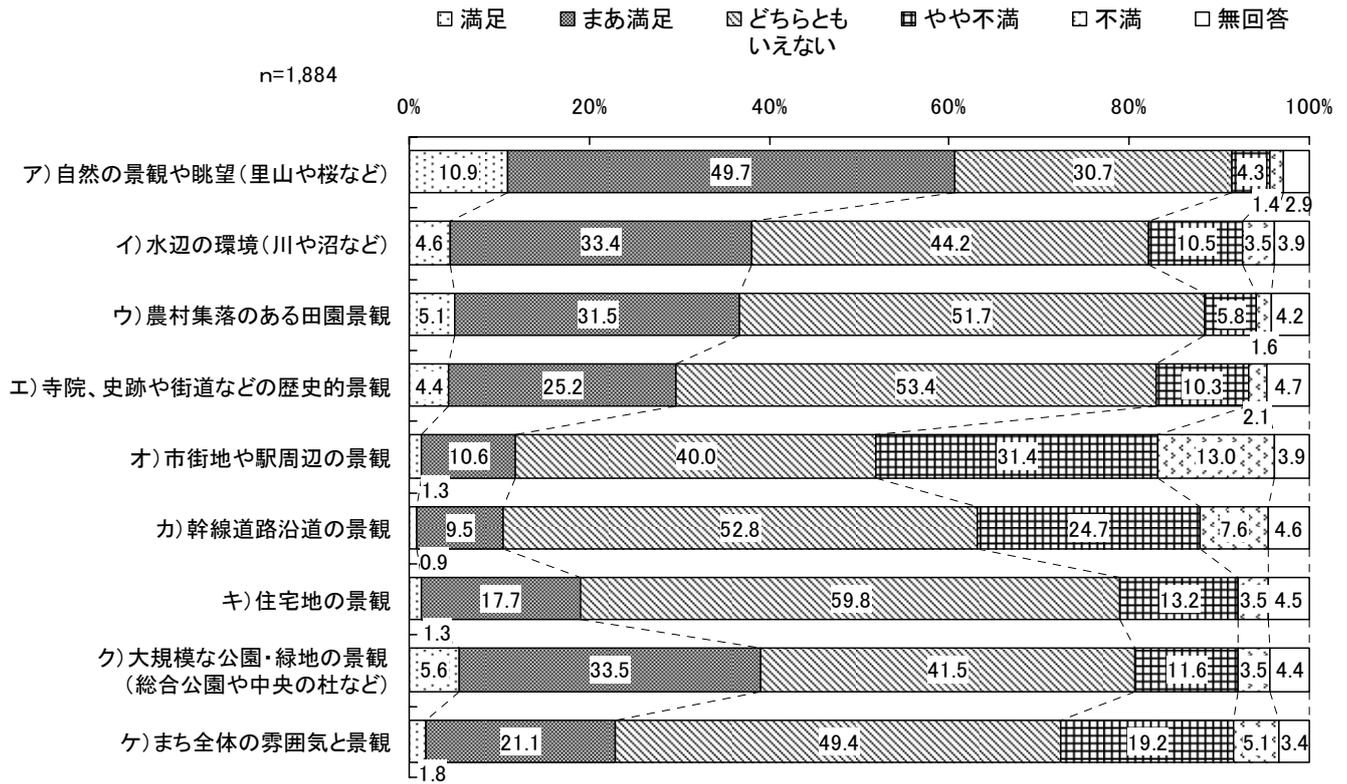
【問7】あなたの生活環境についておうかがいします。下記の項目(ア～ケ)について、あてはまるものをそれぞれ1～5の中から1つだけ選んでください。

	(n=1,884) (%)					
	満足	まあ満足	どちらとも いえない	やや不満	不満	無回答
ア) 自然の景観や眺望(里山や桜など)	10.9	49.7	30.7	4.3	1.4	2.9
イ) 水辺の環境(川や沼など)	4.6	33.4	44.2	10.5	3.5	3.9
ウ) 農村集落のある田園景観	5.1	31.5	51.7	5.8	1.6	4.2
エ) 寺院、史跡や街道などの歴史的景観	4.4	25.2	53.4	10.3	2.1	4.7
オ) 市街地や駅周辺の景観	1.3	10.6	40.0	31.4	13.0	3.9
カ) 幹線道路沿道の景観	0.9	9.5	52.8	24.7	7.6	4.6
キ) 住宅地の景観	1.3	17.7	59.8	13.2	3.5	4.5
ク) 大規模な公園・緑地の景観(総合公園や中央の杜など)	5.6	33.5	41.5	11.6	3.5	4.4
ケ) まち全体の雰囲気と景観	1.8	21.1	49.4	19.2	5.1	3.4

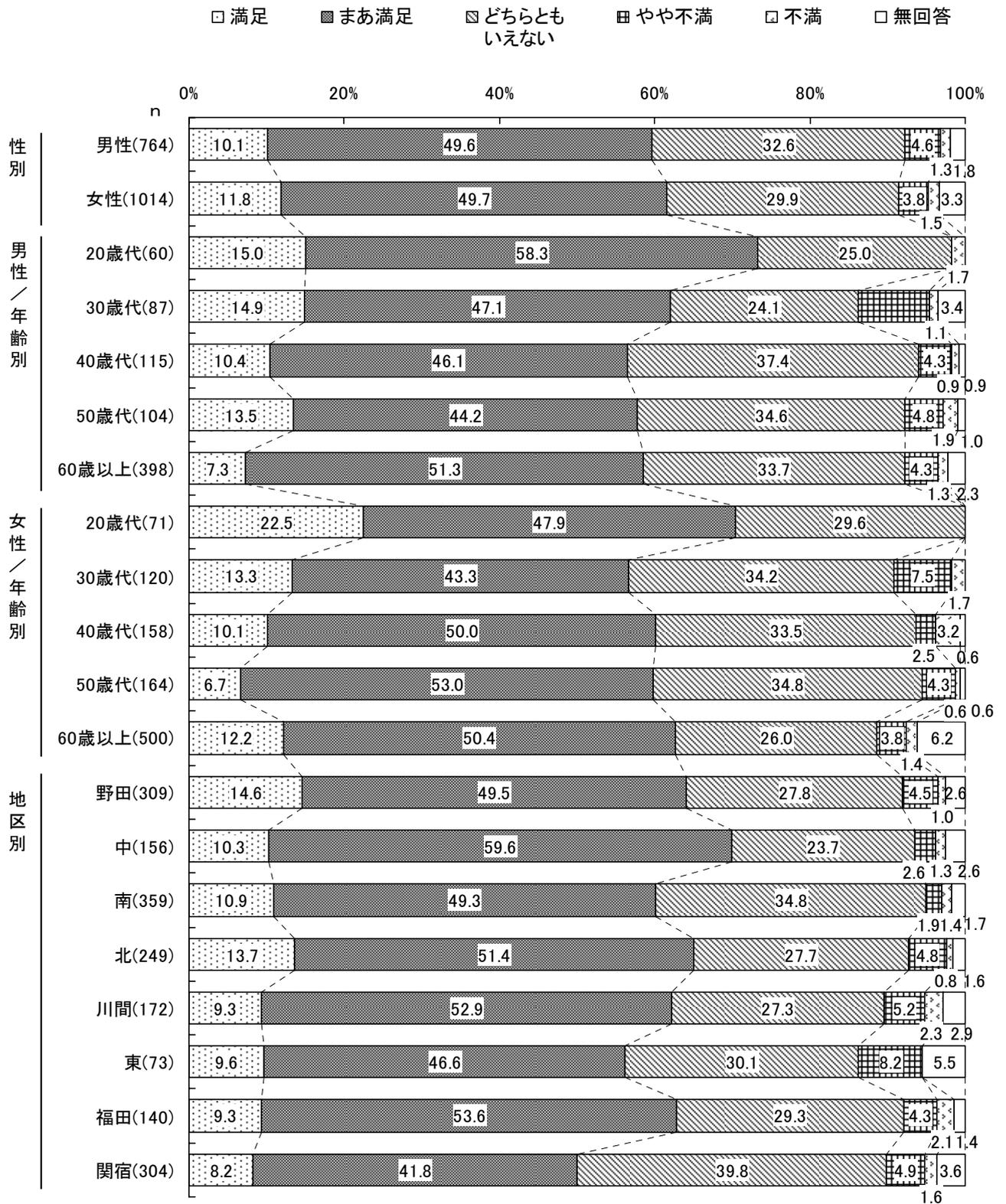
野田市の景観9項目について、5段階での評価をみると、「満足」の割合が最も高かったのは、「自然の景観や眺望(里山や桜など)」で10.9%となっている。次いで「大規模な公園・緑地の景観(総合公園や中央の杜など)」(5.6%)、「農村集落のある田園景観」(5.1%)、「水辺の環境(川や沼など)」(4.6%)などの順となっている。

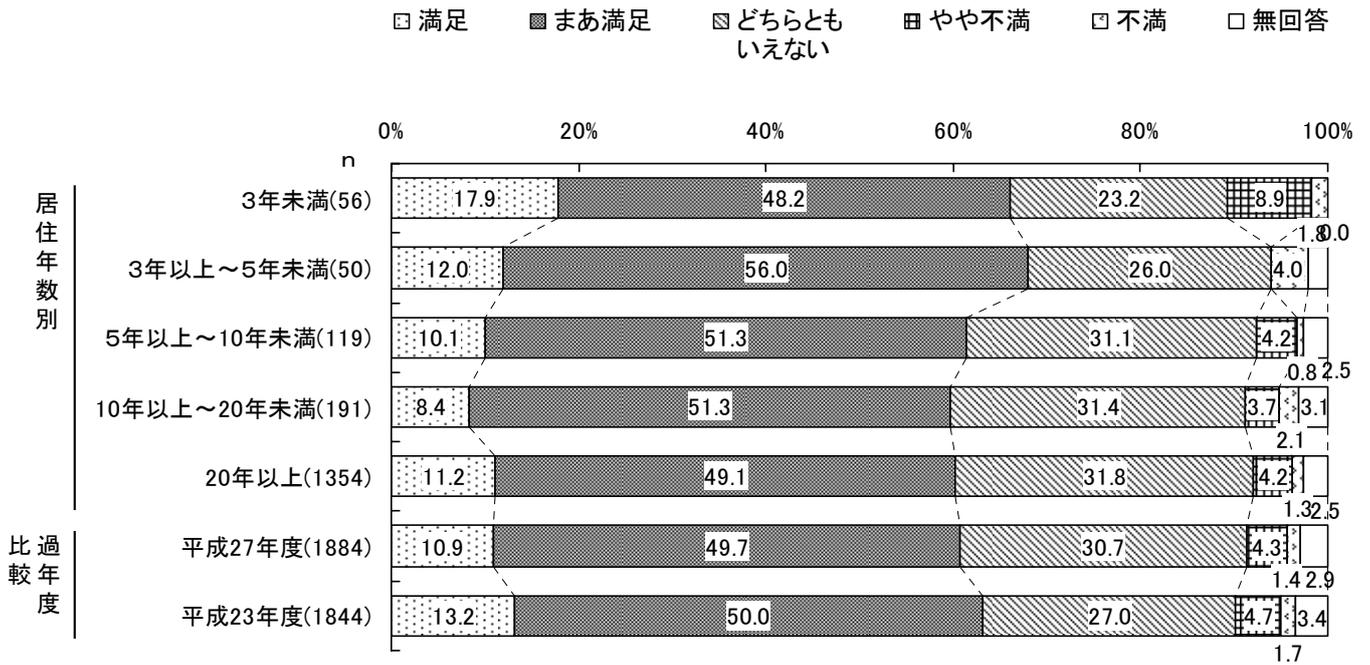
また、「満足」と「まあ満足」を合わせた『満足(計)』は、自然の景観や眺望(里山や桜など)」で60.6%と最も高くなっている。次いで「大規模な公園・緑地の景観(総合公園や中央の杜など)」(39.1%)、「水辺の環境(川や沼など)」(38.0%)、「農村集落のある田園景観」(36.6%)などの順となっている。

一方、「不満」の割合が最も高かったのは「市街地や駅周辺の景観」で13.0%となっている。次いで「幹線道路沿道の景観」(7.6%)、「まち全体の雰囲気と景観」(5.1%)などの順となっている。



ア) 自然の景観や眺望（里山や桜など）





〈性別〉

『満足（計）』は男性（59.7%）と女性（61.5%）では大きな差はみられない。

〈年齢別〉

『満足（計）』は男女ともに20歳代（男性：73.3%、女性：70.4%）で最も高くなっている。

〈地区別〉

『満足（計）』は中地区で69.9%と最も高くなっている。

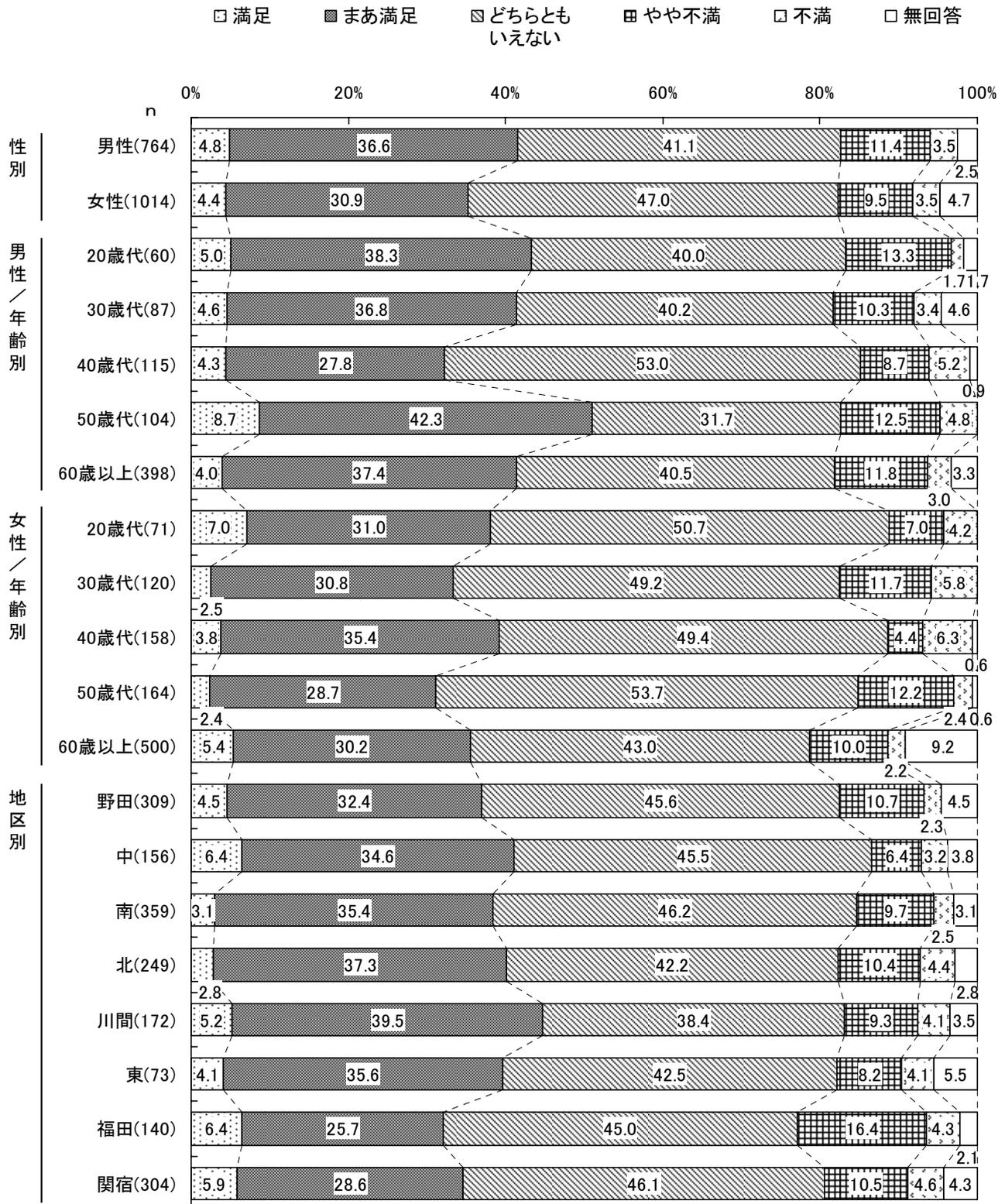
〈居住年数別〉

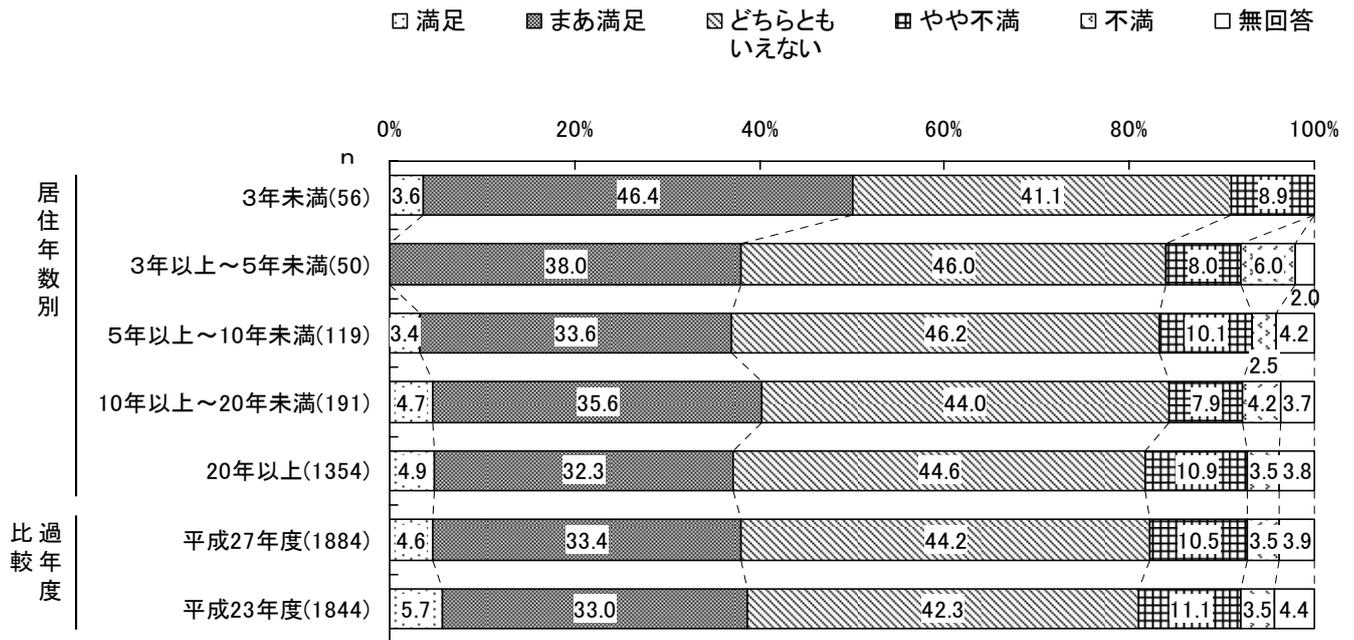
『満足（計）』は3年以上～5年未満で68.0%と最も高くなっている。

〈過年度比較〉

前回調査（平成23年度）と比較すると、『満足（計）』はほとんど変化はみられない。

イ) 水辺の環境（川や沼など）





〈性別〉

『満足（計）』は男性（41.4%）が女性（35.3%）を6.1ポイント上回っている。

〈年齢別〉

『満足（計）』は男性では50歳代（51.0%）、女性では40歳代（39.2%）で最も高くなっている。

〈地区別〉

『満足（計）』は川間地区で44.7%と最も高くなっている。

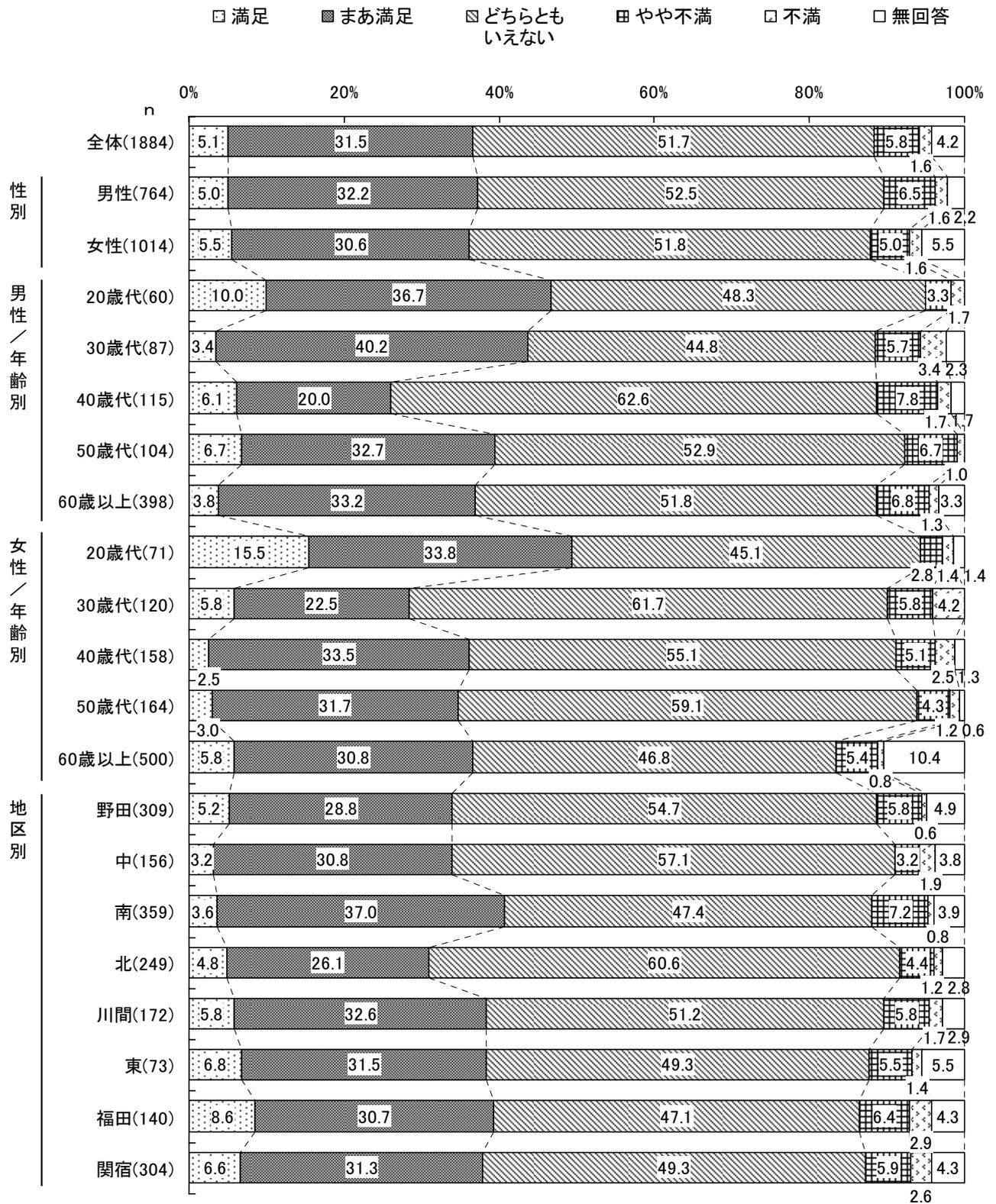
〈居住年数別〉

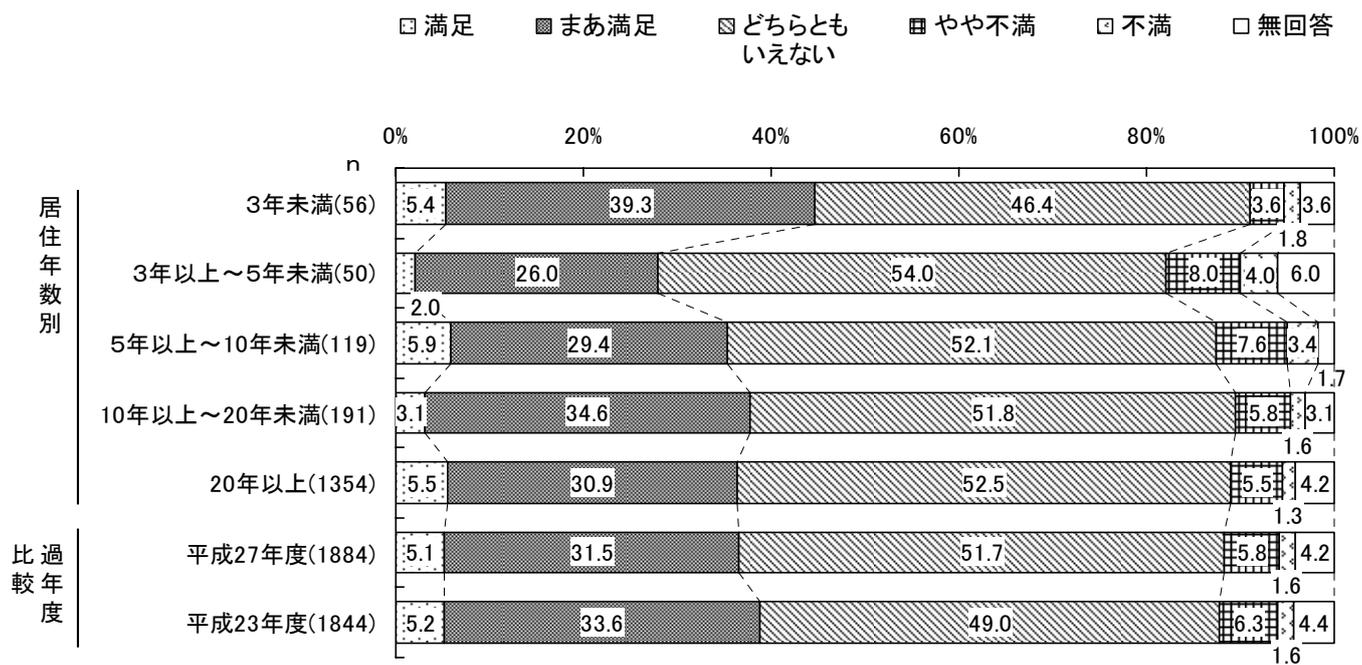
『満足（計）』は3年未満で50.0%と最も高くなっている。

〈過年度比較〉

前回調査（平成23年度）と比較すると、『満足（計）』はほとんど変化はみられない。

ウ) 農村集落のある田園景観





〈性別〉

『満足（計）』は男性（37.2%）と女性（36.1%）では大きな差はみられない。

〈年齢別〉

『満足（計）』は男女ともに20歳代（男性：46.7%、女性：49.3%）で最も高くなっている。

〈地区別〉

『満足（計）』は南地区で40.6%と最も高くなっている。

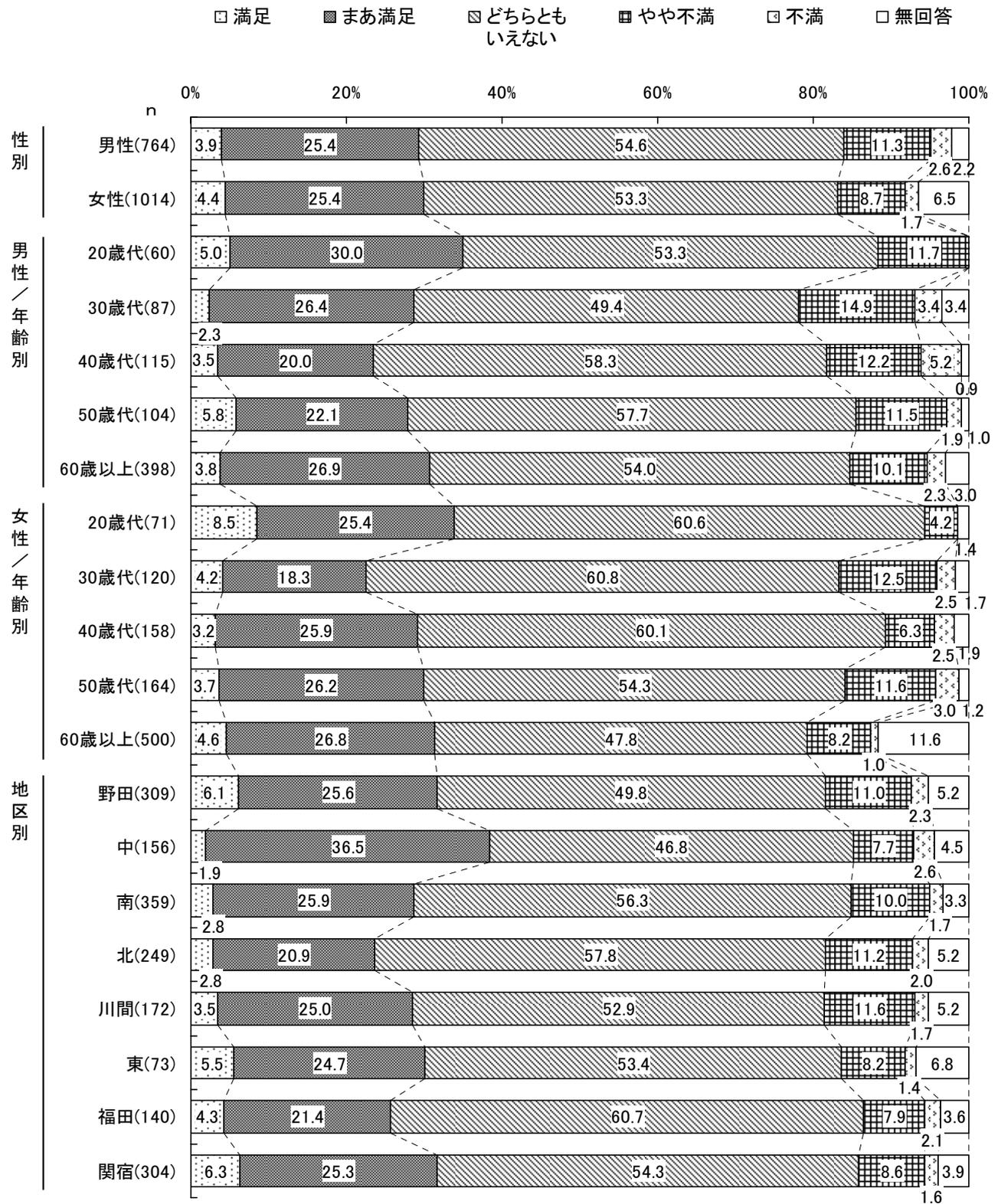
〈居住年数別〉

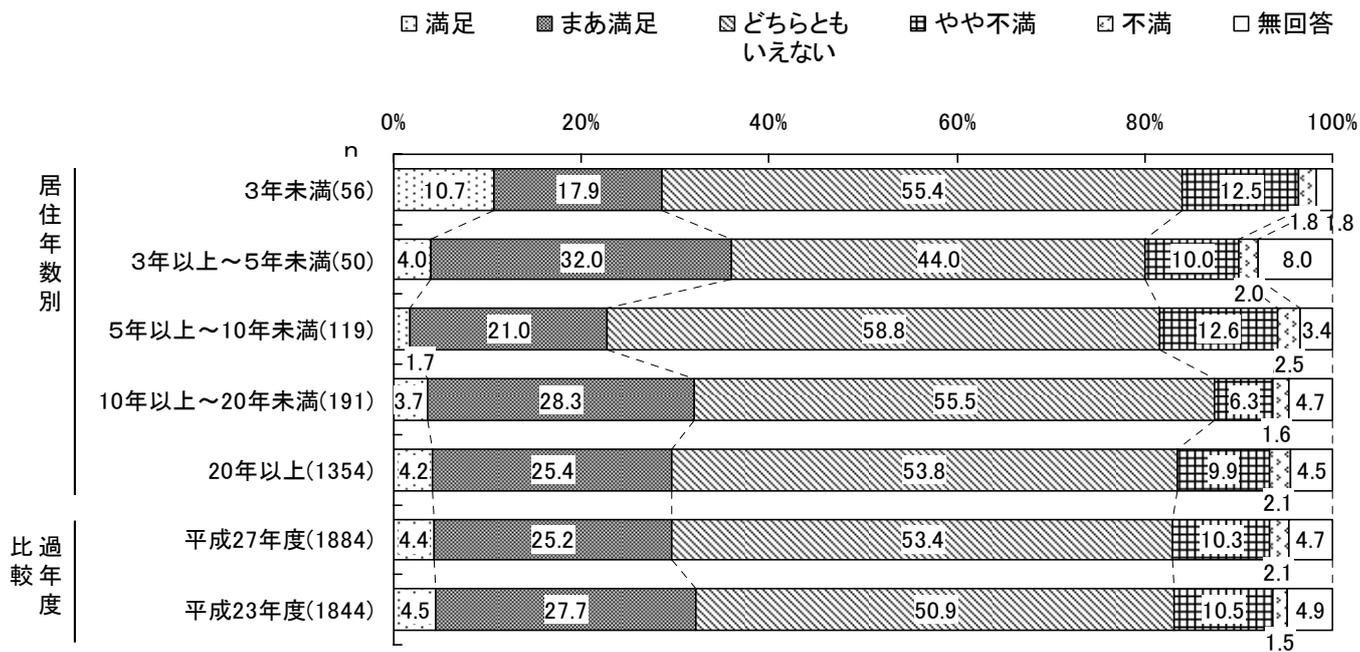
『満足（計）』は3年未満で44.7%と最も高くなっている。

〈過年度比較〉

前回調査（平成23年度）と比較すると、『満足（計）』はほとんど変化はみられない。

工) 寺院、史跡や街道などの歴史的景観





〈性別〉

『満足（計）』は男性（29.3%）と女性（29.8%）では大きな差はみられない。

〈年齢別〉

『満足（計）』は男女ともに20歳代（男性：35.0%、女性：33.9%）で最も高くなっている。

〈地区別〉

『満足（計）』は中地区で38.4%と最も高くなっている。

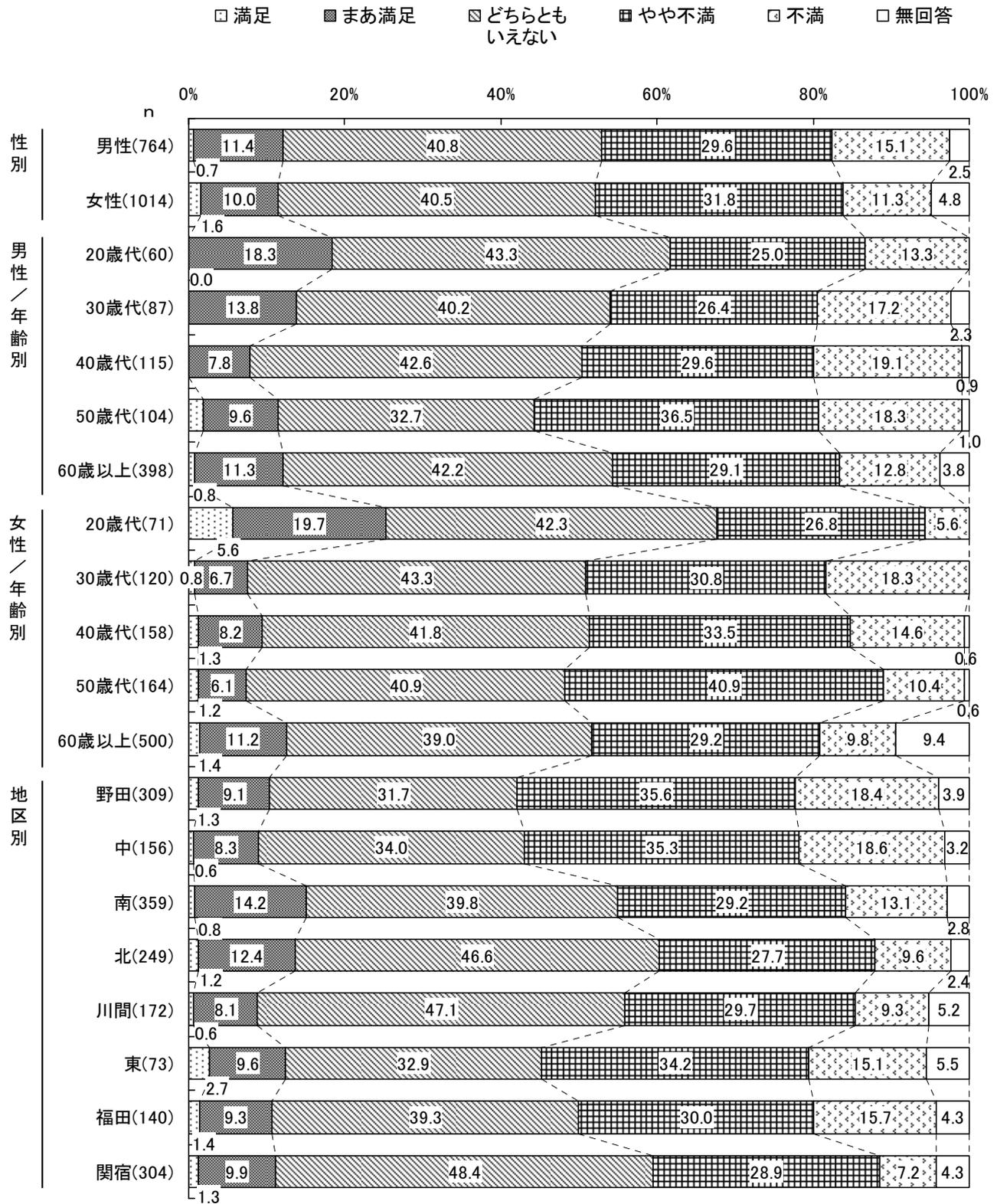
〈居住年数別〉

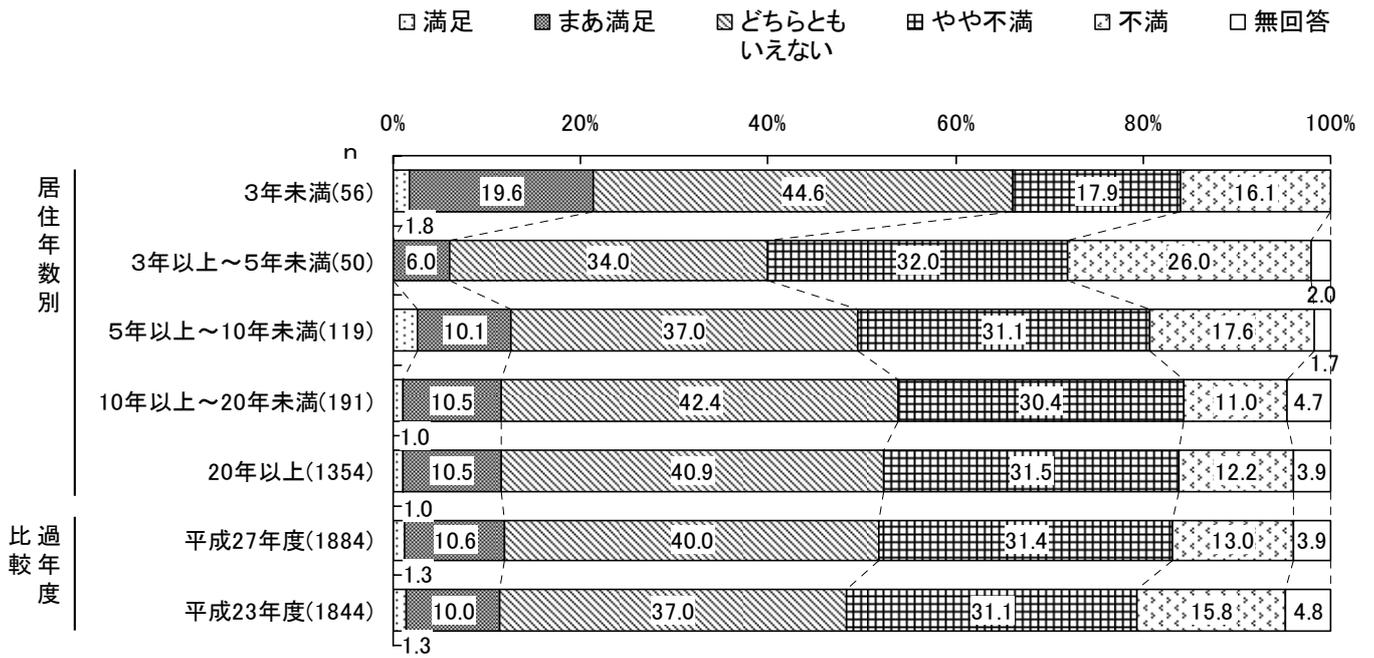
『満足（計）』は3年以上～5年未満で36.0%と最も高くなっている。

〈過年度比較〉

前回調査（平成23年度）と比較すると、『満足（計）』はほとんど変化はみられない。

才) 市街地や駅周辺の景観





〈性別〉

『満足（計）』は男性（12.1%）と女性（11.6%）では大きな差はみられない。

〈年齢別〉

『満足（計）』は男女ともに20歳代（男性：18.3%、女性：25.3%）で最も高くなっている。

〈地区別〉

『満足（計）』は南地区で15.0%と最も高くなっている。

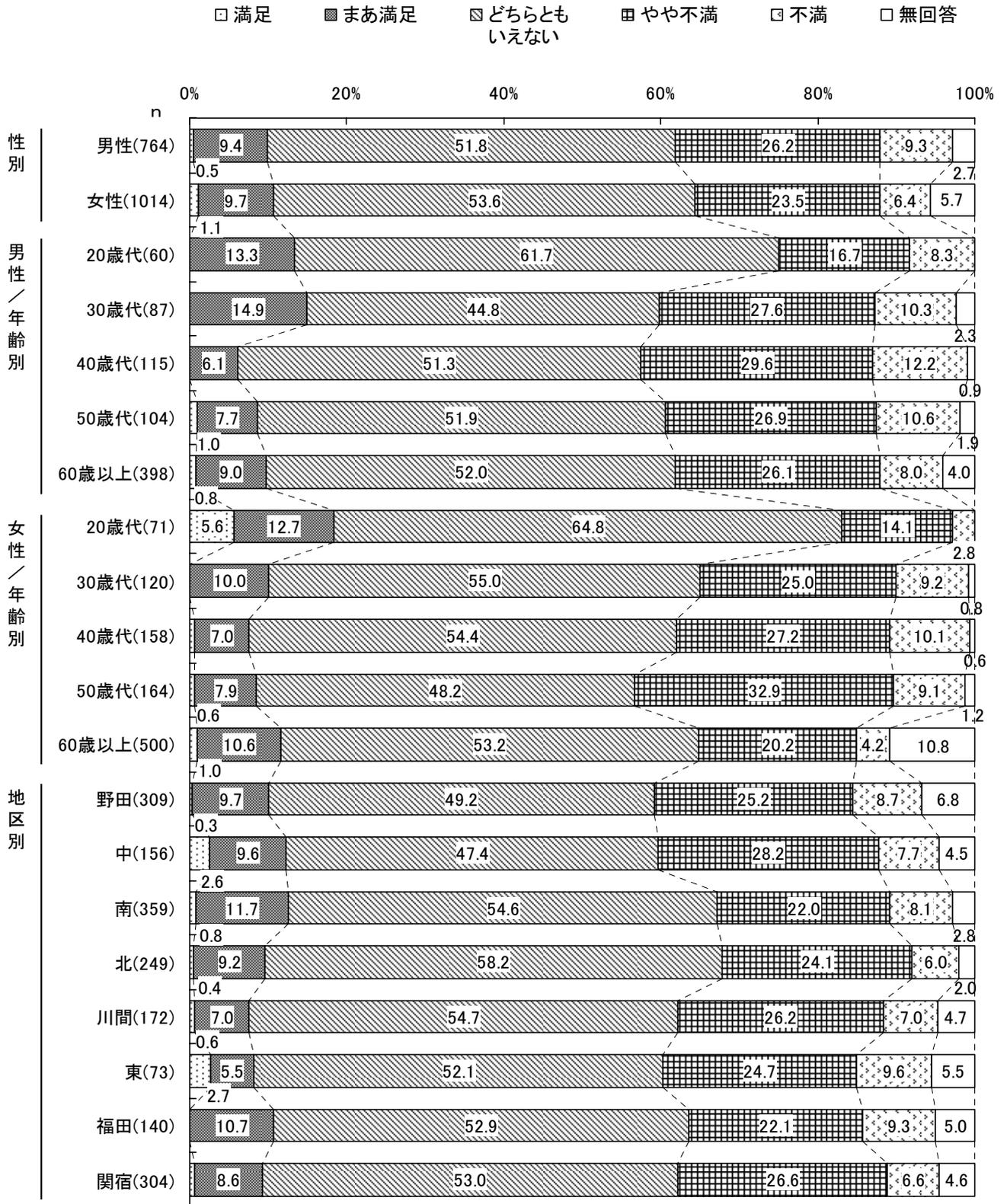
〈居住年数別〉

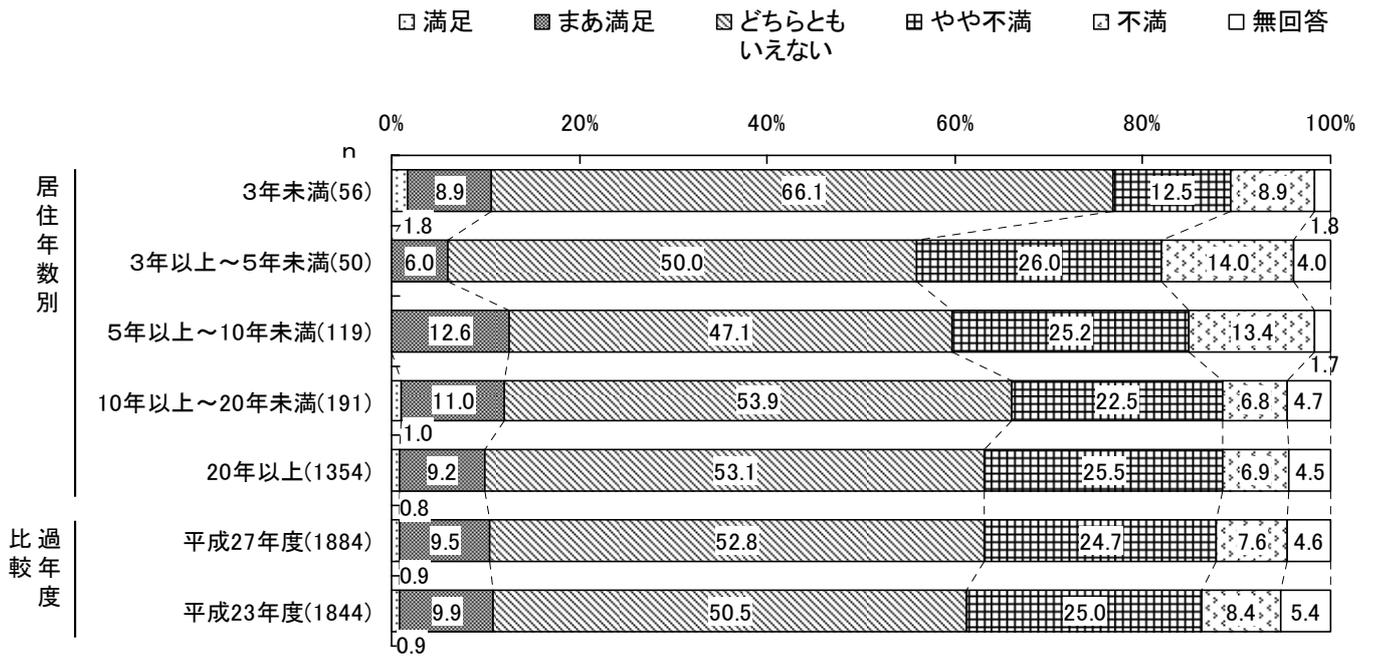
『満足（計）』は3年未満で21.4%と最も高くなっている。

〈過年度比較〉

前回調査（平成23年度）と比較すると、『満足（計）』はほとんど変化はみられない。

カ) 幹線道路沿道の景観





〈性別〉

『満足（計）』は男性（9.9%）と女性（10.8%）では大きな差はみられない。

〈年齢別〉

『満足（計）』は男性では30歳代（14.9%）、女性では20歳代（18.3%）で最も高くなっている。

〈地区別〉

『満足（計）』は南地区で12.5%と最も高くなっている。

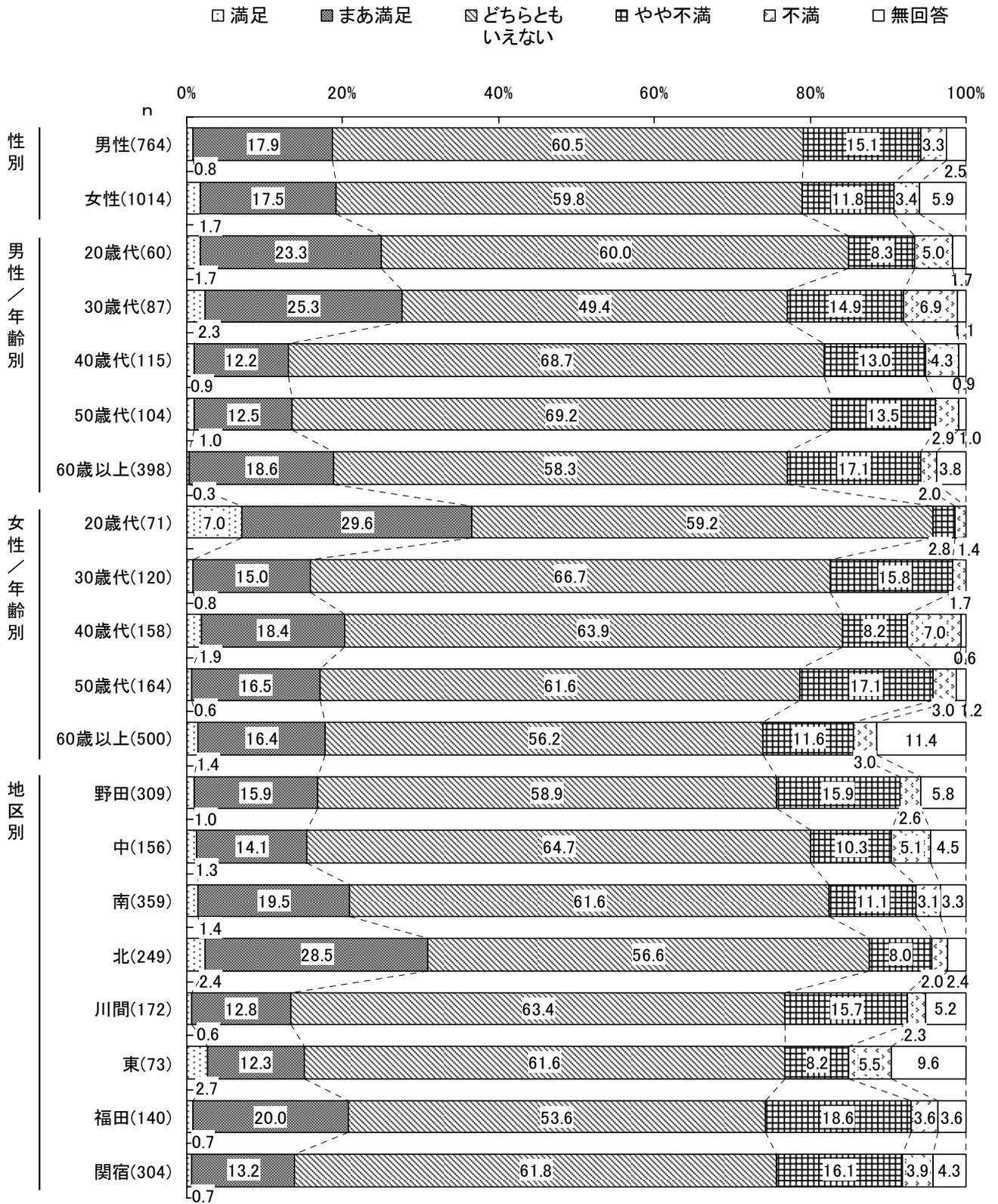
〈居住年数別〉

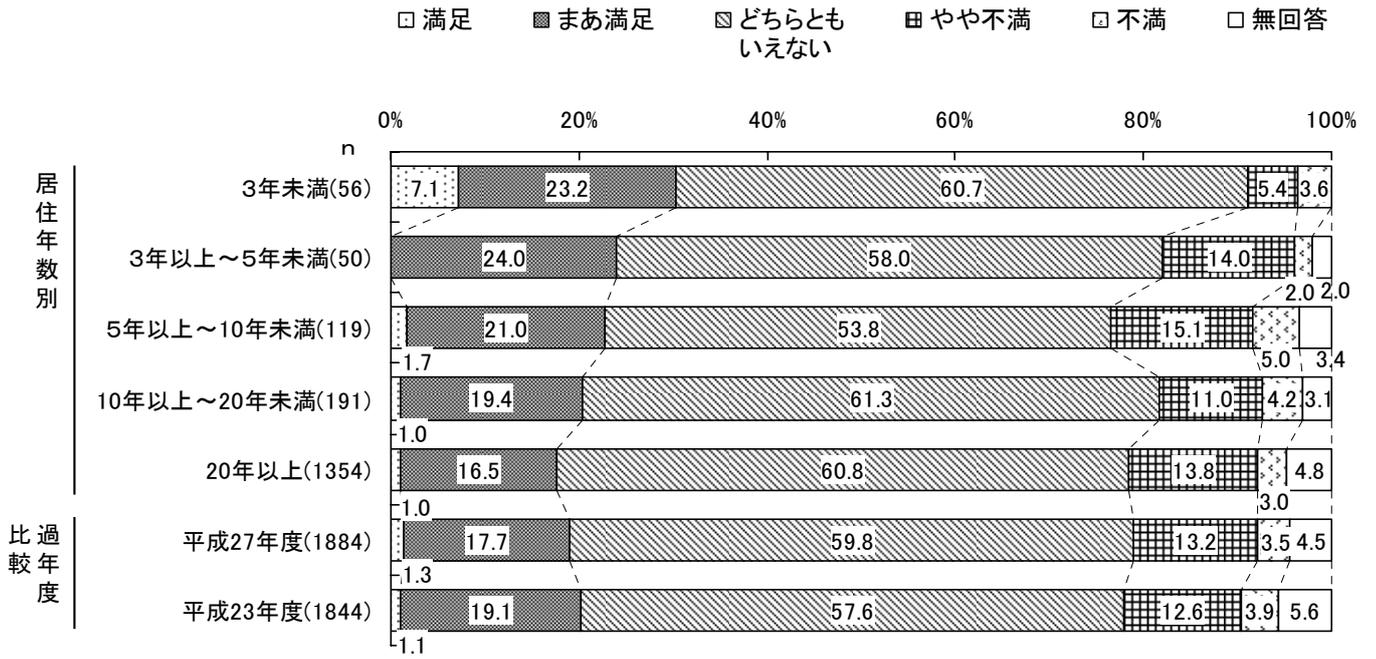
『満足（計）』は5年以上～10年未満で12.6%と最も高くなっている。

〈過年度比較〉

前回調査（平成23年度）と比較すると、『満足（計）』はほとんど変化はみられない。

キ) 住宅地の景観





〈性別〉

『満足（計）』は男性（18.7%）と女性（19.2%）では大きな差はみられない。

〈年齢別〉

『満足（計）』は男性では30歳代（27.6%）、女性では20歳代（36.6%）で最も高くなっている。

〈地区別〉

『満足（計）』は北地区で30.9%と最も高くなっている。

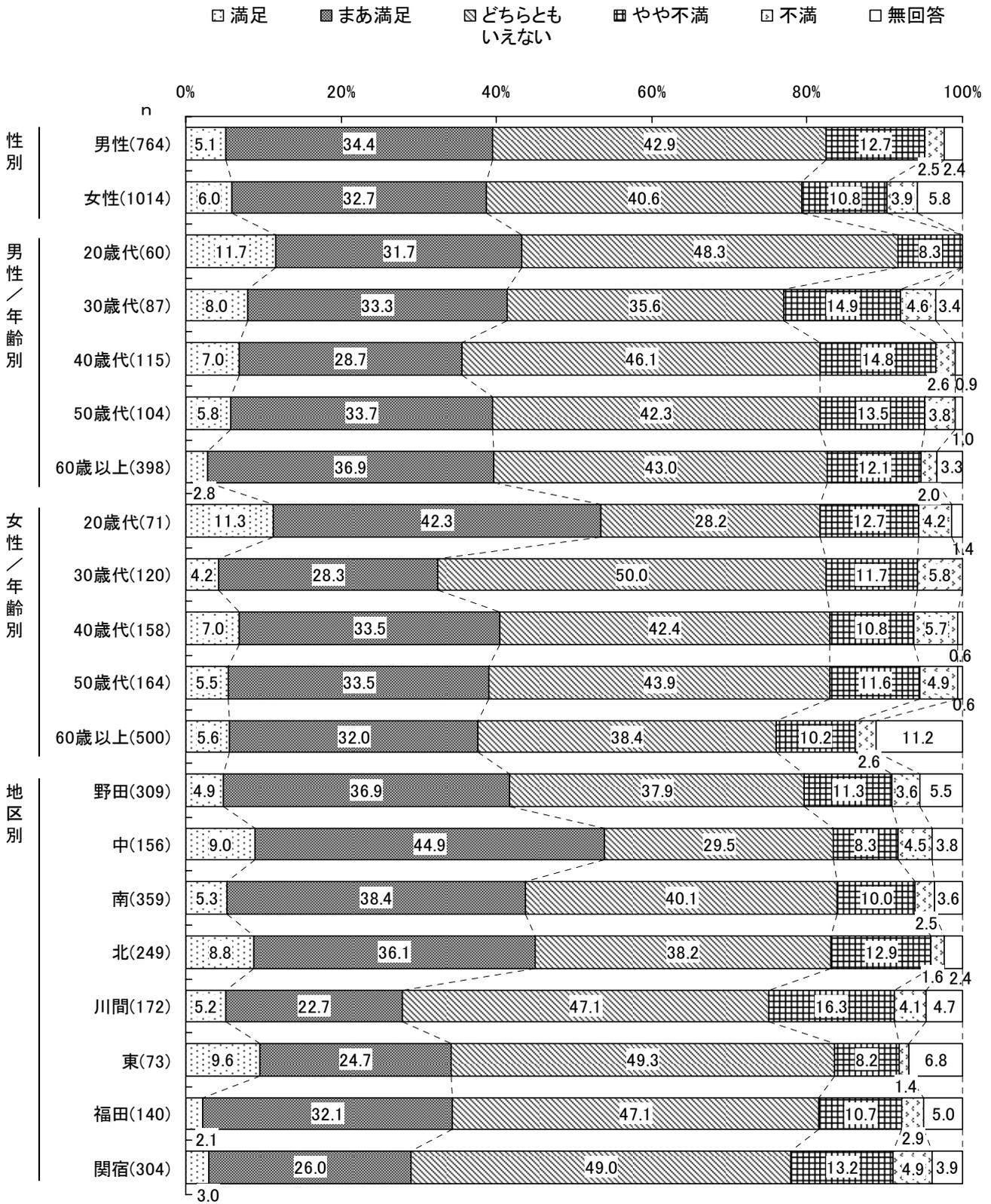
〈居住年数別〉

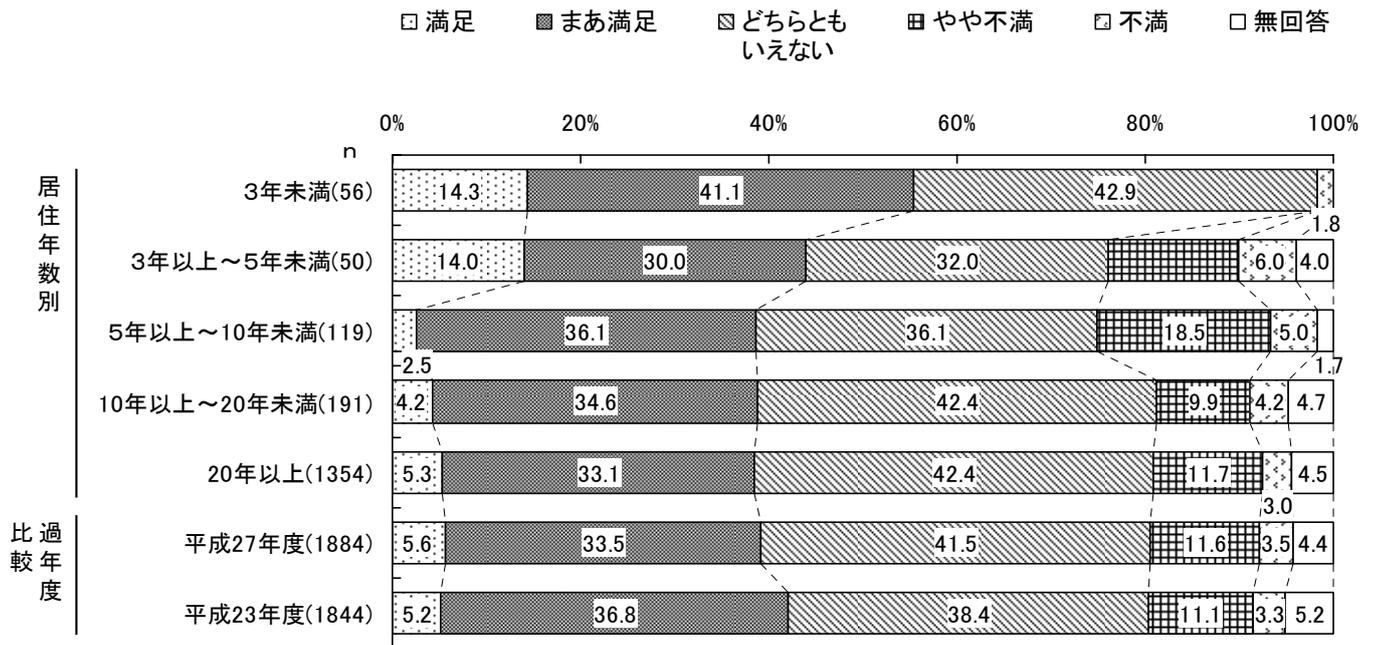
『満足（計）』は3年未満で30.3%と最も高くなっている。

〈過年度比較〉

前回調査（平成23年度）と比較すると、『満足（計）』はほとんど変化はみられない。

ク) 大規模な公園・緑地の景観（総合公園や中央の杜など）





〈性別〉

『満足（計）』は男性（39.5%）と女性（38.7%）では大きな差はみられない。

〈年齢別〉

『満足（計）』は男女ともに20歳代（男性：43.4%、女性：53.6%）で最も高くなっている。

〈地区別〉

『満足（計）』は中地区で53.9%と最も高くなっている。

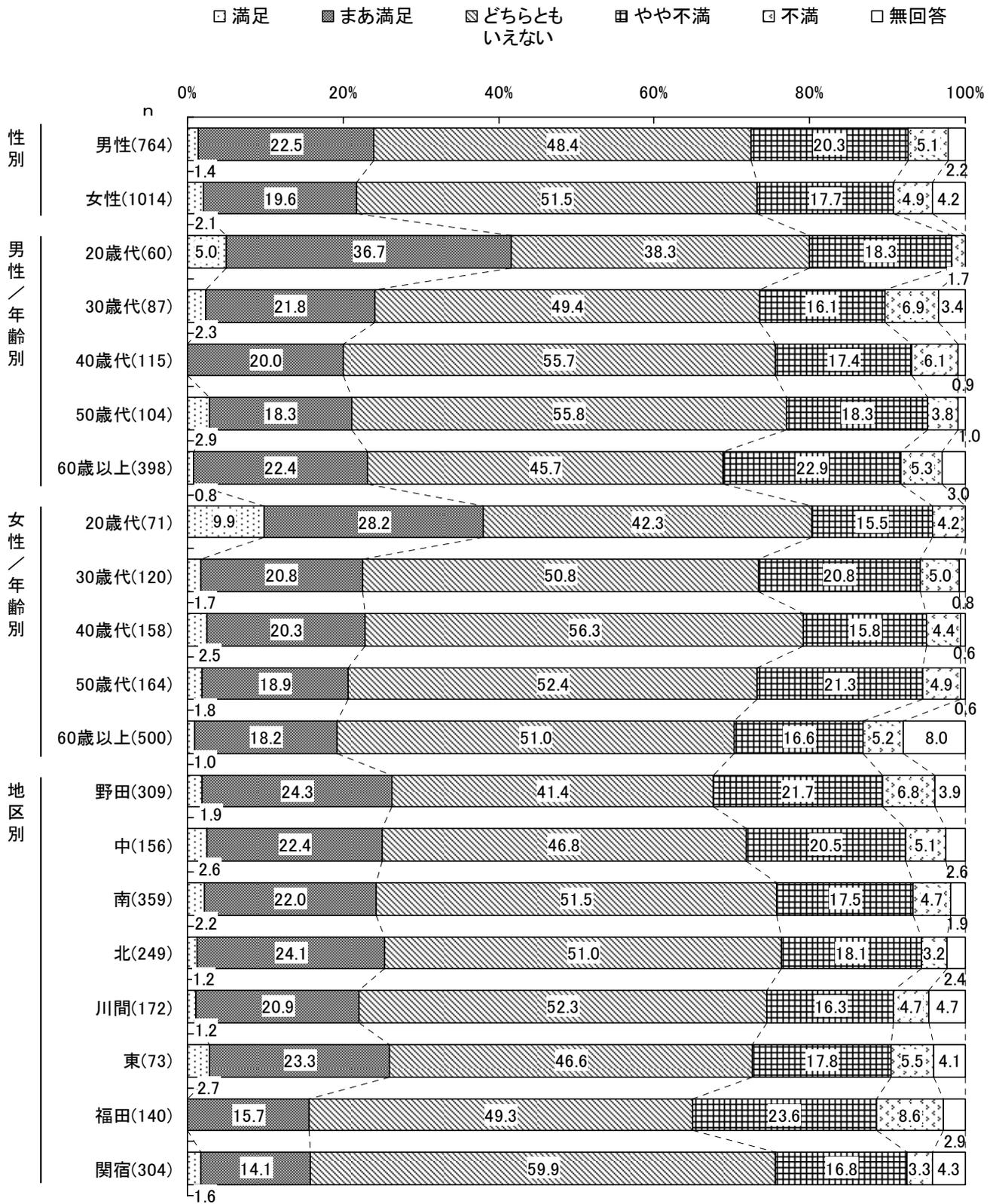
〈居住年数別〉

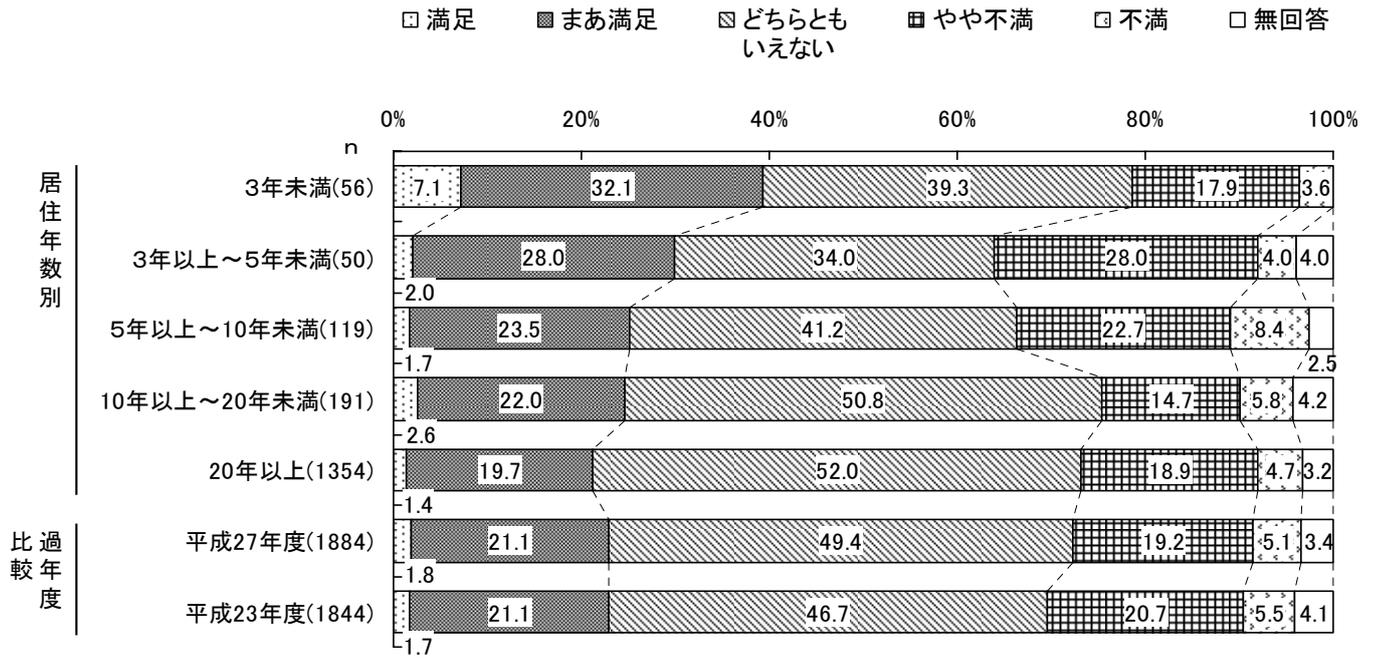
『満足（計）』は3年未満で55.4%と最も高くなっている。

〈過年度比較〉

前回調査（平成23年度）と比較すると、『満足（計）』はほとんど変化はみられない。

ケ) まち全体の雰囲気と景観





〈性別〉

『満足（計）』は男性（23.9%）と女性（21.7%）では大きな差はみられない。

〈年齢別〉

『満足（計）』は男女ともに20歳代（男性：41.7%、女性：38.1%）で最も高くなっている。

〈地区別〉

『満足（計）』は福田地区、関宿地区で1割台半ばと低くなっている。

〈居住年数別〉

『満足（計）』は3年未満で39.2%と最も高くなっている。

〈過年度比較〉

前回調査（平成23年度）と比較すると、『満足（計）』はほとんど変化はみられない。

3. 地域での社会活動

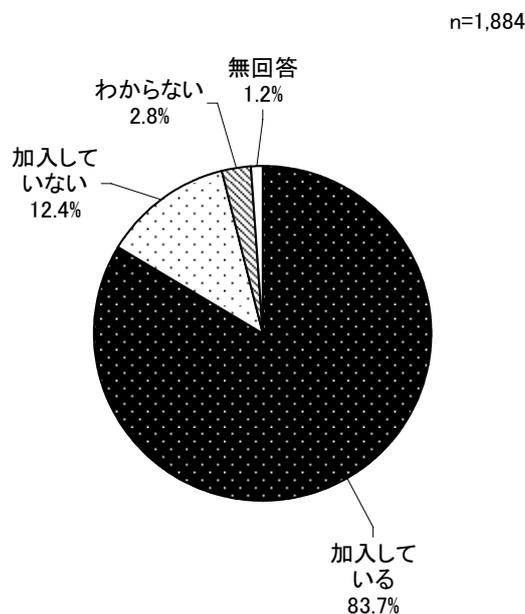
(1) 自治会・町内会への加入状況

◇「加入している」が8割を超える

【問8】あなたの家では、自治会や町内会に加入していますか。次の中から1つだけ選んでください。

(n=1,884)

1. 加入している	83.7%	3. わからない	2.8
2. 加入していない	12.4	(無回答)	1.2



自治会や町内会への加入状況は、「加入している」が83.7%に対し、「加入していない」は12.4%となっている。

〈地区別〉

「加入している」は福田地区で94.3%と最も高く、次いで中地区（89.1%）、野田地区（87.7%）、関宿地区（87.5%）などの順となっている。

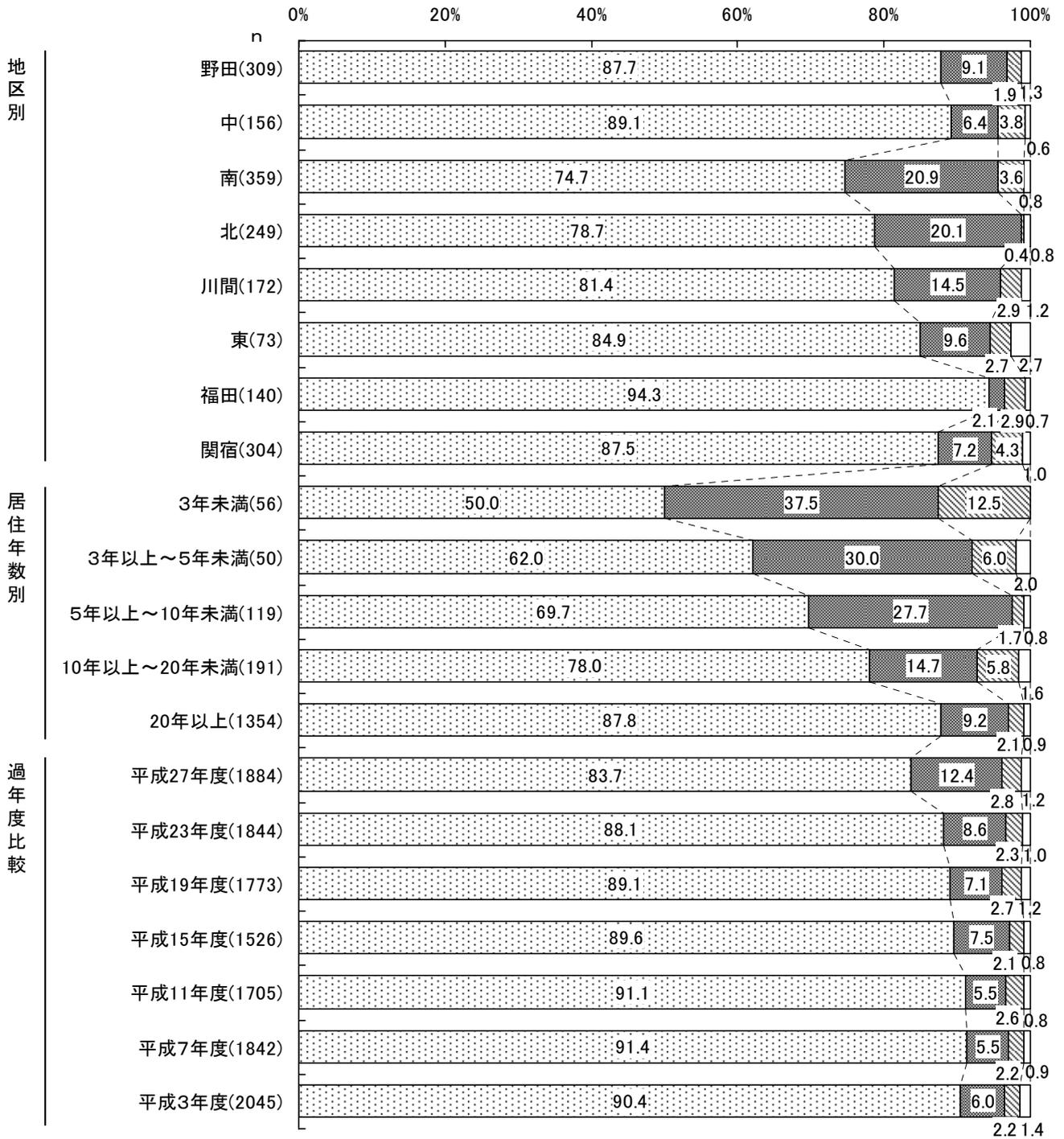
〈居住年数別〉

「加入している」は20年以上で87.8%と最も高くなっている。

〈過年度比較〉

前回調査（平成23年度）と比較すると、「加入している」は4.4ポイント減少している。

□ 加入している ■ 加入していない ▨ わからない □ 無回答



(1-1) 加入していない理由

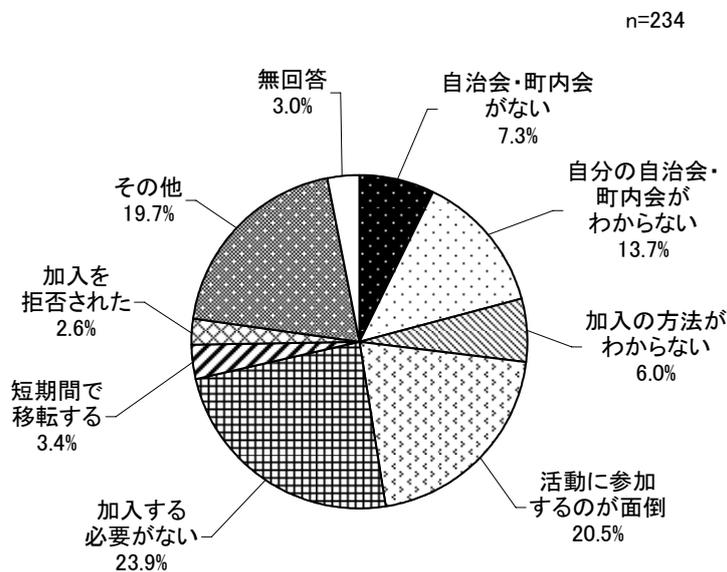
◇「加入する必要がない」が2割台半ば

〈問8で「2. 加入していない」とお答えの方におうかがいします。〉

【問8-1】それはどのような理由からですか。次の中から1つだけ選んでください。

(n=234)

1. 自治会・町内会がない	7.3%	5. 加入する必要がない	23.9
2. 自分の自治会・町内会がわからない	13.7	6. 短期間で移転する	3.4
3. 加入の方法がわからない	6.0	7. 加入を拒否された	2.6
4. 活動に参加するのが面倒	20.5	8. その他 (無回答)	19.7 3.0



自治会や町内会に加入していない理由としては、「加入する必要がない」が23.9%と最も高く、次いで「活動に参加するのが面倒」(20.5%)、「自分の自治会・町内会がわからない」(13.7%)、「自治会・町内会がない」(7.3%)などの順となっている。

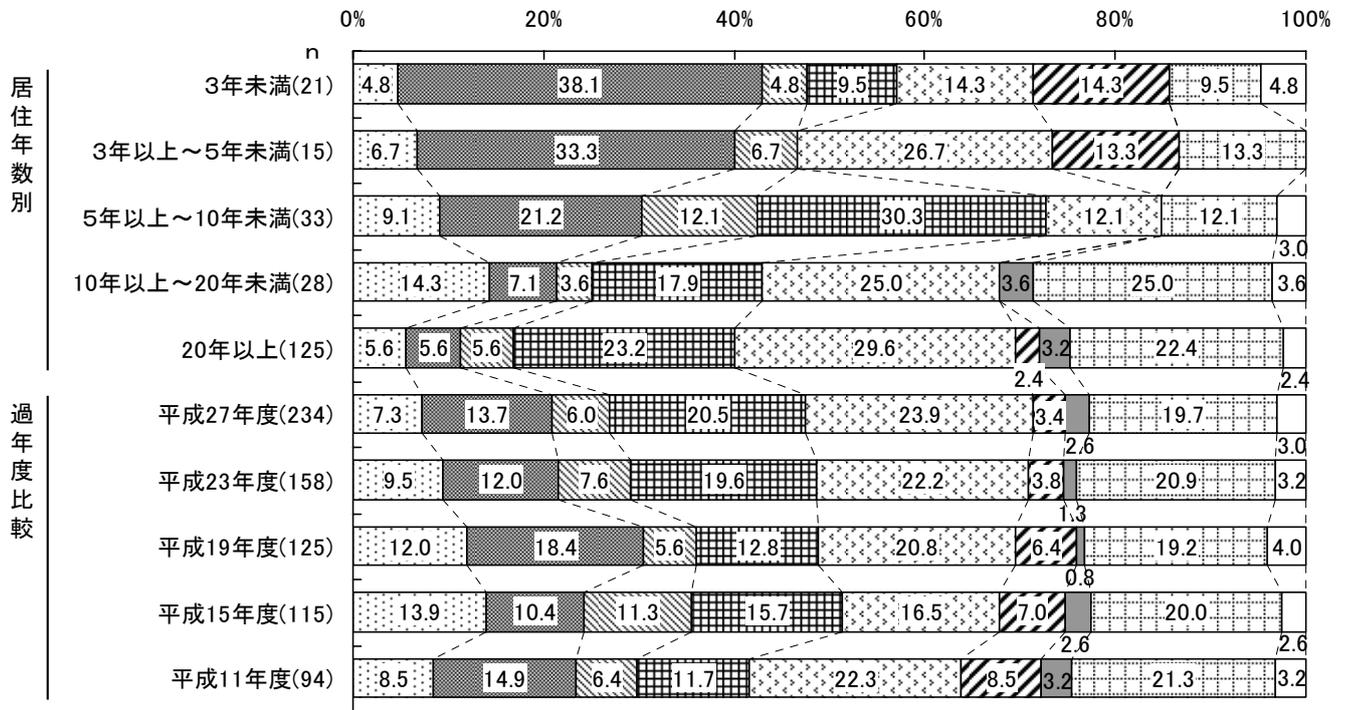
〈居住年数別〉

nの数が少ない層が多いため、結果は参考として掲載する。

〈過年度比較〉

前回調査(平成23年度)と比較すると、どの項目でもほとんど変化はみられない。

□ 自治会・町内会がない
 ■ 自分の自治会・町内会がわからない
 ▨ 加入の方法がわからない
 ▩ 活動に参加するのが面倒
 □ 加入する必要がある
 ▨ 短期間で加入を移転する
 ▩ 加入を拒否された
 ▨ その他
 □ 無回答



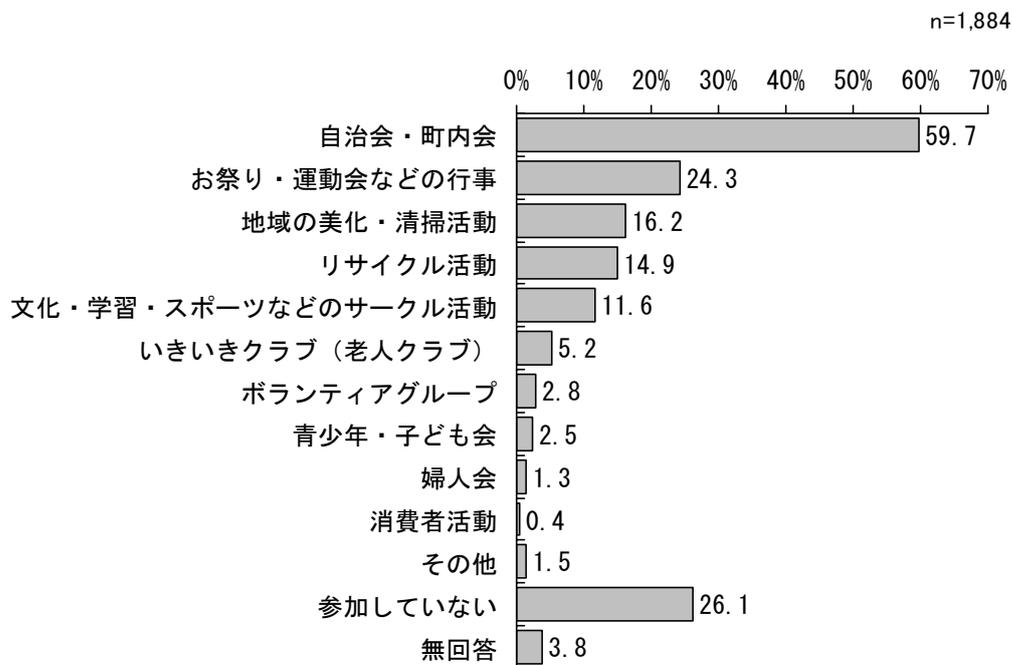
原則として、nの数が30未満のものについては、本文中で触れず、参考までに掲載するものとする。

(2) 団体・サークル活動への参加状況

◇「自治会・町内会」が約6割

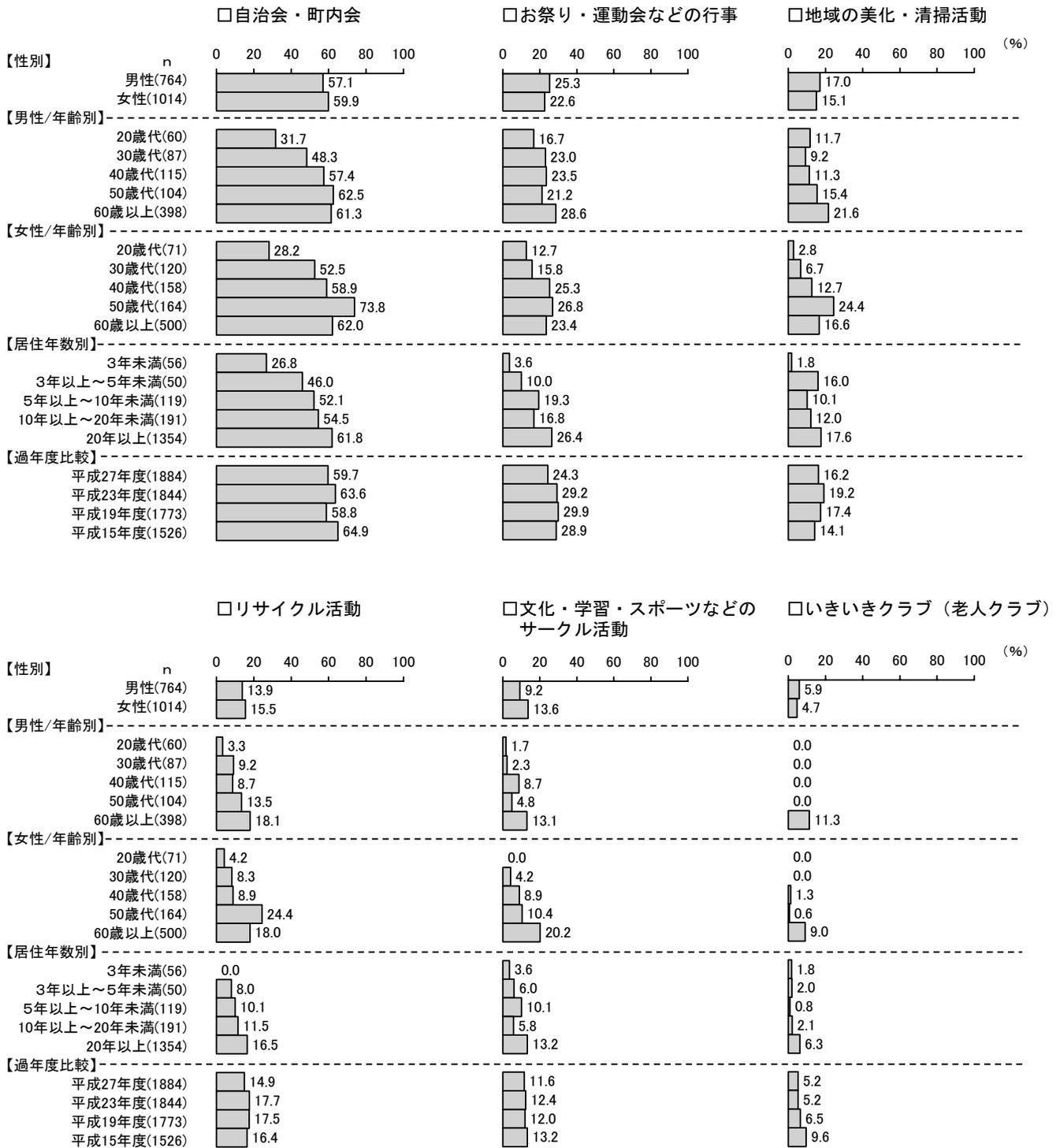
【問9】現在お住まいの地域や市内で、団体やサークル活動に参加していますか。参加しているものを次の中からすべて選んでください。

		(n=234)
1. 自治会・町内会	59.7%	7. リサイクル活動 14.9
2. 青少年・子ども会	2.5	8. 消費者活動 0.4
3. 婦人会	1.3	9. 地域の美化・清掃活動 16.2
4. いきいきクラブ（老人クラブ）	5.2	10. お祭り・運動会などの行事 24.3
5. ボランティアグループ	2.8	11. その他 1.5
6. 文化・学習・スポーツなどのサークル活動	11.6	12. 参加していない 26.1
		(無回答) 3.8



団体やサークル活動として参加しているものについては、「自治会・町内会」が59.7%と最も高く、次いで「お祭り・運動会などの行事」(24.3%)、「地域の美化・清掃活動」(16.2%)、「リサイクル活動」(14.9%)などの順となっている。

上位6項目の属性別



〈性別〉

「文化・学習・スポーツなどのサークル活動」は女性（13.6%）が男性（9.2%）を4.4ポイント上回っている。

〈年齢別〉

「自治会・町内会」は男女ともに50歳代までは年代が上がるほど割合は高くなる傾向がみられる。「お祭り・運動会などの行事」は男性では60歳以上で28.6%、女性では50歳代で26.8%と最も高くなっている。「地域の美化・清掃活動」でも男性では60歳以上で21.6%、女性では50歳代で24.4%と最も高くなっている。

〈居住年数別〉

どの項目でもおおむね居住年数が長くなるほど割合は高くなる傾向がみられる。

〈過年度比較〉

前回調査（平成23年度）と比較すると、「自治会・町内会」は3.9ポイント、「お祭り・運動会などの行事」も4.9ポイント減少している。

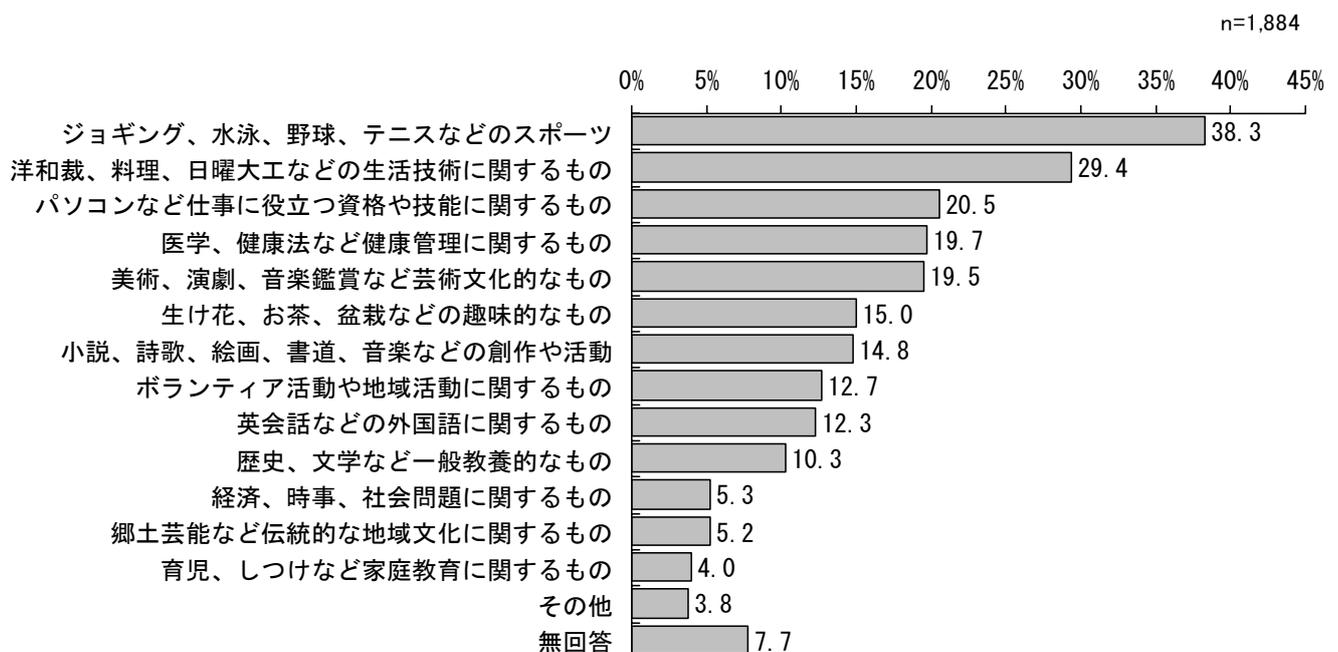
4. 文化やスポーツ活動

(1) 余暇の時間の過ごし方

◇「ジョギング、水泳、野球、テニスなどのスポーツ」が約4割

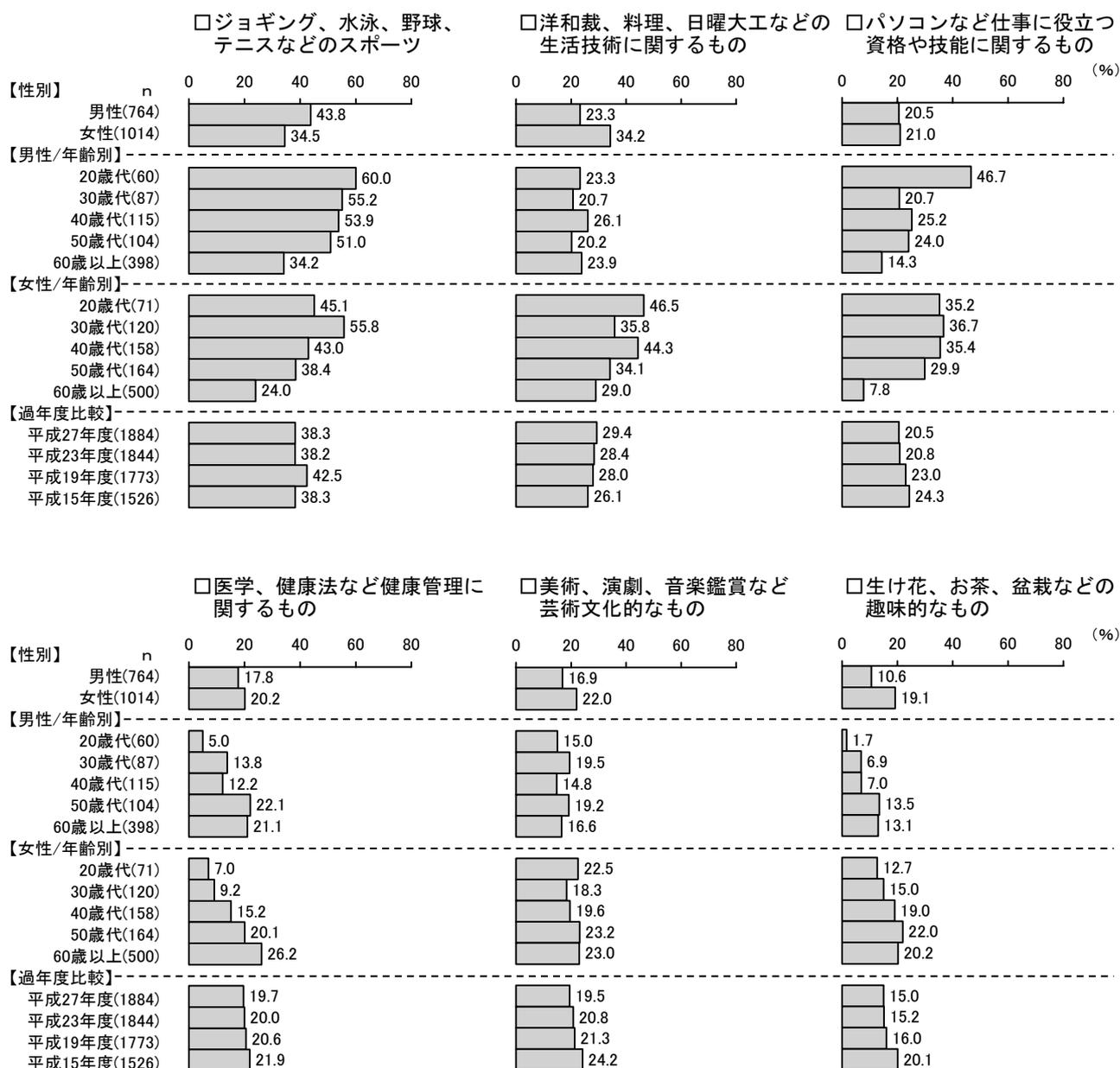
【問10】あなたは、余暇の時間が増えた場合、何かを学んだり、活動したりしてみたいと思いますか。次の中から3つ以内で選んでください。

	(n=1,884)
1. 洋和裁、料理、日曜大工などの生活技術に関するもの	29.4%
2. 生け花、お茶、盆栽などの趣味的なもの	15.0
3. ジョギング、水泳、野球、テニスなどのスポーツ	38.3
4. 歴史、文学など一般教養的なもの	10.3
5. 美術、演劇、音楽鑑賞など芸術文化的なもの	19.5
6. 小説、詩歌、絵画、書道、音楽などの創作や活動	14.8
7. 郷土芸能など伝統的な地域文化に関するもの	5.2
8. 経済、時事、社会問題に関するもの	5.3
9. パソコンなど仕事に役立つ資格や技能に関するもの	20.5
10. ボランティア活動や地域活動に関するもの	12.7
11. 育児、しつけなど家庭教育に関するもの	4.0
12. 医学、健康法など健康管理に関するもの	19.7
13. 英会話などの外国語に関するもの	12.3
14. その他	3.8
(無回答)	7.7



余暇の時間の過ごし方については、「ジョギング、水泳、野球、テニスなどのスポーツ」が38.3%と最も高く、次いで「洋和裁、料理、日曜大工などの生活技術に関するもの」(29.4%)、「パソコンなど仕事に役立つ資格や技能に関するもの」(20.5%)、「医学、健康法など健康管理に関するもの」(19.7%)、「美術、演劇、音楽鑑賞など芸術文化的なもの」(19.5%)などの順となっている。

上位6項目の属性別



〈性別〉

「ジョギング、水泳、野球、テニスなどのスポーツ」は男性（43.8%）が女性（34.5%）を9.3ポイント上回っている。「洋和裁、料理、日曜大工などの生活技術に関するもの」は女性（34.2%）が男性（23.3%）を10.9ポイント上回っている。「美術、演劇、音楽鑑賞など芸術文化的なもの」も女性（22.0%）が男性（16.9%）を5.1ポイント、「生け花、お茶、盆栽などの趣味的なもの」も女性（19.1%）が男性（10.6%）を8.5ポイント上回っている。

〈年齢別〉

「ジョギング、水泳、野球、テニスなどのスポーツ」は男性では20歳代（60.0%）で最も高く年代が上がるほど割合は低くなる傾向がみられる。女性では30歳代（55.8%）で最も高く、年代が上がるほど割合は低くなる傾向がみられる。「洋和裁、料理、日曜大工などの生活技術に関するもの」は女性の20歳代（46.5%）と40歳代（44.3%）が特に高くなっている。「パソコンなど仕事に役立つ資格や技能に関するもの」は男性の20歳代（46.7%）が特に高く、逆に女性の60歳以上（7.8%）は特に低くなっている。「医学、健康法など健康管理に関するもの」と「生け花、お茶、盆栽などの趣味的なもの」はおおむね年代が上がるほど割合は高くなる傾向がみられる。

〈過年度比較〉

前回調査（平成23年度）と比較すると、どの項目でもほとんど変化はみられない。

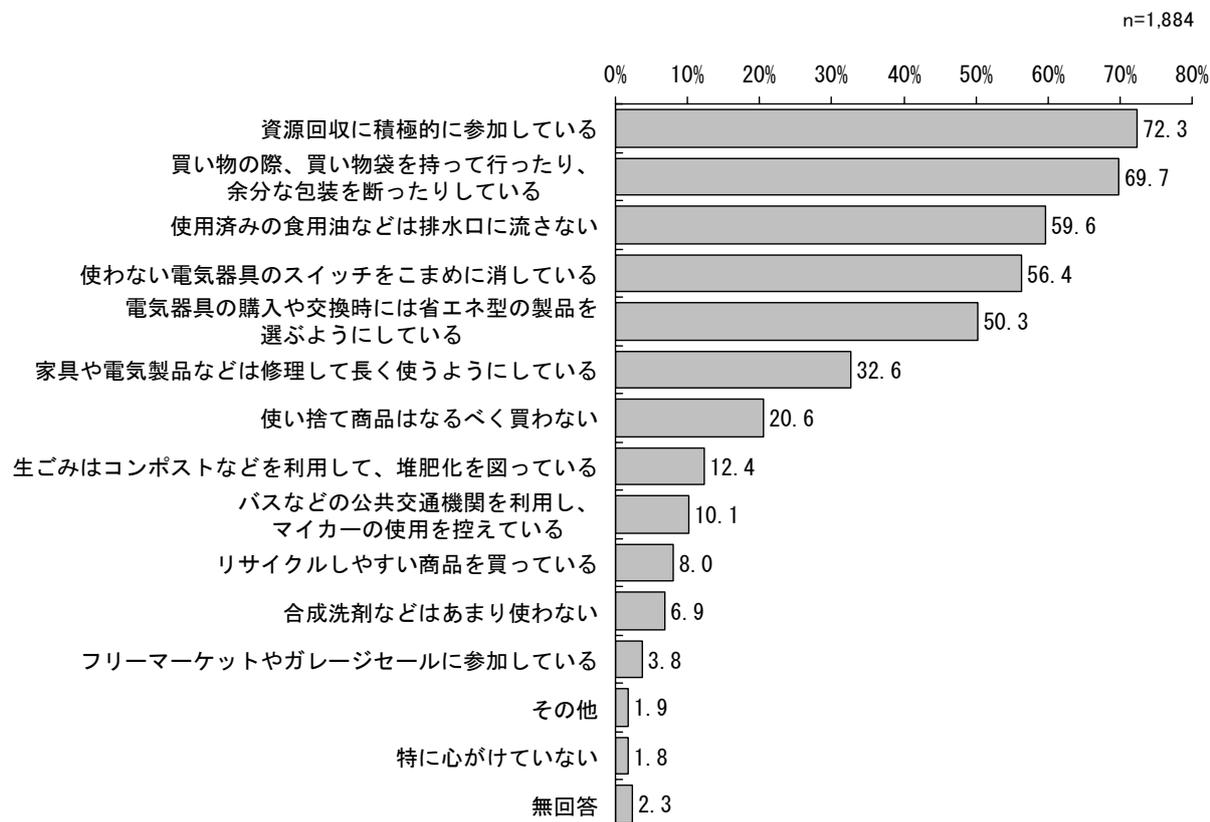
5. ごみや環境

(1) 日常生活で心掛けていること

◇「資源回収に積極的に参加している」が7割を超える

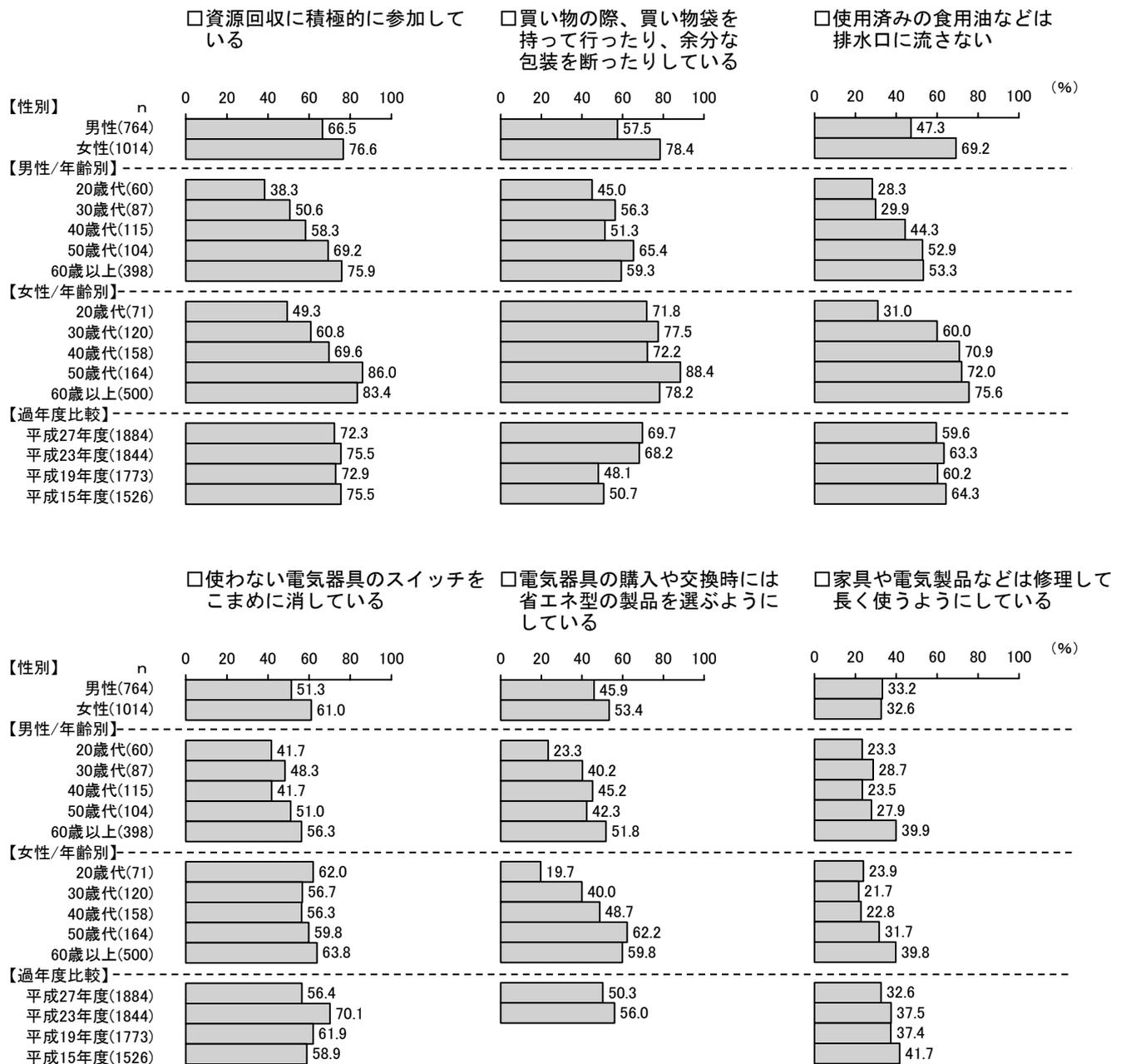
【問11】あなたは、ごみ減量や環境をよくするために、日常生活の中でどのようなことを心掛けていますか。次の中からあてはまるものをすべて選んでください。

	(n=1,884)
1. 資源回収に積極的に参加している	72.3%
2. 買い物の際、買い物袋を持って行ったり、余分な包装を断ったりしている	69.7
3. 使い捨て商品はなるべく買わない	20.6
4. 家具や電気製品などは修理して長く使うようにしている	32.6
5. 生ごみはコンポストなどを利用して、堆肥化を図っている	12.4
6. リサイクルしやすい商品を買っている	8.0
7. フリーマーケットやガレージセールに参加している	3.8
8. 合成洗剤などはあまり使わない	6.9
9. 使用済みの食用油などは排水口に流さない	59.6
10. バスなどの公共交通機関を利用し、マイカーの使用を控えている	10.1
11. 使わない電気器具のスイッチをこまめに消している	56.4
12. 電気器具の購入や交換時には省エネ型の製品を選ぶようにしている	50.3
13. その他	1.9
14. 特に心がけていない (無回答)	1.8 2.3



ごみの減量や環境をよくするために心掛けていることについては、「資源回収に積極的に参加している」が72.3%と最も高く、次いで「買い物の際、買い物袋を持って行ったり、余分な包装を断ったりしている」(69.7%)、「使用済みの食用油などは排水口に流さない」(59.6%)、「使わない電気器具のスイッチをこまめに消している」(56.4%)などの順となっている。

上位6項目の属性別



※「電気器具の購入や交換時には省エネ型の製品を選ぶようにしている」は平成23年度から

〈性別〉

「資源回収に積極的に参加している」は女性（76.6%）が男性（66.5%）を10.1ポイント上回っている。また「買い物の際、買い物袋を持って行ったり、余分な包装を断ったりしている」も女性（78.4%）が男性（57.5%）を20.9ポイント、「使用済みの食用油などは排水口に流さない」も女性（69.2%）が男性（47.3%）を21.9ポイント、「使わない電気器具のスイッチをこまめに消している」も女性（61.0%）が男性（51.3%）を9.7ポイント、「電気器具の購入や交換時には省エネ型の製品を選ぶようにしている」も女性（53.4%）が男性（45.9%）を7.5ポイント上回っている。

〈年齢別〉

「資源回収に積極的に参加している」は男性では年代が上がるほど割合が高くなる傾向がみられる。「買い物の際、買い物袋を持って行ったり、余分な包装を断ったりしている」は男女ともに50歳代（男性：65.4%、女性：88.4%）で最も高く、特に女性では約9割と高くなっている。「使用済みの食用油などは排水口に流さない」は男女ともに年代が上がるほど割合が高くなる傾向がみられる。

〈過年度比較〉

前回調査（平成23年度）と比較すると、「使用済みの食用油などは排水口に流さない」は3.7ポイント、「使わない電気器具のスイッチをこまめに消している」は13.7ポイント、「電気器具の購入や交換時には省エネ型の製品を選ぶようにしている」は5.7ポイント、「家具や電気製品などは修理して長く使うようにしている」は4.9ポイント減少している。

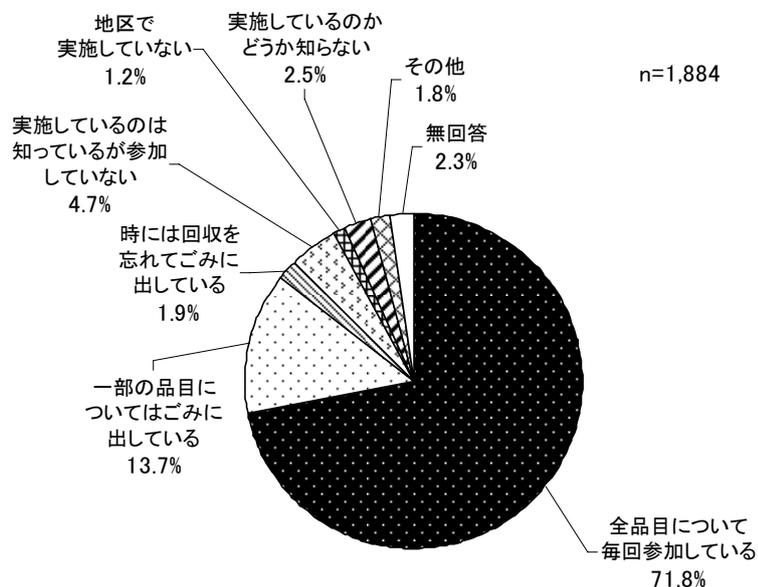
(2) 資源回収への参加

◇「地域の資源回収に参加している（計）」は9割を超える

【問 12】資源回収についておうかがいします。あなたは、地域の資源回収（品目：金属、空き缶、ビン、紙、布、ペットボトル）に参加していますか。次の中から1つだけ選んでください。

(n=1,884)

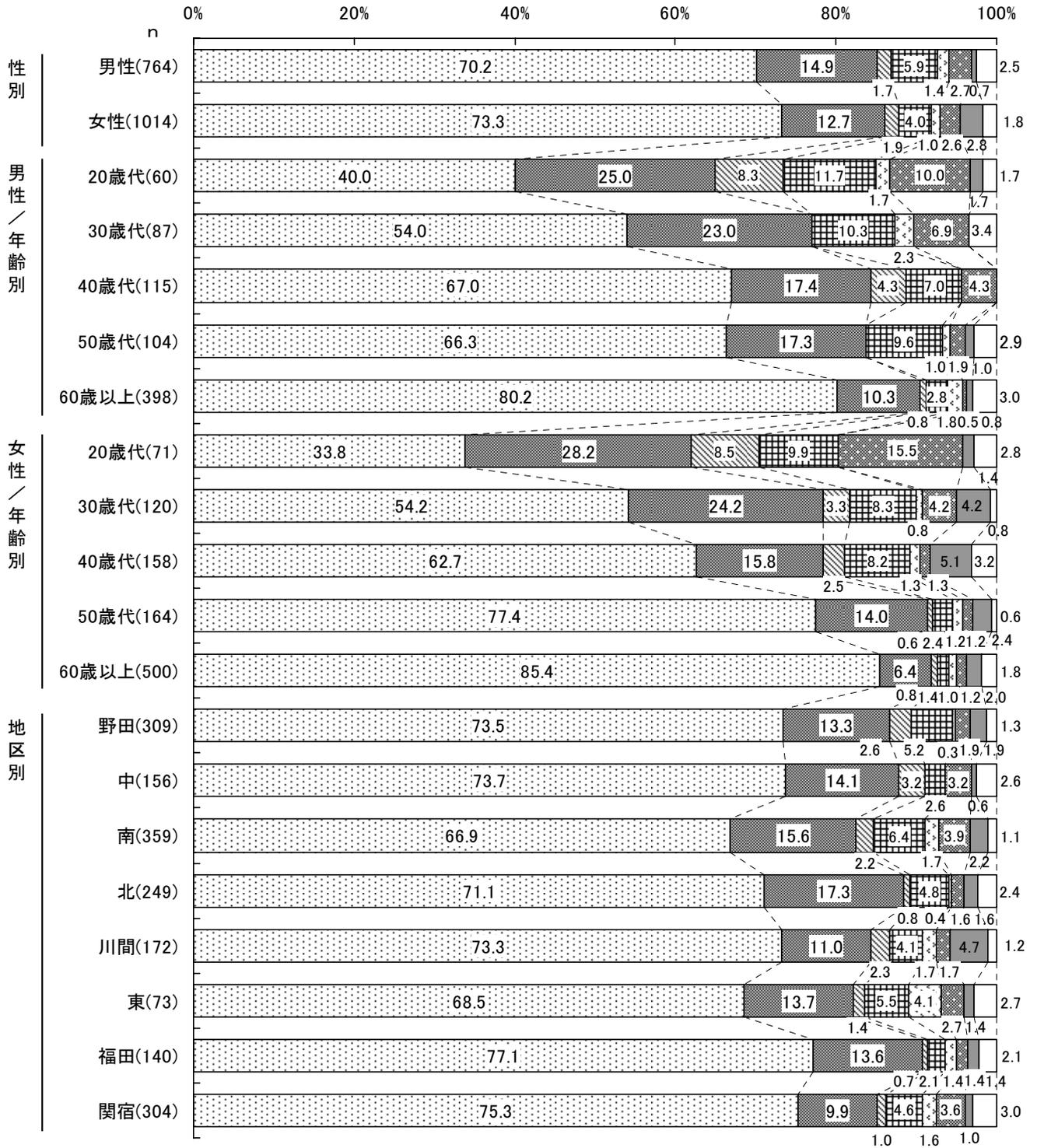
- | | | | |
|--------------------------|-------|--------------------|-----|
| 1. 全品目について毎回参加している | 71.8% | 5. 地区で実施していない | 1.2 |
| 2. 一部の品目についてはごみに出している | 13.7 | 6. 実施しているのかどうか知らない | 2.5 |
| 3. 時には回収を忘れてごみに出している | 1.9 | 7. その他 | 1.8 |
| 4. 実施しているのは知っているが参加していない | 4.7 | (無回答) | 2.3 |



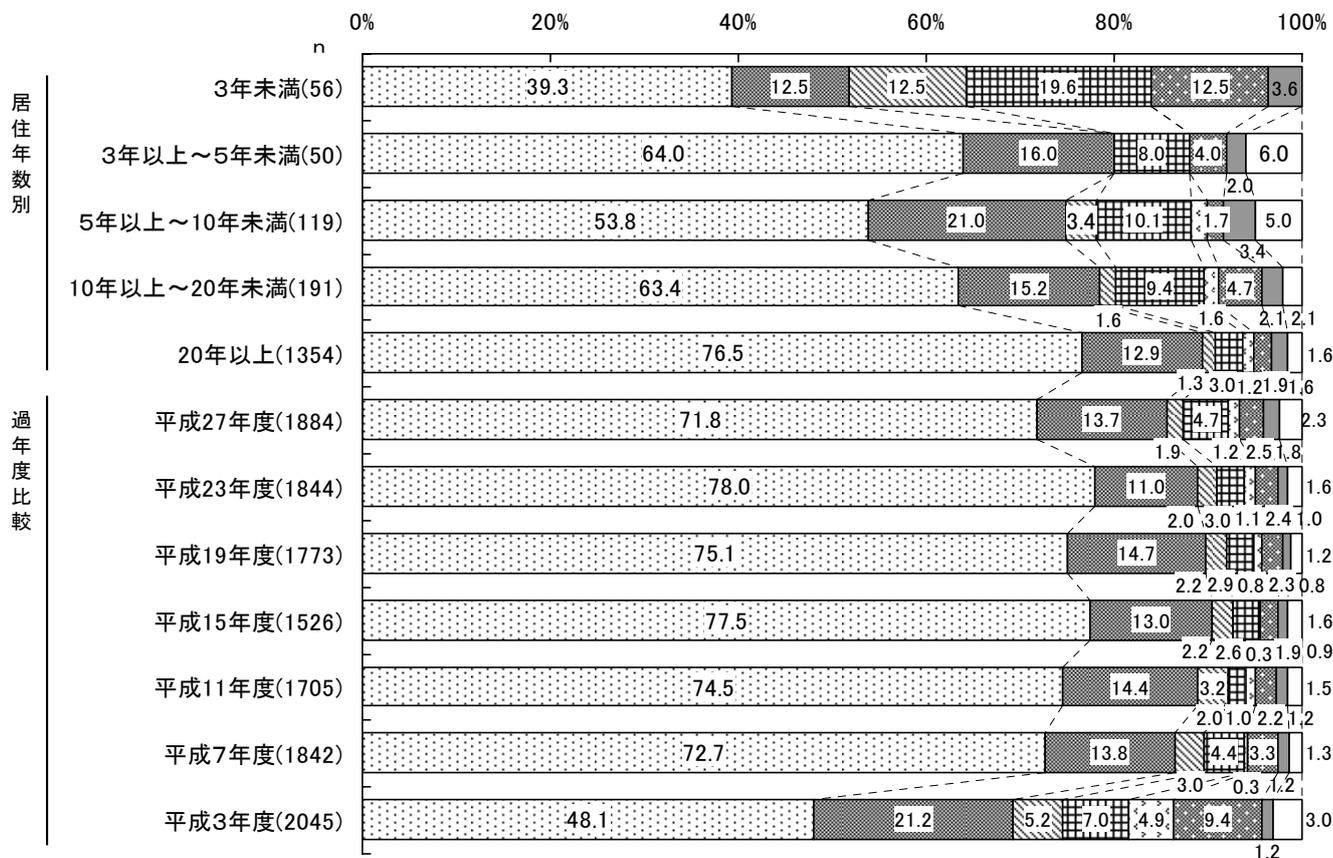
地域の資源回収への参加状況については、「全品目について毎回参加している」（71.8%）、「一部の品目についてはゴミに出している」（13.7%）、「時には回収を忘れてゴミに出している」（1.9%）を合わせた『地域の資源回収に参加している（計）』（87.4%）は約9割となっている。

一方、「実施しているのは知っているが参加していない」は4.7%となっている。

□ 全品目について毎回参加している
 ■ 一部の品目についてはおみに出している
 ▨ 時には回収を忘れておみに出している
 ▩ 実施しているのを知っているが参加していない
 □ 地区で実施していない
 ▨ 実施しているのかどうか知らない
 □ その他
 □ 無回答



□ 全品目について毎回参加している ■ 一部の品目についてはごみに出している ▨ 時には回収を忘れてごみに出している ▩ 実施しているのを知っているが参加していない □ 地区で実施していない ■ 実施しているのかどうか知らない □ その他 □ 無回答



〈性別〉

「全品目について参加している」は女性（73.3%）が男性（70.2%）を3.1ポイント上回っている。

〈年齢別〉

「全品目について参加している」は男女ともにおおむね年代が上がるほど割合は高くなる傾向がみられる。一方、「一部の品目についてはゴミに出している」は男女ともに20歳代（男性：25.0%、女性：28.2%）と最も高くなっている。

〈地区別〉

「全品目について参加している」は福田地区で77.1%と最も高くなっている。

〈居住年数別〉

「全品目について参加している」は20年以上で76.5%と最も高くなっている。

〈過年度比較〉

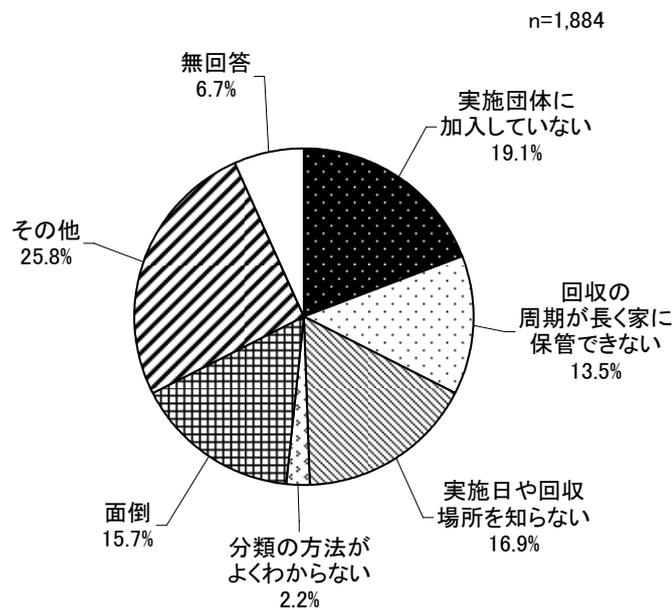
前回調査（平成23年度）と比較すると、「全品目について参加している」は6.2ポイント減少している。

(2-1) 知りながら参加していない理由

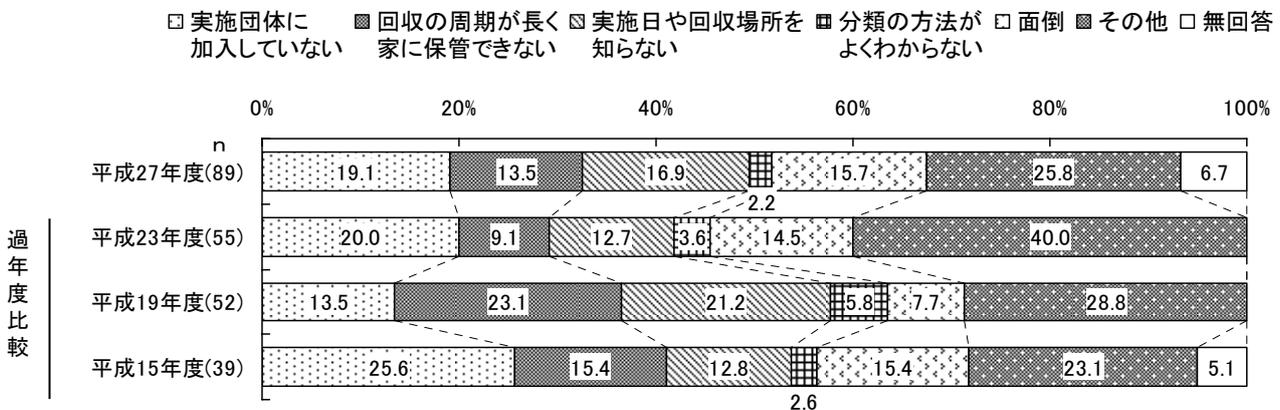
◇「実施団体に加入していない」は約2割

〈問12で「4. 実施しているのは知っているが参加していない」とお答えの方におうかがいします。〉
 【問12-1】それはどのような理由からですか。次の中から1つだけ選んでください。

		(n=89)	
1. 実施団体に加入していない	19.1%	4. 分類の方法がよくわからない	2.2
2. 回収の周期が長く家に保管できない	13.5	5. 面倒	15.7
3. 実施日や回収場所を知らない	16.9	6. その他	25.8
		(無回答)	6.7



資源回収の実施を知りながら参加していない理由については、「実施団体に加入していない」が19.1%、と最も高く、次いで「実施日や回収場所を知らない」(16.9%)、「面倒」(15.7%)、「回収の周期が長く家に保管できない」(13.5%)などの順となっている。



〈過年度比較〉

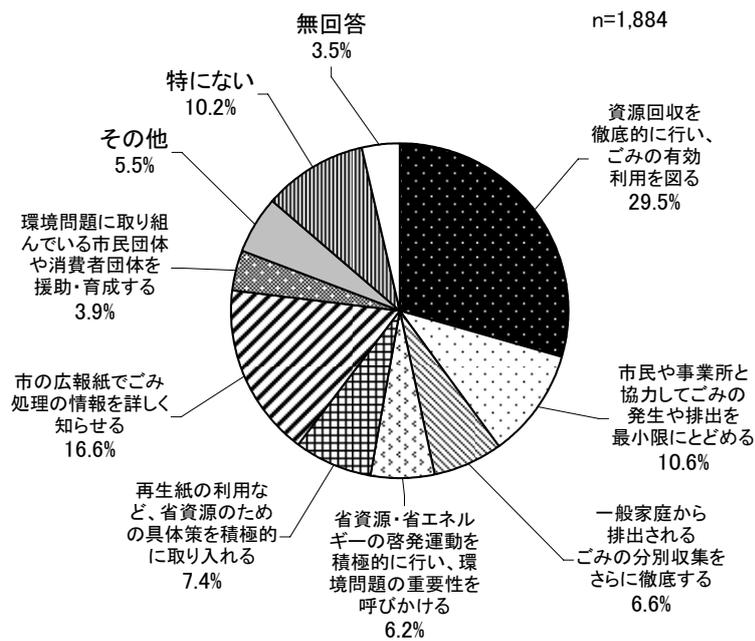
前回調査(平成23年度)と比較すると、「回収の周期が長く家に保管できない」が4.4ポイント、「実施日や回収場所を知らない」が4.2ポイント増加している。

(3) ごみの減量化対策

◇「資源回収を徹底的に行い、ごみの有効利用を図る」が約3割

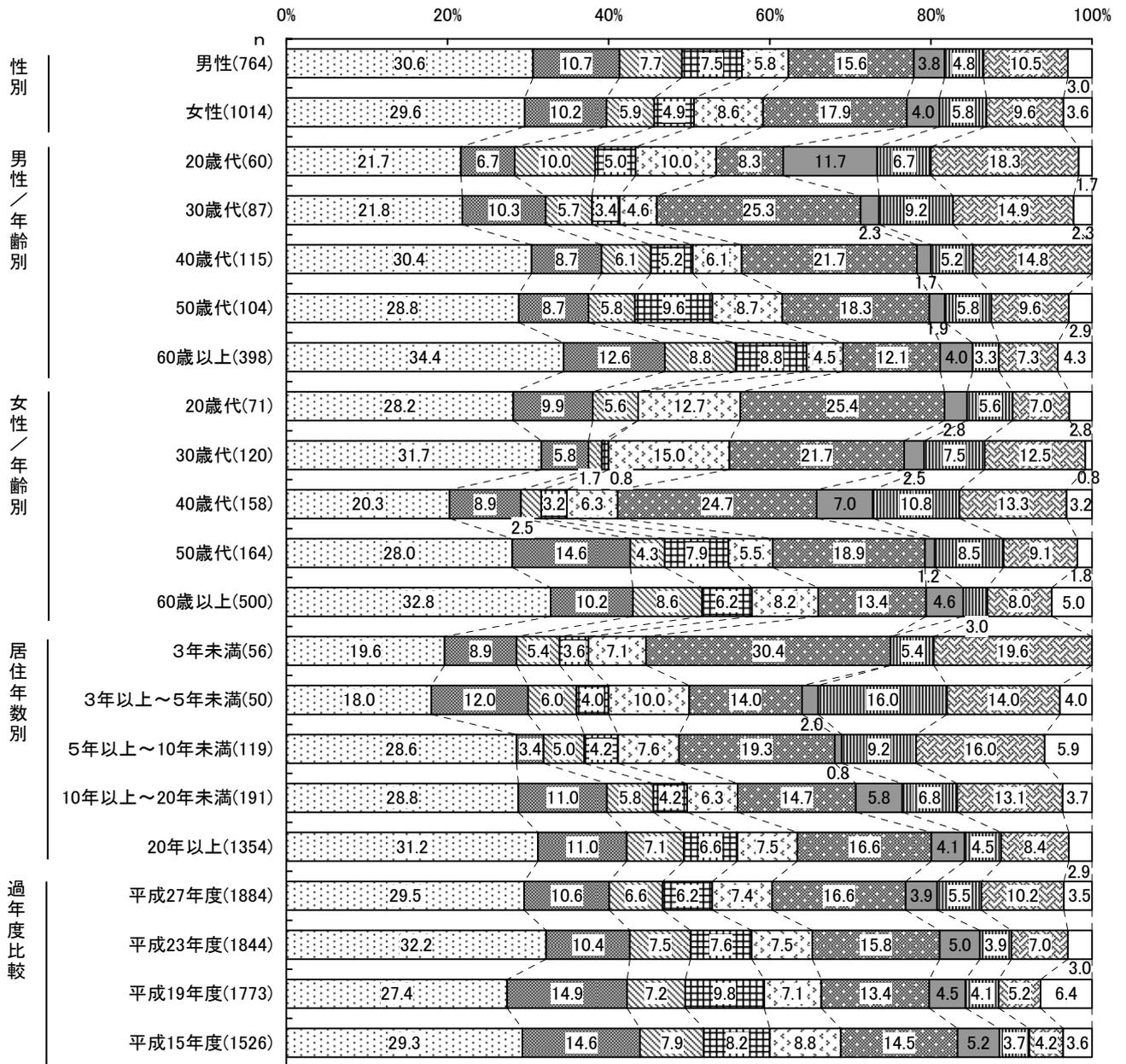
【問13】あなたは、ごみ減量化のために市にどのようなことに力を入れてほしいとお考えですか。次の中から1つだけ選んでください。

	(n=1,884)
1. 資源回収を徹底的に行い、ごみの有効利用を図る	29.5%
2. 市民や事業所と協力してごみの発生や排出を最小限にとどめる	10.6%
3. 一般家庭から排出されるごみの分別収集をさらに徹底する	6.6%
4. 省資源・省エネルギーの啓発運動を積極的に行い、環境問題の重要性を呼びかける	6.2%
5. 再生紙の利用など、省資源のための具体策を積極的に取り入れる	7.4%
6. 市の広報紙でごみ処理の情報を詳しく知らせる	16.6%
7. 環境問題に取り組んでいる市民団体や消費者団体を援助・育成する	3.9%
8. その他	5.5%
9. 特にない	10.2%
(無回答)	3.5%



ゴミ減量化のために市に望むことについては、「資源回収を徹底的に行い、ごみの有効利用を図る」が29.5%で最も高く、次いで「市の広報紙でごみ処理の情報を詳しく知らせる」(16.6%)、「市民や事業所と協力してごみの発生や排出を最小限にとどめる」(10.6%)などの順となっている。

□資源回収を徹底的に行い、ごみの有効利用を図る
 ■市民や事業所と協力してごみの発生や排出を最小限にとどめる
 □一般家庭から排出されるごみの分別収集をさらに徹底する
 ■省資源・省エネルギーの啓発運動を積極的に行い、環境問題の重要性を呼びかける
 □再生紙の利用など、省資源のための具体策を積極的に取り入れる
 ■市の広報紙でごみ処理の情報を詳しく知らせる
 ■環境問題に取り組んでいる市民団体や消費者団体を援助・育成する
 ■その他 □特にない □無回答



〈性別〉

どの項目でも男女間で大きな差はみられない。

〈年齢別〉

「資源回収を徹底的に行い、ごみの有効利用を図る」は男女ともに60歳以上（男性：34.4%、女性：32.8%）で最も高くなっている。「市の広報紙でごみ処理の情報を詳しく知らせる」は男性では30歳代から40歳代、女性では20歳代から40歳代で2割台と高くなっている。

〈居住年数別〉

「資源回収を徹底的に行い、ごみの有効利用を図る」は居住年数が長くなるほど割合は高くなる傾向がみられる。「市の広報紙でごみ処理の情報を詳しく知らせる」は3年未満で3割を超えて高くなっている。

〈過年度比較〉

前回調査（平成23年度）と比較すると、「特にない」は3.2ポイント増加している。

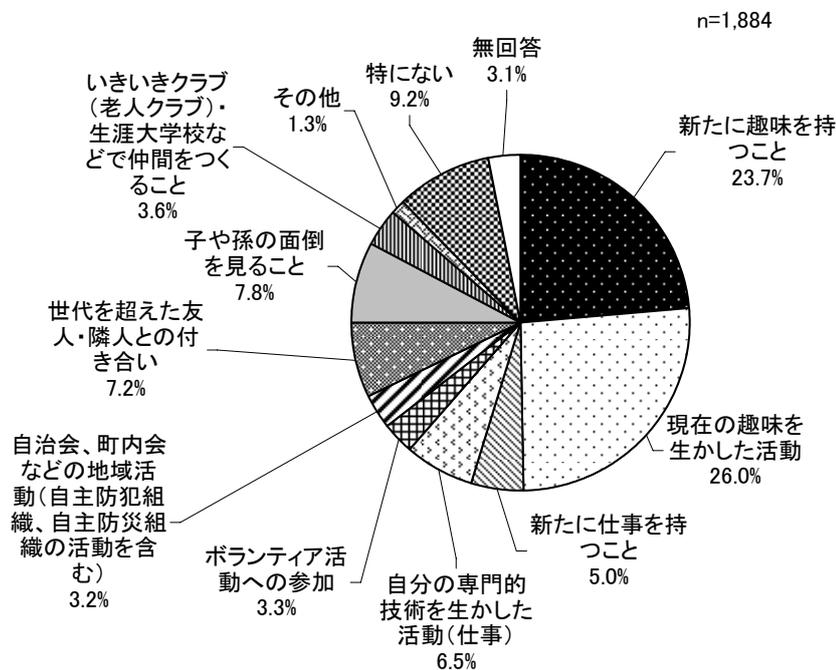
6. 福祉やボランティア活動

(1) 老後の生きがい

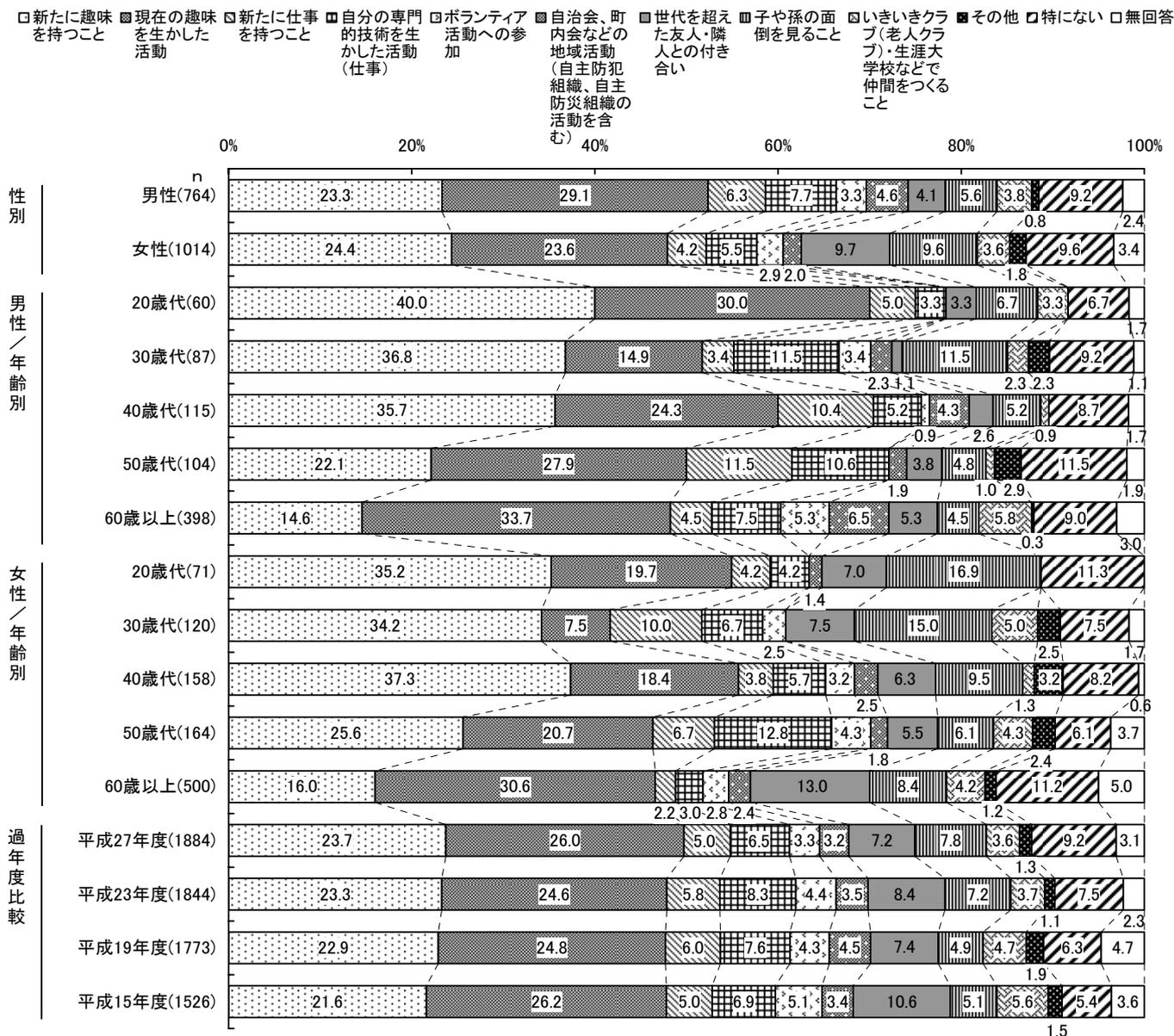
◇「現在の趣味を活かした活動」と「新たに趣味を持つこと」が2割台半ば

【問14】あなたは老後の生活として、どのようなことに生きがいを求めたいとお考えですか。次の中から1つだけ選んでください。

	(n=1,884)
1. 新たに趣味を持つこと	23.7%
2. 現在の趣味を生かした活動	26.0%
3. 新たに仕事を持つこと	5.0%
4. 自分の専門的技術を生かした活動（仕事）	6.5%
5. ボランティア活動への参加	3.3%
6. 自治会、町内会などの地域活動（自主防犯組織、自主防災組織の活動を含む）	3.2%
7. 世代を超えた友人・隣人との付き合い	7.2%
8. 子や孫の面倒を見ること	7.8%
9. いきいきクラブ（老人クラブ）・生涯大学校などで仲間をつくること	3.6%
10. その他	1.3%
11. 特にない	9.2%
(無回答)	3.1%



老後の生きがいについては、「現在の趣味を生かした活動」が26.0%と最も高く、次いで「新たな趣味を持つこと」(23.7%)、「子や孫の面倒を見ること」(7.8%)、「世代を超えた友人・隣人との付き合い」(7.2%)などの順となっている。



〈性別〉

「現在の趣味を生かした活動」は男性が女性を5.5ポイント上回り、「世代を超えた友人・隣人との付き合い」は女性が男性を5.6ポイント、「子や孫の面倒を見ること」も女性が男性を4.0ポイント上回っている。

〈年齢別〉

「現在の趣味を生かした活動」は男女ともに60歳以上（男性：33.7%、女性：30.6%）が最も高くなっている。「新たに趣味を持つこと」は男性では年代が上がるほど割合が低くなる傾向がみられるのに対し、女性では40歳代が37.3%で最も高くなっている。

〈過年度比較〉

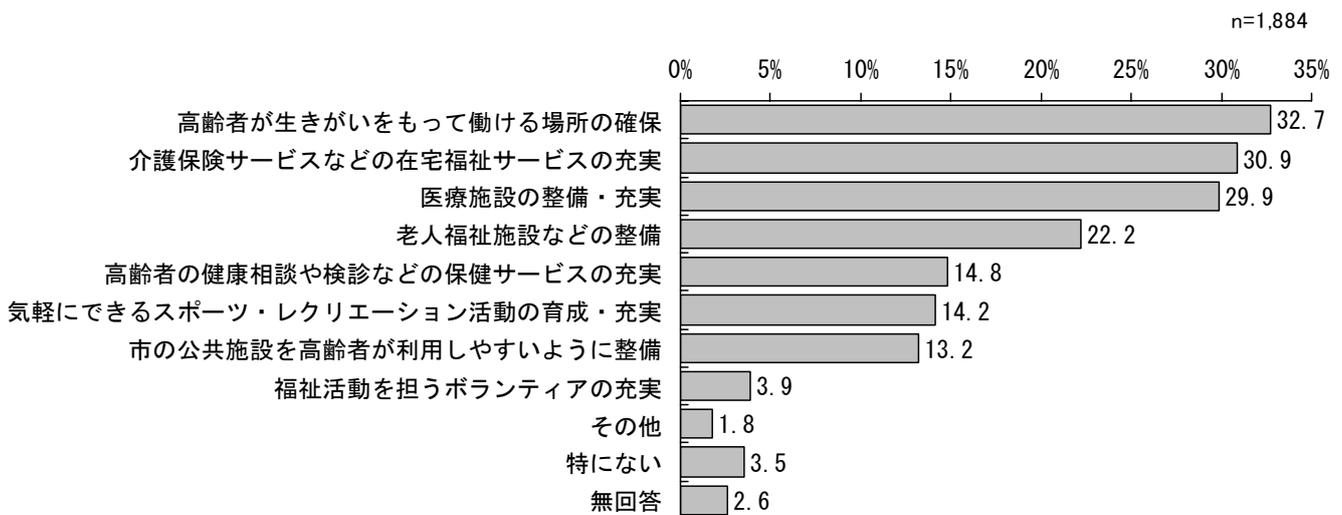
前回調査（平成23年度）と比較すると、どの項目でもほとんど変化はみられない。

(2) 高齢社会に向けての市への期待

◇「高齢者が生きがいをもって働ける場所の確保」が3割を超える

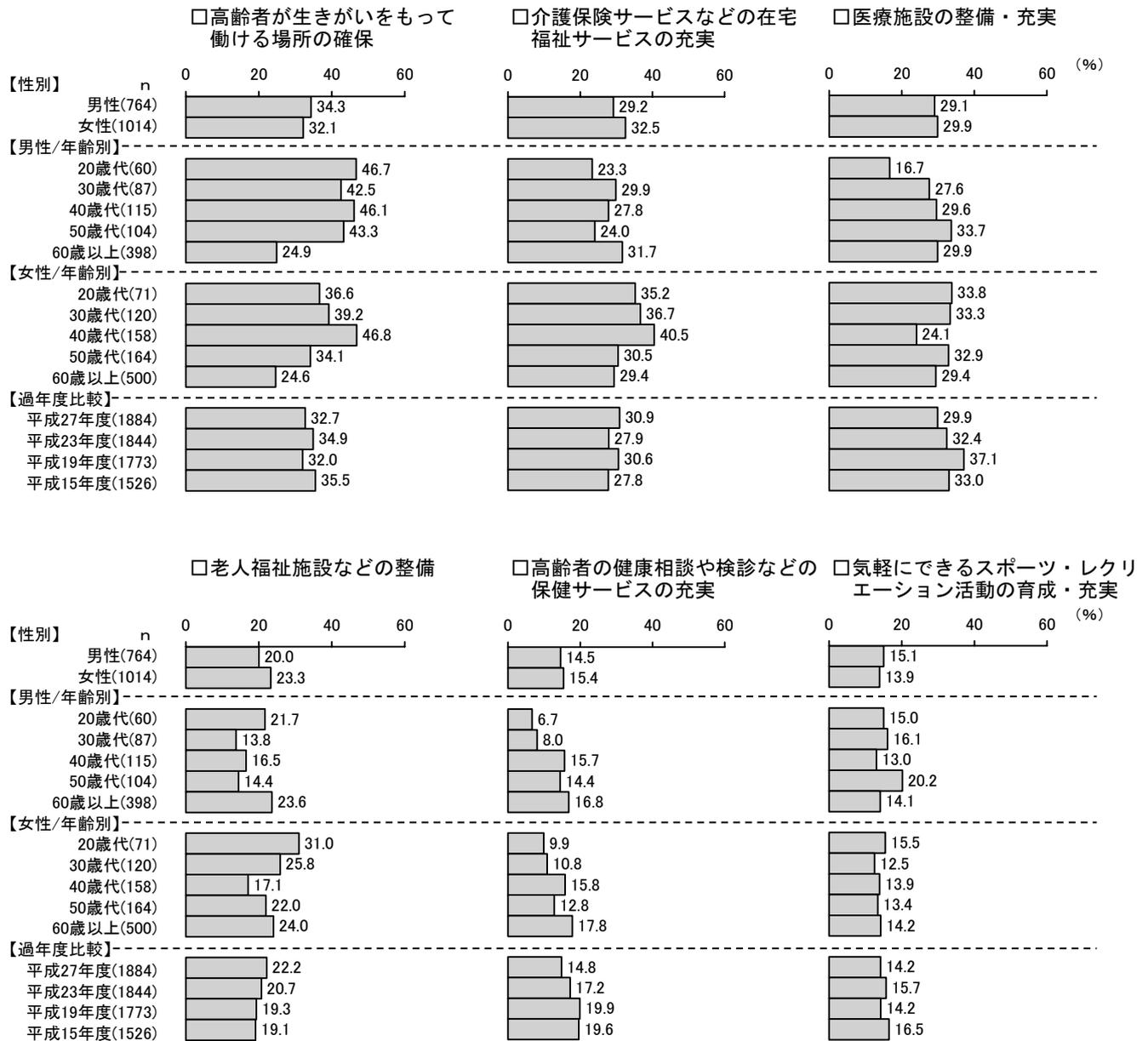
【問15】 高齢社会が進む中、あなたは市にどのようなことを期待しますか。次の中から2つ以内で選んでください。

	(n=1,884)
1. 高齢者が生きがいをもって働ける場所の確保	32.7%
2. 医療施設の整備・充実	29.9
3. 介護保険サービスなどの在宅福祉サービスの充実	30.9
4. 老人福祉施設などの整備	22.2
5. 高齢者の健康相談や検診などの保健サービスの充実	14.8
6. 市の公共施設を高齢者が利用しやすいように整備	13.2
7. 気軽にできるスポーツ・レクリエーション活動の育成・充実	14.2
8. 福祉活動を担うボランティアの充実	3.9
9. その他	1.8
10. 特にない	3.5
(無回答)	2.6



高齢社会が進む中、市に期待することについては、「高齢者が生きがいをもって働ける場所の確保」が32.7%で最も高く、次いで「介護保険サービスなどの在宅福祉サービスの充実」(30.9%)、「医療施設の整備・充実」(29.9%)、「老人福祉施設などの設備」(22.2%)などの順となっている。

上位6項目の属性別



〈性別〉

「介護保険サービスなどの在宅福祉サービスの充実」と「老人福祉施設などの設備」はともに女性が男性を3.3ポイント上回っている。

〈年齢別〉

「高齢者が生きがいをもって働ける場所の確保」は男性では60歳以上を除き、20歳代から50歳代までが4割台と高くなっている。一方、女性では40歳代が46.8%で最も高くなっている。「介護保険サービスなどの在宅福祉サービスの充実」は女性では20歳代と30歳代が3割台半ば、40歳代が4割と比較的高くなっている。

〈過年度比較〉

前回調査（平成23年度）と比較すると、「介護保険サービスなどの在宅福祉サービスの充実」は3.0ポイント増加している。

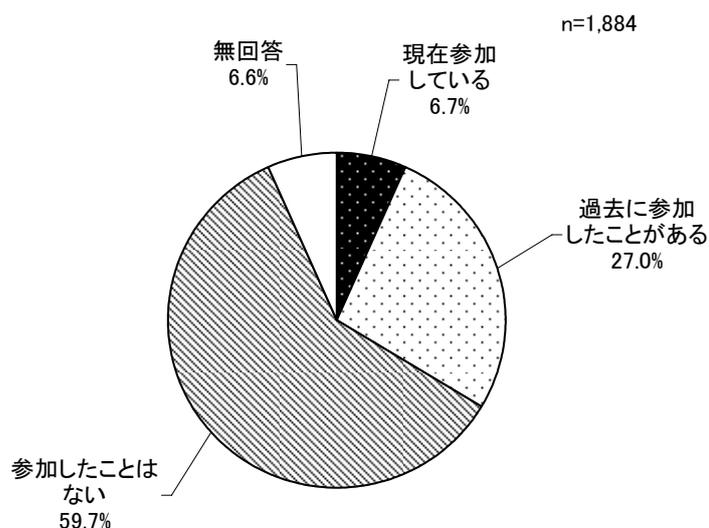
(3) ボランティア活動への参加

◇『活動経験がある』は3割台半ば

【問16】あなたは、ボランティア活動に参加したことがありますか。次の中から1つだけ選んでください。

(n=1,884)

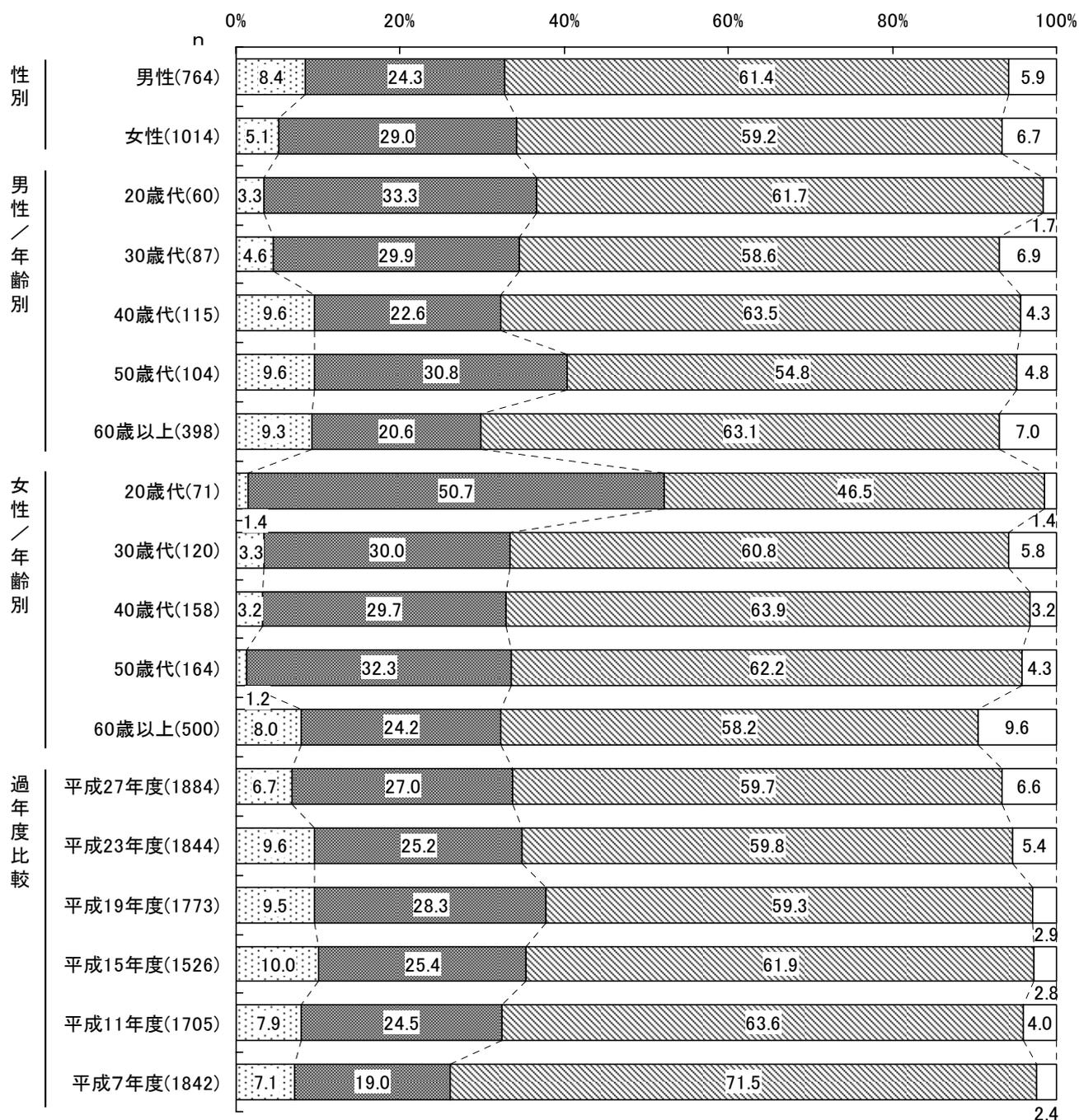
1. 現在参加している	6.7%	3. 参加したことはない	59.7
2. 過去に参加したことがある	27.0	(無回答)	6.6



ボランティア活動への参加状況は、「現在参加している」(6.7%)と「過去に参加したことがある」(27.0%)を合わせた『活動経験がある』(33.7%)は3割台半ばとなっている。

一方、「参加したことはない」(59.7%)は約6割となっている。

□ 現在参加している ■ 過去に参加したことがある ▨ 参加したことはない □ 無回答



〈性別〉

『活動経験がある』は男性（32.7%）と女性（34.1%）では大きな差はみられない。

〈年齢別〉

『活動経験がある』は男性では50歳代（40.4%）、女性では20歳代（52.1%）で最も高くなっている。

〈過年度比較〉

前回調査（平成23年度）と比較すると、どの項目でもほとんど変化はみられない。

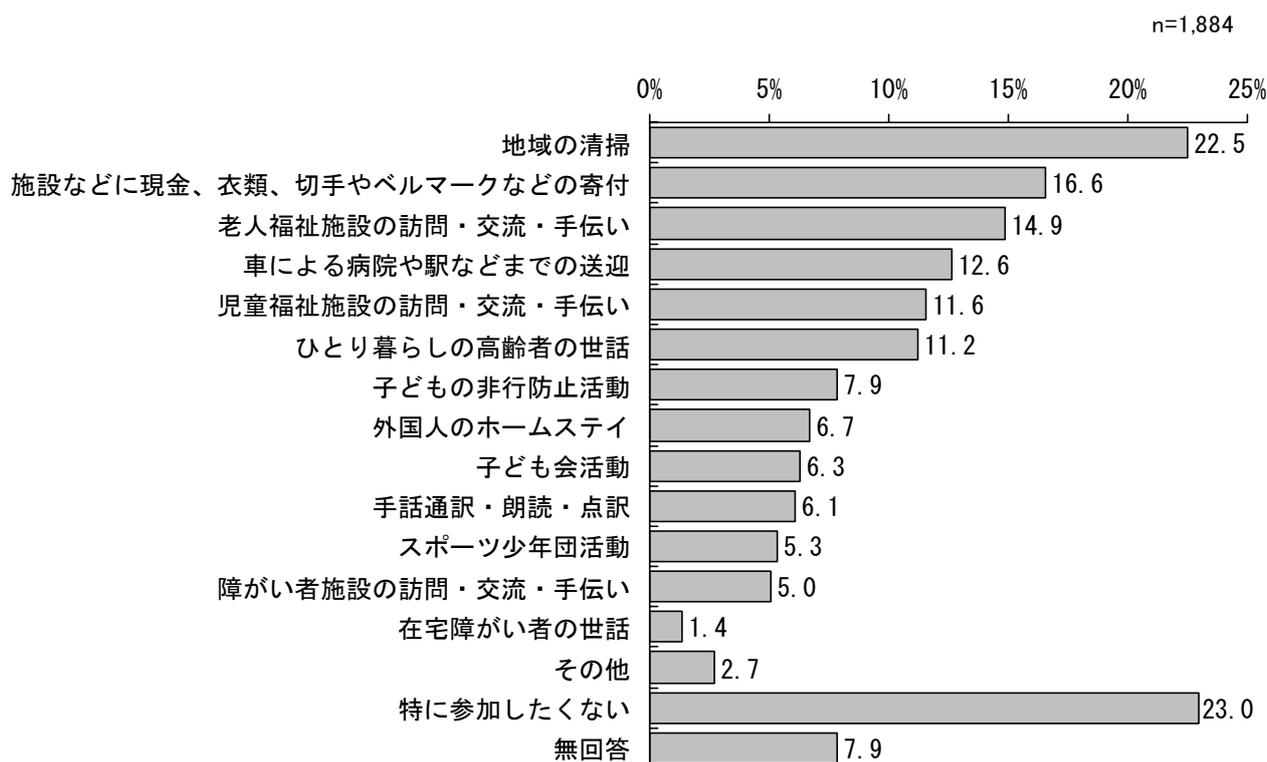
(4) やってみたいと思うボランティア活動

◇「地域の清掃」が約3割

【問17】 次のようなボランティア活動について、あなたがやってみたいと思われる活動はありますか。次の中から3つ以内で選んでください。

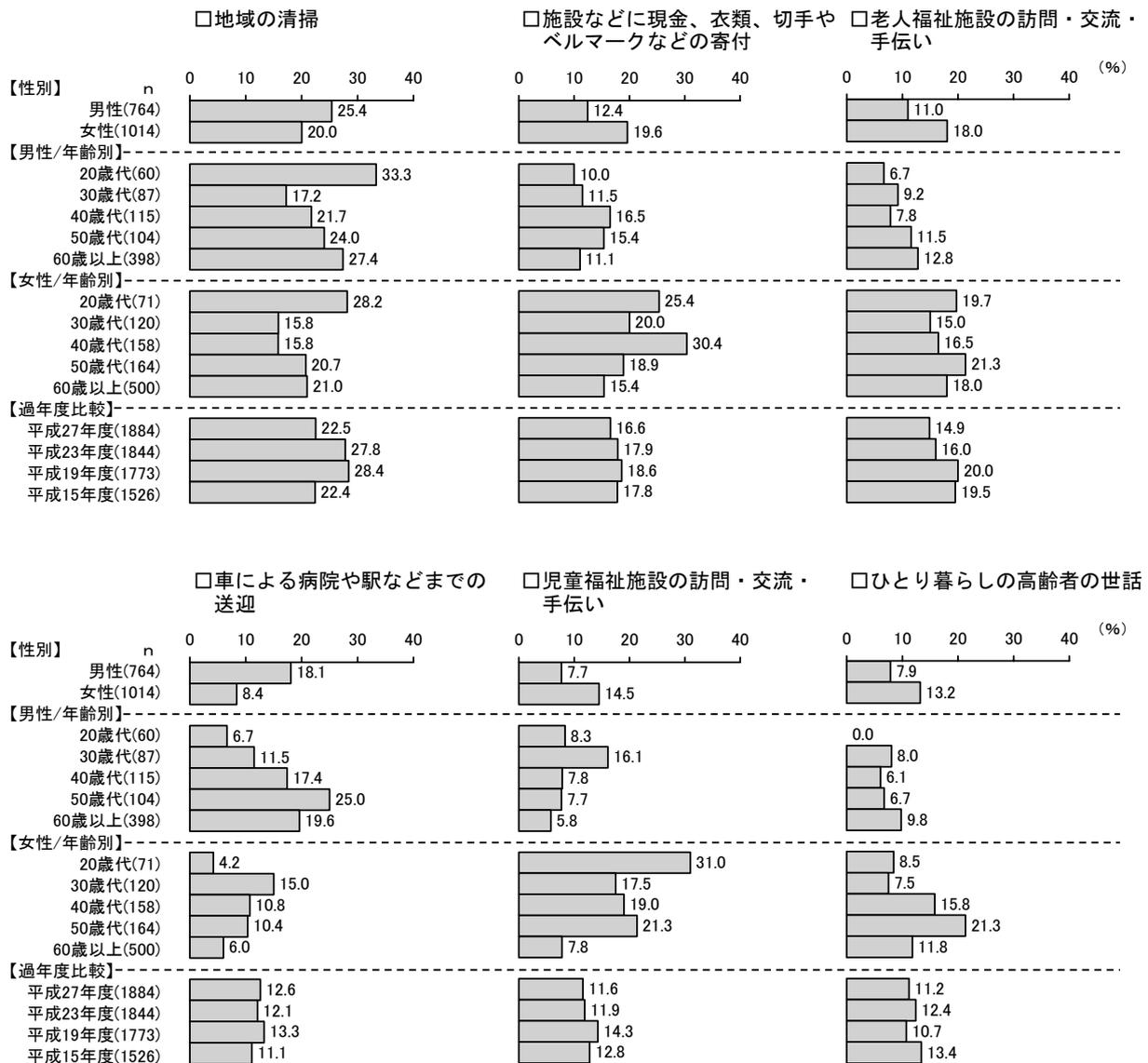
(n=1,884)

1. 老人福祉施設の訪問・交流・手伝い	14.9%	8. 手話通訳・朗読・点訳	6.1
2. 児童福祉施設の訪問・交流・手伝い	11.6	9. 外国人のホームステイ	6.7
3. 障がい者施設の訪問・交流・手伝い	5.0	10. 子ども会活動	6.3
4. 在宅障がい者の世話	1.4	11. 地域の清掃	22.5
5. ひとり暮らしの高齢者の世話	11.2	12. スポーツ少年団活動	5.3
6. 施設などに現金、衣類、切手やベルマークなどの寄付	16.6	13. 子どもの非行防止活動	7.9
7. 車による病院や駅などまでの送迎	12.6	14. その他	2.7
		15. 特に参加したくない (無回答)	23.0 7.9



やってみたいボランティア活動では、「地域の清掃」が22.5%で最も高く、次いで「施設などに現金、衣類、切手やベルマークなどの寄付」(16.6%)、「老人福祉施設の訪問・交流・手伝い」(14.9%)、「車による病院や駅などまでの送迎」(12.6%)、「児童福祉施設の訪問・交流・手伝い」(11.6%)、「ひとり暮らしの高齢者の世話」(11.2%)などの順となっている。

上位6項目の属性別



〈性別〉

「地域の清掃」は男性が女性を5.4ポイント、「車による病院や駅などまでの送迎」も男性が女性を9.7ポイント上回っている。一方、「施設などに現金、衣類、切手やベルマークなどの寄付」、「老人福祉施設の訪問・交流・手伝い」、「児童福祉施設の訪問・交流・手伝い」、「ひとり暮らしの高齢者の世話」は女性が男性をそれぞれ7.2ポイント、7.0ポイント、6.8ポイント、5.3ポイント上回っている。

〈年齢別〉

「地域の清掃」は男女ともに20歳代(男性:33.3%、女性:28.2%)で最も高くなっている。「施設などに現金、衣類、切手やベルマークなどの寄付」は女性の40歳代で3割と特に高くなっている。「老人福祉施設の訪問・交流・手伝い」は女性の20歳代と50歳代で2割前後とやや高くなっている。「車による病院や駅などまでの送迎」は男性の50歳代で2割台半ばと特に高くなっている。「児童福祉施設の訪問・交流・手伝い」は女性の20歳代で3割を超えて特に高くなっている。「ひとり暮らしの高齢者の世話」は女性の50歳代で2割を超えて特に高くなっている。

〈過年度比較〉

前回調査(平成23年度)と比較すると、「地域の清掃」は5.3ポイント減少している。

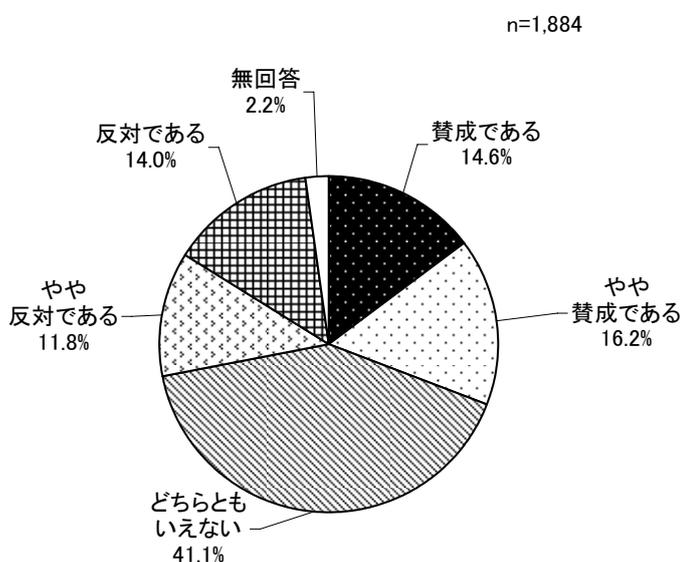
7. 男女共同参画

(1) 「女性は家事・育児を行い、男性は仕事を行う」という考え方

◇『賛成である(計)』は約3割

【問18】あなたは「女性が家事・育児を行い、男性が仕事を行う」という考え方について、どのようにお考えですか。次の中から1つだけ選んでください。

		(n=1,884)	
1. 賛成である	14.6%	4. やや反対である	11.8
2. やや賛成である	16.2	5. 反対である	14.0
3. どちらともいえない	41.1	(無回答)	2.2



「女性が家事・育児を行い、男性が仕事を行う」という考え方については、「賛成である」(14.6%)と「やや賛成である」(16.2%)を合わせた『賛成である(計)』(30.8%)は約3割となっている。

一方、「やや反対である」(11.8%)と「反対である」(14.0%)を合わせた『反対である(計)』(25.8%)は2割台半ばとなっている。

〈性別〉

『賛成である(計)』は男性(34.8%)が女性(27.0%)を7.8ポイント上回っている。

〈年齢別〉

『賛成である(計)』は男女ともに60歳以上(男性:42.5、女性:32.6%)で最も高くなっている。一方、『反対である(計)』は男性では30歳代(34.4%)が3割台半ば、女性では20歳代(43.6%)、50歳代(41.5%)が4割を超えて高くなっている。

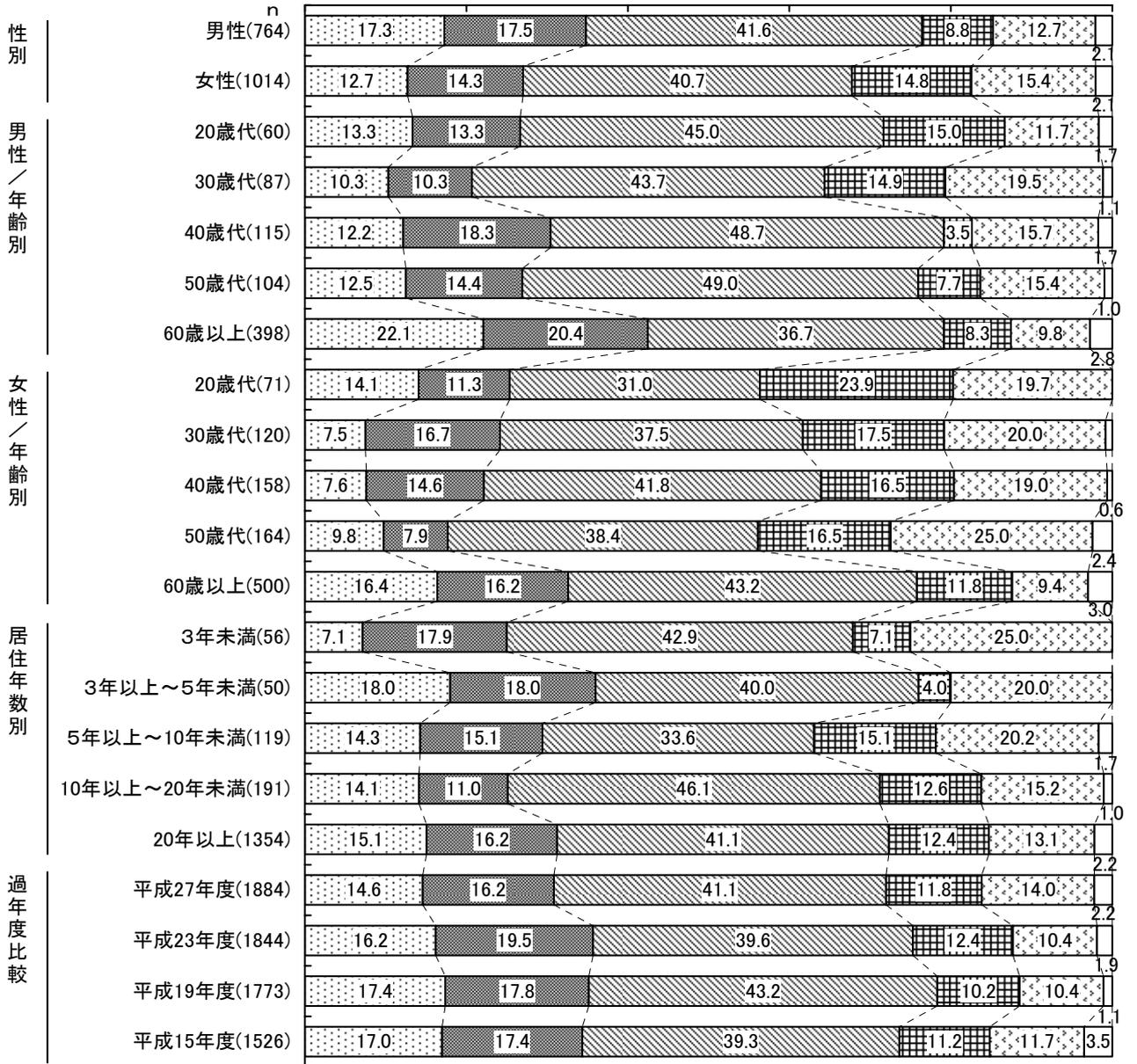
〈居住年数別〉

『賛成である(計)』は3年以上～5年未満で36.0%と最も高くなっている。

〈過年度比較〉

前回調査(平成23年度)と比較すると、『賛成である(計)』は4.9ポイント減少している。

□賛成である ■やや賛成である ▨どちらともいえない ▩やや反対である □反対である □無回答
 0% 20% 40% 60% 80% 100%

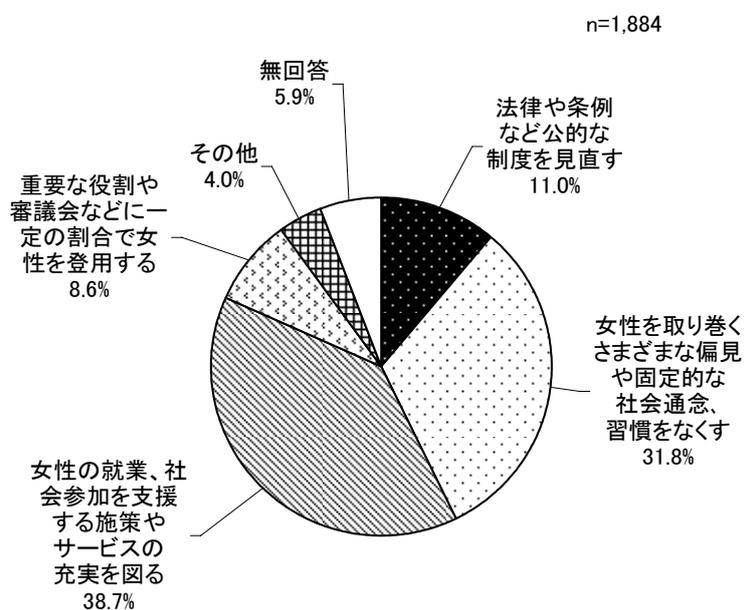


(2) 男女共同参画社会実現において重要なこと

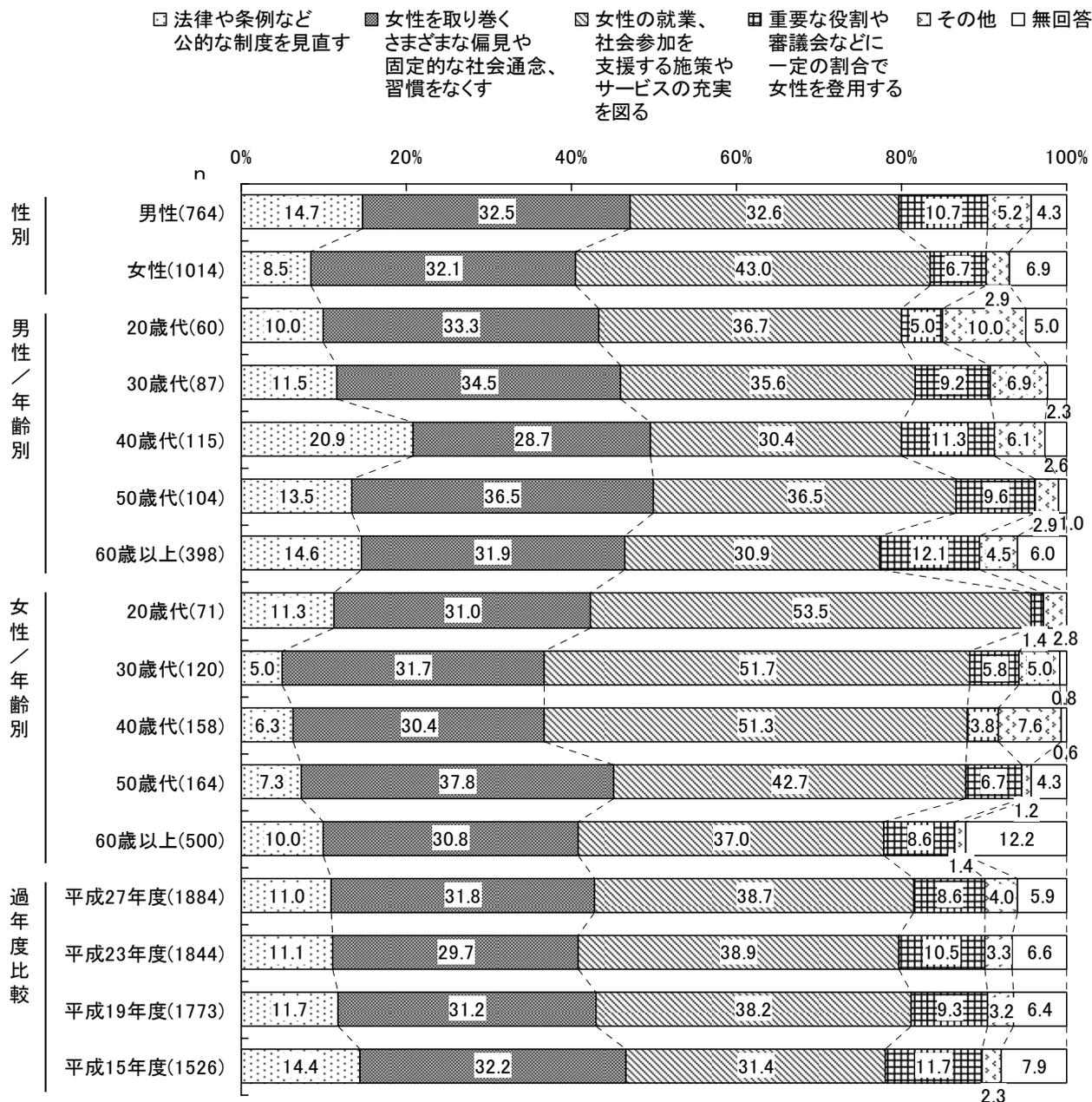
◇「女性の就業、社会参加を支援する施策やサービスの充実を図る」は約4割

【問19】男女共同参画社会を実現していくためには、何が最も重要だと思いますか。次の中から1つだけ選んでください。

	(n=1,884)
1. 法律や条例など公的な制度を見直す	11.0%
2. 女性を取り巻くさまざまな偏見や固定的な社会通念、習慣をなくす	31.8
3. 女性の就業、社会参加を支援する施策やサービスの充実を図る	38.7
4. 重要な役割や審議会などに一定の割合で女性を登用する	8.6
5. その他	4.0
(無回答)	5.9



男女共同参画社会を実現していくために重要だと思うことについては、「女性の就業、社会参加を支援する施策やサービスの充実を図る」が38.7%で最も高く、次いで「女性を取り巻くさまざまな偏見や固定的な社会通念、習慣をなくす」(31.8%)、「法律や条例など公的な制度を見直す」(11.0%)、「重要な役割や審議会などに一定の割合で女性を登用する」(8.6%)の順となっている。



〈性別〉

「女性の就業、社会参加を支援する施策やサービスの充実を図る」は女性（43.0%）が男性（32.6%）を10.4ポイント上回り、「法律や条例など公的な制度を見直す」は男性（14.7%）が女性（8.5%）を6.2ポイント上回っている。

〈年齢別〉

「女性の就業、社会参加を支援する施策やサービスの充実を図る」は女性では20歳代から40歳代で5割台と高くなっている。「女性を取り巻くさまざまな偏見や固定的な社会通念、習慣をなくす」は男女ともに50歳代（男性：36.5%、女性：37.8%）で最も高くなっている。「法律や条例など公的な制度を見直す」は男性では40歳代で20.9%と最も高くなっている。一方、女性では30歳代から50歳代で1割を下回りやや低い傾向がみられる。

〈過年度比較〉

前回調査（平成23年度）と比較すると、どの項目でも大きな変化はみられない。

8. 市政への参加意識

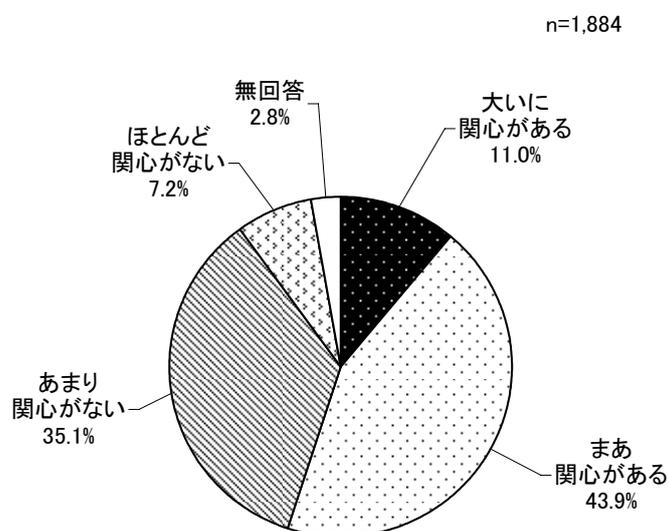
(1) 市政への関心度

◇ 『関心がある (計)』は5割台

【問20】あなたは、市政についてどの程度関心がありますか。次の中から1つだけ選んでください。

(n=1,884)

1. 大いに関心がある	11.0%	3. あまり関心がない	35.1
2. まあ関心がある	43.9	4. ほとんど関心がない (無回答)	7.2 2.8



市政への関心度については、「大いに関心がある」(11.0%)と「まあ関心がある」(43.9%)を合わせた『関心がある (計)』(54.9%)は5割台半ばとなっている。

一方、「あまり関心がない」(35.1%)と「ほとんど関心がない」(7.2%)を合わせた『関心がない (計)』(42.3%)は4割を超えている。

〈性別〉

『関心がある (計)』は男性 (59.3%) が女性 (51.3%) を8.0ポイント上回っている。

〈年齢別〉

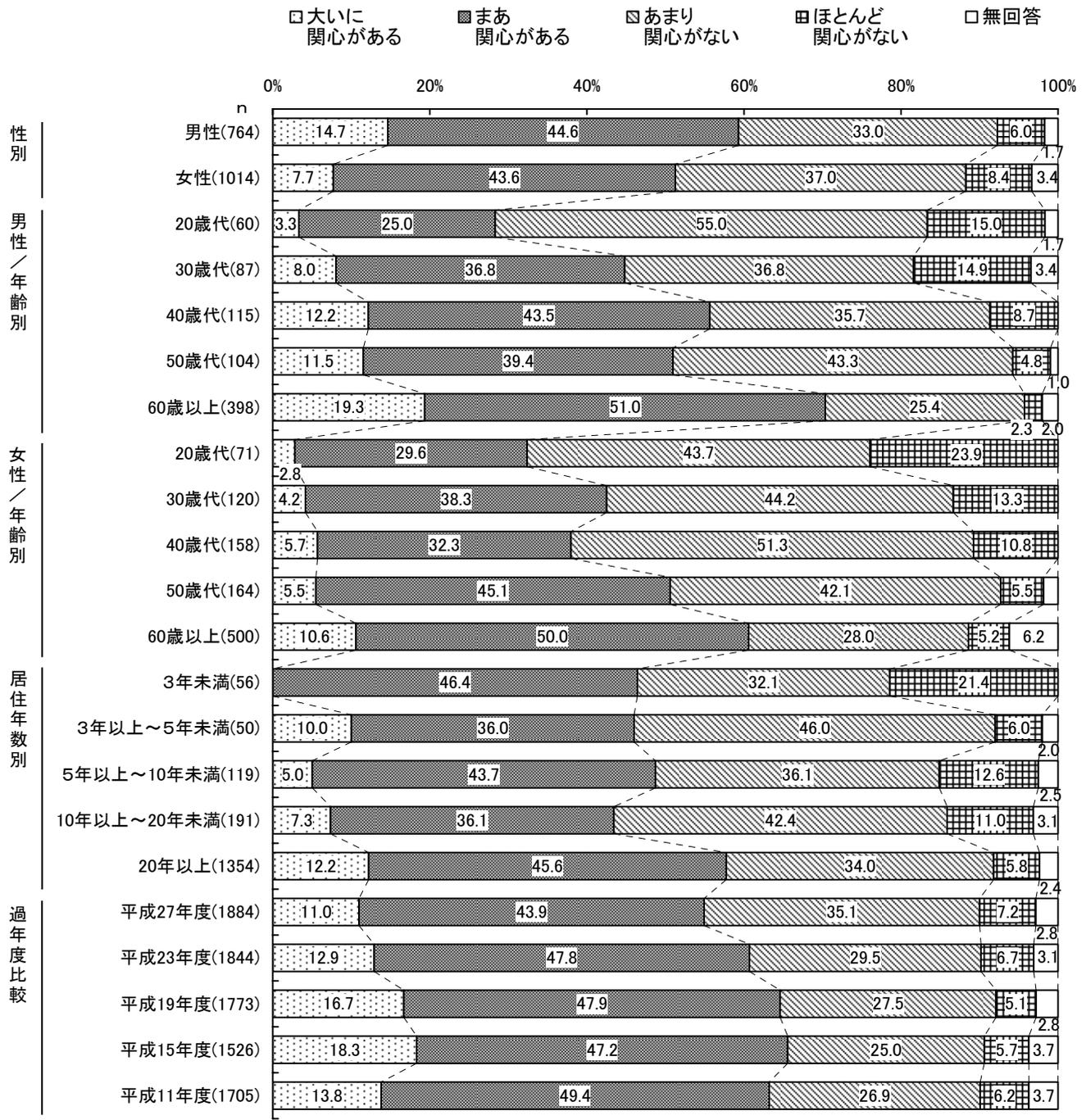
『関心がある (計)』は男女ともに60歳以上 (男性：70.3%、女性：60.6%) が最も高くなっている。

〈居住年数別〉

『関心がある (計)』は20年以上で57.8%と最も高くなっている。

〈過年度比較〉

前回調査 (平成23年度) と比較すると、『関心がある (計)』は5.8ポイント減少している。



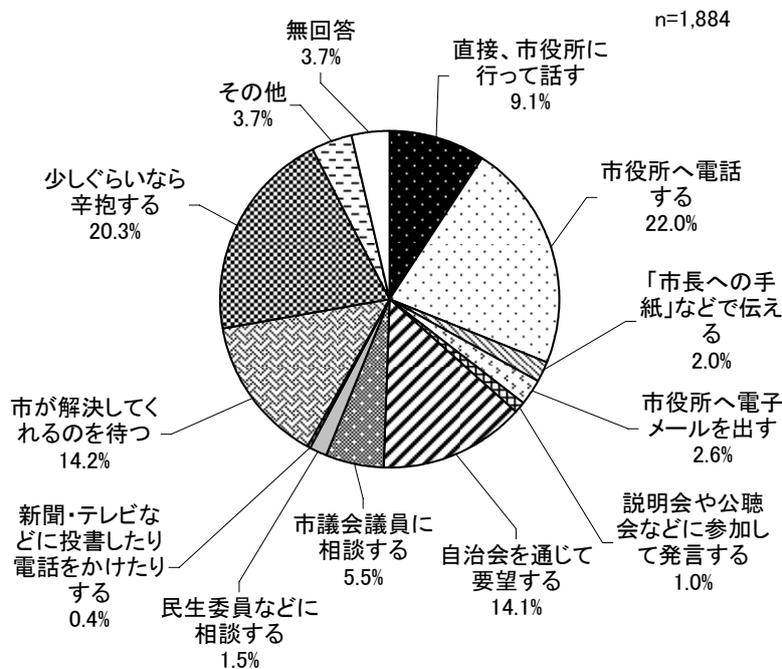
(2) 市政への意見や不満の伝達

◇「市役所へ電話する」は2割を超える

【問21】あなたは、市政に関することで意見や不満があるとき、まず、どのようにしますか。次の中から1つだけ選んでください。

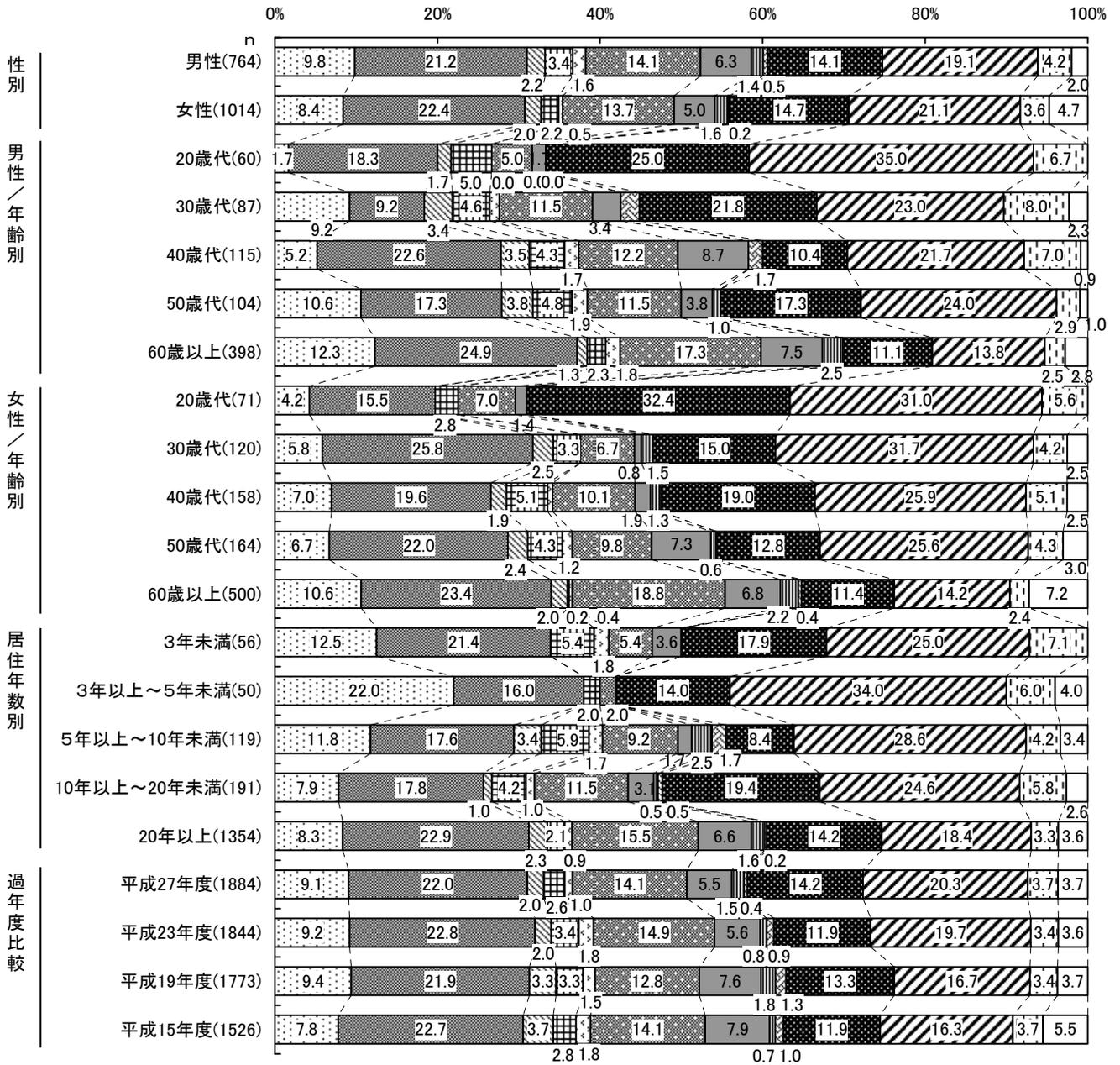
(n=1,884)

1. 直接、市役所に行って話す	9.1%	8. 民生委員などに相談する	1.5
2. 市役所へ電話する	22.0	9. 新聞・テレビなどに投書したり 電話をかけたたりする	0.4
3. 「市長への手紙」などで伝える	2.0	10. 市が解決してくれるのを待つ	14.2
4. 市役所へ電子メールを出す	2.6	11. 少しぐらいなら辛抱する	20.3
5. 説明会や公聴会などに参加して発言する	1.0	12. その他 (無回答)	3.7
6. 自治会を通じて要望する	14.1		3.7
7. 市議会議員に相談する	5.5		



市政に関する意見や不満を伝達する方法としては、「市役所へ電話する」が22.0%と最も高く、次いで「少しぐらいなら辛抱する」(20.3%)、「市が解決してくれるのを待つ」(14.2%)、「自治会を通じて要望する」(14.1%)などの順となっている。

- 直接、市役所に行って話す
- ▣ 「市長への手紙」などで伝える
- 説明会や公聴会などに参加して発言する
- 市議会議員に相談する
- ▣ 新聞・テレビなどに投書したり電話をかけたります
- ▣ 少しぐらいなら辛抱する
- 無回答
- 市役所へ電話する
- ▣ 市役所へ電子メールを出す
- 自治会を通じて要望する
- ▣ 民生委員などに相談する
- 市が解決してくれるのを待つ
- その他



〈性別〉

どの項目でも男女間で大きな差はみられない。

〈年齢別〉

「市役所へ電話する」は男性では60歳以上(24.9%)、女性では30歳代(25.8%)で最も高くなっている。「市が解決してくれるのを待つ」は男女ともに20歳代(男性:25.0%、女性:32.4%)で最も高くなっている。「少しくらいなら辛抱する」は男性では20歳代(35.0%)、女性では20歳代(31.0%)と30歳代(31.7%)が3割台で高くなっている。

〈居住年数別〉

「少しくらいなら辛抱する」は3年以上～5年未満で34.0%と最も高く、3年未満を除いて年数が長いほど割合は低くなる傾向がみられる。また、「直接、市役所に行って話す」は3年以上～5年未満で22.0%と最も高くなっている。

〈過年度比較〉

前回調査(平成23年度)と比較すると、どの項目でも大きな変化はみられない。

(3) 市からの情報の媒体

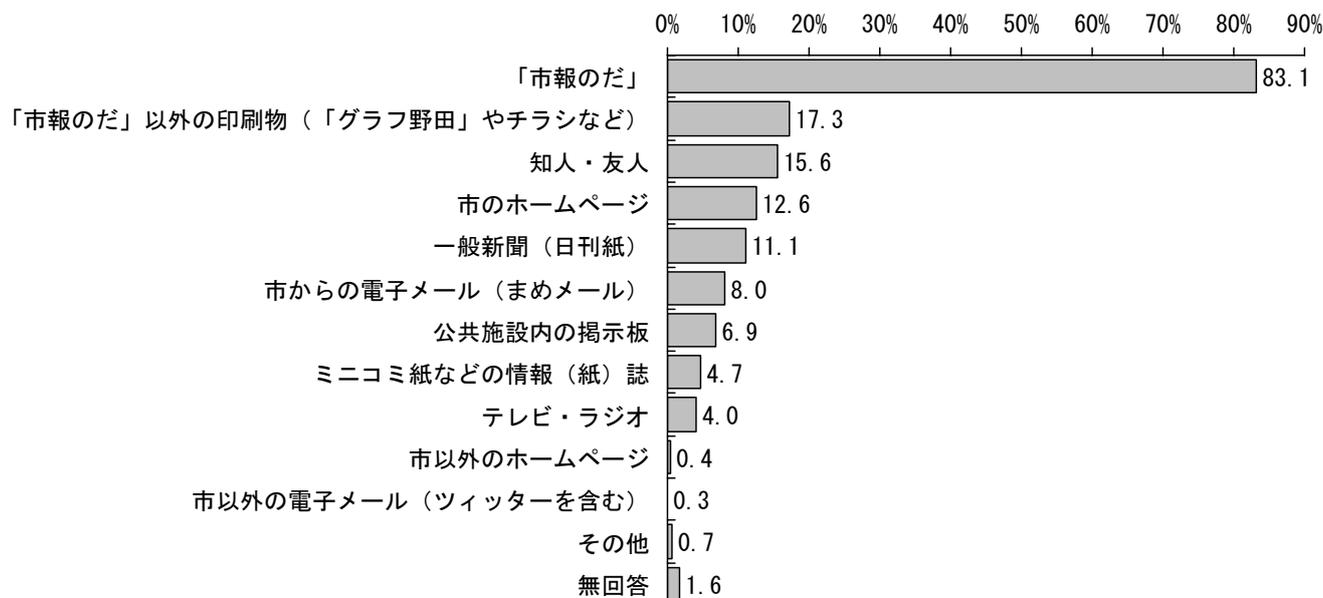
◇ 『市報のだ』は8割台

【問 22】あなたは、市に関する情報を主に何によって知りますか。次の中から2つ以内で選んでください。

(n=1,884)

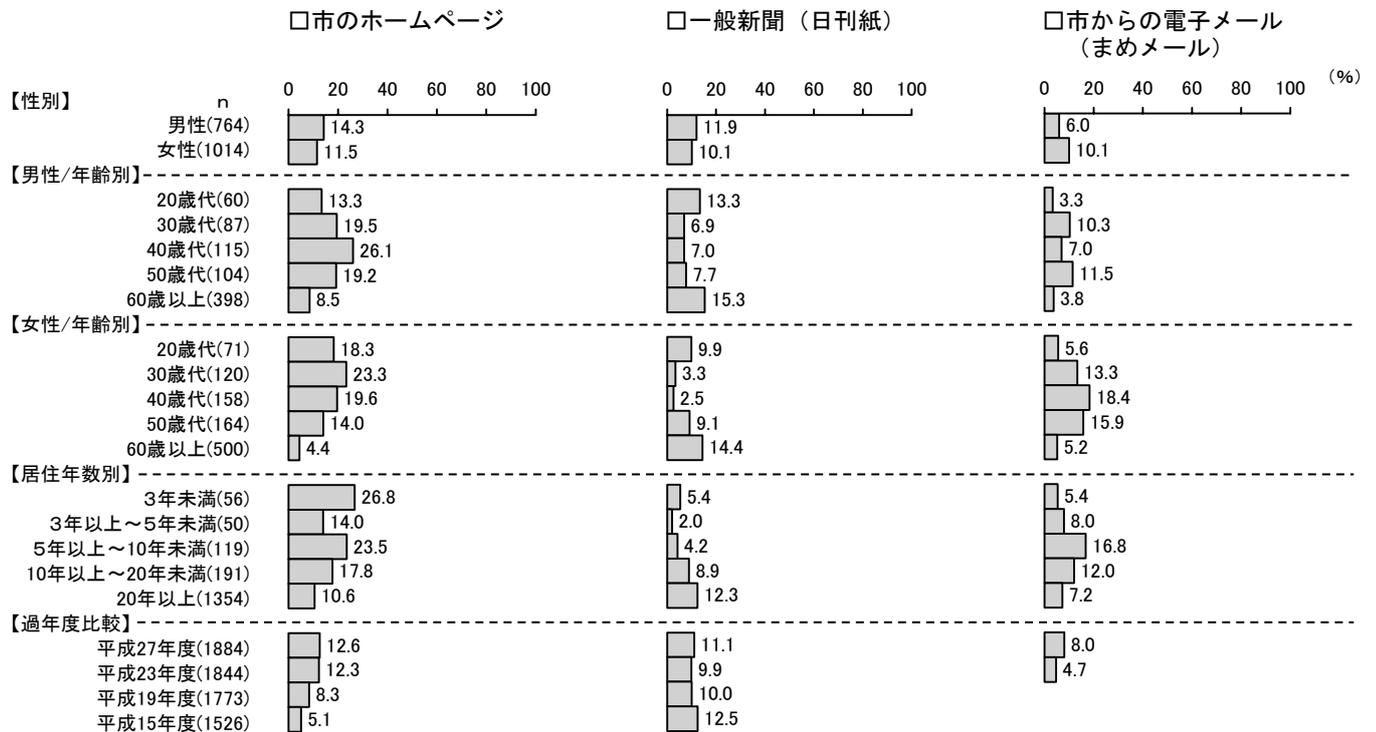
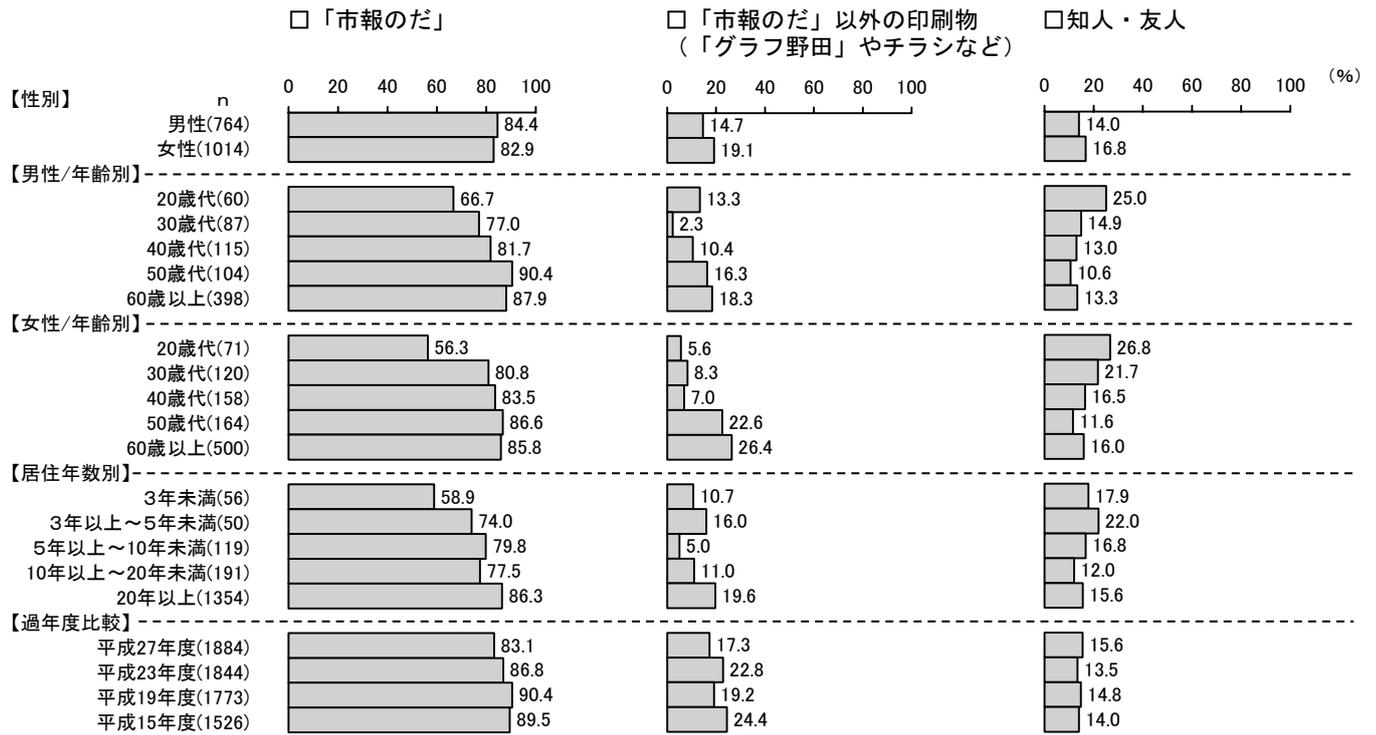
1. 「市報のだ」	83.1%	7. 公共施設内の掲示板	6.9
2. 「市報のだ」以外の印刷物（「グラフ野田」やチラシなど）	17.3	8. 一般新聞（日刊紙）	11.1
3. 市のホームページ	12.6	9. ミニコミ紙などの情報（紙）誌	4.7
4. 市以外のホームページ	0.4	10. テレビ・ラジオ	4.0
5. 市からの電子メール（まめメール）	8.0	11. 知人・友人	15.6
6. 市以外の電子メール（ツイッターを含む）	0.3	12. その他	0.7
		（無回答）	1.6

n=1,884



市に関する情報を得る媒体としては、『市報のだ』が83.1%と最も高く、次いで『市報のだ』以外の印刷物（「グラフ野田」やチラシなど）（17.3%）、「知人・友人」（15.6%）、「市のホームページ」（12.6%）などの順となっている。

上位6項目の属性別



※「市からの電子メール(まめメール)」は平成23年度から

〈性別〉

『市報のだ』以外の印刷物（『グラフ野田』やチラシなど）は女性（19.1%）が男性（14.7%）を4.4ポイント上回っている。「市からの電子メール（まめメール）」も女性（10.1%）が男性（6.0%）を4.1ポイント上回っている。

〈年齢別〉

『市報のだ』は男女ともに20歳代（男性：66.7%、女性：56.3%）で特に低くなっている。『市報のだ』以外の印刷物（『グラフ野田』やチラシなど）は女性の50歳代から60歳以上で2割台と高くなっている。「友人・知人」は男女ともに20歳代で2割台半ばと高くなっている。

〈居住年数別〉

『市報のだ』は3年未満で58.9%と最も低くなっている。「友人・知人」は3年以上～5年未満で22.0%と最も高くなっている。「市のホームページ」は3年未満で26.8%と最も高くなっている。

〈過年度比較〉

前回調査（平成23年度）と比較すると、『市報のだ』は3.7ポイント、『市報のだ』以外の印刷物（『グラフ野田』やチラシなど）は5.5ポイント減少している。一方、市からの電子メール（まめメール）は3.3ポイント増加している。

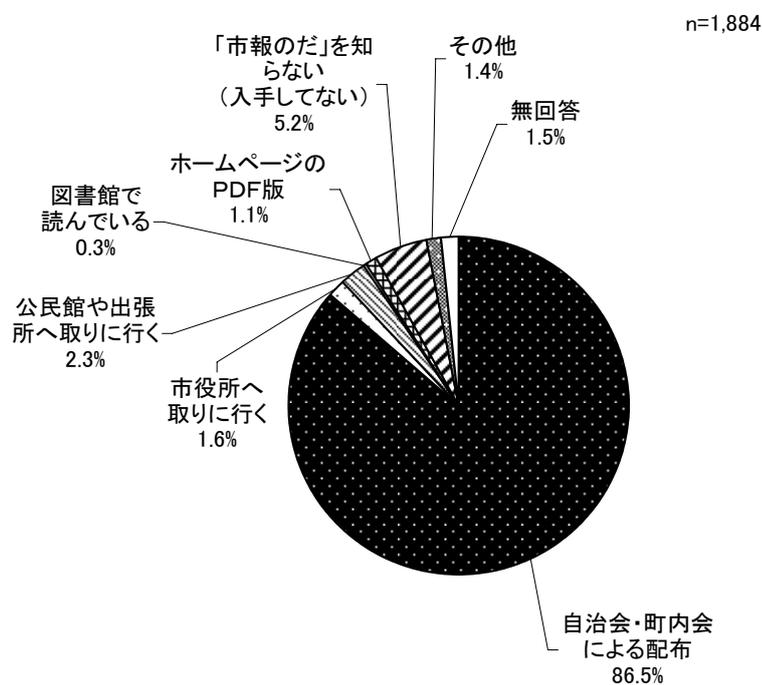
(4) 「市報のだ」の入手方法

◇ 「自治会・町内会による配布」は8割台半ば

【問23】 あなたは「市報のだ」をどのように入手していますか。次の中から1つだけ選んでください。

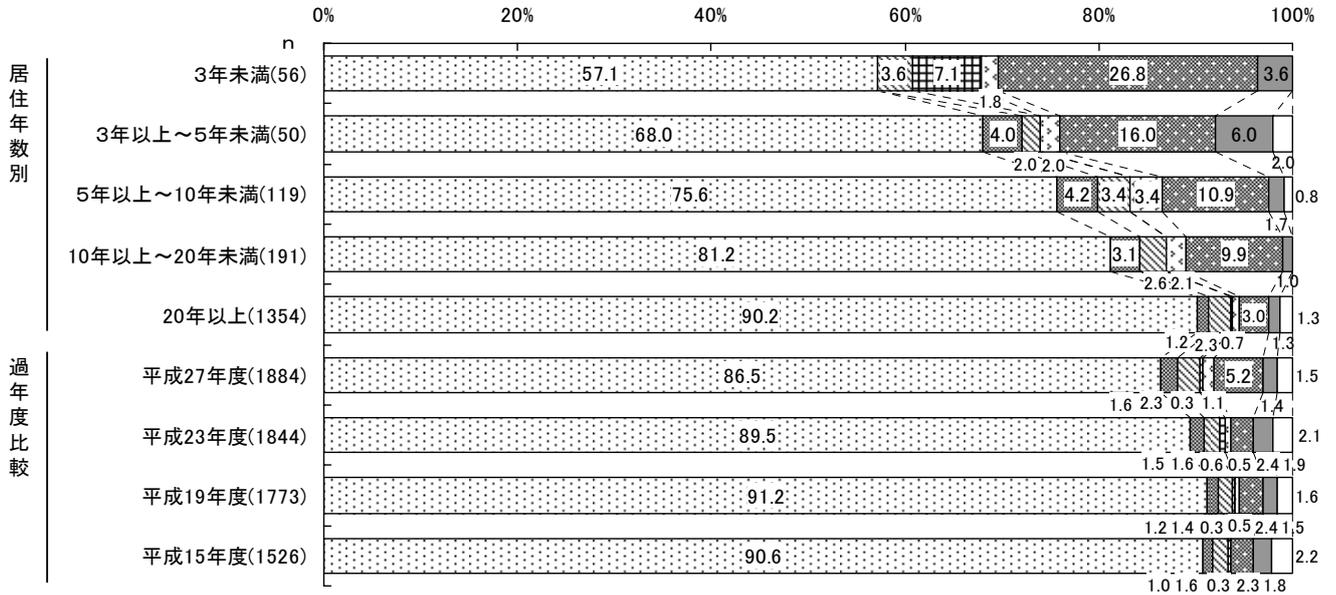
(n=1,884)

1. 自治会・町内会による配布	86.5%	5. ホームページのPDF版	1.1
2. 市役所へ取りに行く	1.6	6. 「市報のだ」を知らない(入手してない)	5.2
3. 公民館や出張所へ取りに行く	2.3	7. その他	1.4
4. 図書館で読んでいる	0.3	(無回答)	1.5



「市報のだ」の入手方法では、「自治会・町内会による配布」が86.5%と突出して高くなっている。

□ 自治会・町内会による配布 ■ 市役所へ取りに行く ▨ 公民館や出張所へ取りに行く ▩ 図書館で読んでいる □ ホームページのPDF版を利用する ■ 「市報のだ」を知らない（入手していない） ■ その他 □ 無回答



〈居住年数別〉

「自治会・町内会による配布」は居住年数が長いほど割合は高い傾向がみられ、20年以上で90.2%と最も高くなっている。「『市報のだ』を知らない（入手していない）」は居住年数が短いほど割合は高くなる傾向がみられ、3年未満で26.8%と最も高くなっている。

〈過年度比較〉

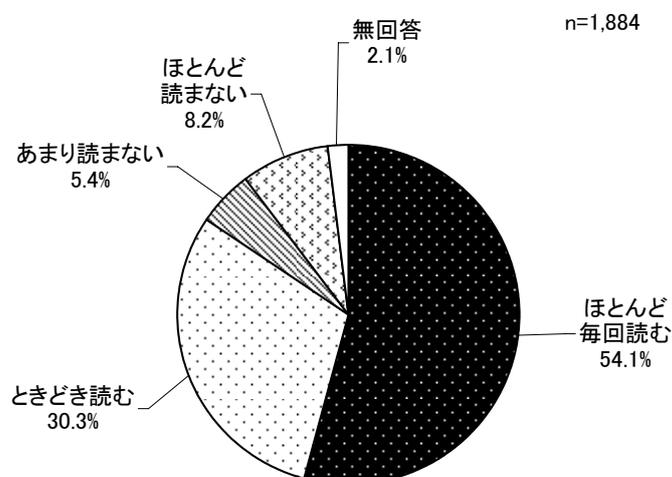
前回調査（平成23年度）と比較すると、「自治会・町内会による配布」が3.0ポイント減少している。

(5) 「市報のだ」の閲読度

◇『読む(計)』は8割台半ば

【問24】あなたは、「市報のだ」をどれぐらい読んでいますか。次の中から1つだけ選んでください。

				(n=1,884)
1. ほとんど毎回読む	54.1%	3. あまり読まない		5.4
2. ときどき読む	30.3	4. ほとんど読まない		8.2
		(無回答)		2.1



「市報のだ」の閲読度については、「ほとんど毎回読む」(54.1%)、と「ときどき読む」(30.3%)を合わせた『読む(計)』(84.4%)は8割台半ばとなっている。

一方、「あまり読まない」(5.4%)と「ほとんど読まない」(8.2%)を合わせた『読まない(計)』(13.6%)は1割台半ばとなっている。

〈性別〉

『読む(計)』は男女間で大きな差はみられない。

〈年齢別〉

『読む(計)』は男女ともに年代が上がるほど割合は高くなる傾向がみられ、男女の60歳以上ではそれぞれ90.7%、91.6%となっている。

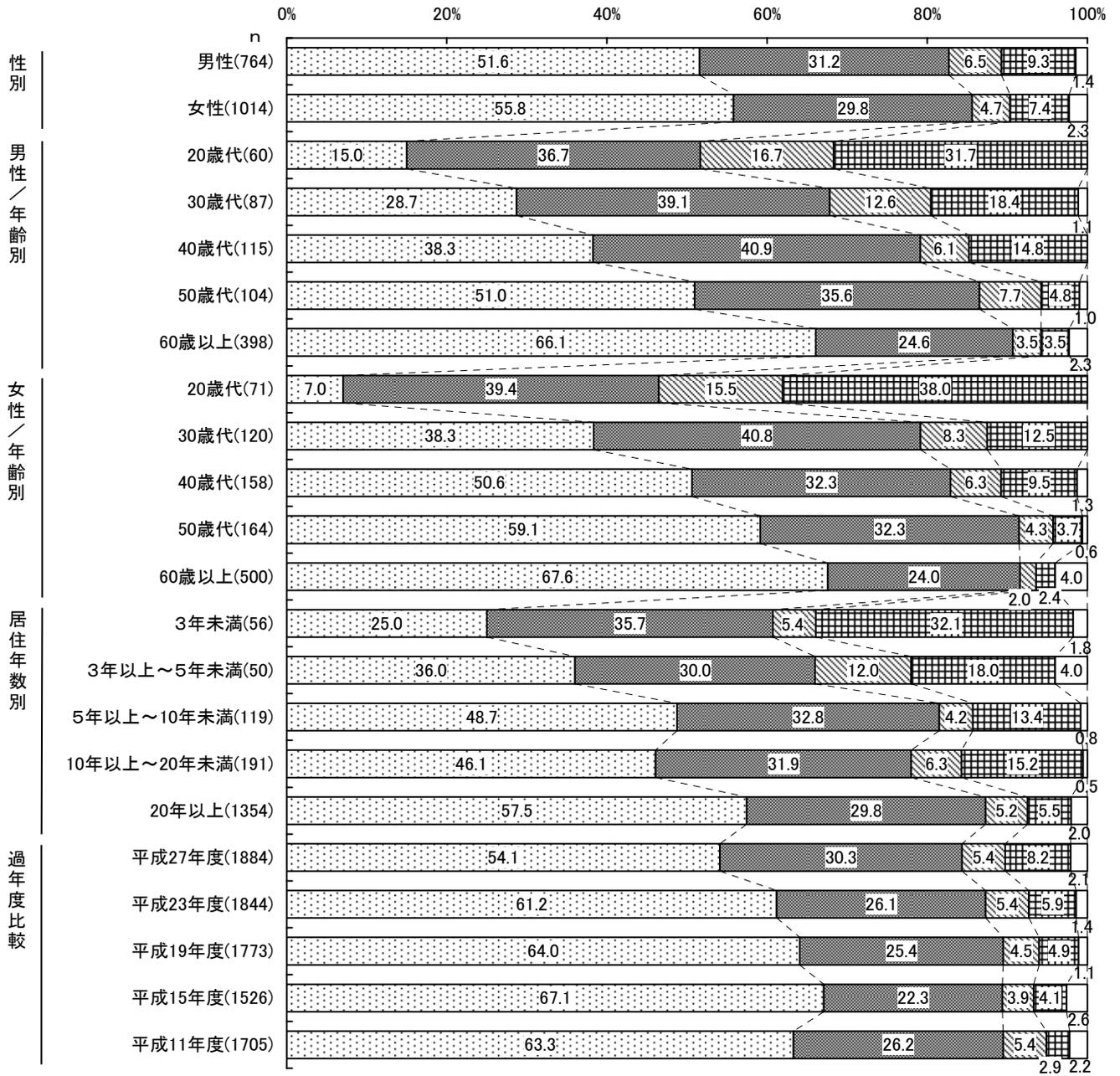
〈居住年数別〉

『読む(計)』はおおむね居住年数が長くなるほど割合は高くなる傾向がみられ、20年以上で87.3%と最も高くなっている。

〈過年度比較〉

前回調査(平成23年度)と比較すると、『読む(計)』はほとんど変化はみられない。

□ほとんど毎回読む ■ときどき読む ▨あまり読まない ▩ほとんど読まない □無回答



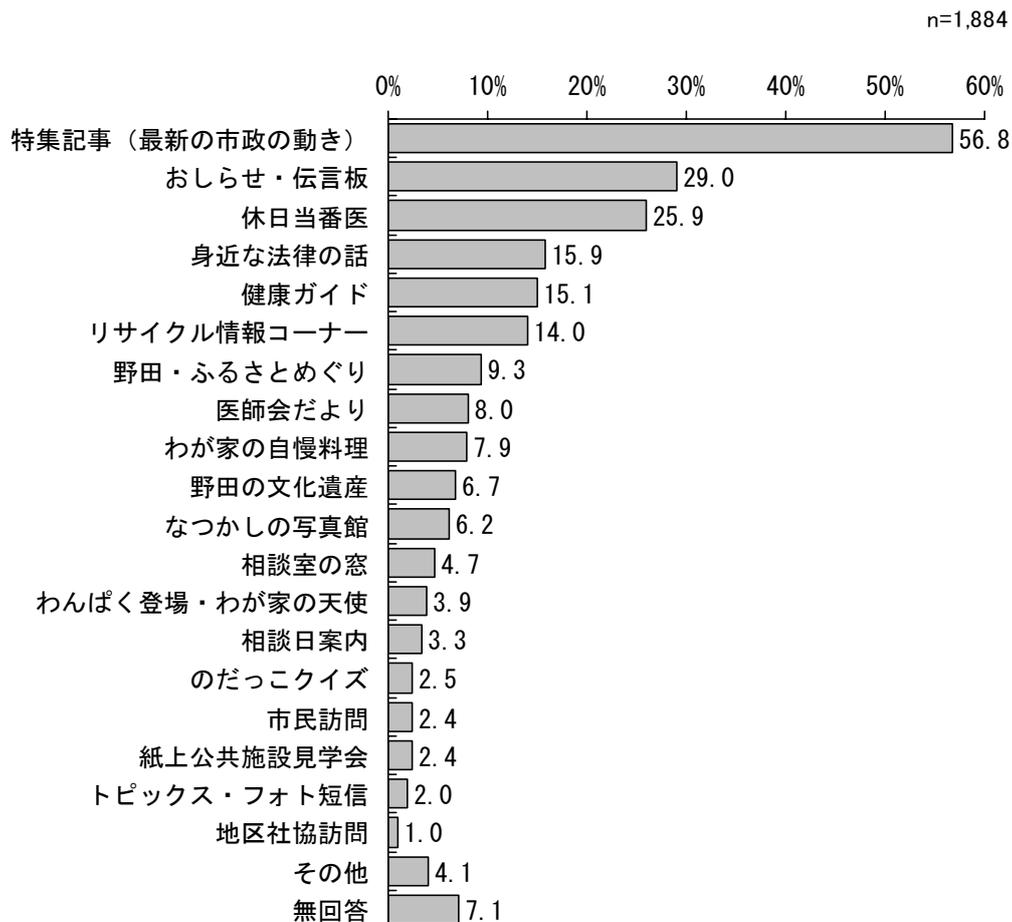
(6) 「市報のだ」でよく読む記事

◇「特集記事（最新の市政の動き）」は5割台半ば

【問 25】あなたが、「市報のだ」の中でよく読む記事は何ですか。次の中から主なものを3つ以内で選んでください。

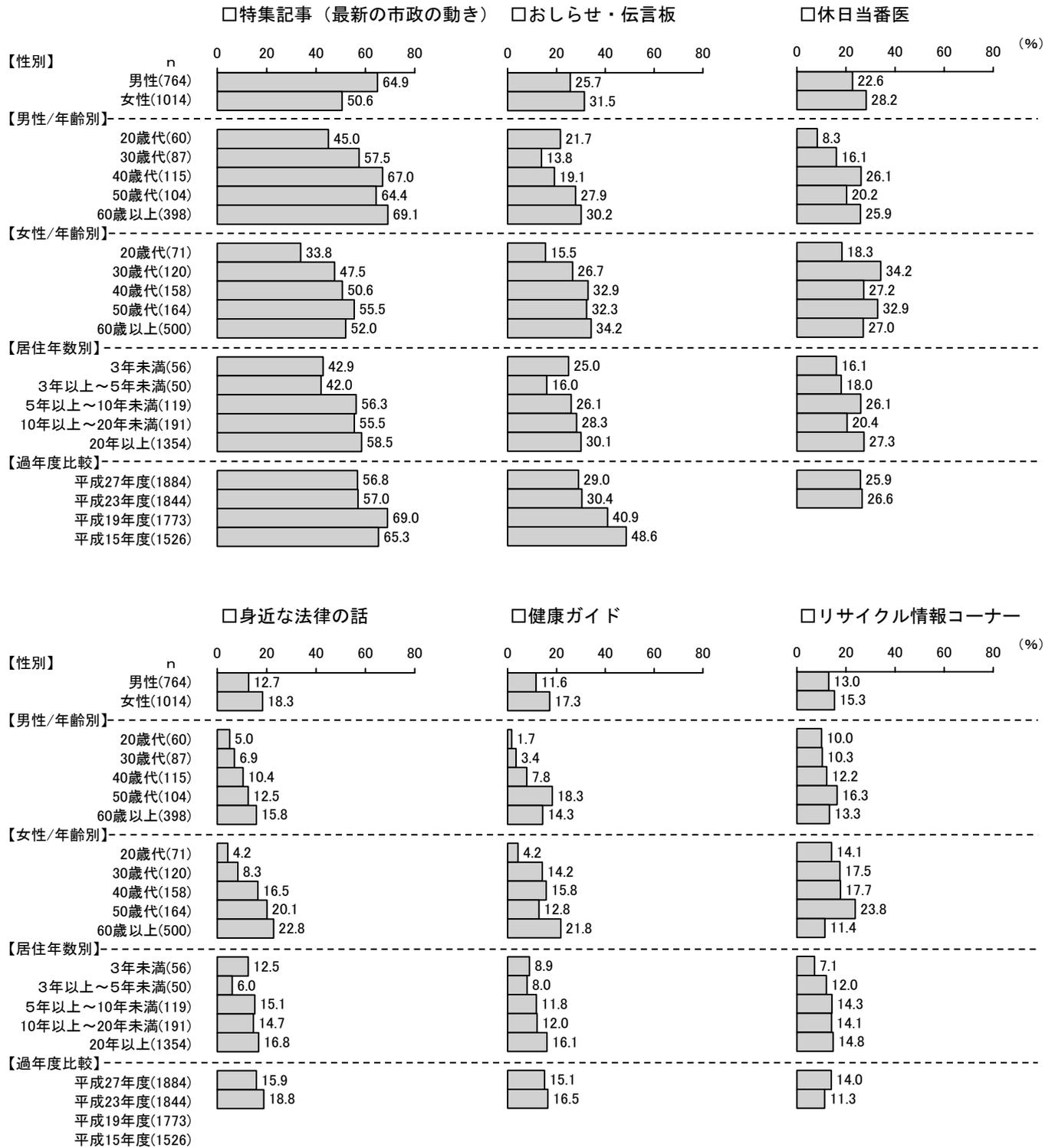
(n=1,884)

1. 特集記事（最新の市政の動き）	56.8%	11. 相談日案内	3.3
2. 市民訪問	2.4	12. わんぱく登場・わが家の天使	3.9
3. 紙上公共施設見学会	2.4	13. のだっこクイズ	2.5
4. 地区社協訪問	1.0	14. 休日当番医	25.9
5. トピックス・フォト短信	2.0	15. 野田の文化遺産	6.7
6. わが家の自慢料理	7.9	16. 相談室の窓	4.7
7. なつかしの写真館	6.2	17. 身近な法律の話	15.9
8. おしらせ・伝言板	29.0	18. 健康ガイド	15.1
9. 医師会だより	8.0	19. リサイクル情報コーナー	14.0
10. 野田・ふるさとめぐり	9.3	20. その他	4.1
		(無回答)	7.1



「市報のだ」でよく読む記事については、「特集記事（最新の市政の動き）」が56.8%と最も高く、次いで「おしらせ・伝言板」（29.0%）、「休日当番医」（25.9%）、「身近な法律の話」（15.9%）などの順となっている。

上位6項目の属性別



※「休日当番医」「身近な法律の話」「健康ガイド」「リサイクル情報コーナー」は平成23年度から

〈性別〉

「特集記事（最近の市政の動き）」は男性が女性を14.3ポイント上回っている。「おしらせ・伝言板」は5.8ポイント、「休日当番医」と「身近な法律の話」ともに5.6ポイント、「健康ガイド」は5.7ポイント上回っている。

〈年齢別〉

「特集記事（最近の市政の動き）」は男女ともに20歳代（男性：45.0%、女性：33.8%）で最も低くなっている。「おしらせ・伝言板」は男性では30歳代（13.8%）、女性では20歳代（15.5%）が最も低くなっている。「休日当番医」は男性では20歳代（8.3%）で極端に低くなっている。一方、女性では30歳代と50歳代で3割を超えて高くなっている。

〈居住年数別〉

「特集記事（最近の市政の動き）」は3年未満と3年以上～5年未満で4割台とやや低くなっている。「おしらせ・伝言板」は3年以上～5年未満で16.0%とやや低いことを除き、居住年数が長くなるほど割合は高くなる傾向がみられる。

〈過年度比較〉

前回調査（平成23年度）と比較すると、どの項目でもほとんど変化はみられない。

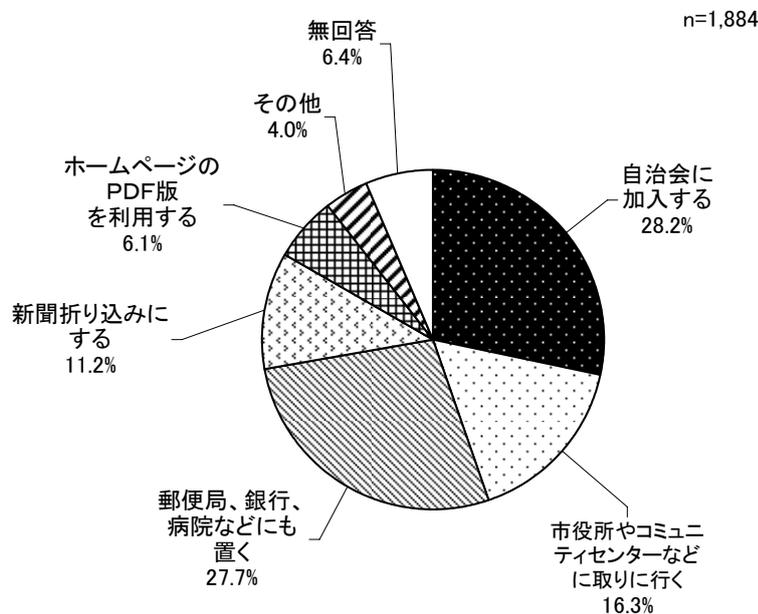
(7) 自治会未加入者への配布

◇「自治会に加入する」は約3割

【問 26】 現在、「市報のだ」は自治会を通じて配布されていますが、自治会に加入されていない方には配布されていません。あなたは、自治会に加入されていない方が、今後どのようにして「市報のだ」を入手すればよいとお考えですか。次の中から1つだけ選んでください。

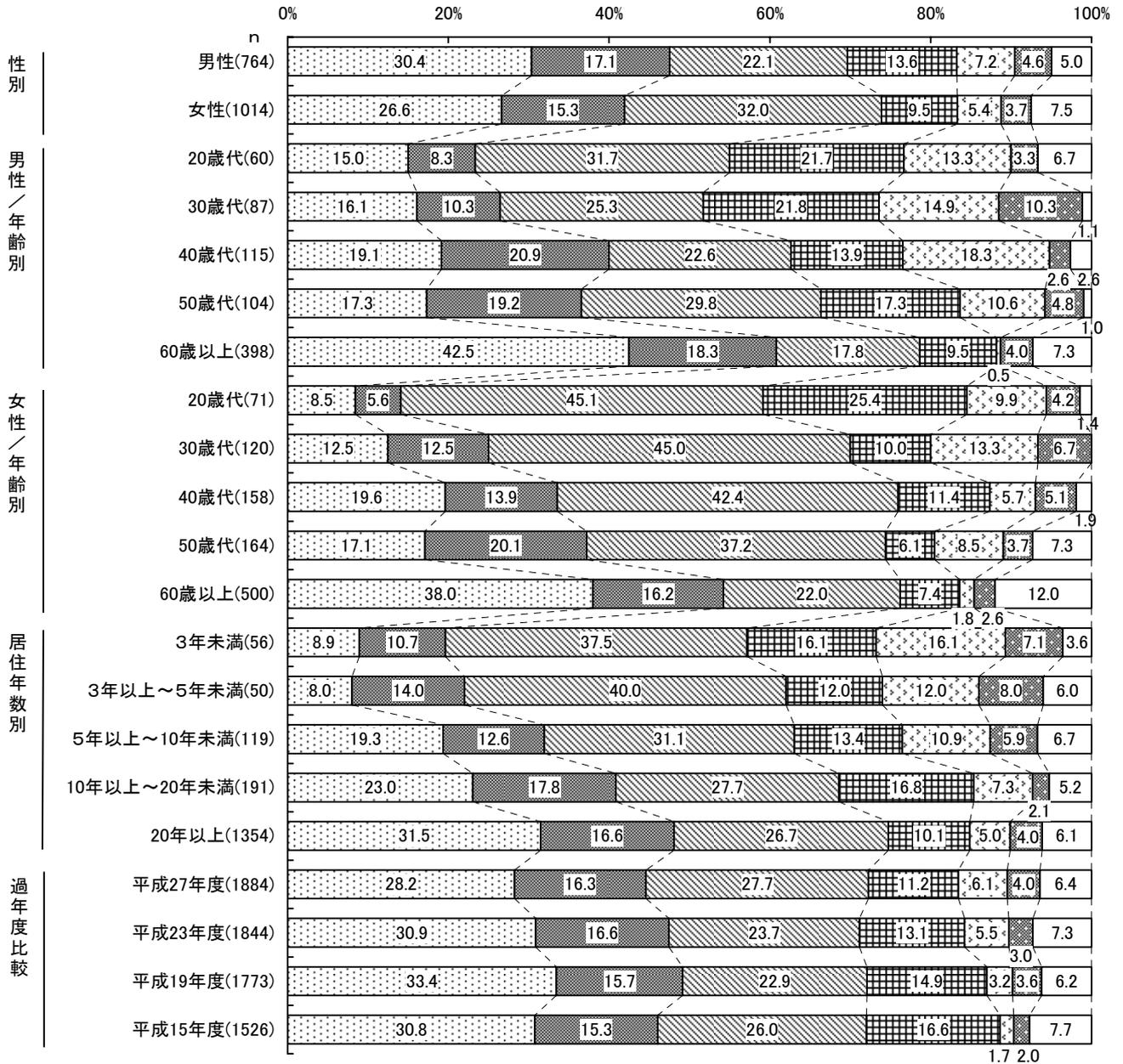
(n=1,884)

1. 自治会に加入する	28.2%	4. 新聞折り込みにする	11.2
2. 市役所やコミュニティセンターなどに取りに行く	16.3	5. ホームページのPDF版を利用する	6.1
3. 郵便局、銀行、病院などにも置く	27.7	6. その他	4.0
		(無回答)	6.4



「市報のだ」の自治会未加入者への配布については、「自治会に加入する」が28.2%と最も高く、次いで「郵便局、銀行、病院などにも置く」(27.7%)、「市役所やコミュニティセンター等に取りに行く」(16.3%)などの順となっている。

□自治会に加入する ■市役所やコミュニティセンターなどに取りに行く ▨郵便局、銀行、病院などにも置く ▩新聞折り込みにする □ホームページのPDF版を利用する ■その他 □無回答



〈性別〉

「自治会に加入する」と「新聞折り込みにする」は男性が女性をそれぞれ3.8ポイント、4.1ポイント上回っている。「郵便局、銀行、病院などにも置く」は女性が男性を9.9ポイント上回っている。

〈年齢別〉

「自治会に加入する」は男女ともに60歳以上（男性：42.5%、女性：38.0%）で突出して高くなっている。一方、「ホームページのPDF版を利用する」は男女ともに60歳以上（男性：0.5%、女性：1.8%）で特に低くなっている。

〈居住年数別〉

「自治会に加入する」は3年未満を除き、3年以上では居住年数が長くなるほど割合は高くなる傾向がみられる。一方、「ホームページのPDF版を利用する」は居住年数が短くなるほど割合は高くなる傾向がみられる。

〈過年度比較〉

前回調査（平成23年度）と比較すると、「郵便局、銀行、病院などにも置く」は4.0ポイント増加している。

9. 情報の入手方法

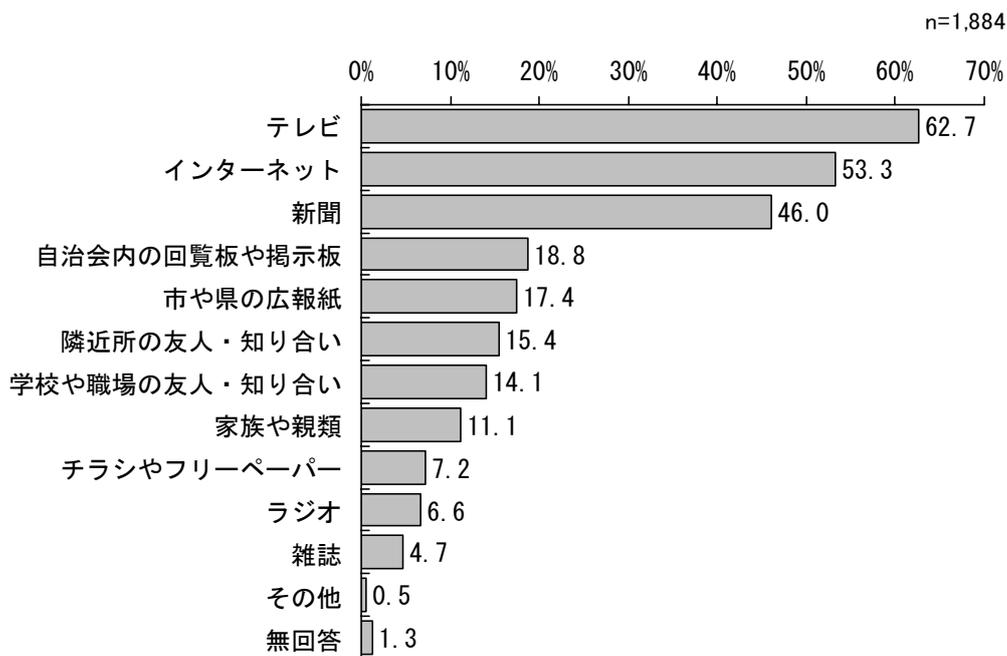
(1) 情報の入手方法

◇「テレビ」は6割を超える

【問27】あなたは、何か情報を入手したい時に、主に何から入手していますか。次の中からあてはまるものを3つ以内で選んでください。

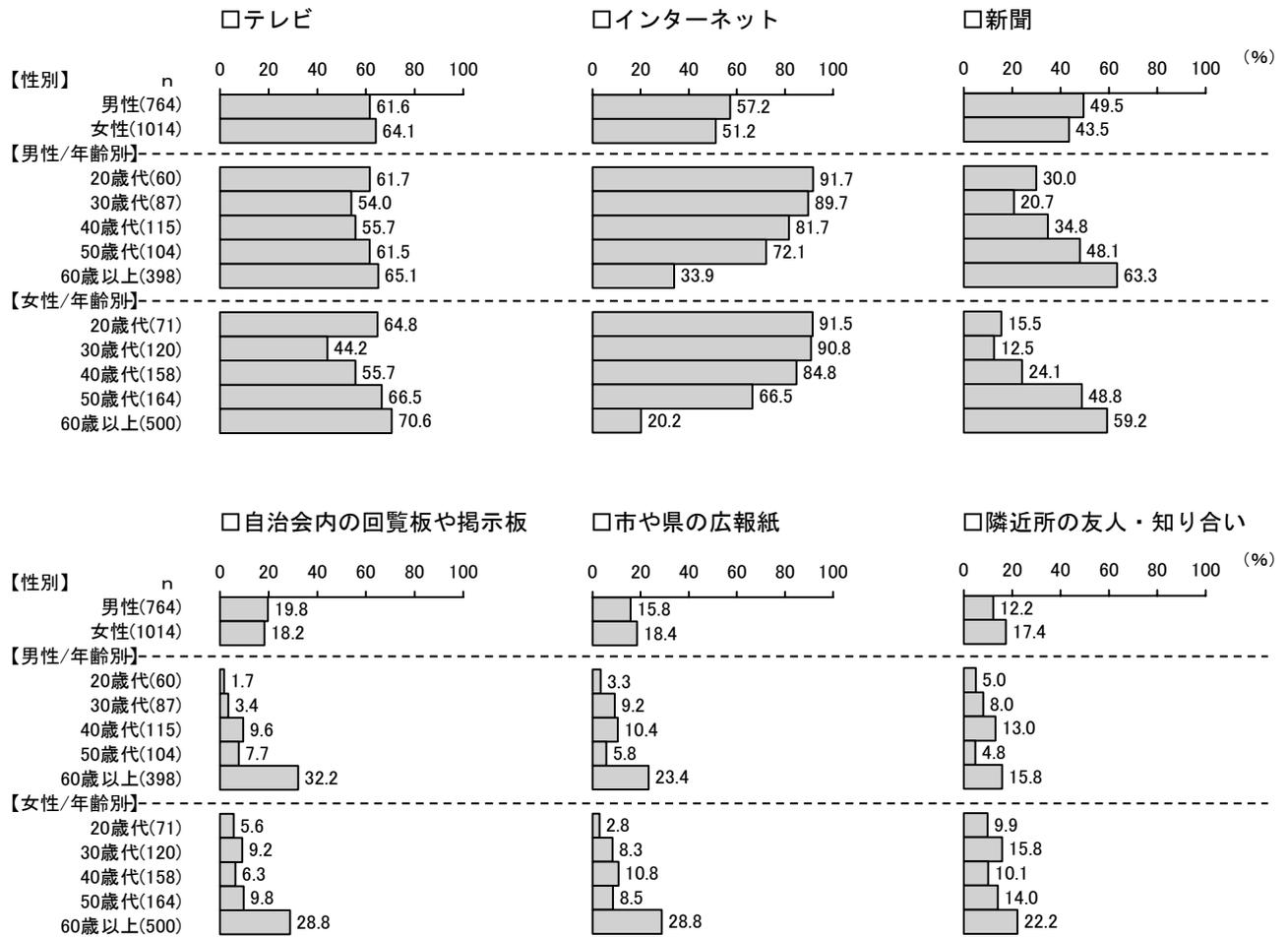
(n=1,884)

1. テレビ	62.7%	7. 学校や職場の友人・知り合い	14.1
2. インターネット	53.3	8. 隣近所の友人・知り合い	15.4
3. 新聞	46.0	9. チラシやフリーペーパー	7.2
4. 市や県の広報紙	17.4	10. 雑誌	4.7
5. 家族や親類	11.1	11. ラジオ	6.6
6. 自治会内の回覧板や掲示板	18.8	12. その他	0.5
		(無回答)	1.3



情報の入手方法については、「テレビ」が62.7%で最も高く、次いで「インターネット」(53.3%)、「新聞」(46.0%)、「自治会の回覧板や掲示板」(18.8%)などの順となっている。

上位6項目の属性別



〈性別〉

「インターネット」と「新聞」はともに男性が女性を6.0ポイント上回っている。「隣近所の友人・知り合い」は女性が男性を5.2ポイント上回っている。

〈年齢別〉

「テレビ」と「新聞」は男女ともに30歳以上の年代で最も割合が低く、年代が上がるほど割合は高くなる傾向がみられる。一方、「インターネット」は年代が下がるほど割合は高くなる傾向がみられる。

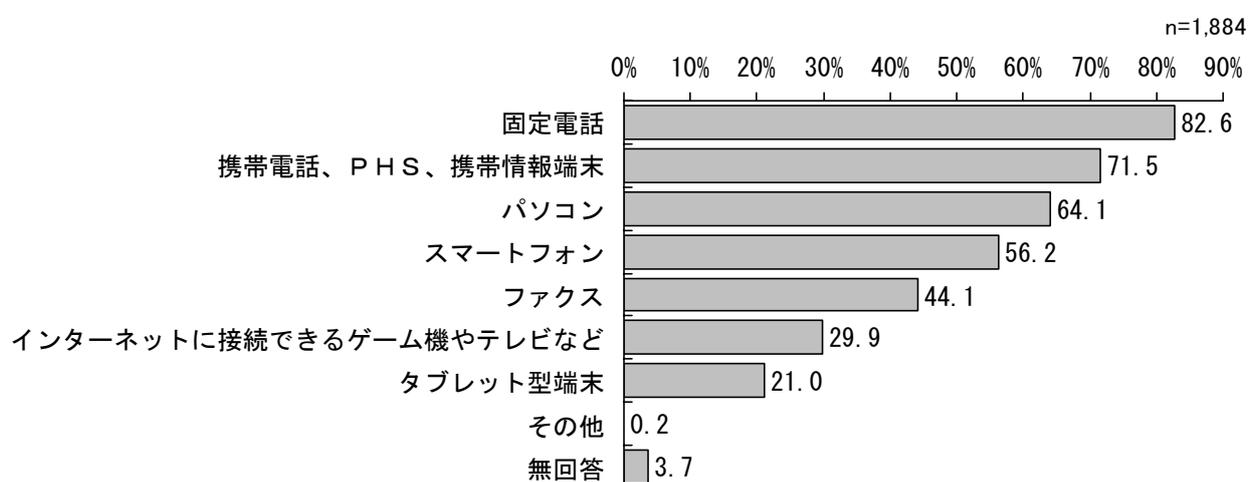
(2) 世帯にある情報通信機器

◇「固定電話」は8割を超える

【問28】あなたの世帯には、次のような情報通信機器がありますか。あなた自身が利用していない場合でも、世帯のどなたかが利用しているものを含めて、次の中からあてはまるものをすべて選んでください。

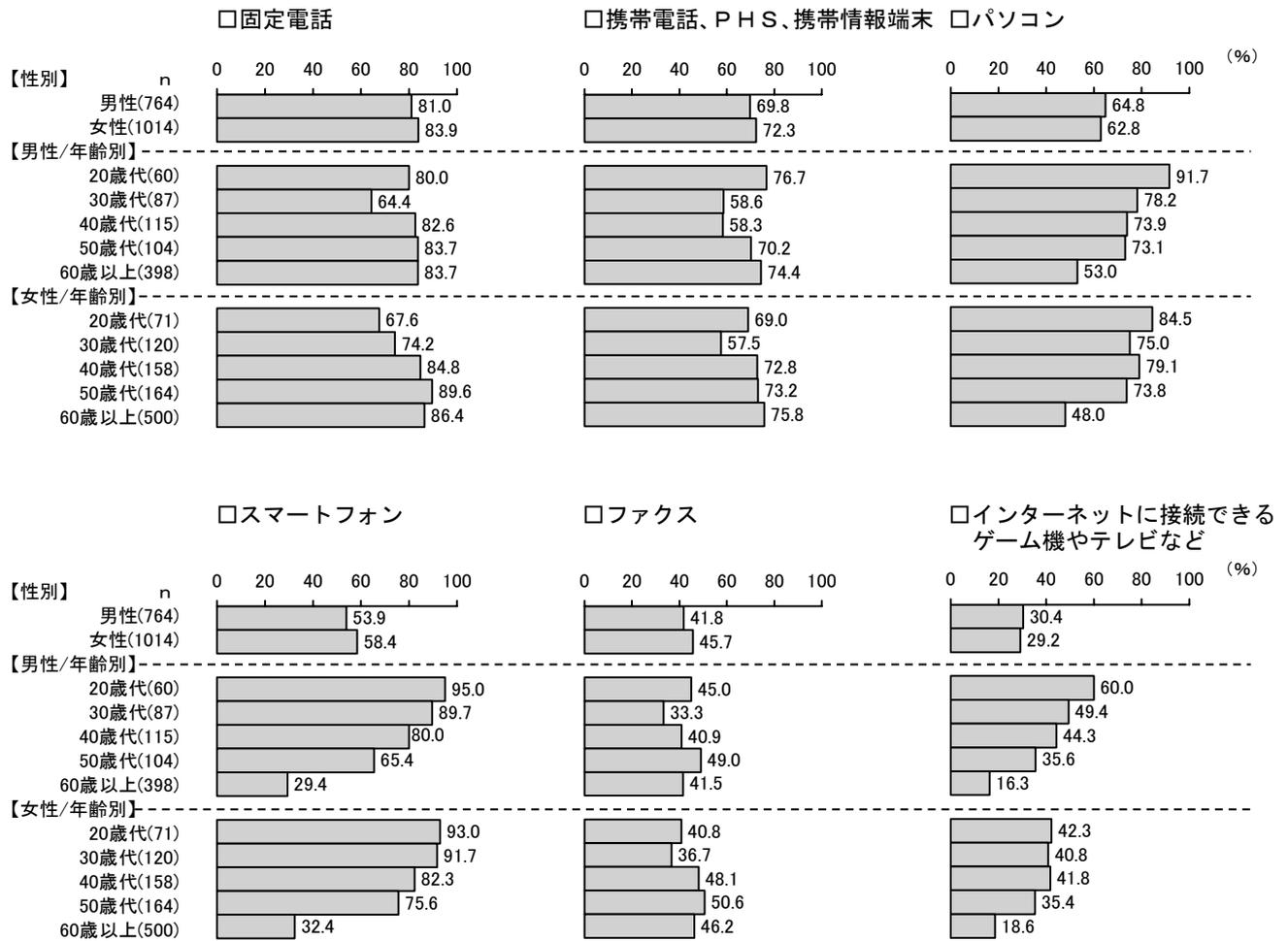
(n=1,884)

1. 固定電話	82.6%	6. インターネットに接続できるゲーム機やテレビなど	29.9
2. パソコン	64.1	7. タブレット型端末	21.0
3. 携帯電話、PHS、携帯情報端末	71.5	8. その他	0.2
4. スマートフォン	56.2	(無回答)	3.7
5. ファクス	44.1		



世帯にある情報通信機器については、「固定電話」が82.6%で最も高く、次いで「携帯電話、PHS、携帯情報端末」(71.5%)、「パソコン」(64.1%)、「スマートフォン」(56.2%)などの順になっている。

上位6項目の属性別



〈性別〉

「スマートフォン」と「ファクス」は女性が男性をそれぞれ4.5ポイント、3.9ポイント上回っている。

〈年齢別〉

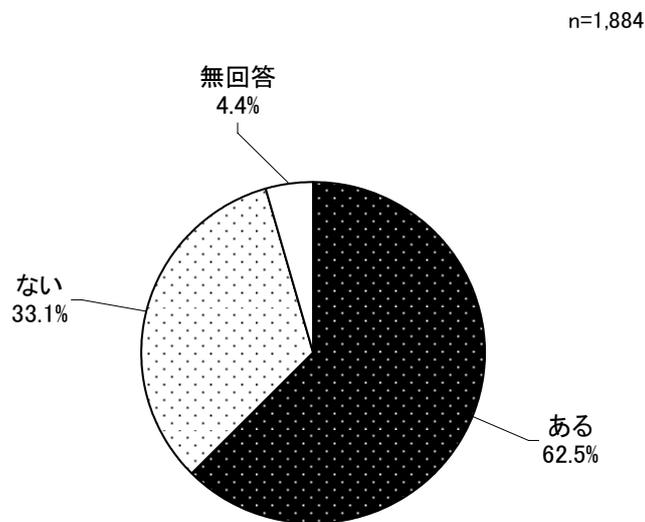
「固定電話」は男性では30歳代で64.4%とやや低く、女性では20歳代(67.6%)、30歳代(74.2%)でやや低くなっている。「携帯電話、PHS、携帯情報端末」は男性では30歳代と40歳代、女性では30歳代で5割台とやや低くなっている。「パソコン」、「スマートフォン」、「インターネットに接続できるゲーム機やテレビなど」は男女ともにおおむね年代が下がるほど割合は高くなる傾向がみられる。

(3) 過去1年間におけるインターネット利用の有無

◇「ある」は6割を超える

【問29】あなたは、過去1年間に、仕事や学業以外で、インターネットを利用したことがありますか。次の中から1つだけ選んでください。

			(n=1,884)
1. ある	62.5%	2. ない	33.1
		(無回答)	4.4



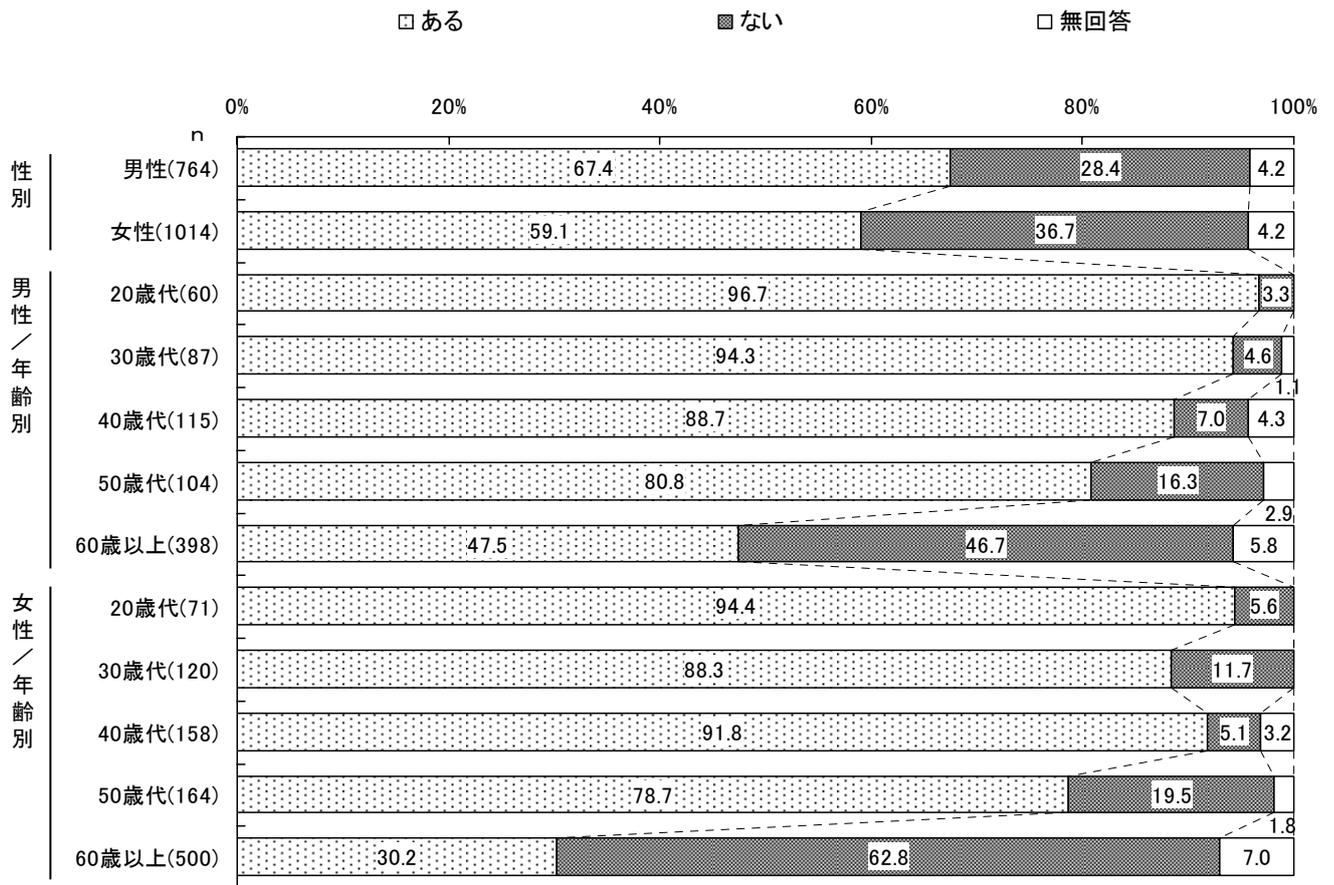
過去1年間におけるインターネット利用の有無については、「ある」が62.5%に対し、「ない」が33.1%となっている。

〈性別〉

「ある」は男性が女性を8.3ポイント上回っている。

〈年齢別〉

「ある」は男女ともにおおむね年代が下がるほど割合は高くなる傾向がみられる。



(4-1) インターネットの利用目的

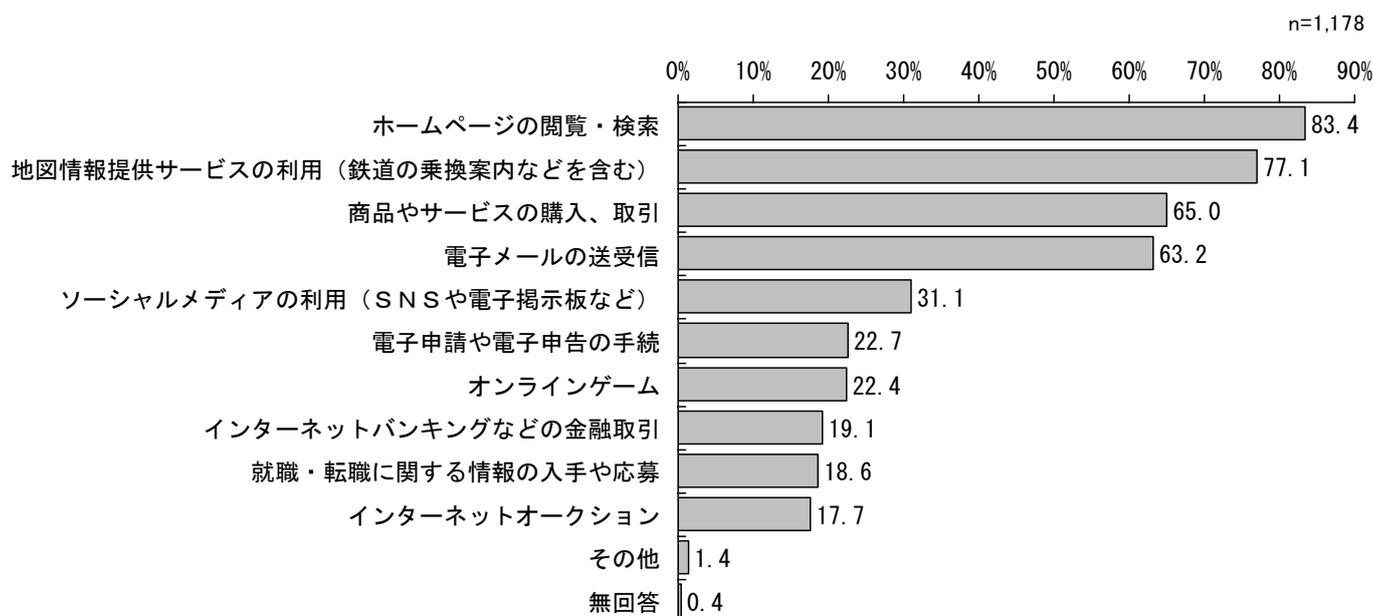
◇「ホームページの閲覧・検索」は8割台半ば

〈問29で「1. ある」とお答えの方におうかがいします。〉

【問29-1】どのようなことに利用しましたか。あてはまるものをすべて選んでください。

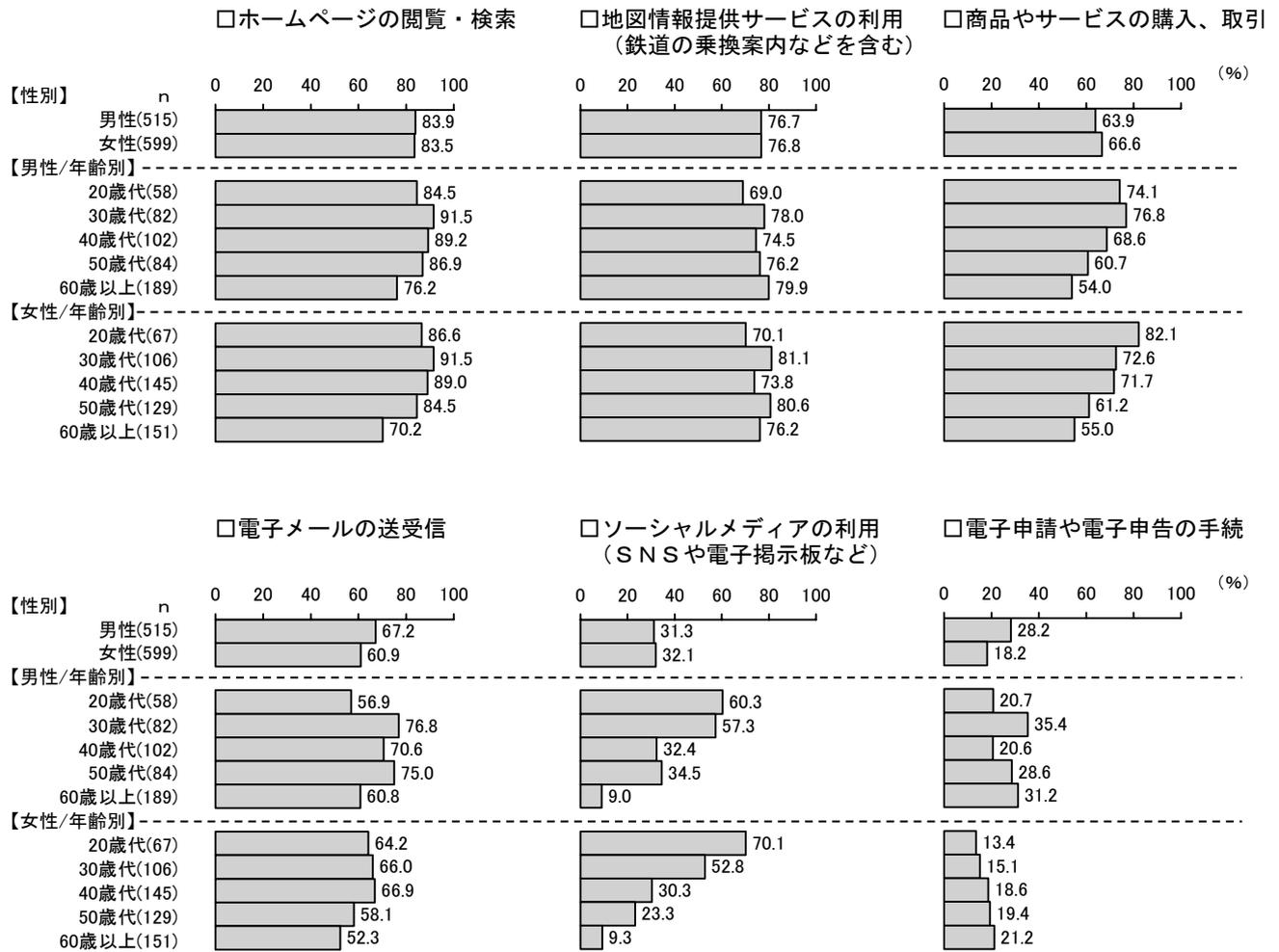
(n=1,178)

1. ホームページの閲覧・検索	83.4%	6. インターネットバンキングなどの金融取引	19.1
2. 電子メールの送受信	63.2	7. オンラインゲーム	22.4
3. 商品やサービスの購入、取引	65.0	8. 就職・転職に関する情報の入手や応募	18.6
4. 地図情報提供サービスの利用 (鉄道の乗換案内などを含む)	77.1	9. インターネットオークション	17.7
5. ソーシャルメディアの利用 (SNSや電子掲示板など)	31.1	10. 電子申請や電子申告の手続	22.7
		11. その他 (無回答)	1.4 0.4



インターネットの利用目的については、「ホームページの閲覧・検索」が83.4%と最も高く、次いで「地図情報提供サービスの利用 (鉄道の乗換案内などを含む)」(77.1%)、「商品やサービスの購入、取引」(65.0%)、「電子メールの送受信」(63.2%)などの順になっている。

上位6項目の属性別



〈性別〉

「電子メールの送受信」と「電子申請や電子申告の手続」は女性が男性をそれぞれ6.3ポイント、10.0ポイント上回っている。

〈年齢別〉

「ホームページの閲覧・検索」は男女ともに30歳以上の年代で、年代が上がるほど割合は低くなる傾向がみられる。「商品やサービスの購入、取引」は女性では年代が下がるほど割合は高く、男性でも30歳代以上で年代が下がるほど割合は高くなる傾向がみられる。「ソーシャルメディアの利用 (SNSや電子掲示板など)」は男女ともに20歳代 (男性: 60.3%、女性 70.1%) で最も高く、30歳代でもともに5割台と高くなっている。

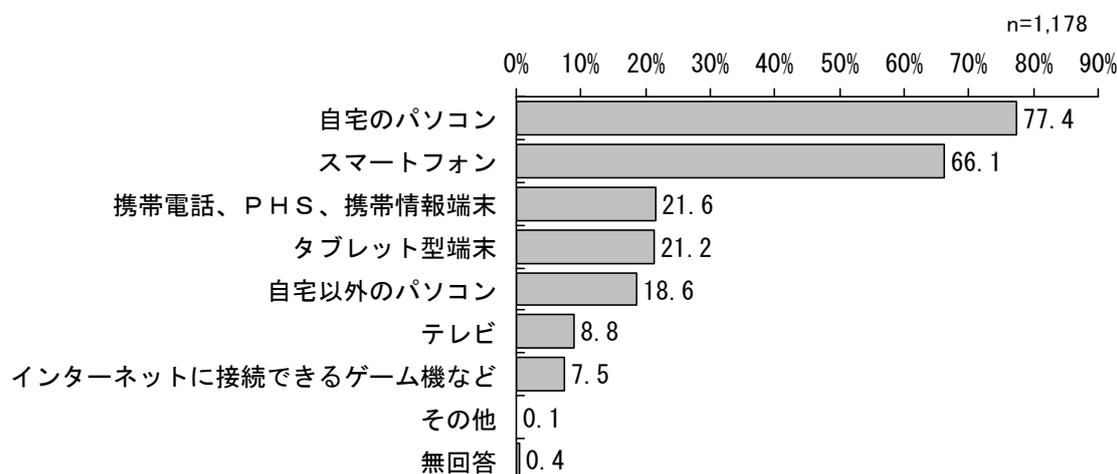
(4-2) インターネットの利用手段

◇「自宅のパソコン」が約8割

〈問29で「1. ある」とお答えの方におうかがいします。〉

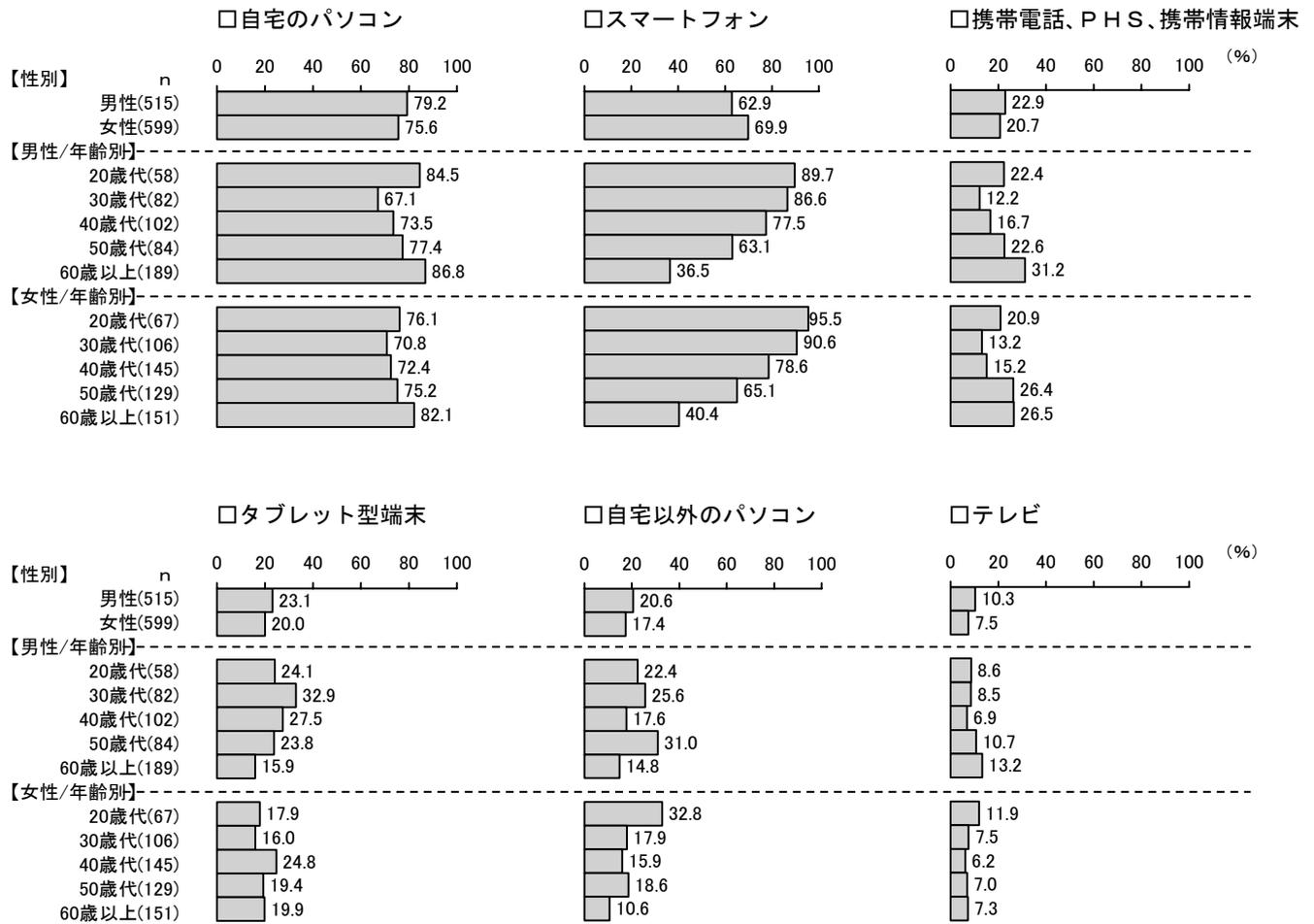
【問29-2】どのような機器でインターネットを利用しましたか。あてはまるものをすべて選んでください。

(n=1,178)			
1. 自宅のパソコン	77.4%	5. タブレット型端末	21.2
2. スマートフォン	66.1	6. テレビ	8.8
3. 携帯電話、PHS、携帯情報端末	21.6	7. インターネットに接続できるゲーム機など	7.5
4. 自宅以外のパソコン	18.6	8. その他	0.1
		(無回答)	0.4



インターネットの利用手段については、「自宅のパソコン」が77.4%と最も高く、次いで「スマートフォン」(66.1%)、「携帯電話、PHS、携帯情報端末」(21.6%)、「タブレット型端末」(21.2%)などの順になっている。

上位6項目の属性別



〈性別〉

「自宅のパソコン」と「タブレット型端末」は男性が女性をそれぞれ3.6ポイント、3.1ポイント上回っている。「スマートフォン」は女性が男性を7.0ポイント上回っている。

〈年齢別〉

「自宅のパソコン」と「携帯電話、PHS、携帯情報端末」は男女ともに30歳代以上の年代で、年代が上がるほど割合は高くなる傾向がみられる。一方、「スマートフォン」は男女ともに年代が下がるほど割合は高くなる傾向がみられる。

10. 市政全般

(1) よくなった施策と力を入れるべき施策

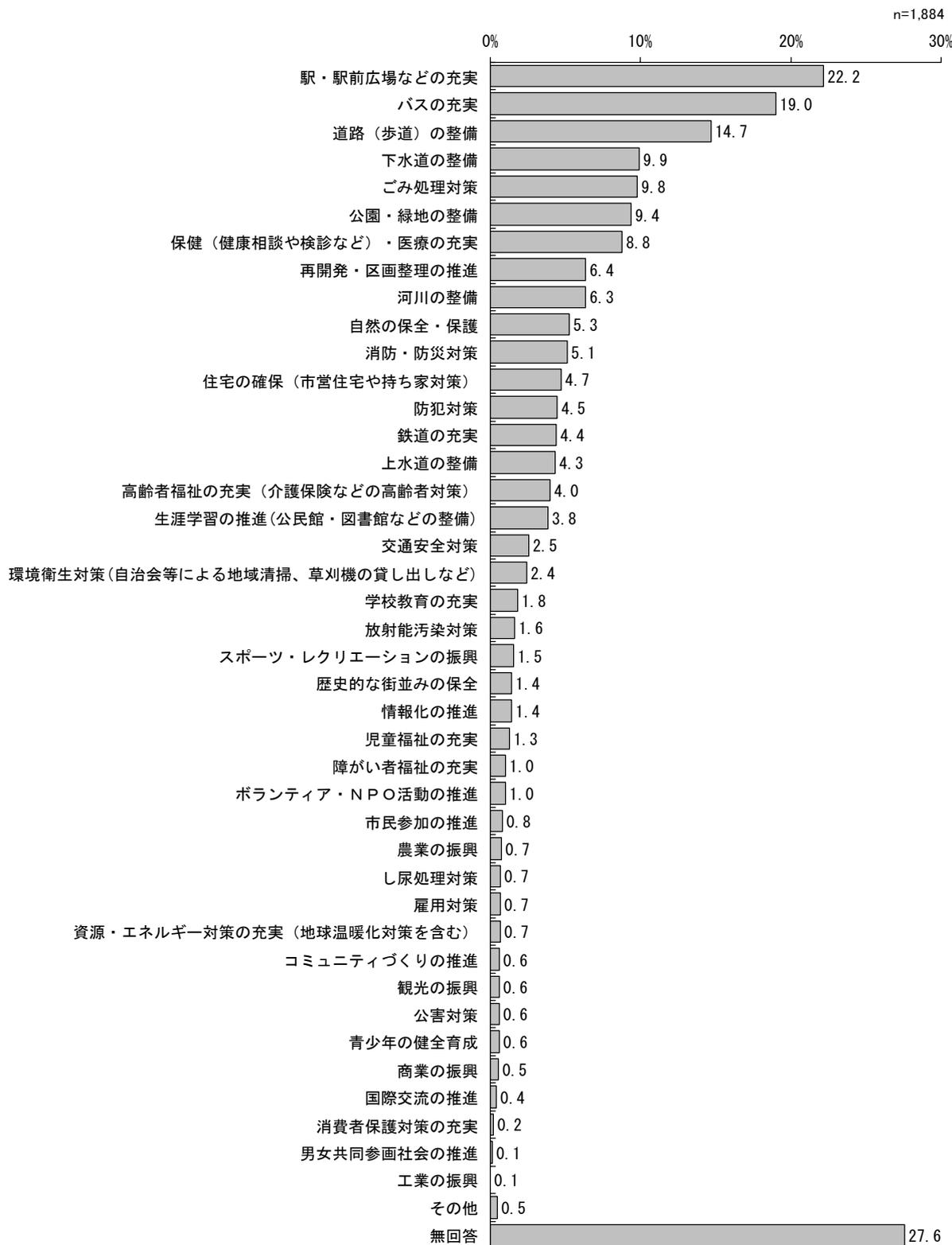
【問30】これまで、市ではさまざまな施策を進めてきましたが、①ここ数年特によくなったと感じるもの、②これから野田市がより住みやすく、豊かなまちへ発展していくために、今後、力を入れていったらよいと思うものを、次の中からそれぞれ3つ以内で選んで下の回答欄に番号を記入してください。

(n=1,884)

	よくなった	力を入れる
1. 公園・緑地の整備	9.4%	7.1%
2. 道路（歩道）の整備	14.7	29.6
3. 住宅の確保（市営住宅や持ち家対策）	4.7	1.9
4. 上水道の整備	4.3	1.5
5. 下水道の整備	9.9	9.3
6. 河川の整備	6.3	7.9
7. 再開発・区画整理の推進	6.4	3.8
8. 歴史的な街並みの保全	1.4	2.4
9. バスの充実	19.0	12.5
10. 鉄道の充実	4.4	18.2
11. 駅・駅前広場などの充実	22.2	15.0
12. ごみ処理対策	9.8	5.1
13. し尿処理対策	0.7	0.7
14. 環境衛生対策（自治会等による地域清掃、草刈機の貸し出しなど）	2.4	1.7
15. 公害対策	0.6	2.6
16. 放射能汚染対策	1.6	2.7
17. 自然の保全・保護	5.3	5.0
18. 消防・防災対策	5.1	5.5
19. 防犯対策	4.5	15.8
20. 交通安全対策	2.5	5.0
21. 学校教育の充実	1.8	7.3
22. 青少年の健全育成	0.6	3.1
23. 生涯学習の推進（公民館・図書館などの整備）	3.8	4.7
24. スポーツ・レクリエーションの振興	1.5	3.2
25. 保健（健康相談や検診など）・医療の充実	8.8	8.1
26. 高齢者福祉の充実（介護保険などの高齢者対策）	4.0	18.8
27. 児童福祉の充実	1.3	3.4
28. 障がい者福祉の充実	1.0	3.0
29. 市民参加の推進	0.8	1.0
30. 男女共同参画社会の推進	0.1	0.7
31. ボランティア・NPO活動の推進	1.0	1.1
32. コミュニティづくりの推進	0.6	1.6
33. 雇用対策	0.7	7.3
34. 農業の振興	0.7	2.2
35. 工業の振興	0.1	0.6
36. 商業の振興	0.5	4.5
37. 観光の振興	0.6	4.2
38. 消費者保護対策の充実	0.2	1.8
39. 資源・エネルギー対策の充実（地球温暖化対策を含む）	0.7	4.1
40. 情報化の推進	1.4	2.0
41. 国際交流の推進	0.4	2.0
42. その他	0.5	1.1
（無回答）	27.6	14.7

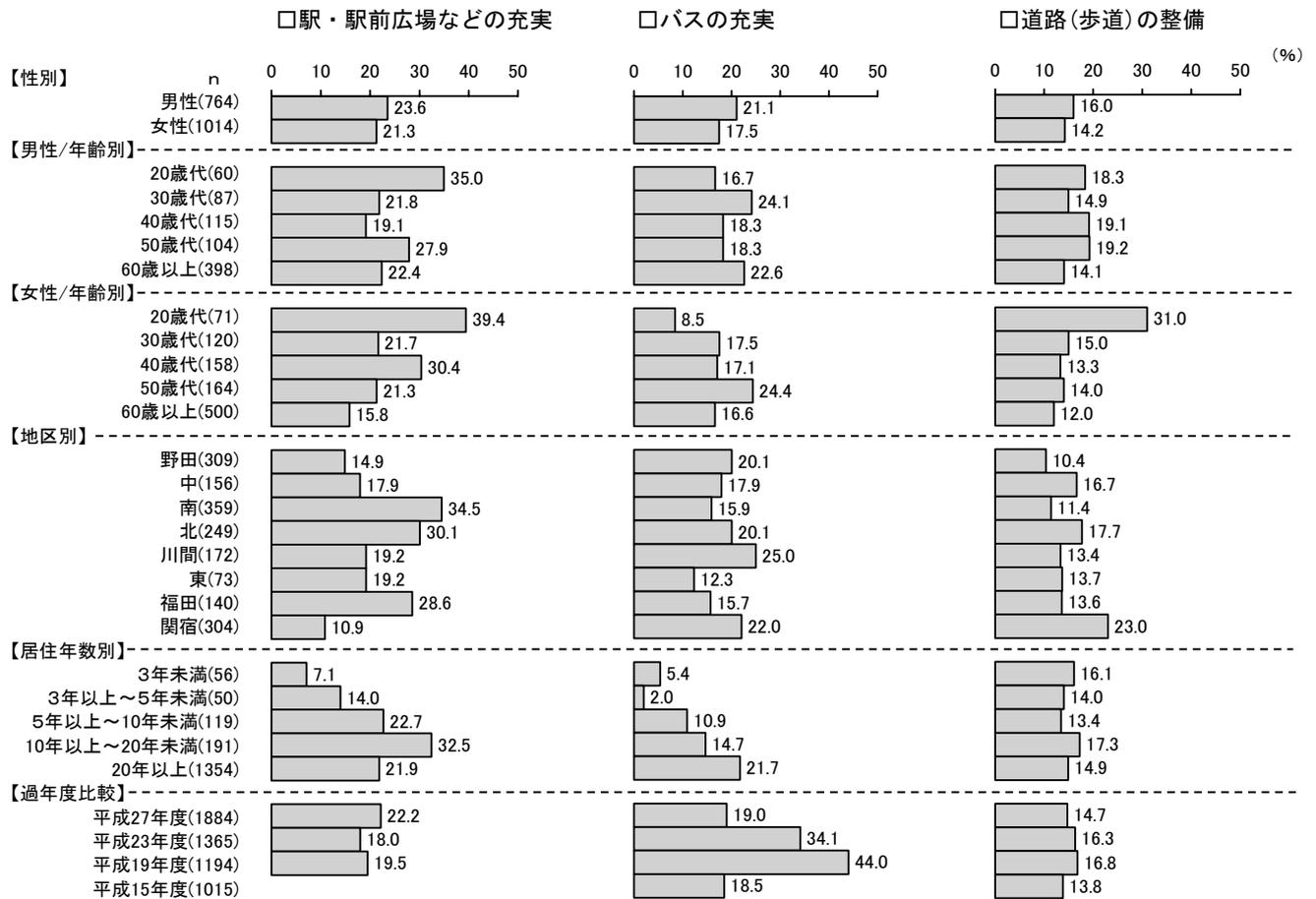
①ここ数年特によくなったと感じるもの

◇「駅・駅前広場などの充実」が2割強



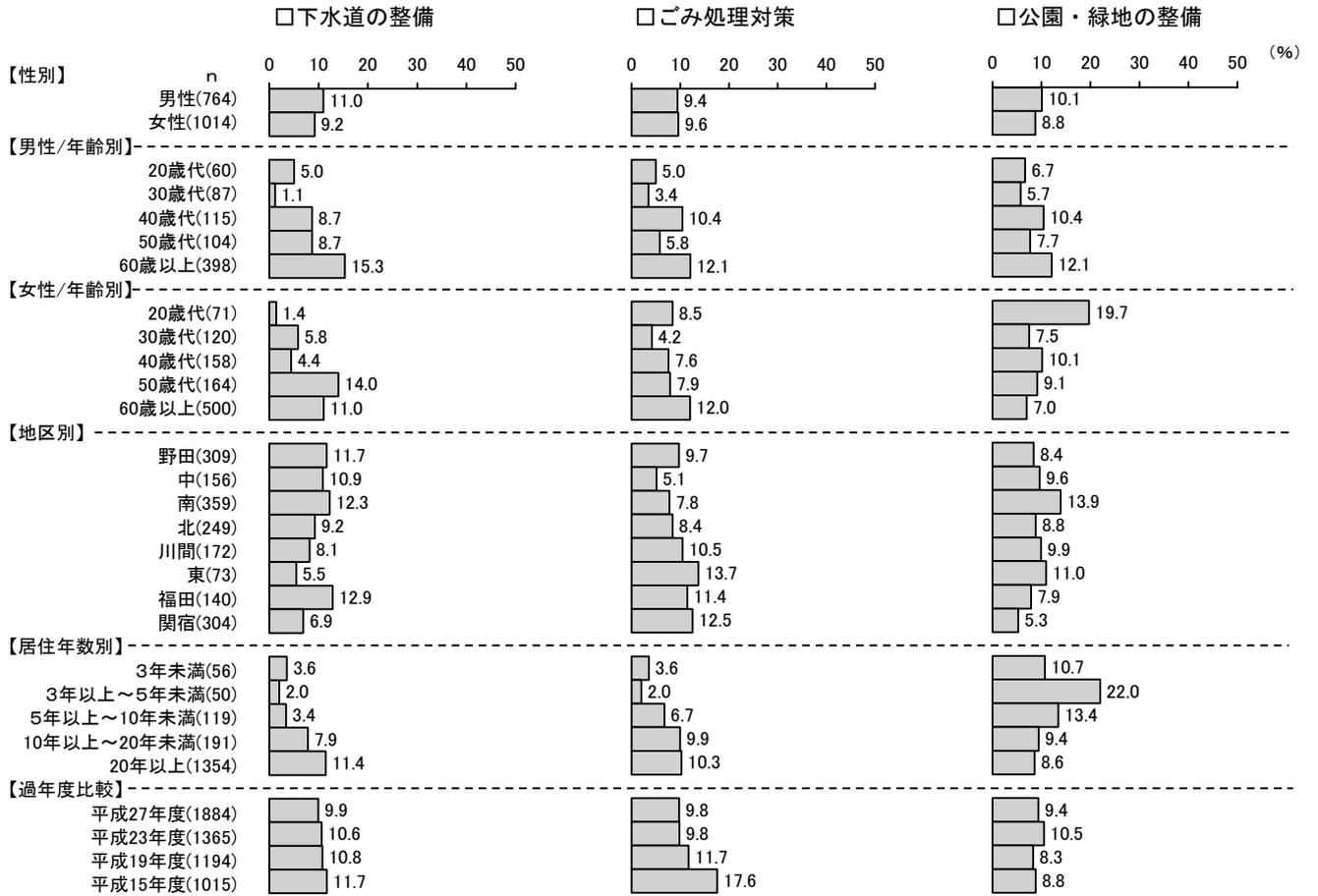
市の施策のなかで、ここ数年特によくなったと感じるものについては、「駅・駅前広場などの充実」が22.2%と最も高くなっている。次いで「バスの充実」(19.0%)、「道路（歩道）の整備」(14.7%)などの順となっている。

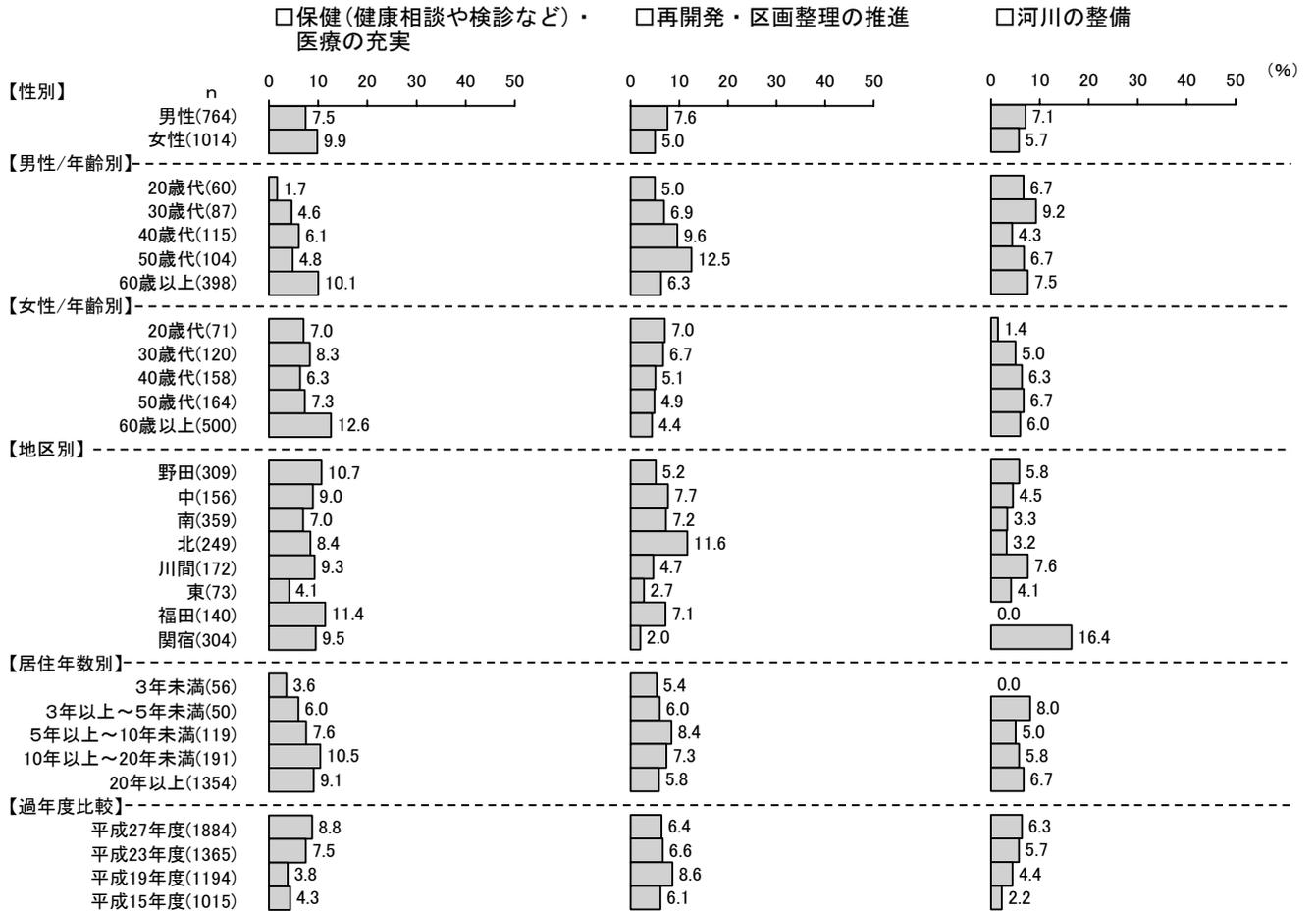
上位9項目の属性別



※「駅・駅前広場などの充実」は平成19年度から

※「道路（歩道）の整備」は平成19年度までは「道路の整備」





〈性別〉

「バスの充実」は男性が女性を3.6ポイント上回っている。

〈年齢別〉

「駅・駅前広場などの充実」は男女ともに20歳代（男性：35.0%、女性：39.4%）で最も低くなっている。「バスの充実」は男性では30歳代（24.1%）と60歳以上（22.6%）、女性では50歳代（24.4%）で2割台と高くなっている。「道路（歩道）の整備」は女性では20歳代（31.0%）で特に高くなっている。

〈地区別〉

「駅・駅前広場などの充実」は南地区で34.5%と最も高く、北地区、福田地区でも約3割とやや高くなっている。「バスの充実」は川間地区で25.0%と最も高く、野田地区、北地区、関宿地区でも2割台と高くなっている。「道路（歩道）の整備」は関宿地区で23.0%と最も高くなっている。

〈居住年数別〉

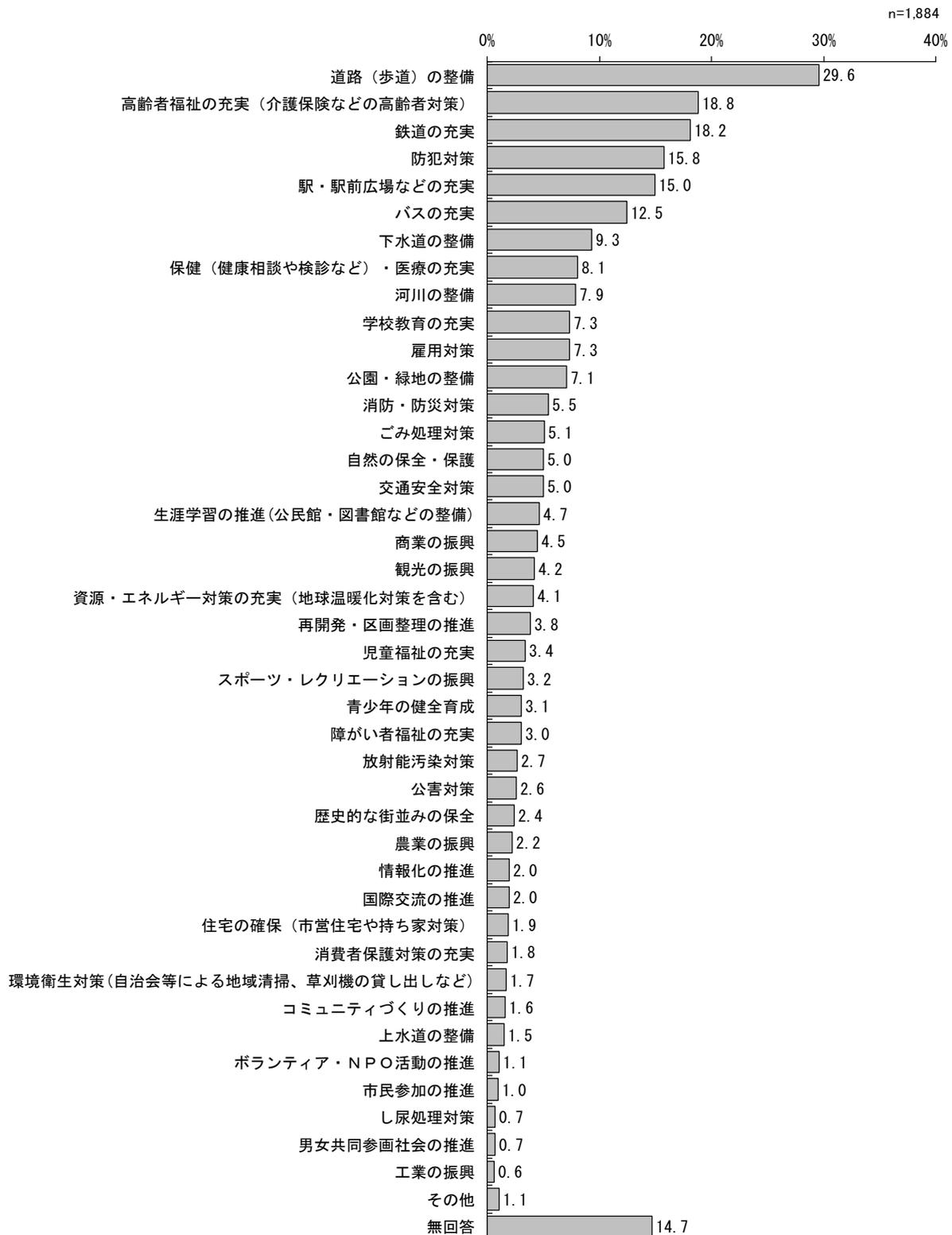
「駅・駅前広場などの充実」は10年以上～20年未満で32.5%と特に高くなっている。「バスの充実」は3年以上では居住年数が長くなるほど割合は高くなる傾向がみられ、20年以上では21.7%と最も高くなっている。

〈過年度比較〉

前回調査（平成23年度）と比較すると、「駅・駅前広場などの充実」は4.2ポイント増加し、「バスの充実」は15.1ポイント減少している。

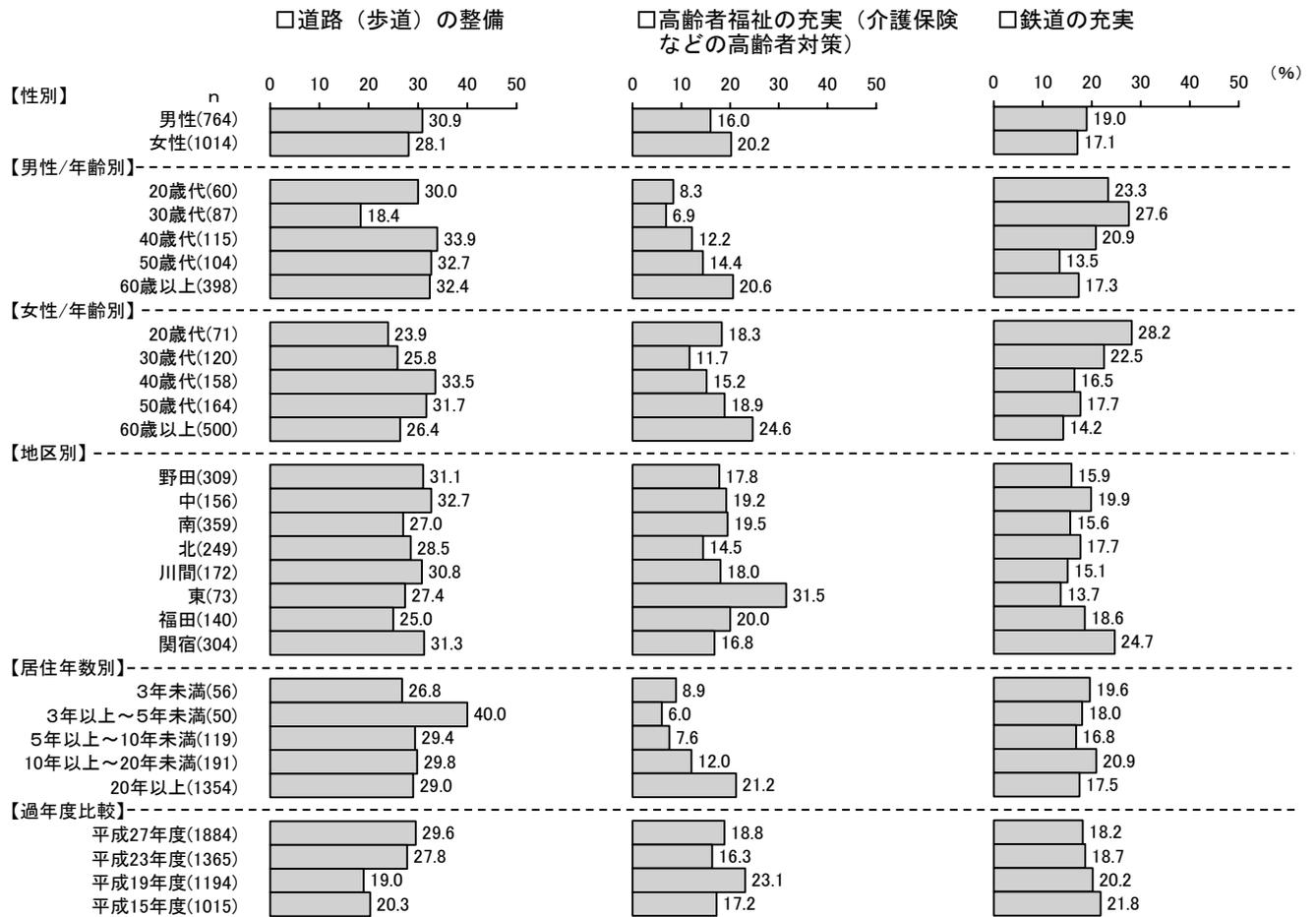
②今後、力を入れていったらよいと思うもの

◇「道路（歩道）の整備」が約3割



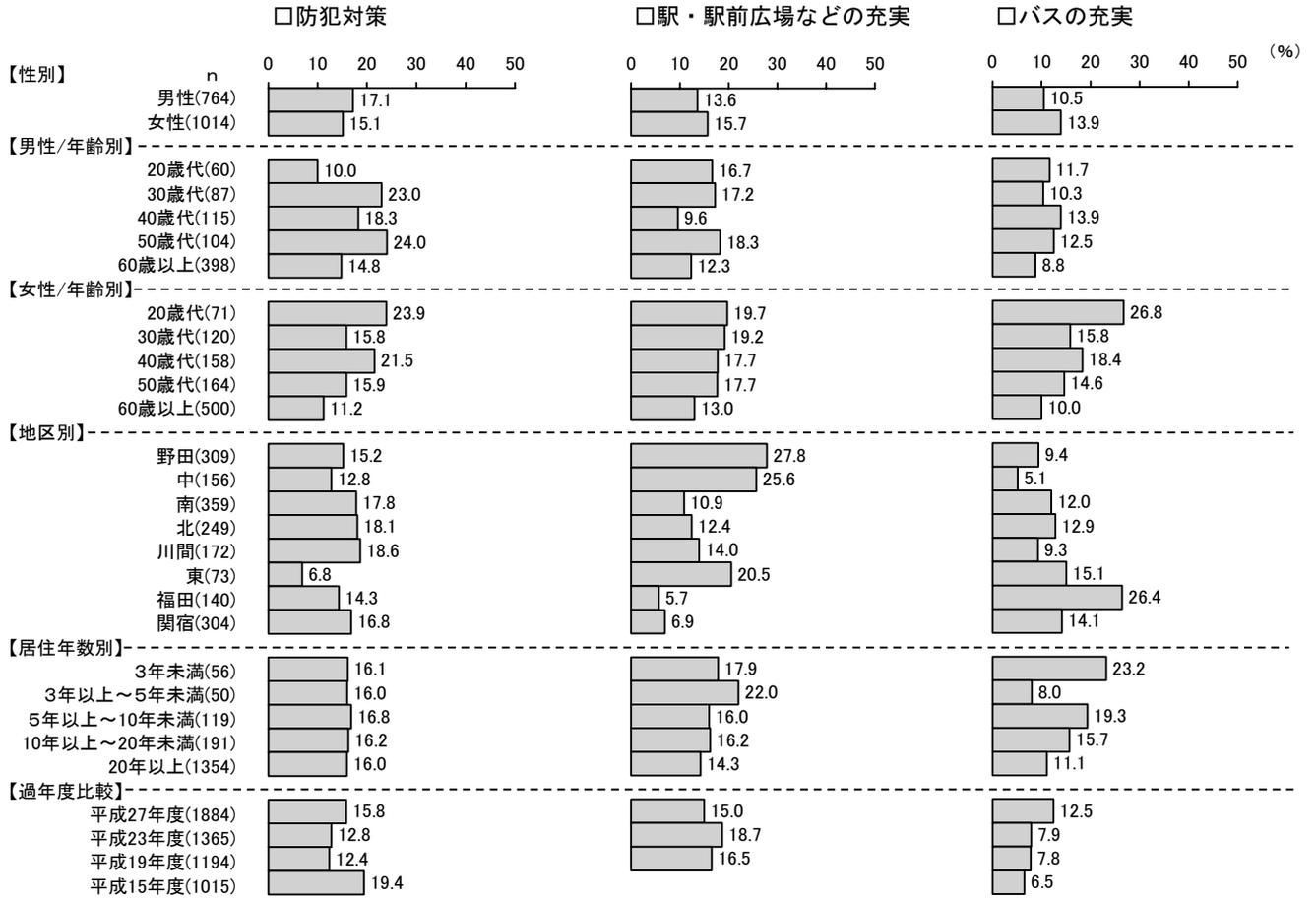
市の施策のなかで、今後、力を入れていったらよいと思うものについては、「道路（歩道）の整備」が29.6%と最も高くなっている。次いで「高齢者福祉の充実（介護保険などの高齢者対策）」（18.8%）、「鉄道の充実」（18.2%）などの順となっている。

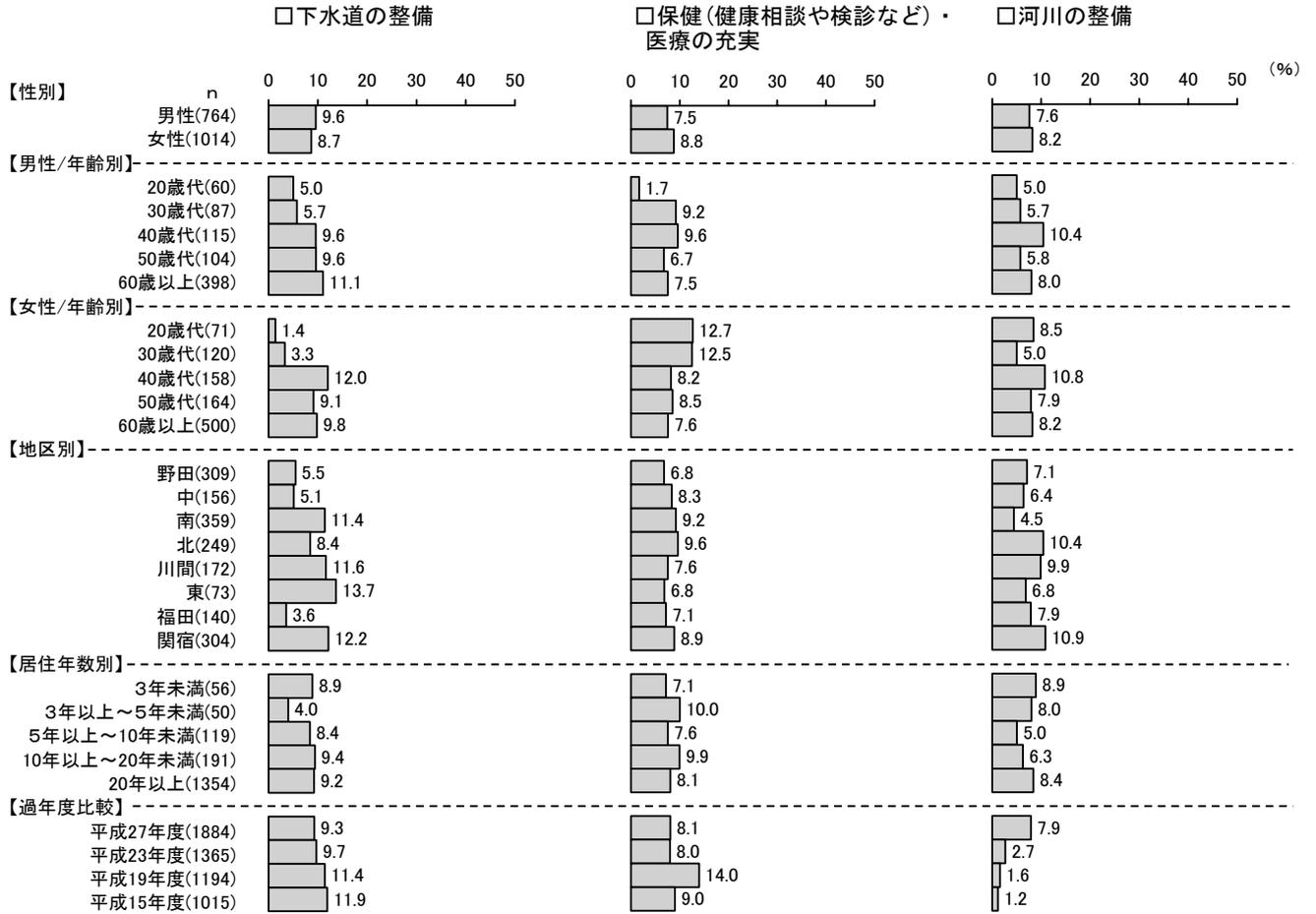
上位9項目の属性別



※ 「駅・駅前広場などの充実」は平成19年度から

※ 「道路（歩道）の整備」は平成19年度までは「道路の整備」





〈性別〉

「高齢者福祉の充実（介護保険などの高齢者対策）」は女性が男性を4.2ポイント上回っている。

〈年齢別〉

「道路（歩道）の整備」は男性では30歳代で18.4%と特に低くなっている。一方、女性では40歳代で33.5%と最も高くなっている。「高齢者福祉の充実（介護保険などの高齢者対策）」は男女ともに30歳代以上の年代で、年代が上がるほど割合は高くなる傾向がみられる。「鉄道の充実」は男女ともに20歳代と30歳代を中心とした若い世代の割合が高くなっている。

〈地区別〉

「道路（歩道）の整備」は中地区で32.7%と最も高く、野田地区、川間地区、関宿地区でも3割を超えてやや高くなっている。「高齢者福祉の充実（介護保険などの高齢者対策）」は東地区で31.5%と突出して高くなっている。「鉄道の充実」は関宿地区で24.7%と最も高くなっている。

〈居住年数別〉

「道路（歩道）の整備」は3年以上～5年未満で40.0%と特に高くなっている。「高齢者福祉の充実（介護保険などの高齢者対策）」は3年以上では居住年数が長くなるほど割合は高くなる傾向がみられ、20年以上では21.2%と最も高くなっている。「駅・駅前広場などの充実」は3年以上～5年未満で22.0%と最も高くなっている。「バスの充実」は3年未満で23.2%と最も高くなっている。

〈過年度比較〉

前回調査（平成23年度）と比較すると、「駅・駅前広場などの充実」は3.7ポイント減少している。

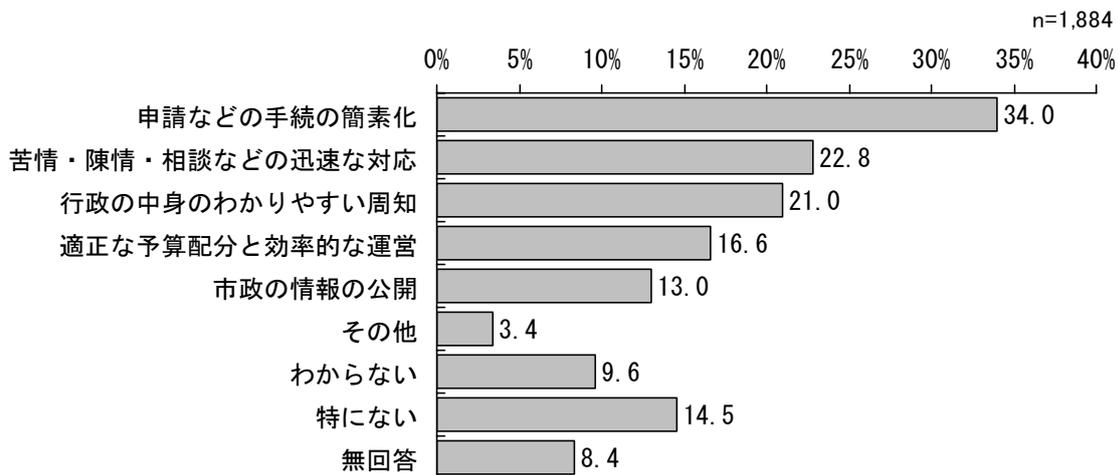
11. 市役所のこと

(1) 市政で改善してほしいこと

◇「申請などの手続の簡素化」が3割台半ば

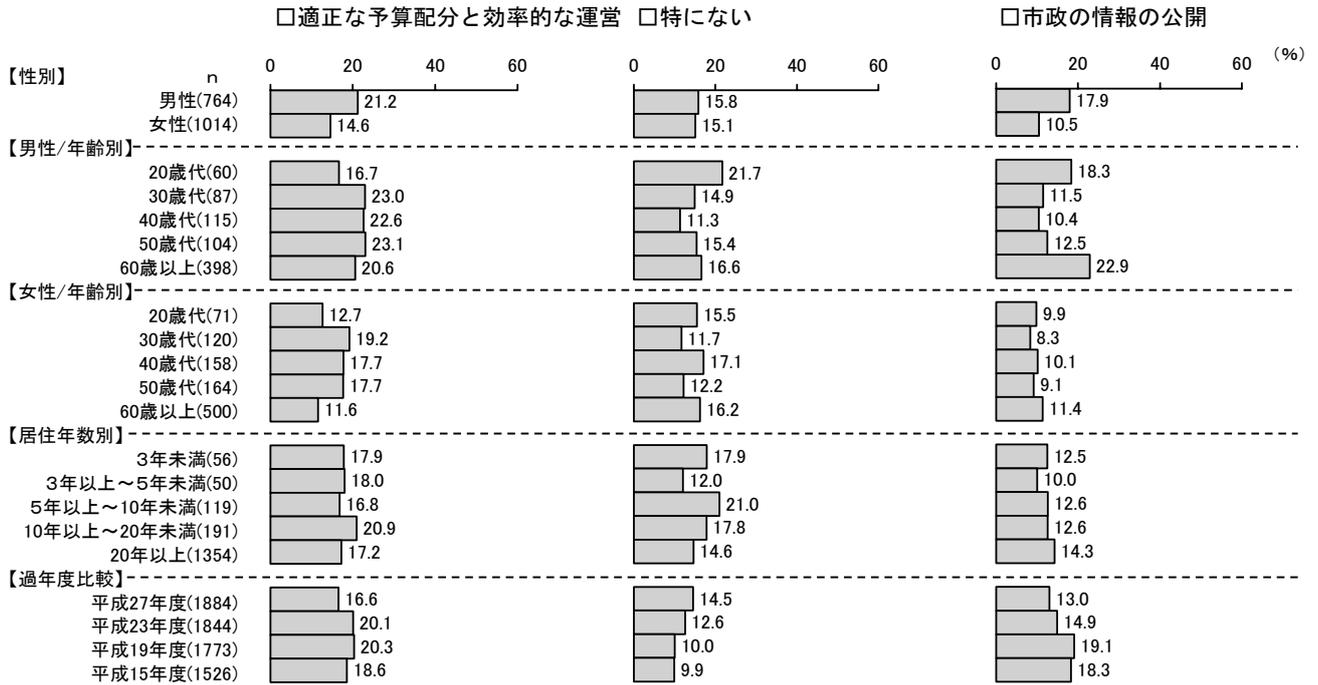
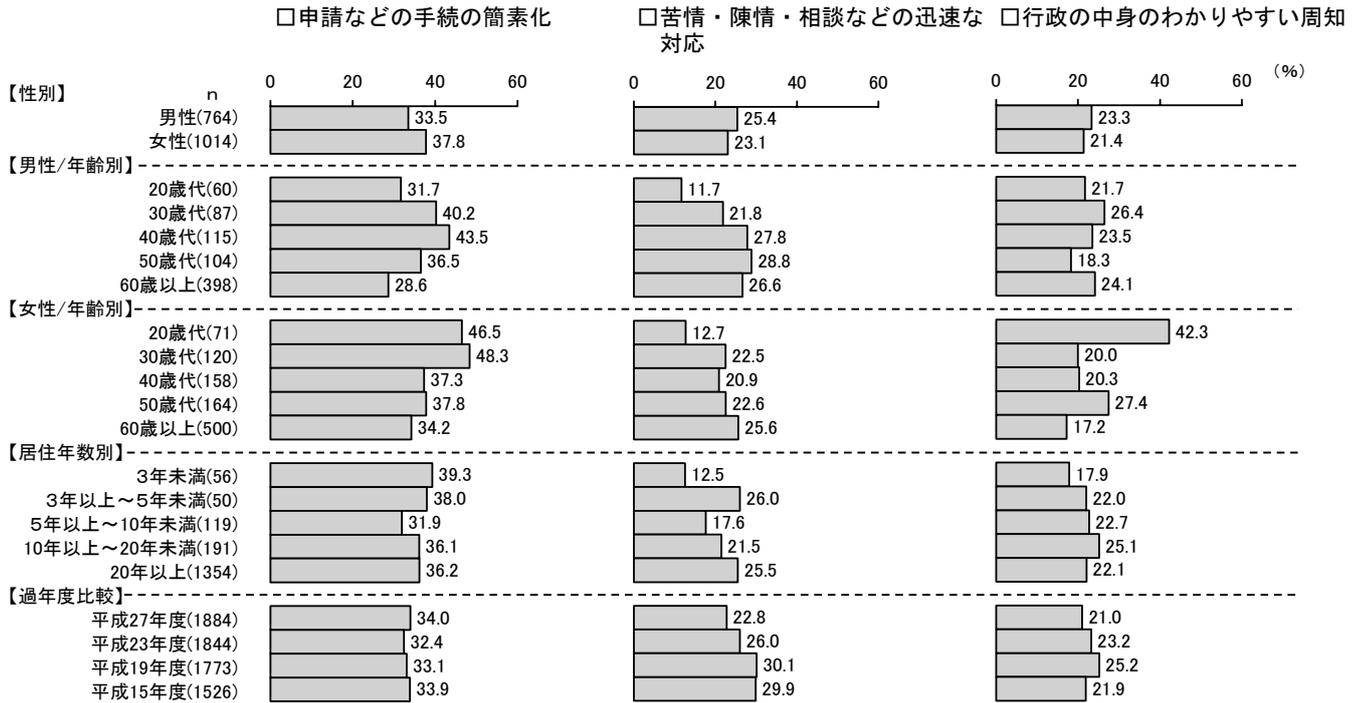
【問31】あなたは、市政や市役所の業務について、改善してほしいことがありますか。次の中から2つ以内で選んでください。

		(n=1,884)
1. 申請などの手続の簡素化	34.0%	5. 市政の情報の公開 13.0
2. 苦情・陳情・相談などの迅速な対応	22.8	6. その他 3.4
3. 行政の中身のわかりやすい周知	21.0	7. わからない 9.6
4. 適正な予算配分と効率的な運営	16.6	8. 特にない 14.5
		(無回答) 8.4



市政や市役所の業務で改善してほしいことについては、「申請などの手続の簡素化」が34.0%と最も高く、次いで「苦情・陳情・相談などの迅速な対応」(22.8%)、「行政の中身のわかりやすい周知」(21.0%)などの順となっている。

上位6項目の属性別



〈性別〉

「申請などの手続の簡素化」は女性が男性を4.3ポイント上回っている。「適正な予算配分と効率的な運営」、「市政の情報の公開」はそれぞれ男性が女性を6.6ポイント、7.4ポイント上回っている。

〈年齢別〉

「申請などの手続の簡素化」は男性では30歳代と40歳代、女性では20歳代と30歳代で4割台と高くなっている。「苦情・陳情・相談などの迅速な対応」は男女ともに20歳代で1割台前半と低くなっている。「行政の中身のわかりやすい周知」は男性の20歳代で42.3%と突出して高くなっている。

〈地区別〉

「申請などの手続の簡素化」は3年未満で39.3%と最も高くなっている。「苦情・陳情・相談などの迅速な対応」は3年以上～5年未満で26.0%と最も高く、20年以上でも25.5%と高くなっている。

〈過年度比較〉

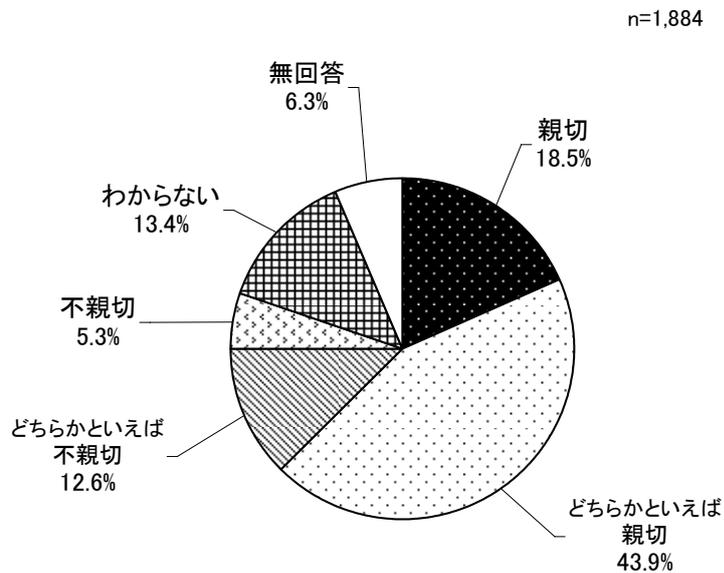
前回調査（平成23年度）と比較すると、「苦情・陳情・相談などの迅速な対応」は3.2ポイント、「適正な予算配分と効率的な運営」は3.5ポイント減少している。

(2) 市役所職員の対応評価

◇『親切（計）』が6割を超える

【問 32】あなたは、市役所の職員の対応について、どのような印象をもっていますか。次の中から1つだけ選んでください。

		(n=1,884)	
1. 親切	18.5%	4. 不親切	5.3
2. どちらかといえば親切	43.9	5. わからない	13.4
3. どちらかといえば不親切	12.6	(無回答)	6.3



市役所職員の対応については、「親切」(18.5%)と「どちらかといえば親切」(43.9%)を合わせた『親切(計)』(62.4%)が6割を超えている。

一方、「どちらかといえば不親切」(12.6%)と「不親切」(5.3%)を合わせた『不親切(計)』(17.9%)は2割以下となっている。

〈性別〉

『親切(計)』は男性(68.0%)が女性(64.5%)を3.5ポイント上回っている。

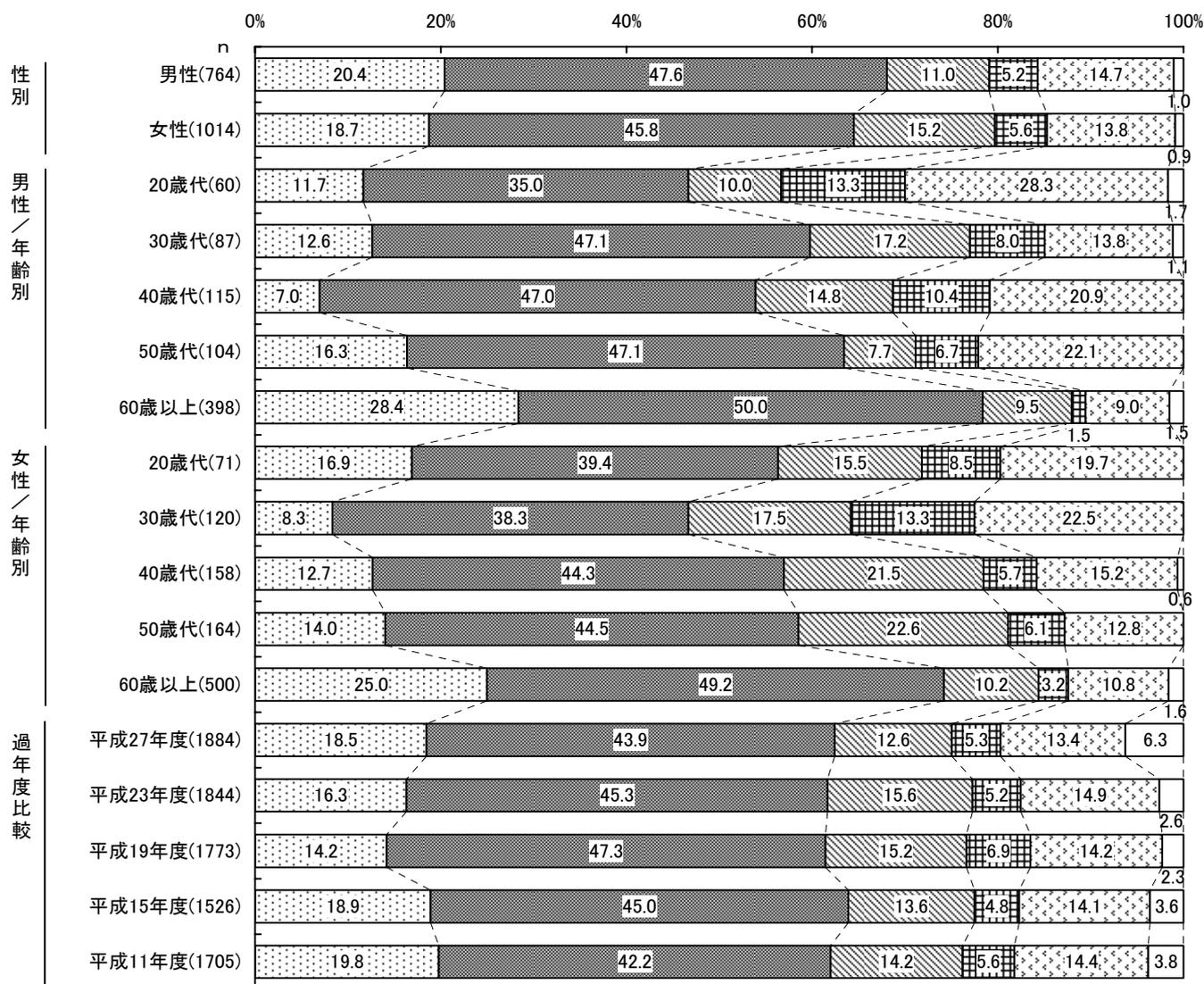
〈年齢別〉

『親切(計)』は男女ともに60歳以上(男性:78.4%、女性74.2%)で最も高くなっている。

〈過年度比較〉

前回調査(平成23年度)と比較すると、どの項目でも大きな変化はみられない。

□親切 ■どちらかといえば親切 ▨どちらかといえば不親切 ▩不親切 □わからない □無回答



12. 自由意見

質問の最後に、野田市の市政やまちづくりについての意見や要望を自由に記入していただいた。その内容を大別して、主なものを掲載する。カッコ内は（性別／年代）の順である。

都市基盤整備について

- 交通の便が悪い。バスの本数も少ないし、電車も終電がはやいので仕事をしていて困ることが多い。（女性／20歳代）
- 小学校の通学路の整備。歩道がなく危険。大雨での冠水による道路の通行止めがあったので改善。（男性／30歳代）
- 通学路の整備、歩道／サイクリングロードの整備をして欲しい。（男性／30歳代）
- マメバスのルートを縮小して、本数を増やして欲しいです。歩道の整備をして欲しいです。杖をついている人が、とても歩きにくそうです。（女性／40歳代）
- 自然や野田の文化を残しつつ、バスや電車の便がもっと良くなると良いと思う。自然が多いのに便利という事になればもっと街が活気づくと思う。よろしく願い致します。（女性／40歳代）
- 乗客が少ないのでバスの運行本数が少なくなるのは仕方無いと思いますが、それによって、足が無く外出が出来なくなる事があります。野田の中心部ばかりで無く、不便な地域に住んでいる高齢者の為にも、まめバスの増加や他の手段を考えて頂けると助かります。（女性／40歳代）
- 雨が沢山降る時、たまる所を水はけ出来るようにしてもらいたい。（女性／60歳代）
- 緑豊かな野田に満足しています。素敵な公園が沢山出来ると良いかな？若い人が集まれる公園となると駐車場の整備も今より必要でしょう！土地活用はこれから大切な課題では？（女性／60歳代）
- 古き家屋や街並、自然を残したいのか、壊して新しいものにしてしまいたいのか、中途半端なところが多すぎる。問題は色々にあると思うが、決断力に欠けている。四季折に、快適にすごせる公園があればいい。手入れの行き届いていないミニ公園が多すぎる。（女性／60歳代）
- 東京都心に直結する鉄道路線の新設への積極的な誘致と、その為の環境整備、地域再開発への投資をもっと前向きに検討して欲しい。今の状態では、野田市は永久に田舎のベッドタウンになってしまう。（男性／60歳代）
- 野田市駅の駅前にバス、タクシー等がいっぱいで混雑がひどいので、駅前を広く整備して欲しい。エレベーターもなかったと思いますが設置して欲しい。（女性／70歳代）
- 人道と車の道路の区別がなく、大きなトラックが通る道は、危なくてしかたがありません。又、道も大きな車が通るわりには狭いのではと思っています。自転車で道を走る時もこわい思いがしています。（女性／70歳代）
- 車椅子で安心して歩ける道路100%。災害時避難場所の掲示板による公示（ex公園etc）。主要公園の時計とトイレの設置（男性／80歳以上）
- 東武電車の複線化で、交通手段での移動の時間短縮を希望。都心に出るのに、不便さを感じます。（不明／不明）
- 駅前をもっと設備良くし、広くして欲しい。商店街を復興して欲しい。川辺りを整備して欲しい。市立の温水プール、温泉設備が欲しい。駅前にタクシーを増やして欲しい。大雨で水の出るところが多いので直して欲しい。（不明／不明）

生活環境について

- ごみの分別、減量にも限界があります。ごみ処理施設が必要だと思います。(女性/20歳代)
- 道路の白線が消えている所が多く感じるで、整備してほしいです。道路関連の管理が良くないと思います。(男性/20歳代)
- ゴミぶくろが少しでも安くなると、うれしいです。今の値段では高くてこまります。(女性/30歳代)
- 犬の糞を持ち帰らない飼い主や、野良猫への餌付けへの罰則をして欲しい。(女性/30歳代)
- ごみ回収に不便を感じています。特に資源ごみの回収の月1回という少なさは不便きわまりないです。毎週の回収に変更をお願いします。また、回収場所も、通常のごみ回収場にして欲しいです。(男性/40歳代)
- 道路の緑地地帯や植栽をきれいにしてほしい。(男性/40歳代)
- 街路樹が大きくなり、歩道が歩きにくくなったり信号が見えなくなったり、また、落葉の清掃も大変である。植えたからにはきちんとしたメンテナンスを望みます。できないなら切る事も考えて下さい。いちよう通りの交通量がパレットコートができてから増えました。信号がないため事故も多く抜け道としてスピードを出す車も多く、数年で危険だと強く感じます。信号の設置を求めます。(女性/50歳代)
- 舗装が良くなると、野田市のまちなみが良くなると思います。街灯が少ない、暗いと感じました。(女性/50歳代)
- 空家が多くなり、雑草や庭木が伸び放題の家となっています。空家となる場合近所に迷惑とならないルールを作って頂きたい。又、道路(歩道)におおいかぶさる庭木に対しても、道路を狭くしていますので、マナーの問題でしようが、ルールとして決め事があれば良いと思うのですが。(女性/60歳代)
- 水と緑と自然環境の調和のとれた町で暮らせる事は何事にも変えられません。(男性/60歳代)
- 豊かな自然環境をぜひ保全保護して頂きたい。(男性/60歳代)
- 町の中などゴミはきれいに拾われ、とても良いと感じますが、少しはずれた農道、幹線道路、沿道にはポイ捨てのゴミが非常に多く、なんとか良い手立てがないものかと思っております。旧関宿町の関宿堀へのゴミのポイ捨ても多く、下流へ行く程に水の流れが悪くなっております。昔の様にきれいな水の中で魚が泳ぎ貝などが沢山住める川にしてほしいです。(女性/70歳代)
- 私は自然が大好きです。利根川、江戸川、2つの大きな川。そして運河があり、水に大変恵まれています。目吹や今上の田園風景(稲穂)。森林、公園、里山等沢山の自然があり、野田市は大変良い所です。今後も自然の保護に努めて下さい。江戸川に架かる玉葉橋からの展望は格別です(富士山)(男性/80歳以上)
- バランスの良い発展(自然と再開発)をお願いします。(不明/不明)

教育・文化について

- 小中学校の冷房化を促進してほしい。(男性/20歳代)
- 新しい住宅地がたくさん出来ていく中で、子どもの数がたくさん増えてきていると思います。その子どもの人数に対して、公園が狭かったり、遊具が少ないと感じることがあります。小さい子から小学生まで遊べるような大きな児童館があるといいなと思います。(女性/30歳代)
- 子育てをしている世代から言うと子育て支援センターが古すぎる。子ども館も古く、利用したくない。なので周りのママ友含め埼玉県にわざわざ遊びに行く。ぜひもっとキレイで広く、充実した施設を望む。あと、図書館も他の市区町村の方がきれいで見やすく利用しやすい気がします。(女性/30歳代)
- 子供のボール遊びができる場所を作って欲しい。(野球やサッカーなど)(女性/30歳代)
- 東京オリンピックに向けて、小・中・高の有能なスポーツ選手の支援(野田市内の学校)。各競技の野田市選抜チームを作り遠征や合宿をする。(男性/30歳代)
- 小中学校は洋式トイレに改装するべき。(和式トイレに戸惑う子供が多い)小中学校を3学期制にするべき。(高校入試の際、2学期制だと不利になることも)(女性/40歳代)

- 関宿町の図書館をもっと充実して欲しい。本の種類、冊数が少ない。(女性/50歳代)
- 小学校、中学校の学区を見直してほしい。とにかく遠い。交通事情も最悪でキケン。子供をもつ家庭は心配でしかたがないと思う。(女性/50歳代)
- 野田市の教育費をもっとかけてほしい。野田市は県の中でも低い。もっとたくさん人にお金をかけるべきであると思う。もっと教育に目を向けてほしい。土曜授業は他市がやっていないので、様々なひずみがある。だから効率も悪い。様々な大会などが有り、公欠になることも多い。(女性/50歳代)
- ゴミを燃焼して出たエネルギーを利用したプール、風呂等の施設が出来たら、是非利用したいです。(女性/60歳代)
- 野田市の未来を背負うのは子ども達。もっと教育に予算をかけるべき。(男性/60歳代)
- 教育機関の充実(特色ある学校づくり、魅力的な学校誘致等・・・)の実現を計画的に実施していくこと。若者に夢がある街づくり。※良い子が集まる学校(良い教育を実施する学校)を誘致すること。(男性/60歳代)

健康・福祉について

- 子どもの医療費を他の県は無料なのでその辺は、がんばってもらいたい。(女性/30歳代)
- 少し大きな病気をすると市内の病院では対応できず、市外に入院、通院せざるを得ないのがとても不便です。(めずらしい病気ではありません。)(女性/30歳代)
- 高齢化が進んでいるので、老人・障害者施設の充実を期待します。(男性/30歳代)
- 小学生の急な預け場所が無い事が不便です。有料でも良いのでその日だけの預け場所を作っていたら、もっと有効に使える時間が出るし、安心して生活が出来ます。(男性/40歳代)
- 東武線の高架に伴い高架下の有効活用を期待。子育て世代が通勤で駅に行く時、子供を預けながら出勤出来る様駐車場と保育所を駅の近くに。診療所も有れば便利。又、高齢社会では老人を預けながら出勤出来れば便利な方もいらっしゃるのかも・・・と思います。(女性/50歳代)
- 障がい者をもつ親として、緊急時にてあずかっていたら出来る所が少なく、こまっています。ぜひ、あずかっていたら出来る施設をおねがいします。(女性/50歳代)
- 車イスや松葉杖で不安なく外出できる環境になって欲しいと思います。高齢者・障害者の方々が住みよいまちづくりを目指して欲しいです。(女性/60歳代)
- コミュニティーセンター内に運動機械等があれば、暇が出来た時、いつでも行けて良いと思います。これから老人になるので、地域ごとの格安でデイサービスが受けられる施設が出来れば良いと思います。(女性/60歳代)
- 一人暮らしの老人がなくなった時や病気の際、気づかなかつたらどうでしょうか?そんな時の予防方法をうちたててほしい。(女性/60歳代)
- 老後に向けて生涯学習やコミュニティ参加が誰でもしやすい様なまちづくりを希望します。(女性/60歳代)
- 市が土地を無償提供して、北と南に200~300床程度の大規模な病院を誘致してほしい。(男性/60歳代)
- 高齢者の健康増進の為の、講習や実際の運動・指導等をもっと充実して、病気にならない様、体力をつける様、積極的に取り組んで欲しい。介護費用等、減額出来るよう希望します。健康寿命を延ばす対策を望みます。(男性/60歳代)
- 高齢者が歩いて買い物に行くことのできたスーパーが無くなり、今はまごころ便を利用していますが、まめバスもあまり利用価値がないように思います。(女性/70歳代)
- 高齢者が元気にスポーツ出来る施設。パークゴルフ場&グランドゴルフ場(常設) <外で元気に活動することが医療費削減になる> (男性/70歳代)

- 身の回りにも一人住いの老人が多くなりました。身分も含めて、今後どうなるの・・・と心配があります。手助けしてくれる法人等の紹介・開示等を。(女性/80歳以上) ”

産業・観光について

- 野田市はしょうゆなど誇れるものが多くあります。歴史もあります。そんなよい町なのですから、もっと強くアピールしてもよいと思います。関宿城など多くの歴史あるものがあります。もっとはなやかに、誇れるものを多く見つけ、いい町へ作りつづけていけばいいと思います。町案内図などわかりやすくし、だれも見えてわかるような図を町においたり、歴史館がある場所など、わかりやすくすればもっと人があつまると思います。パンフレットもいいと思います。もっとアピールすべきだと思います。(女性/20歳代)
- 生まれてからずっと野田に住んでいます。野田が大好きです。店や老人施設、保育施設も次々とでき大変助かっています。他の地域の方がたくさん観光に来てくれるような、見どころのある施設などがもっとできると良いと思います。(清水公園の他に)(女性/30歳代)
- 江戸川で花火大会をやってほしいです。(女性/30歳代)
- 「コウノトリ」について、新聞やテレビでも取り上げられて、話題にもなりました。もっと「地域活性化」に利用してほしいです。(女性/50歳代)
- 野田市に活気が無い。イベント的な催しなど野田市に人を呼び込むなど出来る事から取り組み、野田市の色を作ってほしい。(男性/50歳代)
- 倉庫(物流会社)がやたら多く、食事や買い物を楽しめる大型ショッピングセンター等、時間を楽しく過ごす施設が乏しすぎる。(男性/60歳代)
- 東武野田線、野田市駅が15万都市としては駅の周囲があまりにも貧相な感じを受けます。大きな商業施設等の誘致が出来れば良いですね。(男性/60歳代)
- 野田市内、愛宕駅周辺の商店街を江戸時代風の町並にする事で、魅力ある町づくりをしてはどうか。枝豆を工夫した料理店、スイーツ点を数多く出店する。その為に市で資金援助や、江戸時代風建物づくりのアドバイス(専門家)ををする。愛宕駅周辺の活性化、集客の活性化が重要。(男性/60歳代)
- 旧商店街の個性的で野田らしい再生町づくりをして下さい。(男性/70歳代)
- 私は野田にたいへん魅力を感じております。自然や歴史文化街並等々大々的にPRしていただきたいと思っております。(男性/70歳代)
- 農家の耕作放棄で農地の未耕作地を農協がまとめて希望者に貸し出してほしい。家庭菜園利用に。(男性/80歳以上)

地域(コミュニティ)について

- 自治会に加入しない世帯が増えている様に感じます。ゴミ捨て場は使用しているのに、自治会未加入のためそうじの礼は回らない。資源回収もたいしてやっていない様子。仕事の出勤時間を遅らせて資源回収に立ちあっている身からすると、不公平な思いです。未加入の家を加入させる、又は自治会に料金を払う(未加入のままゴミ捨て場を使用するのであれば)等のシステムを作ってほしい。(女性/30歳代)
- 今住んでいる環境にはとても満足しています。ただ、ご近所との付き合い方がうまく出来ないのが悩みで、自治会には参加しているものの、特に交流が深まるものではないと感じています。地域のつながりを持つ機会や、イベント等が充実して欲しいと願います。(男性/30歳代)
- 最近(近年)、自然災害が大きく、いかに災害から命を守り、助け合えるか、リスク対策ができるか……。上記の件は当然、職場内、家庭でも万全の備えをすることは困難ではあります。しかしながら、互いに協力し合える(野田市政と共に)社会づくり・まちづくりを望みます。(特に大きな川2つにはさまれている野田市だから)(女性/50歳代)

- いろいろな面で、自治会や市民に頼りすぎている。自治会に入っている人と、入っていない人とでは金銭的にも活動の面でも負担が違いすぎる。自治会におまかせではなく、市がやるべきだと思う。(他市から引っ越してきたが、市民の負担が多いのにはびっくりした。20年近くたつが、負担が増している。他の自治会を見習ってほしい。)(女性/50歳代)
- おまつりが沢山あってびっくりしました。皆が協力している姿が、とても心に残りました。これからも続けてほしいと思います。(女性/60歳代)
- 町内自治会の運営についての市政の関与をもう少ししてほしい。自治会費等の割合に関しては、その内容・使い道など分かりづらい。一部の人間のみが分かっているのみ。市政が関与して、又、有効な使い道も含めて、分かりやすく納得のいく自治会になるよう、検討してほしい。(男性/60歳代)
- 若い方(20才以上の方)にも野田市の良い所や、改善したい所を良く知る為にも、若い方が参加しやすい事をして、少しでもどんな市なのかいろいろ知ってほしいです。(女性/70歳代)
- 自治会に加入しないという新しい住民が多くなっていると耳にしますが、自治会があっても、自治会館(公民館)等がない自治会があります。自治会を主として町づくりをするのであれば、自治会館等は市が考えるべきであると思いますが？(マンション、市営住宅等)集会所がありますが、戸建住宅では小さい会合などがしにくい。新旧住民が子ども会、婦人会、老人クラブ、リサイクル活動、文化・学習サークル活動等々、(集会所がなければ)会が活動したり会等ができない！(男性/70歳代)
- 自治会には市民全員が加入した方が良くと思う。市民としての仲間意識や連帯感が沸いてくると思います。日常生活の中で無意識のうちにも野田市の恵みを受けているはずです。”市報のだ”を通して市内の事が良く理解できます。(女性/80歳以上)
- 自治会に入っていないなくても、清掃活動など声掛けして頂ければと思いました。自治会入ってる方にだけ、飲み物等配るなど問題が出てくるのかもしれませんが、一応自分が住んでるところなのでキレイにしたいという気持ちはあります。自治会に入っていない人は、そういう活動に参加できないのもどうかと思います。また、自治会を抜ける方が多いと聞きますが、自治会に入っておくメリットが分かりません。(不明/不明)

その他

- 市役所から送られてくる手紙の文面が固すぎて理解しづらい。結局何をどうしたらいいのか聞かなくてはならないので、もっとかみ砕いたわかりやすい文面をお願いしたい。(女性/20歳代)
- 松戸、柏に比べだいぶ遅れをとっているけれど、逆に何もない状態に近いので、近年の町作りよりも一歩、二歩先への新しい形での町づくりの可能性があると思っています。①高齢化への対応②少子化への対応③長い目で見た自然と住宅街との調和、調整。全てにおいて日本人が誰も見た事のない住みやすい、心落ちつく新しい土地としての野田市を目指して、がんばって下さい。若い力が芽吹き輝ける事を強くお願いします。(男性/30歳代)
- 市役所の業務は市民へのサービス業のはず。ならば職員をシフト制にして365日通常業務とするべきだと思う。また、お役所仕事は縦割りで横のつながりがなく課が違えばたらいまわし、一回で終わるような業務にならないものでしょうか？(男性/40歳代)
- 日曜日の市役所全ての業務を行ってほしい(申請関係の)。仕事をしていると平日に行くことが出来ない。(女性/50歳代)
- 市のホームページを充実していただきたい。例)野菜など農産物の直売所情報(地産地消)、イベント(町内の盆踊りに至るまで)情報の充実、WEBによる書類の取り寄せなどが出来る方法を確立し、足を運ばなくても書類が届くようにしていただきたい。(男性/50歳代)

- ”乗り換え案内” のまめバス版があると良い。例えば、何時に〇〇というバス停まで〇〇から乗りたいと入力すると、〇時〇分発の△△ルートバスがあります。・・・等、わかりやすく案内してくれると、もっと利用する機会が増えると思う。(市のホームページなどで・・・。)(男性/50歳代)
- 防災無線の音が聞きにくい。緊急を要する時にこまります。(女性/60歳代)
- 仕事をしていると市政に無関心になりやすいが、税金を払って支えている訳だから、そういう人も参加できる講習会やイベントを日曜日や祝日にやってほしい。(女性/60歳代)
- 最近水害等があったので、より早い情報を道路の水の出る所など、通行止めになっている場所等、防災連絡で知らせてほしい。(男性/60歳代)
- もし市民からの要望、要請、相談があった場合に迅速に行動してもらえるとうれしい。(男性/70歳代)

第4章 調査票

あなたの声をお聞かせください

～ 第 15 回 野田市民意識調査へのご協力のお願い ～

日ごろ、市政にご協力をいただきましてありがとうございます。

この調査は、市民の皆様のみちづくりに対する意識の変化や、これまでの施策の変化、市政についてのご意見・ご要望を幅広くお聞きし、市民の皆様のご要望に沿った市政運営に役立てていこうとするものです。

調査の実施にあたり、市内にお住まいの満 20 歳以上の方 3,000 人を、住民基本台帳から無作為に選ばせていただきました。

なお、調査は無記名で行い、結果はすべて統計的に処理いたしますので、お答えいただいた皆様にご迷惑をおかけすることは決してございません。また、調査結果につきましては、まとまり次第、市報などでお知らせする予定です。

つきましては、お忙しい中、大変恐縮に存じますが、調査の趣旨をご理解いただきまして、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成 27 年 9 月

野田市長 根本 崇

【ご記入にあたって】

1. 必ず宛名のご本人がお答えください。
2. ご記入は、ボールペン、濃い鉛筆、万年筆でお願いいたします。
3. 最初から 1 問ずつ、すべての質問にお答えください。
4. お答えは、あてはまる回答の番号に○を付けてください。
5. お答えの中で「その他」を選んだときは、その内容を（ ）の中に具体的に記入してください。

すべてのご記入が終わりましたら、同封の返信用封筒にて **9月30日(水)** までにご投函ください。
なお、住所、氏名はご記入いただく必要はありません。

また、この調査についてのお問合せは、下記へお願いいたします。

野田市 企画財政部 秘書広報課
電話 04-7125-1111 (内線 2373・2981)

【問3】あなたは、野田市に誇りや、愛着のようなものを感じますか。次の中から1つだけ選んでください。

1. 感じる	3. あまり感じない
2. 少し感じる	4. 感じない
	5. わからない

【問4】あなたの生活環境についておうかがいします。下記の項目（ア～ナ）について、あてはまるものをそれぞれ1～5の中から1つだけ選んでください。

		良い	まあ良い	普通	良くない	あまり悪い
安全性	ア) 防犯の面はどうですか	1	2	3	4	5
	イ) 地震や火災、水害等の災害が起きたときの身の安全性はどうですか	1	2	3	4	5
	ウ) 交通面での安全性はどうですか	1	2	3	4	5
利便性	エ) 交通の便はどうですか	1	2	3	4	5
	オ) 買い物の便はどうですか	1	2	3	4	5
快適性	カ) 下水・排水の状況はどうですか	1	2	3	4	5
	キ) 道路の整備状況はどうですか	1	2	3	4	5
	ク) 日照や風通しはどうですか	1	2	3	4	5
	ケ) 騒音や振動はどうですか	1	2	3	4	5
	コ) 大気汚染や悪臭はどうですか	1	2	3	4	5
	サ) ごみの回収状況はどうですか	1	2	3	4	5
	シ) し尿の汲み取り状況はどうですか	1	2	3	4	5
	ス) 公園や子どもの遊び場はどうですか	1	2	3	4	5
	セ) 飲料水の状況はどうですか	1	2	3	4	5
ソ) 緑の保全や自然環境はどうですか	1	2	3	4	5	
保健・福祉	タ) 検診など保健活動はどうですか	1	2	3	4	5
	チ) 病院など医療施設はどうですか	1	2	3	4	5
	ツ) 保育所や幼稚園はどうですか	1	2	3	4	5
	テ) 高齢者・障がい者への福祉施設はどうですか	1	2	3	4	5
教育	ト) 公民館や図書館等の整備はどうですか	1	2	3	4	5
	ナ) スポーツ・レクリエーション施設はどうですか	1	2	3	4	5

【問5】あなたが、次の①「保健・医療・福祉施設」、②「教育・文化・スポーツ施設」、③「生活環境施設」のそれぞれの公共施設の中で、特に充実を望むものをそれぞれ2つ以内で選んでください。

①「保健・医療・福祉施設」

1. 老人福祉施設	4. 医療施設（病院・診療所）
2. 障がい者施設	5. 公営住宅
3. 児童館（子ども館）	6. 保育所

②「教育・文化・スポーツ施設」

1. 幼稚園	6. 文化会館	11. テニスコート
2. 小・中学校	7. 美術館	12. サッカー場
3. 高校・大学	8. 体育館	13. 野球場
4. 図書館	9. 陸上競技場	14. 水泳場
5. 博物館	10. サイクリングコース	15. 公民館

③「生活環境施設」

1. 通学路	4. 道路（歩道）	7. 子どもの遊び場
2. 公園	5. 公共下水道	8. コミュニティセンター
3. 駐車場	6. 排水溝	

※上記の①②③で例示されたもの以外に充実してほしい施設がある場合は、枠内に3つ以内で記入してください。

--	--	--

○● 野田市の景観についておうかがいします ●○

【問6】あなたは、野田市の景観（自然や歴史、文化、街並みなどを見たり、感じたりすること）を魅力的だと感じますか。次の中から1つだけ選んでください。

1. とても魅力的である	4. あまり魅力的でない
2. やや魅力的である	5. 魅力的でない
3. どちらともいえない	

○● 文化やスポーツ活動についておうかがいします ●○

【問 10】あなたは、余暇の時間が増えた場合、何かを学んだり、活動したりしてみたいと思いますか。次の中から3つ以内で選んでください。

1. 洋和裁、料理、日曜大工などの生活技術に関するもの
2. 生け花、お茶、盆栽などの趣味的なもの
3. ジョギング、水泳、野球、テニスなどのスポーツ
4. 歴史、文学など一般教養的なもの
5. 美術、演劇、音楽鑑賞など芸術文化的なもの
6. 小説、詩歌、絵画、書道、音楽などの創作や活動
7. 郷土芸能など伝統的な地域文化に関するもの
8. 経済、時事、社会問題に関するもの
9. パソコンなど仕事に役立つ資格や技能に関するもの
10. ボランティア活動や地域活動に関するもの
11. 育児、しつけなど家庭教育に関するもの
12. 医学、健康法など健康管理に関するもの
13. 英会話などの外国語に関するもの
14. その他 ()

○● ごみや環境についておうかがいします ●○

【問 11】あなたは、ごみ減量や環境をよくするために、日常生活の中でどのようなことを心がけていますか。次の中からあてはまるものをすべて選んでください。

1. 資源回収に積極的に参加している
2. 買い物の際、買い物袋を持って行ったり、余分な包装を断ったりしている
3. 使い捨て商品はなるべく買わない
4. 家具や電気製品などは修理して長く使うようにしている
5. 生ごみはコンポストなどを利用して、堆肥化を図っている
6. リサイクルしやすい商品を買っている
7. フリーマーケットやガレージセールに参加している
8. 合成洗剤などはあまり使わない
9. 使用済みの食用油などは排水口に流さない
10. バスなどの公共交通機関を利用し、マイカーの使用を控えている
11. 使わない電気器具のスイッチをこまめに消している
12. 電気器具の購入や交換時には省エネ型の製品を選ぶようにしている
13. その他 ()
14. 特に心がけていない

○● 福祉やボランティア活動についておうかがいします ●○

【問 14】あなたは老後の生活として、どのようなことに生きがいをお求めたいとお考えですか。次の中から1つだけ選んでください。

1. 新たに趣味を持つこと
2. 現在の趣味を生かした活動
3. 新たに仕事を持つこと
4. 自分の専門的技術を生かした活動（仕事）
5. ボランティア活動への参加
6. 自治会、町内会などの地域活動（自主防犯組織、自主防災組織の活動を含む）
7. 世代を超えた友人・隣人との付き合い
8. 子や孫の面倒を見ること
9. いきいきクラブ（老人クラブ）・生涯大学校などで仲間をつくること
10. その他（）
11. 特にない

【問 15】高齢社会が進む中、あなたは市にどのようなことを期待しますか。次の中から2つ以内で選んでください。

1. 高齢者が生きがいをもって働ける場所の確保
2. 医療施設の整備・充実
3. 介護保険サービスなどの在宅福祉サービスの充実
4. 老人福祉施設などの整備
5. 高齢者の健康相談や検診などの保健サービスの充実
6. 市の公共施設を高齢者が利用しやすいように整備
7. 気軽にできるスポーツ・レクリエーション活動の育成・充実
8. 福祉活動を担うボランティアの充実
9. その他（）
10. 特にない

【問 16】あなたは、ボランティア活動に参加したことがありますか。次の中から1つだけ選んでください。

1. 現在参加している
2. 過去に参加したことがある
3. 参加したことはない

【問 17】次のようなボランティア活動について、あなたがやってみたいと思われる活動はありますか。
次の中から3つ以内で選んでください。

- | | |
|---------------------------------|----------------|
| 1. 老人福祉施設の訪問・交流・手伝い | 9. 外国人のホームステイ |
| 2. 児童福祉施設の訪問・交流・手伝い | 10. 子ども会活動 |
| 3. 障がい者施設の訪問・交流・手伝い | 11. 地域の清掃 |
| 4. 在宅障がい者の世話 | 12. スポーツ少年団活動 |
| 5. ひとり暮らしの高齢者の世話 | 13. 子どもの非行防止活動 |
| 6. 施設などに現金、衣類、切手や
ベルマークなどの寄付 | 14. その他 () |
| 7. 車による病院や駅などまでの送迎 | 15. 特に参加したくない |
| 8. 手話通訳・朗読・点訳 | |

○● 男女共同参画についておうかがいします ●○

【問 18】あなたは「女性が家事・育児を行い、男性が仕事を行う」という考え方について、どのよう
にお考えですか。次の中から1つだけ選んでください。

- | | |
|--------------|------------|
| 1. 賛成である | 4. やや反対である |
| 2. やや賛成である | 5. 反対である |
| 3. どちらともいえない | |

【問 19】男女共同参画社会を実現していくためには、何が最も重要だと思えますか。次の中から1
つだけ選んでください。

- | |
|-----------------------------------|
| 1. 法律や条例など公的な制度を見直す |
| 2. 女性を取り巻くさまざまな偏見や固定的な社会通念、習慣をなくす |
| 3. 女性の就業、社会参加を支援する施策やサービスの充実を図る |
| 4. 重要な役割や審議会などに一定の割合で女性を登用する |
| 5. その他 () |

○● 市政への参加意識についておうかがいします ●○

【問 20】あなたは、市政についてどの程度関心がありますか。次の中から1つだけ選んでください。

- | | |
|-------------|--------------|
| 1. 大いに関心がある | 3. あまり関心がない |
| 2. まあ関心がある | 4. ほとんど関心がない |

【問 21】あなたは、市政に関することで意見や不満があるとき、まず、どのようにしますか。次の中から1つだけ選んでください。

- | | |
|-----------------------|----------------------------|
| 1. 直接、市役所に行って話す | 7. 市議会議員に相談する |
| 2. 市役所へ電話する | 8. 民生委員などに相談する |
| 3. 「市長への手紙」などで伝える | 9. 新聞・テレビなどに投書したり電話をかけたりする |
| 4. 市役所へ電子メールを出す | 10. 市が解決してくれるのを待つ |
| 5. 説明会や公聴会などに参加して発言する | 11. 少しぐらいなら辛抱する |
| 6. 自治会を通じて要望する | 12. その他 () |

【問 22】あなたは、市に関する情報を主に何によって知りますか。次の中から2つ以内で選んでください。

- | | |
|--------------------------------|-------------------|
| 1. 「市報のだ」 | 7. 公共施設内の掲示板 |
| 2. 「市報のだ」以外の印刷物（「グラフ野田」やチラシなど） | 8. 一般新聞（日刊紙） |
| 3. 市のホームページ | 9. ミニコミ紙などの情報（紙）誌 |
| 4. 市以外のホームページ | 10. テレビ・ラジオ |
| 5. 市からの電子メール（まめメール） | 11. 知人・友人 |
| 6. 市以外の電子メール（ツイッターを含む） | 12. その他 () |

【問 23】あなたは「市報のだ」をどのように入手していますか。次の中から1つだけ選んでください。

- | | |
|------------------|------------------------|
| 1. 自治会・町内会による配布 | 5. ホームページのPDF版 |
| 2. 市役所へ取りに行く | 6. 「市報のだ」を知らない（入手してない） |
| 3. 公民館や出張所へ取りに行く | 7. その他 () |
| 4. 図書館で読んでいる | |

【問 28】あなたの世帯には、次のような情報通信機器がありますか。あなた自身が利用していない場合でも、世帯のどなたかが利用しているものを含めて、次の中からあてはまるものをすべて選んでください。

- | | |
|--------------------|--------------------------------|
| 1. 固定電話 | 6. インターネットに接続できるゲーム機やテレビなど |
| 2. パソコン | 7. タブレット型端末 |
| 3. 携帯電話、PHS、携帯情報端末 | 8. その他（ ） |
| 4. スマートフォン | |
| 5. ファクス | |

【問 29】あなたは、過去 1 年間に、仕事や学業以外で、インターネットを利用したことがありますか。次の中から 1 つだけ選んでください。

- | | |
|-------|-------|
| 1. ある | 2. ない |
|-------|-------|

↓
〈問 29 で「1. ある」とお答えの方におうかがいします。〉

【問 29-1】どのようなことに利用しましたか。あてはまるものをすべて選んでください。

- | | |
|------------------------------------|---------------------------------|
| 1. ホームページの閲覧・検索 | 6. インターネットバンキングなどの金融取引 |
| 2. 電子メールの送受信 | 7. オンラインゲーム |
| 3. 商品やサービスの購入、取引 | 8. 就職・転職に関する情報の入手や応募 |
| 4. 地図情報提供サービスの利用
(鉄道の乗換案内などを含む) | 9. インターネットオークション |
| 5. ソーシャルメディアの利用
(SNS や電子掲示板など) | 10. 電子申請や電子申告の手続 |
| | 11. その他（ ） |

〈問 29 で「1. ある」とお答えの方におうかがいします。〉

【問 29-2】どのような機器でインターネットを利用しましたか。あてはまるものをすべて選んでください。

- | | |
|--------------------|--------------------------------|
| 1. 自宅のパソコン | 5. タブレット型端末 |
| 2. スマートフォン | 6. テレビ |
| 3. 携帯電話、PHS、携帯情報端末 | 7. インターネットに接続できるゲーム機など |
| 4. 自宅以外のパソコン | 8. その他（ ） |

○● 市政全般についておうかがいします ●○

【問 30】これまで、市ではさまざまな施策を進めてきましたが、①ここ数年特によくなったと感じるもの、②これから野田市がより住みやすく、豊かなまちへ発展していくために、今後、力を入れていったらよいと思うものを、次の中からそれぞれ3つ以内で選んで下の回答欄に番号を記入してください。

- | | |
|------------------------------------|-----------------------------------|
| 1. 公園・緑地の整備 | 23. 生涯学習の推進(公民館・図書館などの整備) |
| 2. 道路(歩道)の整備 | 24. スポーツ・レクリエーションの振興 |
| 3. 住宅の確保(市営住宅や持ち家対策) | 25. 保健(健康相談や検診など)・医療の充実 |
| 4. 上水道の整備 | 26. 高齢者福祉の充実(介護保険などの高齢者対策) |
| 5. 下水道の整備 | 27. 児童福祉の充実 |
| 6. 河川の整備 | 28. 障がい者福祉の充実 |
| 7. 再開発・区画整理の推進 | 29. 市民参加の推進 |
| 8. 歴史的な街並みの保全 | 30. 男女共同参画社会の推進 |
| 9. バスの充実 | 31. ボランティア・NPO活動の推進 |
| 10. 鉄道の充実 | 32. コミュニティづくりの推進 |
| 11. 駅・駅前広場などの充実 | 33. 雇用対策 |
| 12. ごみ処理対策 | 34. 農業の振興 |
| 13. し尿処理対策 | 35. 工業の振興 |
| 14. 環境衛生対策(自治会等による地域清掃、草刈機の貸し出しなど) | 36. 商業の振興 |
| 15. 公害対策 | 37. 観光の振興 |
| 16. 放射能汚染対策 | 38. 消費者保護対策の充実 |
| 17. 自然の保全・保護 | 39. 資源・エネルギー対策の充実
(地球温暖化対策を含む) |
| 18. 消防・防災対策 | 40. 情報化の推進 |
| 19. 防犯対策 | 41. 国際交流の推進 |
| 20. 交通安全対策 | 42. その他 () |
| 21. 学校教育の充実 | |
| 22. 青少年の健全育成 | |

①ここ数年特によくなったと感じるもの ⇒

--	--	--

②今後、力を入れていったらよいと思うもの ⇒

--	--	--

〇● 市役所のことについておうかがいします ●〇

【問 31】あなたは、市政や市役所の業務について、改善してほしいことがありますか。次の中から2つ以内を選んでください。

- | | |
|---------------------|-------------|
| 1. 申請などの手続の簡素化 | 5. 市政の情報の公開 |
| 2. 苦情・陳情・相談などの迅速な対応 | 6. その他 () |
| 3. 行政の中身のわかりやすい周知 | 7. わからない |
| 4. 適正な予算配分と効率的な運営 | 8. 特にない |

【問 32】あなたは、市役所の職員の対応について、どのような印象をもっていますか。次の中から1つだけを選んでください。

- | | |
|---------------|----------------|
| 1. 親切 | 3. どちらかといえば不親切 |
| 2. どちらかといえば親切 | 4. 不親切 |
| | 5. わからない |

○● あなたご自身について ●○

調査結果を統計的に処理するために、あなたご自身についておうかがいします。

【F 1】 あなたの性別は

1. 男性	2. 女性
-------	-------

【F 2】 あなたの年齢は

1. 20 歳代	3. 40 歳代	5. 60 歳代	7. 80 歳以上
2. 30 歳代	4. 50 歳代	6. 70 歳代	

【F 3】 あなたの職業は

1. 農業	4. パート・アルバイト	7. 無職
2. 自営業	5. 専業主婦	8. その他
3. 会社員・公務員	6. 学生	()

【F 4】 あなたのお住まいの地域は

※小学校の学区を参考にお答えください。

1. 野田地区（中央小、清水台小）	7. 福田地区（福田第一小、福田第二小、二ツ塚小）
2. 中地区（宮崎小、柳沢小）	8. 木間ヶ瀬地区（木間ヶ瀬小）
3. 南地区（南部小、山崎小、みずき小）	9. 関宿中地区（関宿中央小）
4. 北地区（北部小、岩木小、七光台小）	10. 二川地区（二川小）
5. 川間地区（川間小、尾崎小）	11. 関宿地区（関宿小）
6. 東地区（東部小）	

【F 5】 あなたは野田市にお住まいになって、通算で何年になりますか。

※合併以前に関宿町に住んでいた方は、その年数を野田市に住んでいたとみなして加えてください。

1. 3 年未満	4. 10 年以上～20 年未満	7. 40 年以上～50 年未満
2. 3 年以上～5 年未満	5. 20 年以上～30 年未満	8. 50 年以上
3. 5 年以上～10 年未満	6. 30 年以上～40 年未満	

第15回 野田市民意識調査報告書

平成28年3月

野田市企画財政部秘書広報課
278-8550 千葉県野田市鶴奉7-1
電話：04-7125-1111（内線2375）